

瀬戸市
高齢者総合計画実態調査
報告書

令和5年3月

愛知県 瀬戸市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象及び調査方法	1
3	回収数・回収率	2
4	報告書の見方	2
II	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果	3
1	回答者の家族や生活状況について	3
2	からだを動かすことについて	11
3	外出について	13
4	食べることについて	20
5	毎日の生活について	24
6	地域での活動について	34
7	あなたとまわりの人の「たすけあい」について	39
8	健康について	44
9	今後の生活について	51
10	認知症について	54
11	要介護リスクの状況について（一般高齢者）	57
III	在宅介護実態調査の結果	63
A票	調査対象者について	64
B票	主な介護者について	73
IV	第8期経過介護実態調査の結果	80
1	分析の視点	80
2	要介護者本人の状況について	82
3	主な介護者等の状況について	90
4	支援・サービス・訪問診療の利用状況・ニーズについて	93
5	主な介護者の就労状況について	97
6	介護生活を続ける際の不安や困りごとについて	101

V	介護人材実態調査の結果.....	102
1	事業所票（訪問系／施設・通所系）.....	102
2	職員票.....	106
VI	介護休業制度等実態調査の結果.....	112
VII	居所変更実態調査の結果.....	118
VIII	圏域別の状況について.....	124
1	地域課題分析の視点.....	124
2	地域課題の分析.....	126

I 調査の概要

1 調査の目的

令和5年度に予定している「瀬戸市高齢者総合計画」の見直しにあたり、高齢者等の日常生活実態及び介護者の介護実態を把握し、瀬戸市（以降、「本市」という。）における課題整理を行い、今後目指すべき地域包括ケアシステム構築のあり方とサービス基盤の方向性を検討するための基礎資料を得ることを目的として、本調査を実施しました。

2 調査対象及び調査方法

全体で6種の調査を実施しました。調査別の実施概要は以下のとおりです。

	調査種別	調査内容・対象	調査方法	調査期間
1	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	高齢者の要介護リスクや生活の状況、支援ニーズ等について、瀬戸市に居住する要介護1～5の認定を受けていない65歳以上の人の中から無作為に抽出した2,500名を対象に実施。	郵送配付・郵送回収	令和4年 12月13日～ 12月27日
2	在宅介護実態調査	要介護者の在宅生活の継続に向け、有効な介護サービスや支援、家族介護者の支援ニーズ等について、瀬戸市に居住する65歳以上で要介護認定を受けている高齢者及びその主な介護者である家族・親族を対象に実施。	認定調査員による聞き取り調査	令和4年 10月17日～ 令和5年 1月31日
3	第8期経過介護実態調査	要介護状態の変化とそれに関わる生活・介護の状況等について、前回の第8期計画策定にあたり実施した在宅介護実態調査（令和元年度）の対象となった高齢者213人とその主な介護者である家族・親族を対象に実施。	郵送配付・郵送回収	令和4年 12月13日～ 12月27日
4	介護人材実態調査	介護人材の確保に関する実態について、瀬戸市内に事業所のある①訪問系サービス事業所全数（61事業所）【訪問系事業所票】、②施設・通所系サービス事業所全数（122事業所）【施設・通所系事業所票】、③訪問系サービス事業所の介護職員【職員票】を対象に実施。	郵送配付・郵送及びウェブ回収	①②令和4年 12月22日～ 令和5年 1月24日 ③令和5年 1月6日～ 1月27日
5	介護休業制度等実態調査	介護休業制度の利用状況等の現状について、瀬戸商工会議所に入会している会員企業2,074事業所を対象に実施。	郵送配付・郵送・FAX・ウェブによる回収	令和5年 1月6日～ 1月27日
6	居所変更実態調査	入所施設における入居・退去の実態について、瀬戸市内に事業所のある施設系サービス事業所を対象に実施。	郵送配付・郵送及びウェブ回収	令和4年 12月22日～ 令和5年 1月24日

3 回収数・回収率

アンケートの回収結果は以下のとおりです。

	調査種別	配付数	有効回収数	有効回収率
1	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	2,500	1,950	78.0%
2	在宅介護実態調査	-	374	-
3	第8期経過介護実態調査	213	159	74.6%
4	介護人材実態調査			
	訪問系事業所票	61	18	29.5%
	施設・通所系事業所票	122	66	54.1%
	職員票	-	301	-
5	介護休業制度等実態調査	2,074	442	21.3%
6	居所変更実態調査	64	25	39.1%

4 報告書の見方

- 本調査結果については、前回調査で同様の設問があるものについては、基本的に前回調査結果と今回の調査結果を併記して示しています。R4年と表記しているのが今回の調査結果、R1年と表記しているのが前回の調査結果です。
- 回答結果の割合「%」は集計対象者総数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、選択肢からいずれか1つの選択肢を選ぶ設問であっても合計値が100.0%ちょうどにならない場合があります。
- 複数回答（特に表記のない場合は、当てはまる選択肢をすべて選択する形式）の設問の場合、各選択肢の回答割合の合計が100.0%を超える場合があります。この形式の設問については、質問文の末尾に「複数回答」と表記しています。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「n (number of case)」は、集計対象者総数（回答者を限定する設問の限定条件に該当する人の総数）を表しています。
- 本文中の設問・選択肢は簡略化している場合があります。
- 地域ごとの状況を示すため、圏域（日常生活圏域）別に集計結果を示していることがあります。本市の日常生活圏域は5圏域となっており、それぞれに含まれる連区は下記のとおりです。

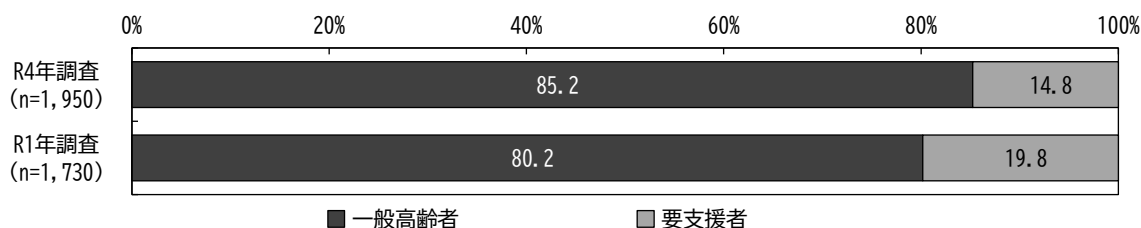
北部	道泉・深川・水野・西陵	西部	效範・水南
東部	古瀬戸・東明・品野（品野・下品野）	南部	山口・本地・菱野・新郷・原山台・萩山台・八幡台
中部	祖母懐・陶原・長根		

Ⅱ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果

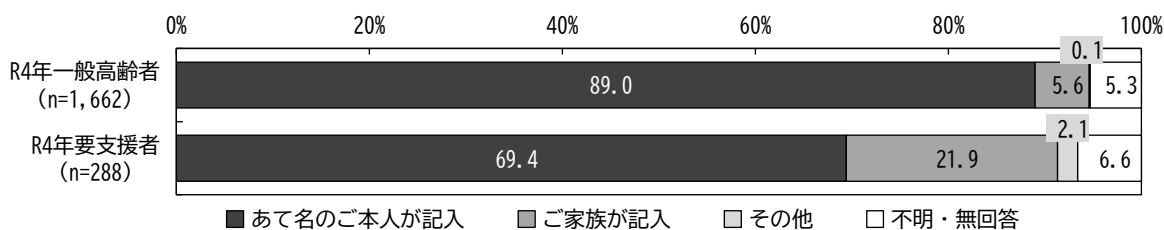
1 回答者の家族や生活状況について

回答者の区分について

本調査は、65歳以上の要介護・要支援の認定を受けていない「一般高齢者」、要支援1・2の認定を受けている「要支援者」が対象となっています。調査結果については、前回調査と同様に「一般高齢者」と「要支援者」に区分して、それぞれの結果を示します。

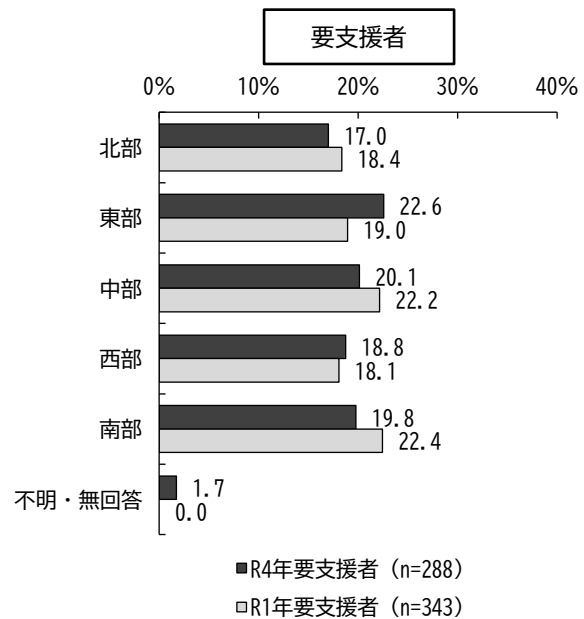
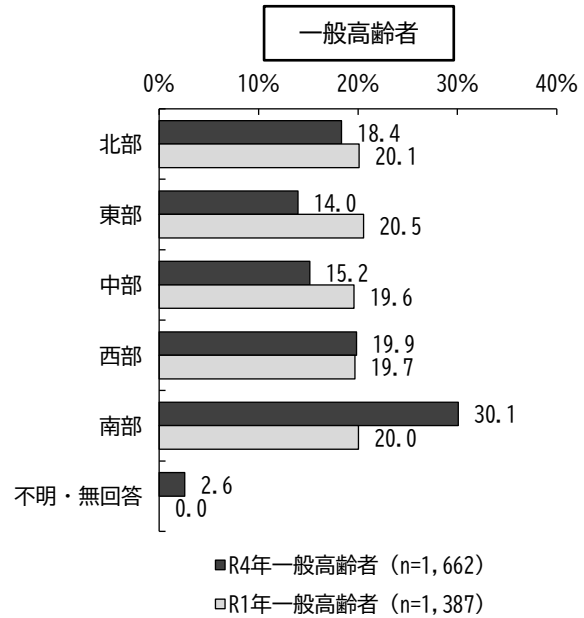
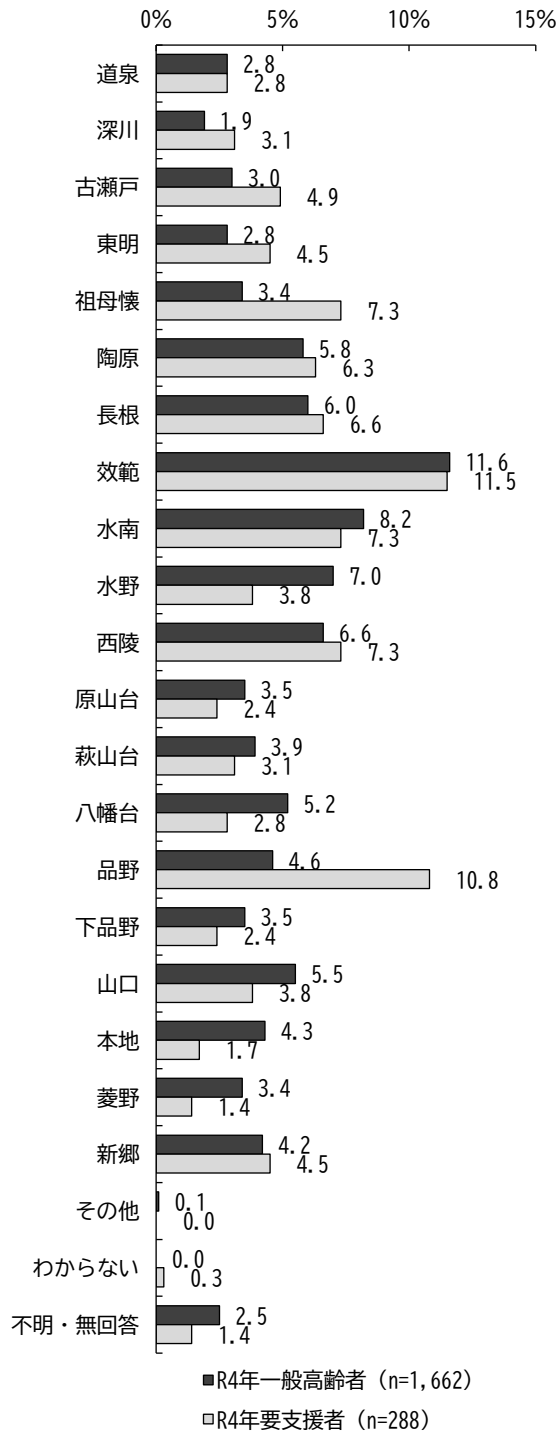


問1 現在、この調査票を記入されたのはどなたですか。

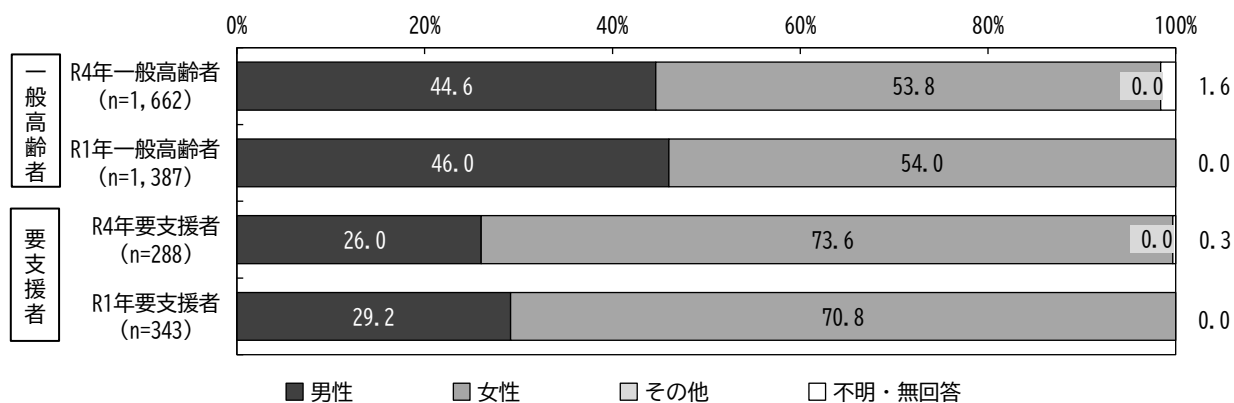


問2 あて名のご本人（あなた）のお住まいの連区はどこですか。

連区別で見ると、一般高齢者、要支援者ともに「效範」が最も多くなっています。前回調査では5圏域で抽出数をそろえていましたが、今回は無作為抽出であるため、前回調査と比べると、圏域ごとの回答数にばらつきが出ています。

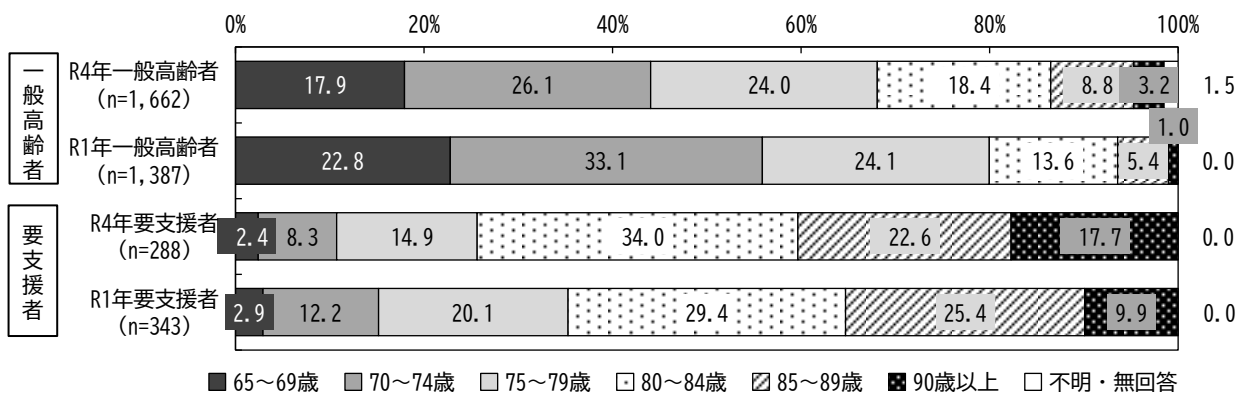


問3 あなたの性別をお答えください。

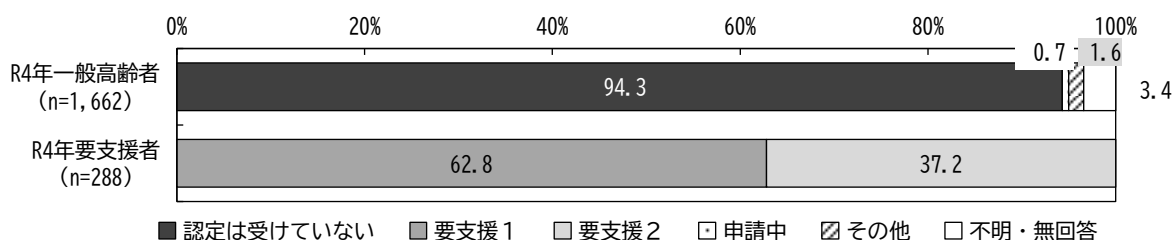


※「その他」はR4年調査のみの選択肢。

問4 年齢（令和4年12月1日現在）をお答えください。



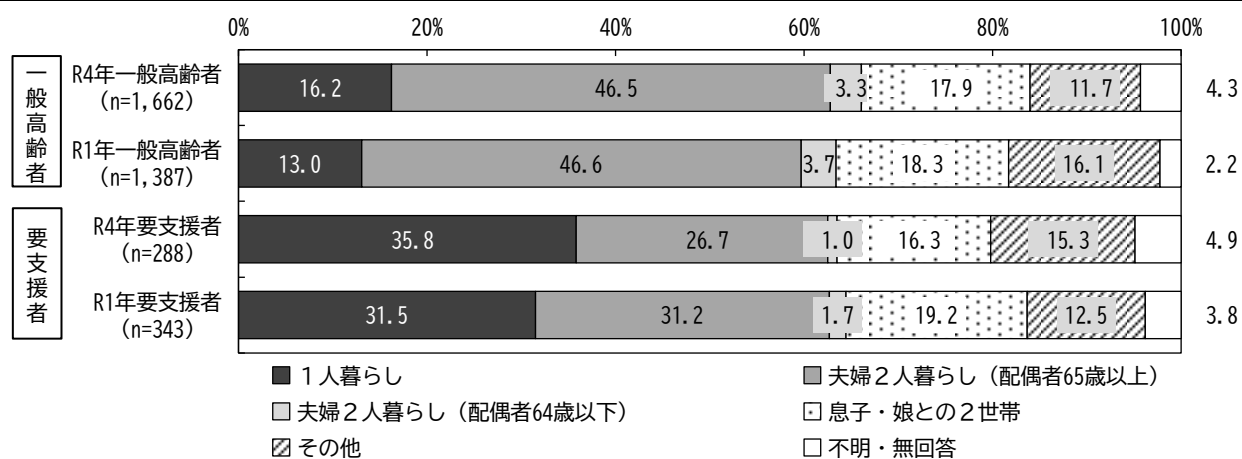
問5 あなたは要介護認定を受けていますか。



問6 家族構成をお教えてください。

一般高齢者は「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」（46.5%）、要支援者は「1人暮らし」（35.8%）が最も多くなっています。前回調査と比べると、いずれも「1人暮らし」がやや増加しています。

年齢別にみると、高齢になるほど「1人暮らし」が増加し、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が減少しています。



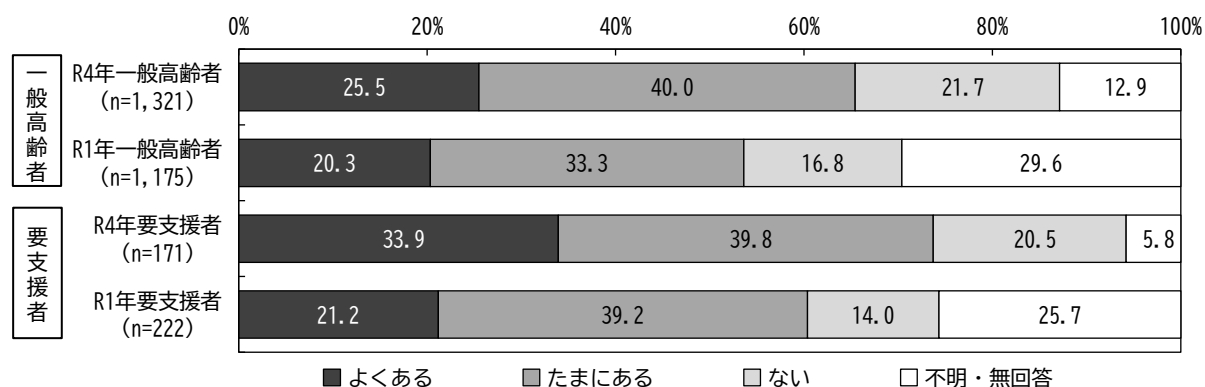
◆年齢別にみた家族構成【一般高齢者】

単位：%

年齢	1人暮らし	夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	息子・娘との2世帯	その他	不明・無回答
65～69歳 (n=298)	11.7	41.3	10.4	18.5	16.1	2.0
70～74歳 (n=434)	12.4	53.0	3.2	16.1	12.2	3.0
75～79歳 (n=399)	17.0	52.6	1.0	14.8	10.8	3.8
80～84歳 (n=306)	18.6	47.4	0.7	20.9	8.8	3.6
85～89歳 (n=147)	25.2	37.4	2.0	20.4	12.9	2.0
90歳以上 (n=53)	32.1	18.9	0.0	35.8	9.4	3.8

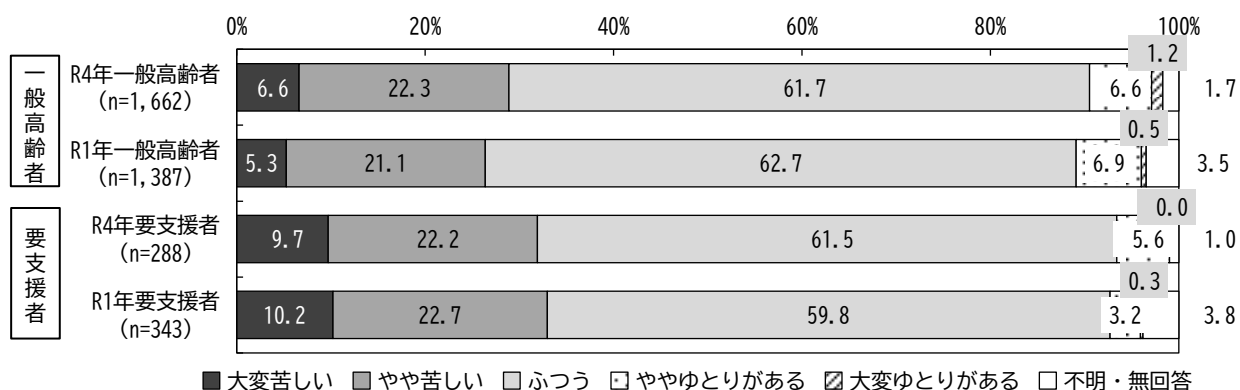
【問6で「1人暮らし」以外を回答した人のみ】

問7 日中、1人になることがありますか。



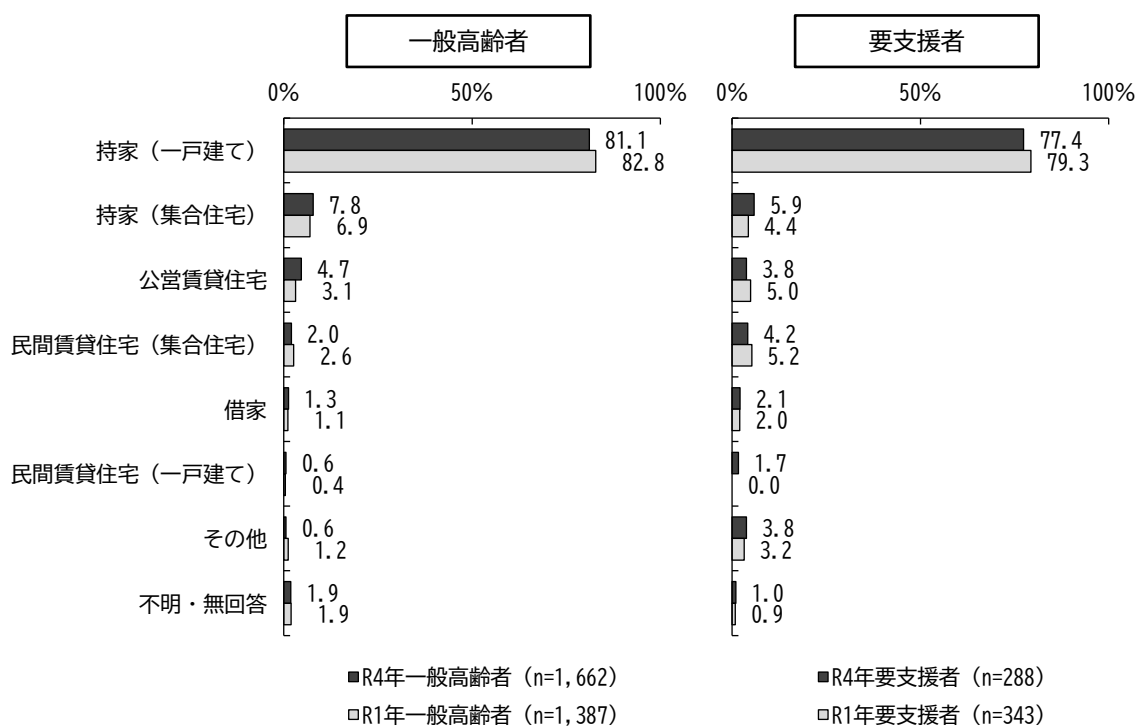
問8 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。

一般高齢者、要支援者ともに「ふつう」が6割台で最も多くなっています。苦しいという回答（「大変苦しい」と「やや苦しい」の合計）は、一般高齢者で28.9%、要支援者で31.9%となっています。



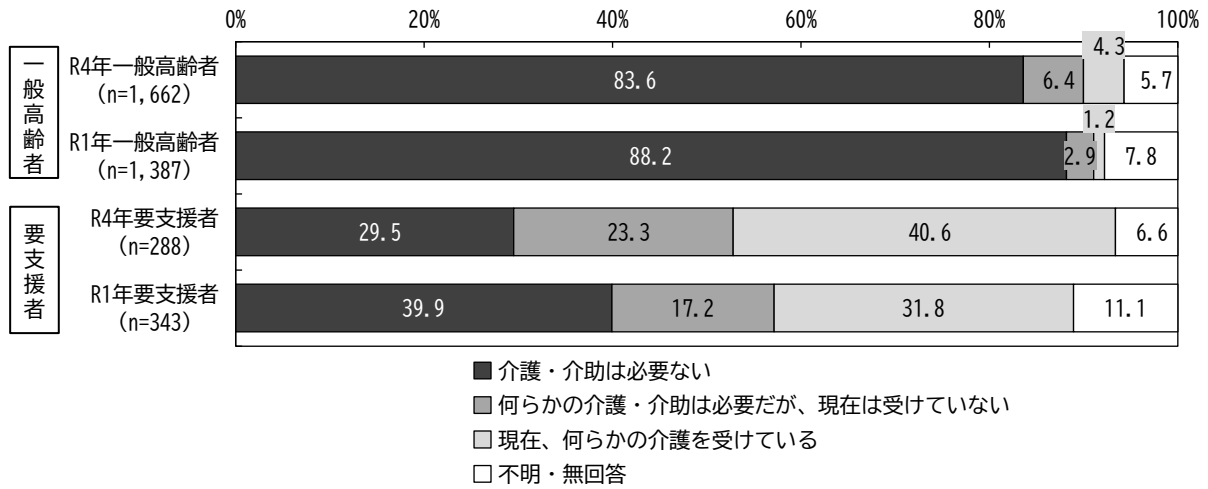
問9 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。

一般高齢者、要支援者ともに「持家（一戸建て）」が最も多くなっています。



問 10 普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。

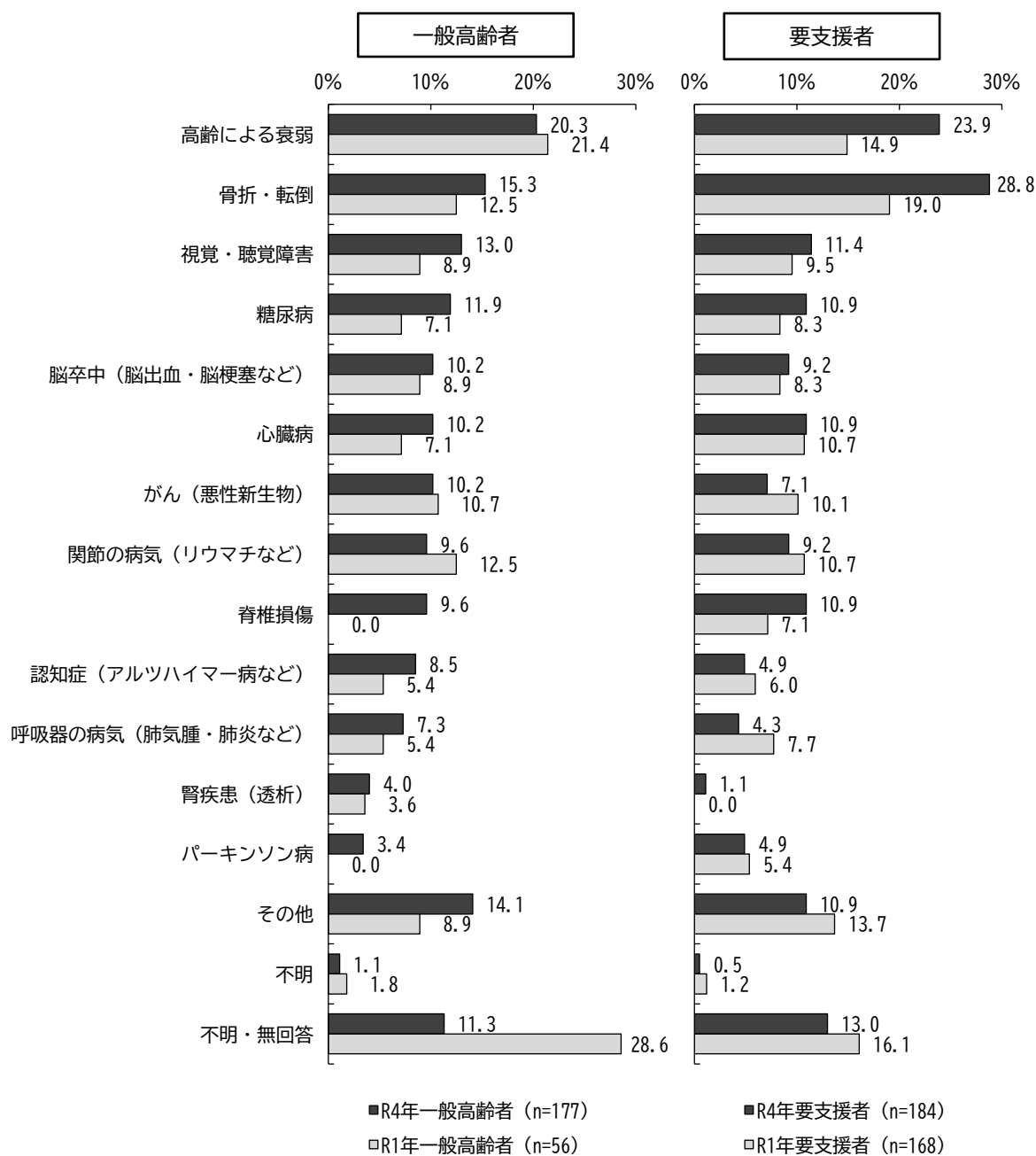
「現在、何らかの介護を受けている」は一般高齢者 4.3%、要支援者 40.6%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」は一般高齢者 6.4%、要支援者 23.3%となっています。



【問10で「介護・介助は必要ない」以外を回答した人のみ】

問11 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。【複数回答】

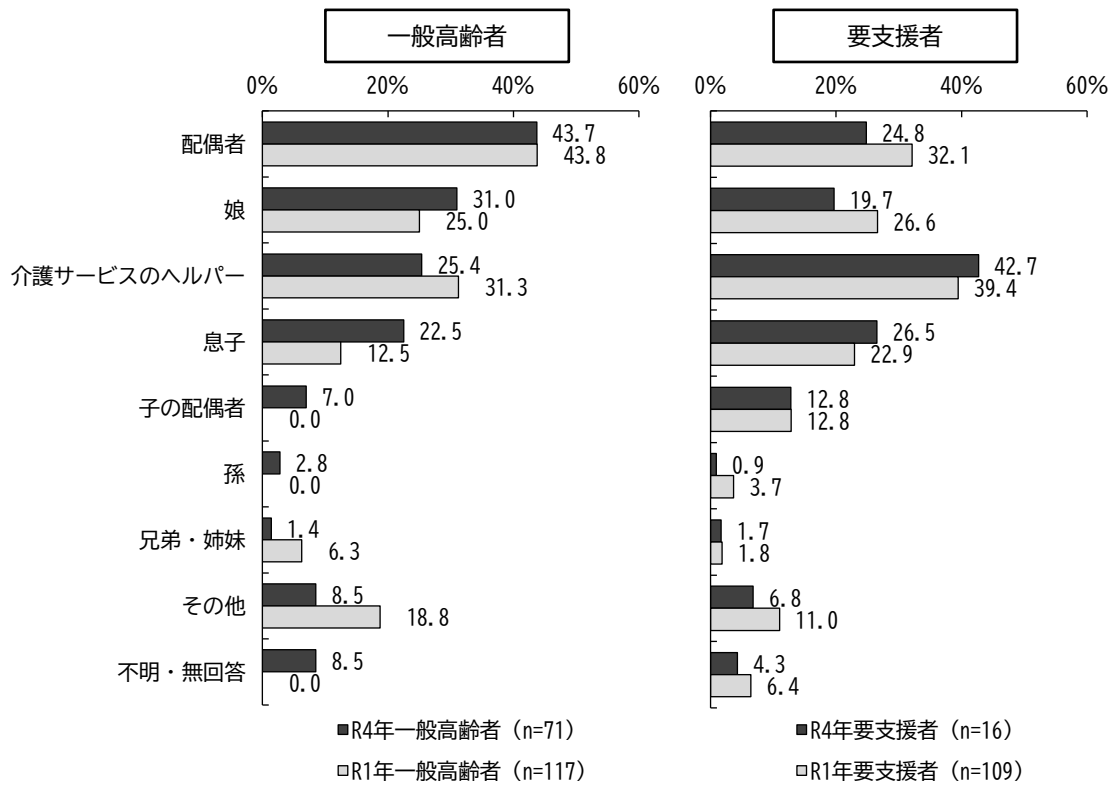
一般高齢者は「高齢による衰弱」（20.3%）、要支援者は「骨折・転倒」（28.8%）が最も多くなっています。



【問10で「現在、何らかの介護を受けている」と回答した人のみ】

問12 主にどなたの介護・介助を受けていますか。【複数回答】

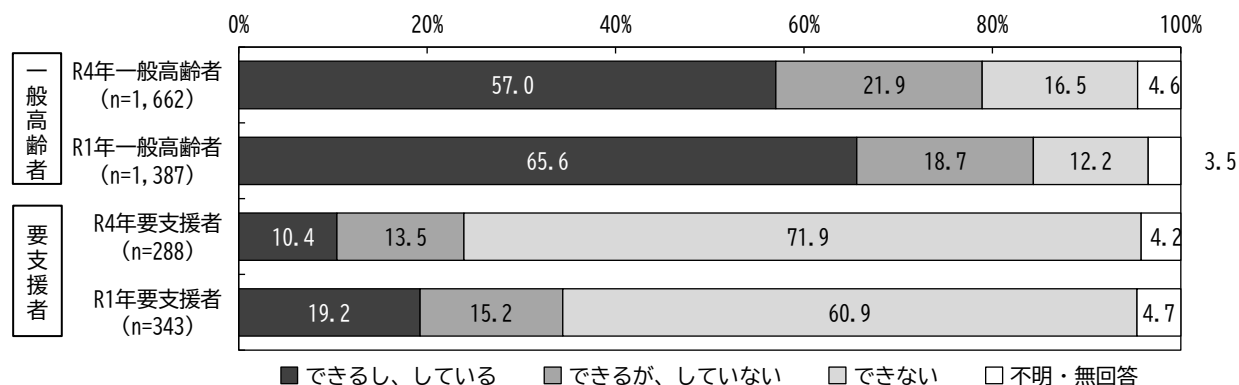
一般高齢者は「配偶者」（43.7%）、要支援者は「介護サービスのヘルパー」（42.7%）が最も多くなっています。



2 からだを動かすことについて

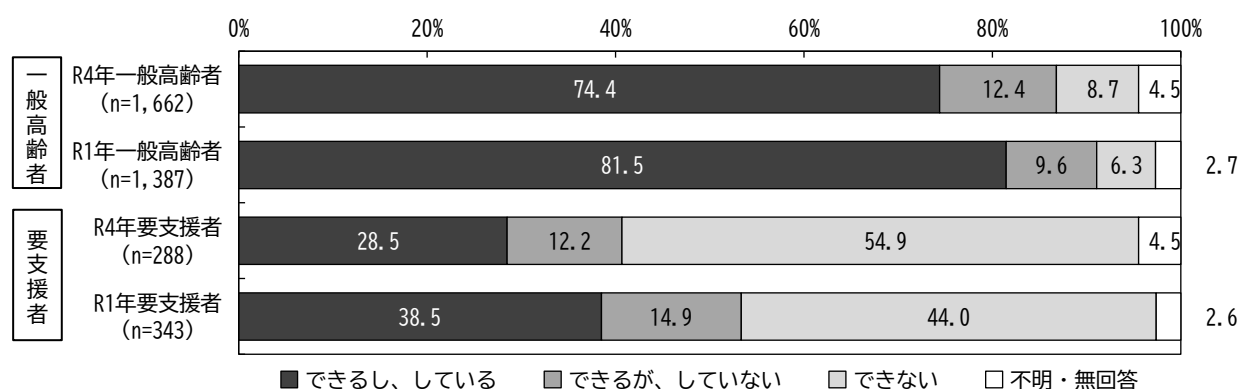
問 13 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。

「できない」は一般高齢者で 16.5%、要支援者で 71.9%となっています。前回調査と比べると、いずれも「できるし、している」がやや減少しています。



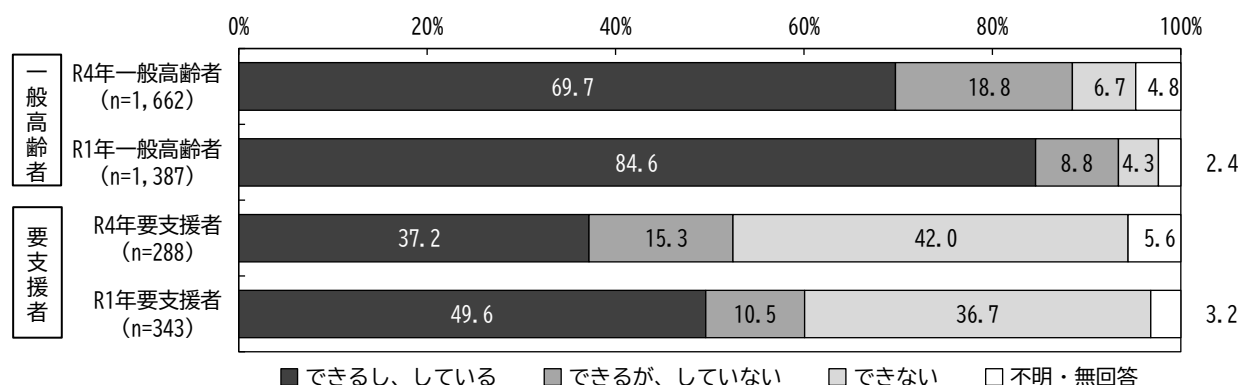
問 14 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。

「できない」は一般高齢者で 8.7%、要支援者で 54.9%となっています。前回調査と比べると、いずれも「できるし、している」がやや減少しています。



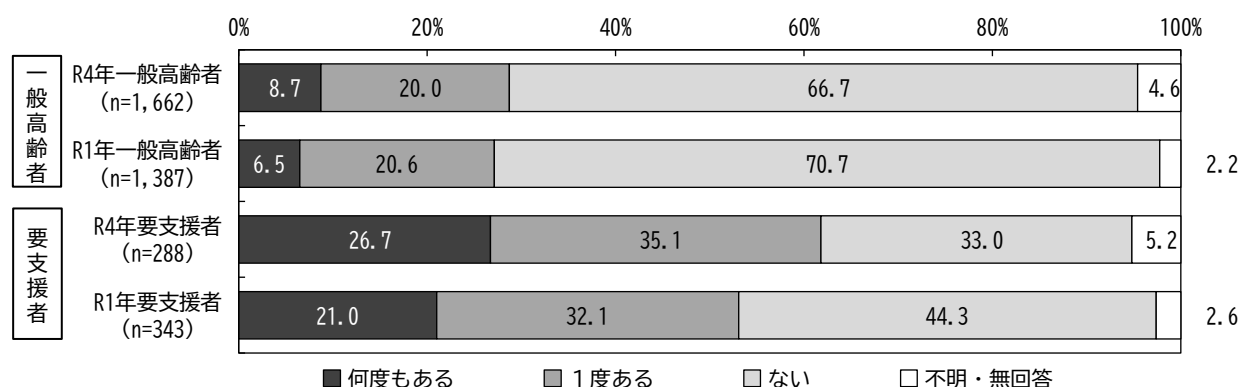
問 15 15分くらい続けて歩いていますか。

「できない」は一般高齢者で6.7%、要支援者で42.0%となっています。前回調査と比べると、いずれも「できるし、している」がやや減少しています。



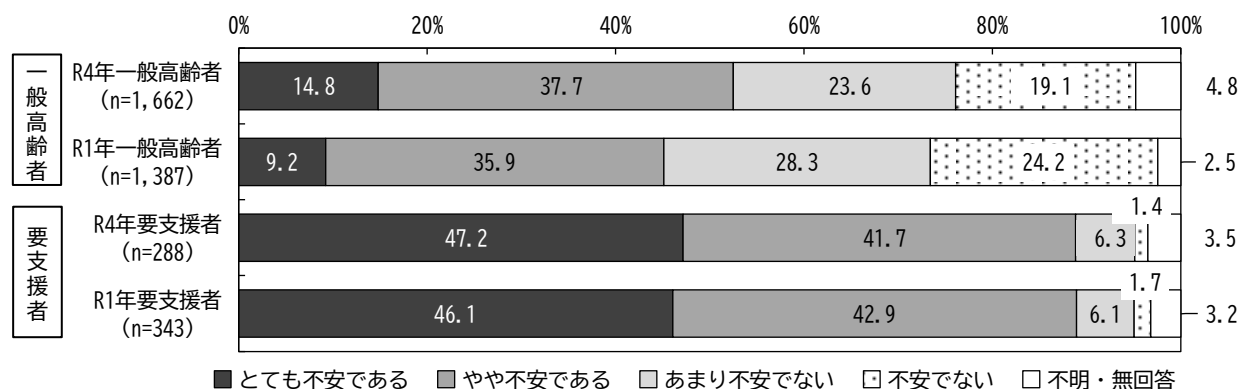
問 16 過去1年間に転んだ経験がありますか。

「何度もある」は一般高齢者で8.7%、要支援者で26.7%となっています。前回調査と比べると、要支援者で「何度もある」がやや増加しています。



問 17 転倒に対する不安は大きいですか。

「とても不安である」は一般高齢者で14.8%、要支援者で47.2%となっています。前回調査と比べると、一般高齢者で「とても不安である」がやや増加しています。



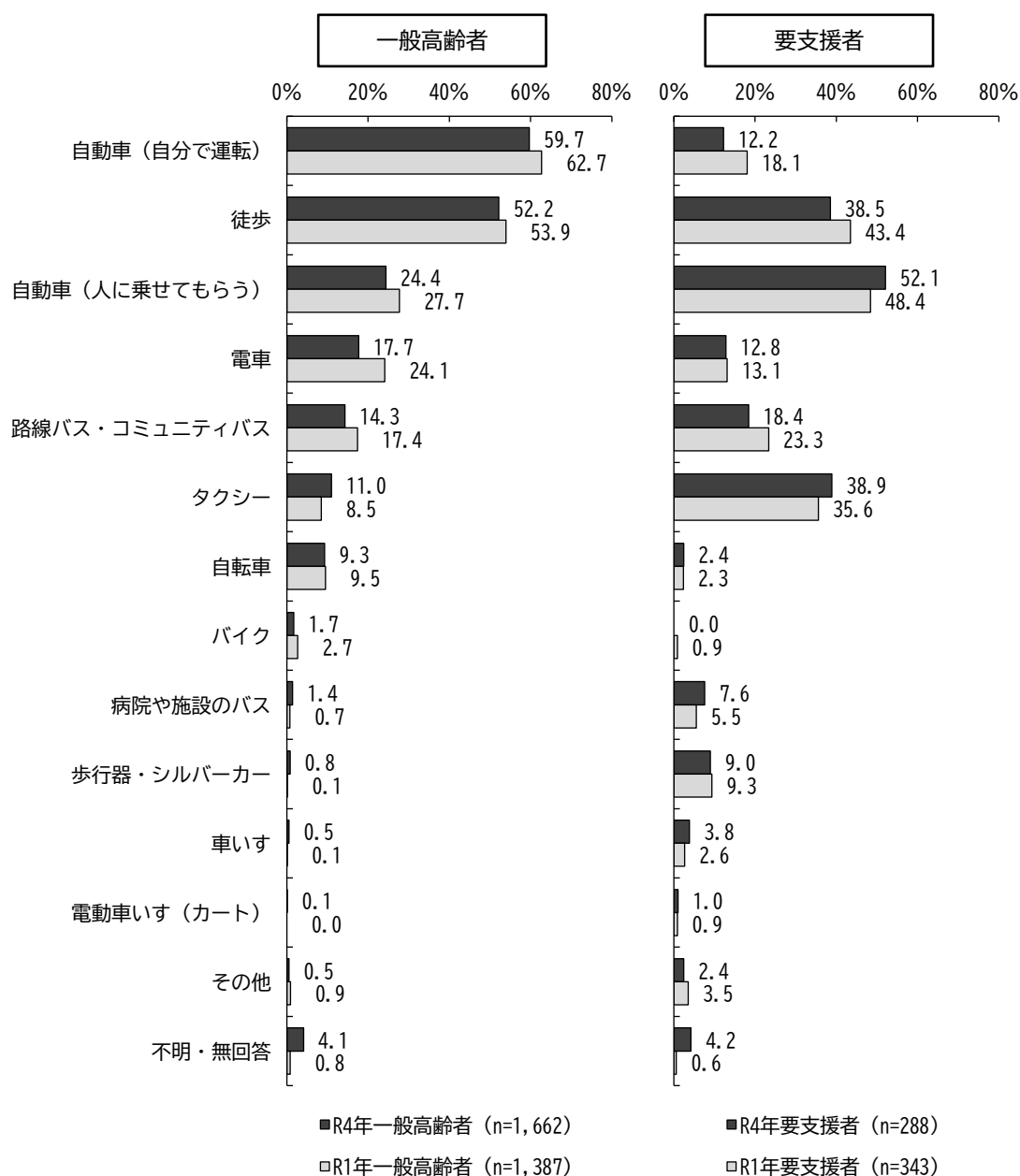
3 外出について

問 18 外出する際の移動手段は何ですか。【複数回答】

一般高齢者は「自動車（自分で運転）」（59.7%）、要支援者は「自動車（人に乗せてもらう）」（52.1%）が最も多くなっています。前回調査と比べると、一般高齢者で「電車」「路線バス・コミュニティバス」といった公共交通機関の利用がやや減少しています。

年齢別にみると、高齢になるほど「自動車（自分で運転）」「電車」が減少し、「自動車（人に乗せてもらう）」「タクシー」が増加しています。

圏域別にみると、東部圏域では「徒歩」「電車」「タクシー」が少なく、「自動車（自分で運転）」がやや多くなっています。



◆年齢別にみた移動手段【一般高齢者】

単位：％

	自動車 (自分で 運転)	徒歩	自動車 (人に乗 せてもら う)	電車	路線バ ス・コ ミュニ ティバス	タクシー	自転車	バイク
65～69歳 (n=298)	78.5	52.7	17.8	22.5	11.1	6.0	10.4	3.0
70～74歳 (n=434)	72.8	51.8	20.3	20.3	12.0	6.9	9.0	1.6
75～79歳 (n=399)	61.9	52.6	23.8	15.8	13.5	9.3	11.0	2.3
80～84歳 (n=306)	43.5	53.3	28.1	14.7	17.3	18.3	7.8	0.7
85～89歳 (n=147)	31.3	52.4	32.7	14.3	20.4	16.3	8.2	0.7
90歳以上 (n=53)	9.4	47.2	56.6	9.4	20.8	26.4	5.7	0.0

	病院や施 設のバス	歩行器・ シルバー カー	車いす	電動車い す(カー ト)	その他	不明・無 回答
65～69歳 (n=298)	0.3	0.3	0.3	0.0	0.3	5.4
70～74歳 (n=434)	1.2	0.0	0.5	0.0	0.0	3.0
75～79歳 (n=399)	1.0	0.0	0.0	0.0	0.8	4.8
80～84歳 (n=306)	1.6	1.3	0.7	0.0	1.0	2.6
85～89歳 (n=147)	1.4	2.7	0.0	0.0	0.7	4.8
90歳以上 (n=53)	7.5	7.5	5.7	1.9	0.0	3.8

◆圏域別にみた移動手段【一般高齢者】

単位：％

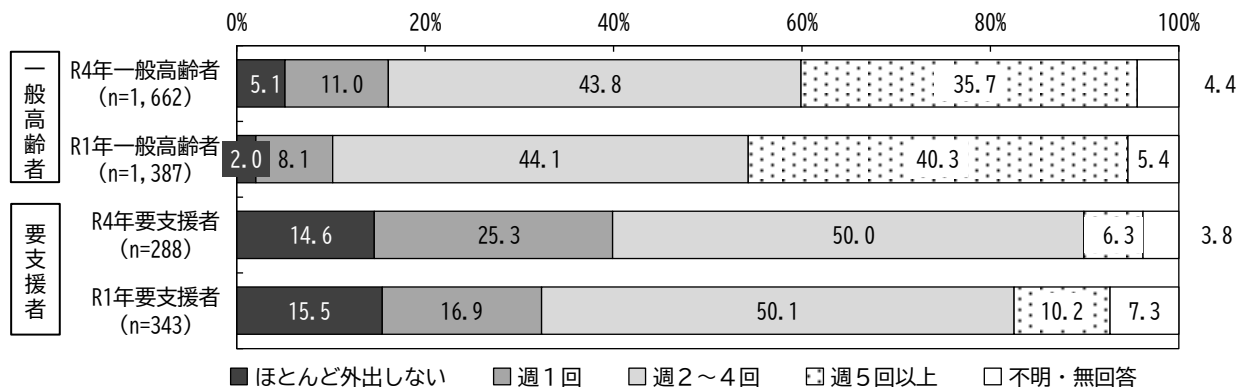
	自動車 (自分で 運転)	徒歩	自動車 (人に乗 せてもら う)	電車	路線バ ス・コ ミュニ ティバス	タクシー	自転車	バイク
北部 (n=305)	61.6	54.8	23.6	17.4	14.1	13.1	10.2	2.0
東部 (n=232)	69.0	34.5	22.4	10.3	15.9	5.6	4.3	0.9
中部 (n=252)	53.2	59.1	27.8	19.4	11.9	13.9	10.7	0.8
西部 (n=330)	52.7	57.6	28.5	22.4	9.7	11.2	8.8	2.7
南部 (n=500)	62.6	53.0	22.0	17.8	18.0	10.6	11.2	1.8

	病院や施 設のバス	歩行器・ シルバー カー	車いす	電動車い す(カー ト)	その他	不明・無 回答
北部 (n=305)	0.7	1.0	0.3	0.0	0.7	3.0
東部 (n=232)	1.3	0.0	0.4	0.0	0.0	3.4
中部 (n=252)	2.4	0.8	0.4	0.0	1.2	4.4
西部 (n=330)	0.9	1.5	0.6	0.0	0.3	4.5
南部 (n=500)	1.6	0.6	0.6	0.2	0.4	3.8

問19 週に1回以上は外出していますか。

「ほとんど外出しない」は一般高齢者で5.1%、要支援者で14.6%となっています。前回調査と比べると、いずれも週1回以下の回答がやや増加し、「週5回以上」がやや減少しています。

年齢別にみると、高齢になるほど外出の頻度が下がる傾向となっています。



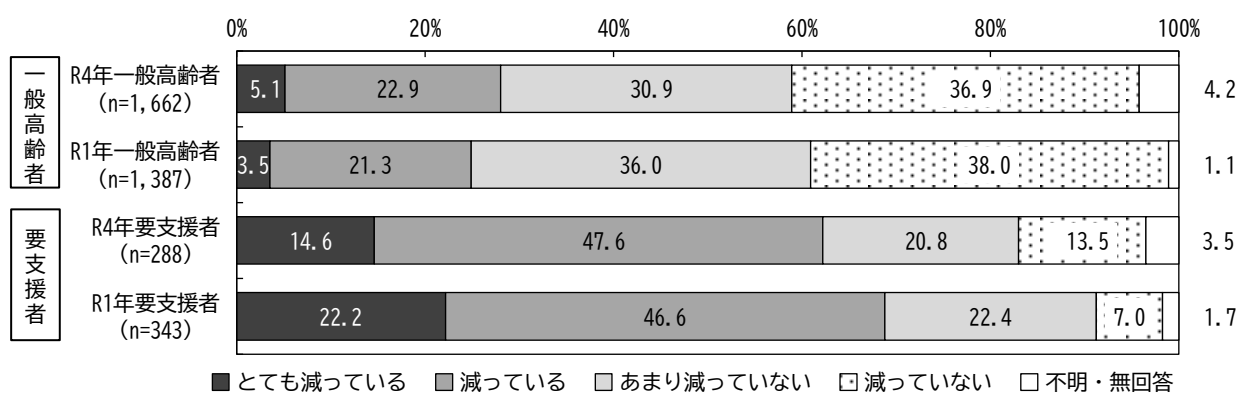
◆年齢別にみた外出の頻度【一般高齢者】

単位：％

年齢	ほとんど外出しない	週1回	週2～4回	週5回以上	不明・無回答
65～69歳 (n=298)	2.0	4.4	36.9	51.3	5.4
70～74歳 (n=434)	2.1	7.8	44.0	42.9	3.2
75～79歳 (n=399)	2.0	10.0	48.6	34.1	5.3
80～84歳 (n=306)	10.1	15.4	46.4	24.5	3.6
85～89歳 (n=147)	9.5	21.8	43.5	19.7	5.4
90歳以上 (n=53)	24.5	26.4	34.0	15.1	0.0

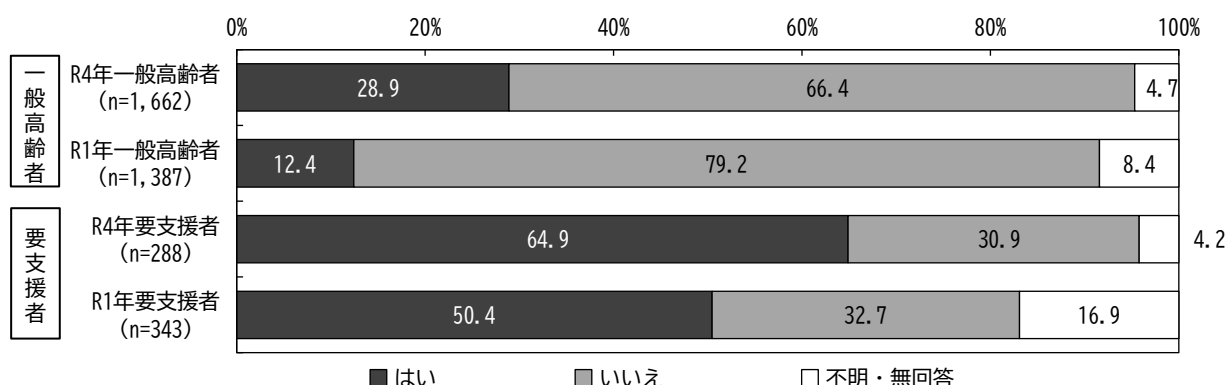
問20 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。

減っているという回答（「とても減っている」と「減っている」の合計）は、一般高齢者で28.0%、要支援者で62.2%となっています。



問 21 外出を控えていますか。

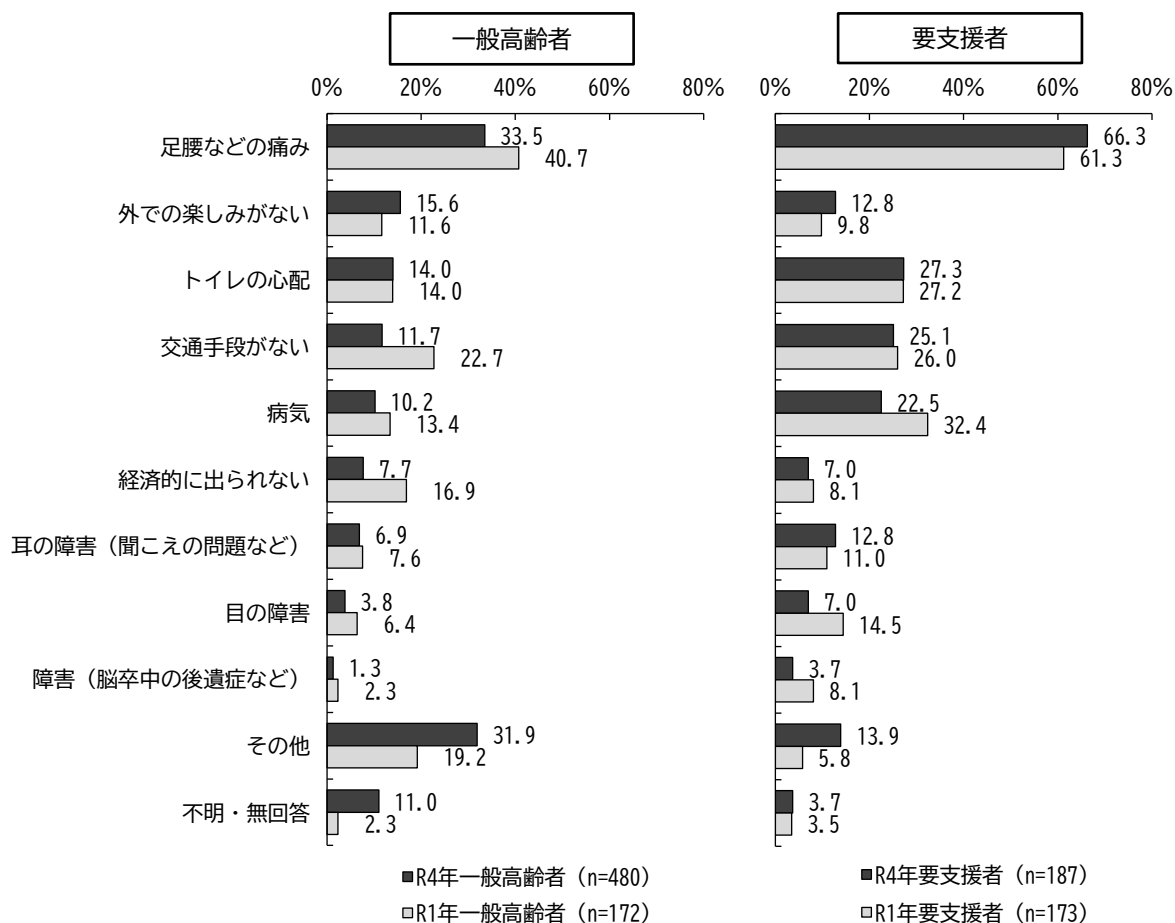
外出を控えている人は、一般高齢者で 28.9%、要支援者で 64.9%となっており、いずれも前回調査より増加しています。



【問 21 において「はい」と回答した人 (外出を控えている人) のみ】

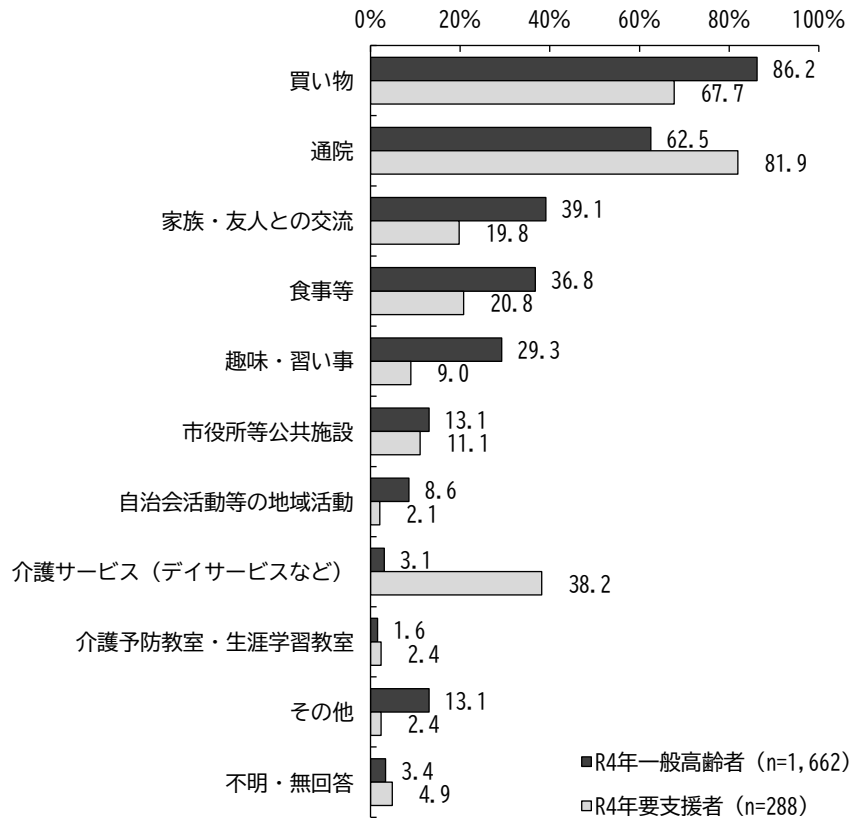
問 22 外出を控えている理由は、次のどれですか。【複数回答】

一般高齢者、要支援者ともに「足腰などの痛み」が最も多くなっています。前回調査と比べると、いずれも「その他」が増加しています。「その他」については、具体的に記載のあった回答の約 8割で新型コロナウイルス感染症に言及されています。



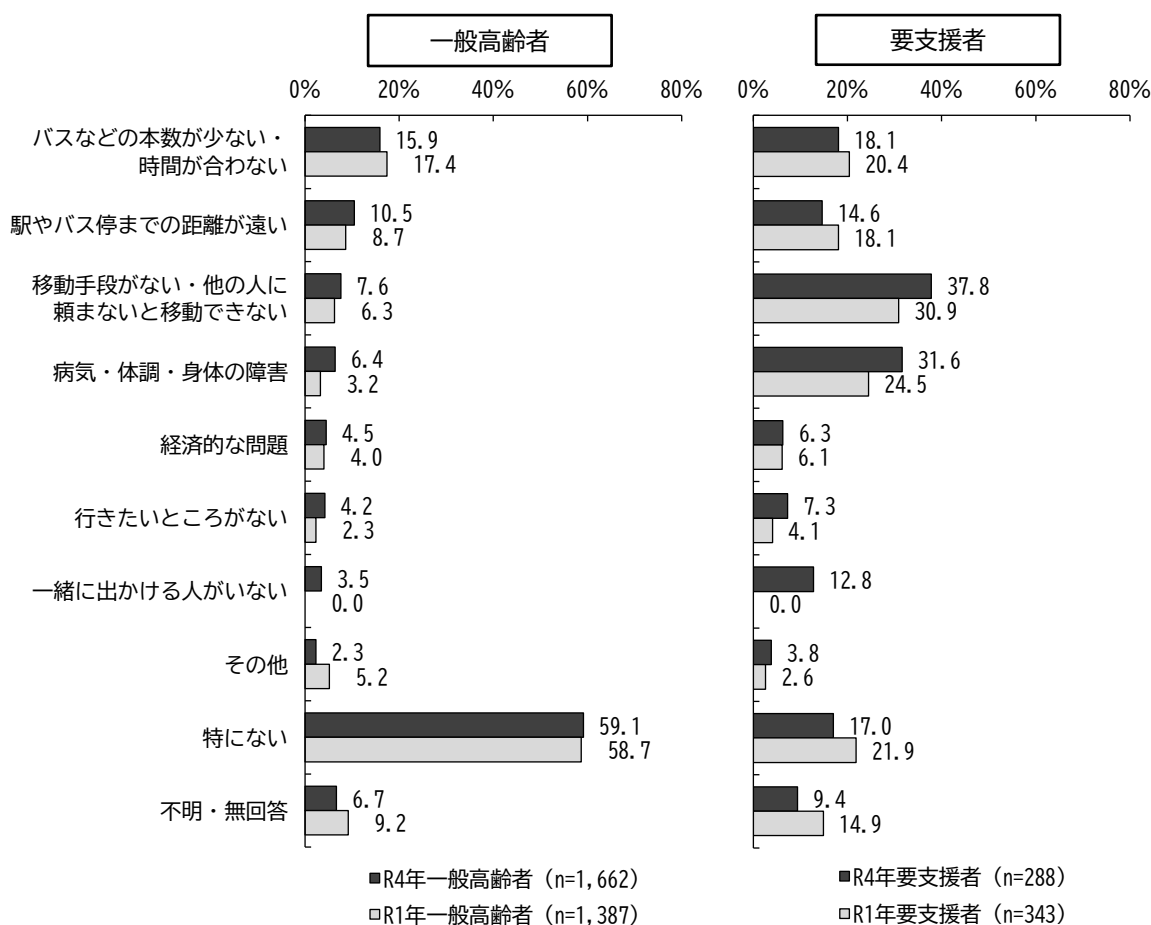
問23 外出の目的は、次のどれですか。【複数回答】

一般高齢者は「買い物」（86.2%）、要支援者は「通院」（81.9%）が最も多くなっています。



問24 現在、外出に際して困っていることはありますか。【複数回答】

「特にない」を除くと、一般高齢者は「バスなどの本数が少ない・時間が合わない」（15.9%）、要支援者は「移動手段がない・他の人に頼まないと移動できない」（37.8%）が最も多くなっています。



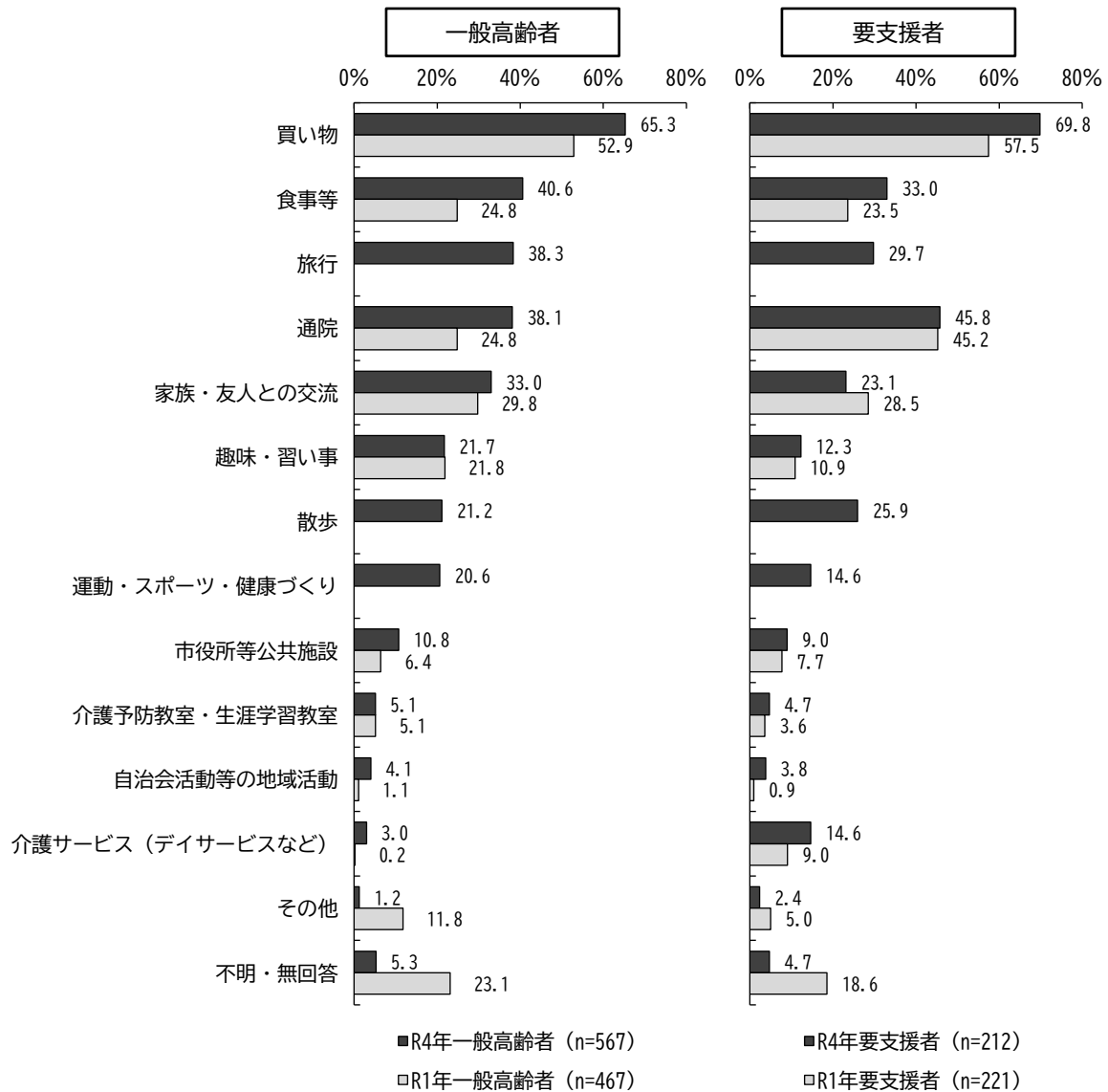
◆年齢別にみた外出に際して困っていること【一般高齢者】

単位：%

年齢	バスなどの本数が少ない・時間が合わない	駅やバス停までの距離が遠い	移動手段がない・他の人に頼まないと移動できない	病気・体調・身体の障害	経済的な問題	行きたいところがない	一緒に出かける人がいない	その他	特にない	不明・無回答
65～69歳 (n=298)	11.7	7.7	1.7	5.0	5.7	2.7	1.7	3.7	72.1	2.3
70～74歳 (n=434)	12.9	6.5	4.1	3.9	5.5	3.2	3.2	2.3	69.8	3.5
75～79歳 (n=399)	17.3	11.3	6.5	5.5	4.8	3.3	3.8	2.0	57.4	8.3
80～84歳 (n=306)	21.6	14.1	13.1	8.2	3.6	5.9	2.9	2.3	46.1	10.8
85～89歳 (n=147)	19.7	17.7	15.6	8.8	1.4	6.1	4.1	2.0	42.9	10.9
90歳以上 (n=53)	11.3	13.2	22.6	22.6	0.0	11.3	15.1	0.0	34.0	11.3

問 25 問 24 でお答えいただいた問題が解決した場合、行きたいと思う場所や活動は何ですか。【複数回答】

一般高齢者、要支援者ともに「買い物」が最も多くなっています。

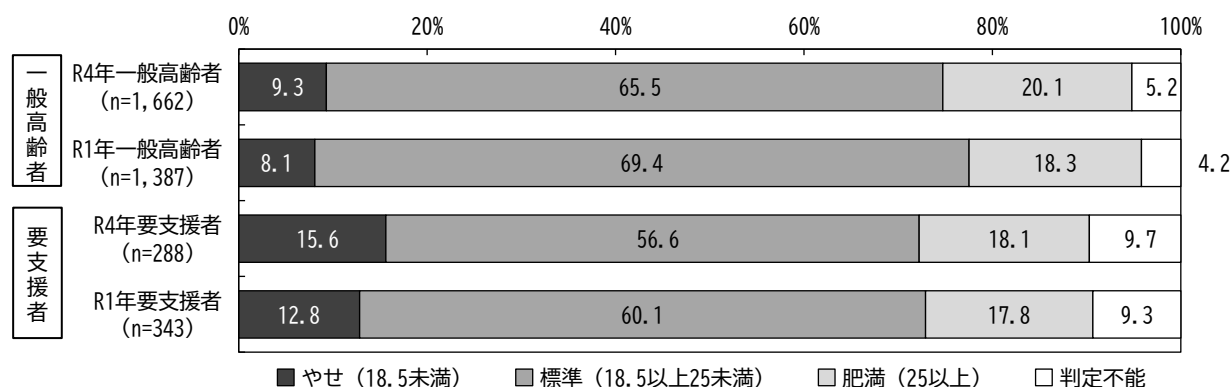


※「旅行」「散歩」「運動・スポーツ・健康づくり」は R4 年調査のみの選択肢。

4 食べることについて

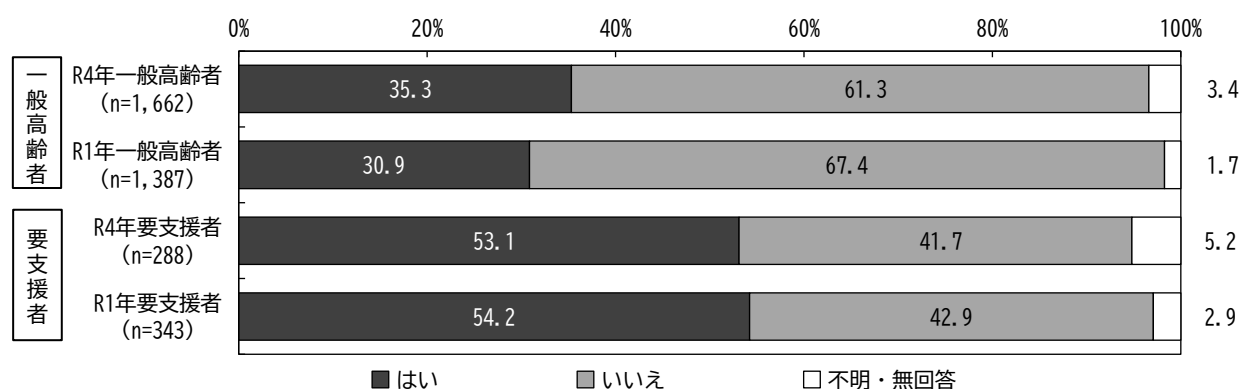
問 26 身長・体重を教えてください。

回答された身長・体重からBMI指数を算出しています。「やせ(18.5未満)」は一般高齢者 9.3%、要支援者 15.6%、「肥満(25以上)」は一般高齢者 20.1%、要支援者 18.1%となっています。



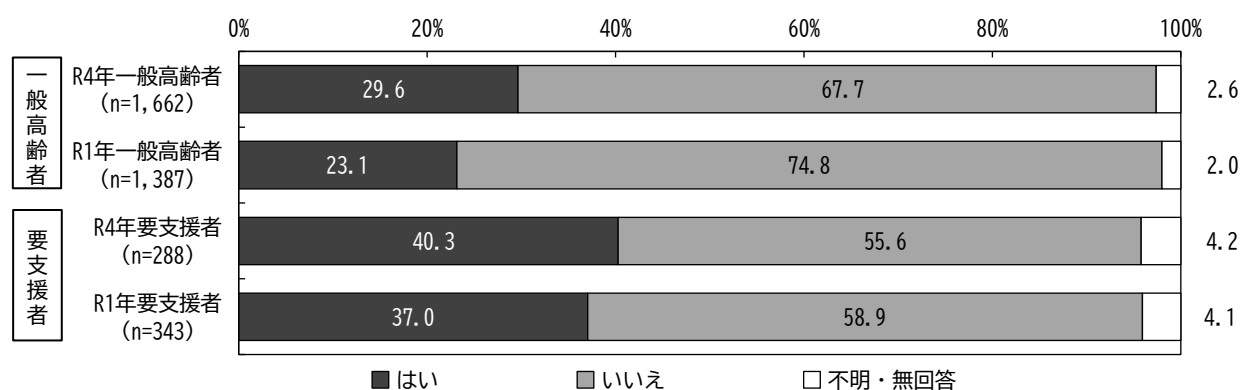
問 27 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。

半年前に比べて固いものが食べにくくなった人は、一般高齢者で 35.3%、要支援者で 53.1%となっています。前回調査と比べると、一般高齢者の「はい」がやや増加しています。



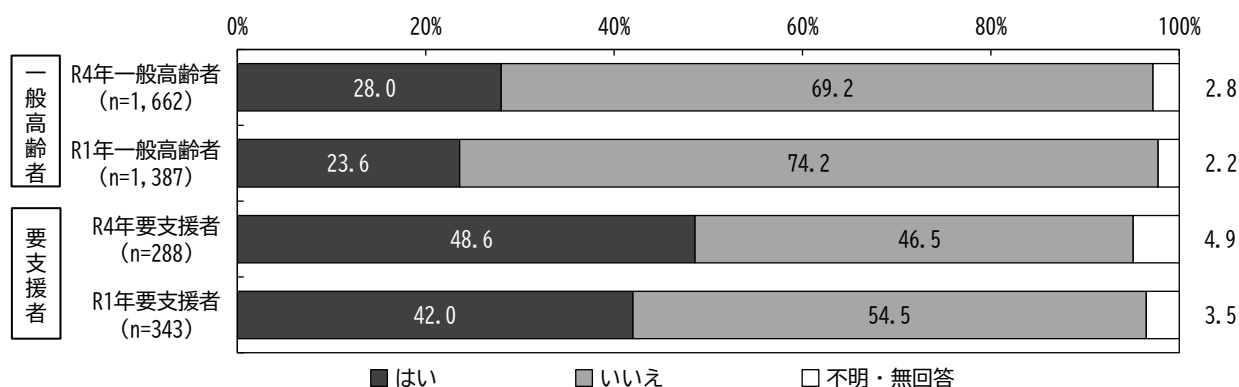
問 28 お茶や汁物等でむせることがありますか。

お茶や汁物等でむせることがある人は、一般高齢者で 29.6%、要支援者で 40.3%となっています。前回調査と比べると、一般高齢者で「はい」がやや増加しています。



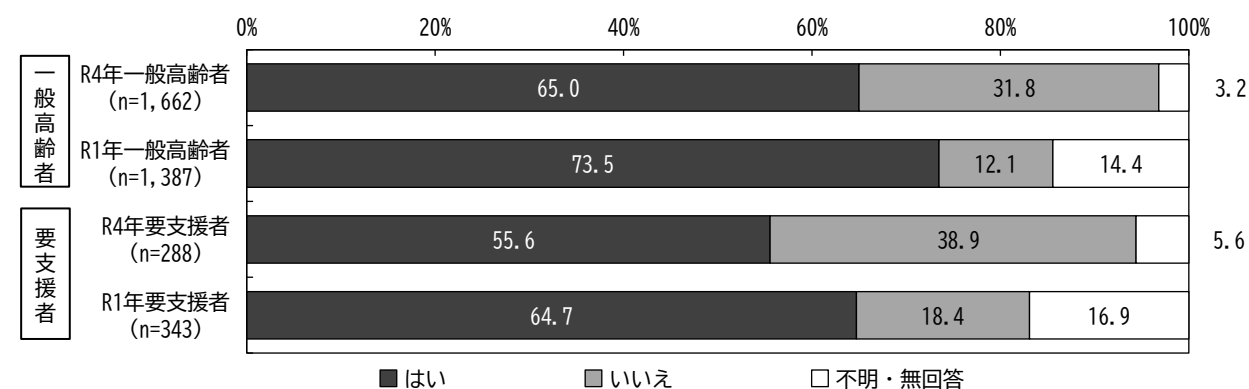
問 29 口の渇きが気になりますか。

口の渇きが気になる人は、一般高齢者で 28.0%、要支援者で 48.6%となっています。



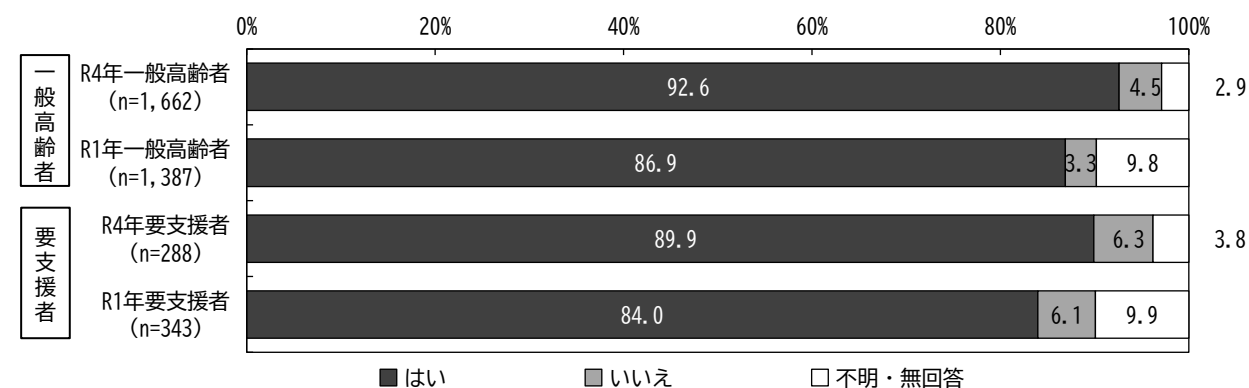
問 30 噛み合わせは良いですか。

噛み合わせが良いという人は、一般高齢者で 65.0%、要支援者で 55.6%となっています。前回調査と比べると、いずれも「はい」がやや減少しています。



問 31 歯磨きを毎日していますか（人にやってもらう場合も含む）。

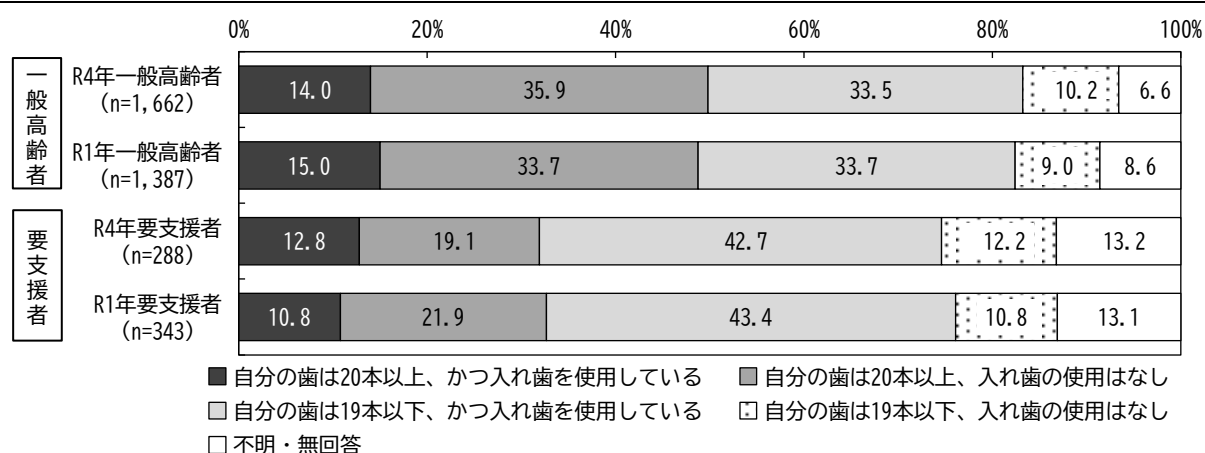
歯磨きを毎日している人は、一般高齢者で 92.6%、要支援者で 89.9%となっています。



問 32 歯の数と入れ歯の使用状況をお教えてください。

一般高齢者は「自分の歯は20本以上、入れ歯の使用はなし」(35.9%)、要支援者は「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を使用している」(42.7%)が最も多くなっています。

年齢別にみると、高齢になるほど入れ歯の使用が増加しています。



◆年齢別にみた歯の数と入れ歯の使用状況【一般高齢者】

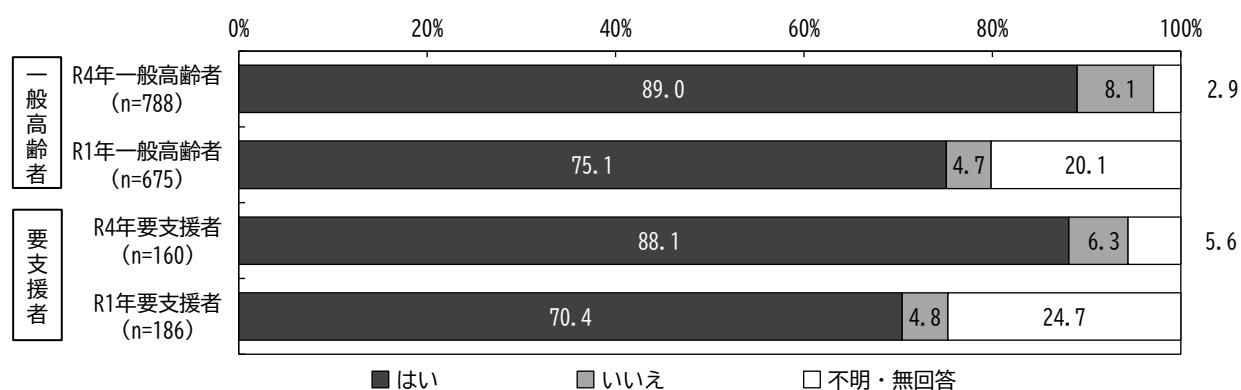
単位：%

年齢	自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を使用している	自分の歯は20本以上、入れ歯の使用はなし	自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を使用している	自分の歯は19本以下、入れ歯の使用はなし	不明・無回答
65～69歳 (n=298)	12.8	52.0	20.1	10.7	4.4
70～74歳 (n=434)	13.8	41.5	30.0	10.6	4.1
75～79歳 (n=399)	14.5	32.8	37.1	10.8	4.8
80～84歳 (n=306)	16.3	28.1	37.3	8.2	10.1
85～89歳 (n=147)	12.2	17.0	49.7	9.5	11.6
90歳以上 (n=53)	11.3	22.6	47.2	7.5	11.3

【問 32 で「入れ歯を使用している」と回答した人のみ】

問 33 毎日「入れ歯」の手入れをしていますか。

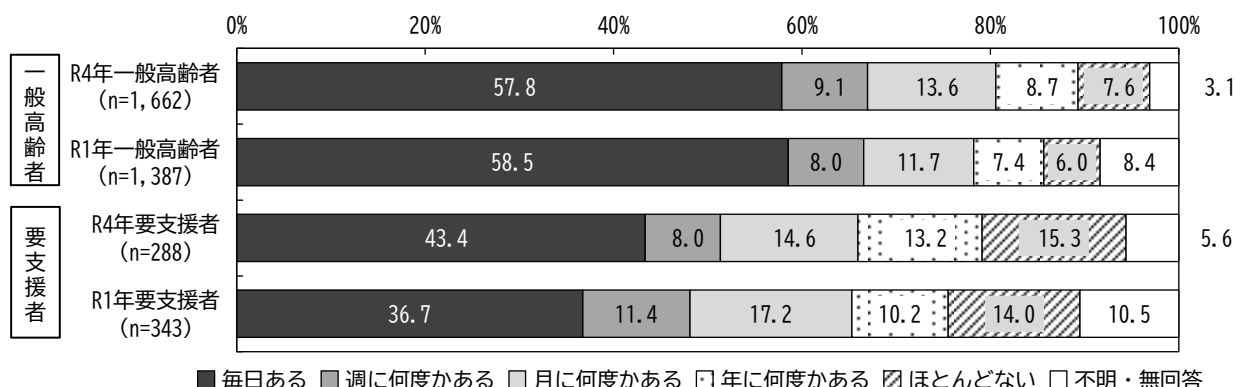
毎日「入れ歯」の手入れをしている人は、一般高齢者で89.0%、要支援者で88.1%となっています。



問 34 どなたかと食事をとにもする機会がありますか。

孤食の傾向のある回答（「ほとんどない」と「年に何度かある」の合計）は、一般高齢者で 16.3%、要支援者で 28.5%となっています。

家族構成別にみると、1人暮らしでは「毎日ある」が少なく、食事をとにもする機会が全体的に少なくなっています。



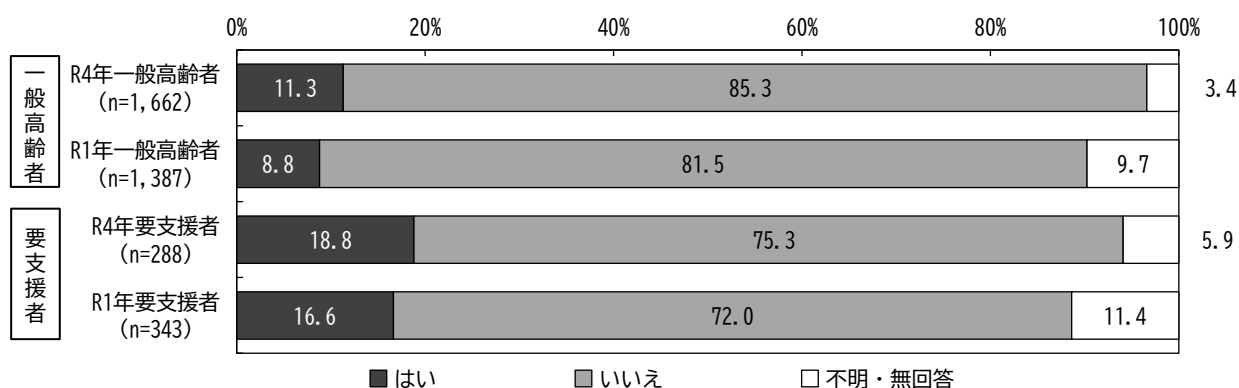
◆家族構成別にみた食事をとにもする機会【一般高齢者】

単位：%

	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	不明・無回答
1人暮らし (n=269)	6.3	23.8	32.3	17.5	17.1	3.0
夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上) (n=773)	66.6	5.6	11.3	9.2	4.7	2.7
夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下) (n=55)	74.5	3.6	5.5	9.1	7.3	0.0
息子・娘との2世帯 (n=298)	71.1	7.4	8.4	3.4	6.7	3.0
その他 (n=195)	70.8	7.2	6.7	3.1	8.2	4.1

問 35 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。

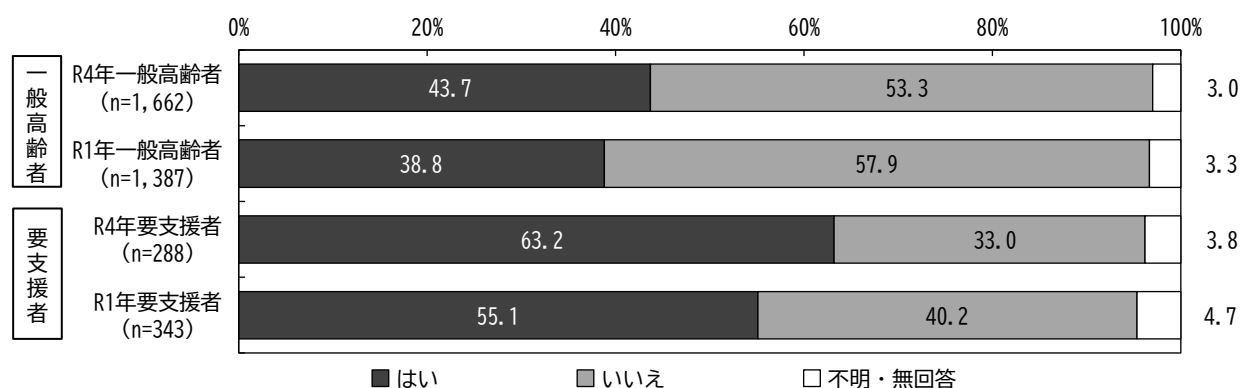
6か月間で2～3kg以上の体重減少があった人は、一般高齢者で 11.3%、要支援者で 18.8%となっています。



5 毎日の生活について

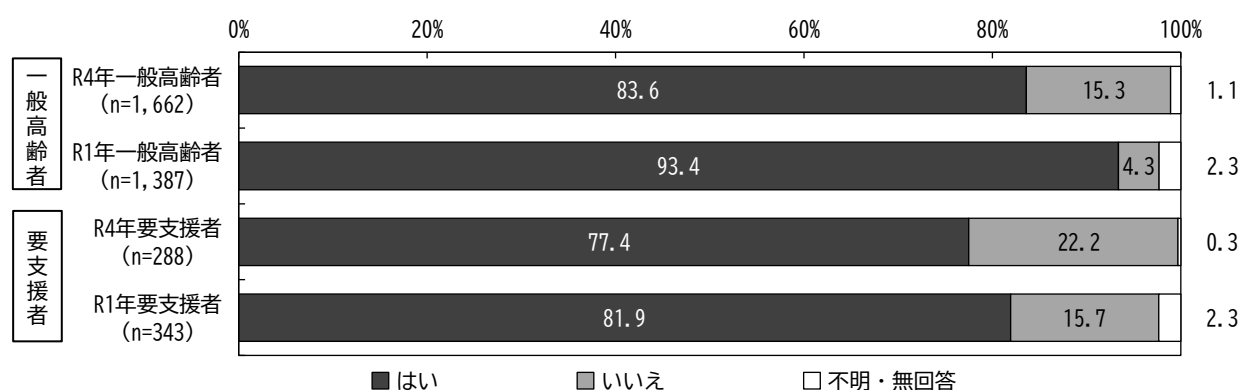
問 36 物忘れが多いと感じますか。

物忘れが多いと感じる人は、一般高齢者で 43.7%、要支援者で 63.2%となっています。前回調査と比べると、いずれも「はい」がやや増加しています。



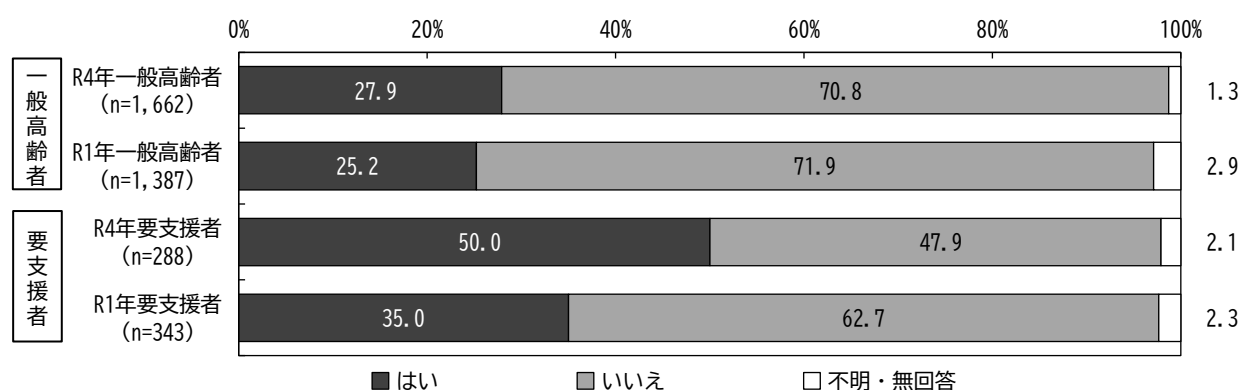
問 37 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。

自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしている人は、一般高齢者で 83.6%、要支援者で 77.4%となっています。前回調査と比べると、一般高齢者で「いいえ」が増加しています。



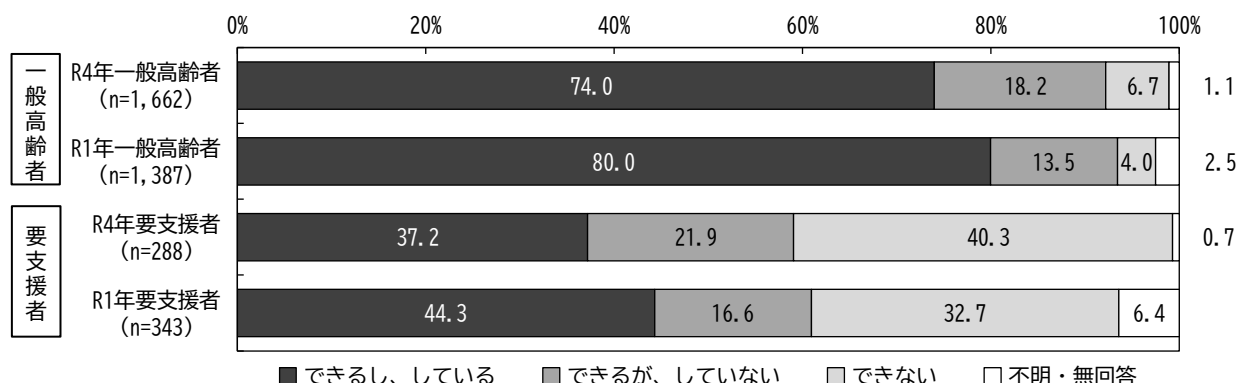
問 38 今日が何月何日かわからない時がありますか。

今日が何月何日かわからない時がある人は、一般高齢者で 27.9%、要支援者で 50.0%となっています。前回調査と比べると、要支援者で「はい」が増加しています。



問 39 バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)

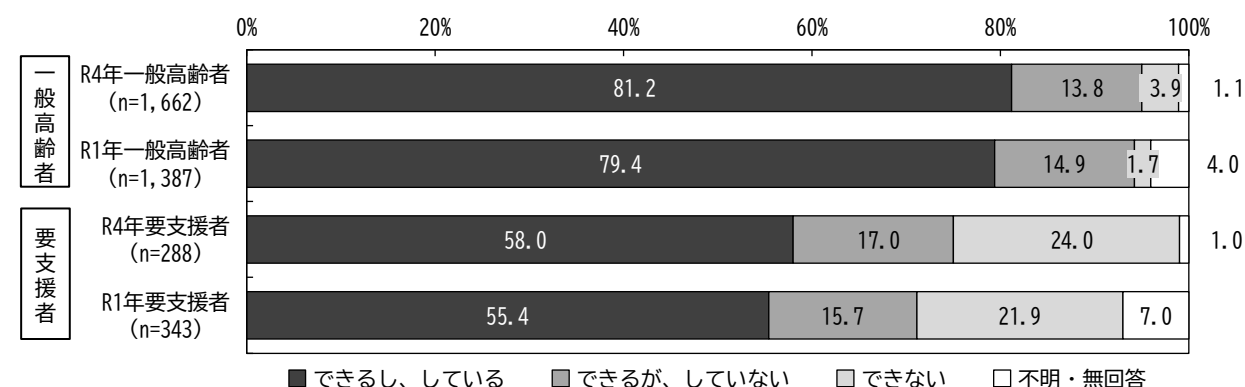
「できない」は一般高齢者で6.7%、要支援者で40.3%となっています。前回調査と比べると、いずれも「できるし、している」がやや減少しています。



問 40 自分で食品・日用品の買い物をしていますか。

「できない」は一般高齢者で3.9%、要支援者で24.0%となっています。

性別でみると、男性は女性と比べて「できるし、している」が少なく、「できるが、していない」が多くなっています。



◆性別にみた食品・日用品の買い物【一般高齢者】

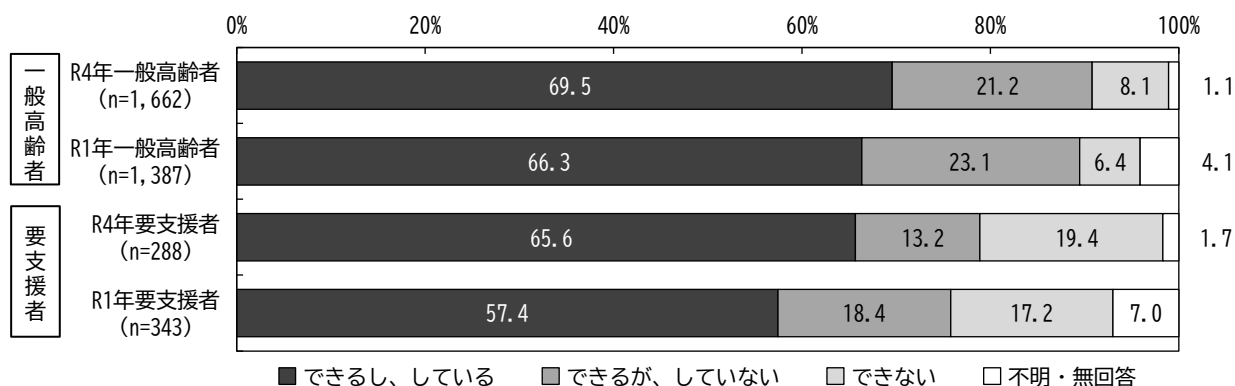
単位：%

	できるし、している	できるが、していない	できない	不明・無回答
男性 (n=741)	73.0	22.1	4.0	0.8
女性 (n=894)	89.1	6.3	3.6	1.0

問 41 自分で食事の用意をしていますか。

「できない」は一般高齢者で8.1%、要支援者で19.4%となっています。

性別でみると、男性は女性と比べて「できるし、している」が少なく、「できるが、していない」「できない」が多くなっています。



◆性別にみた食事の用意【一般高齢者】

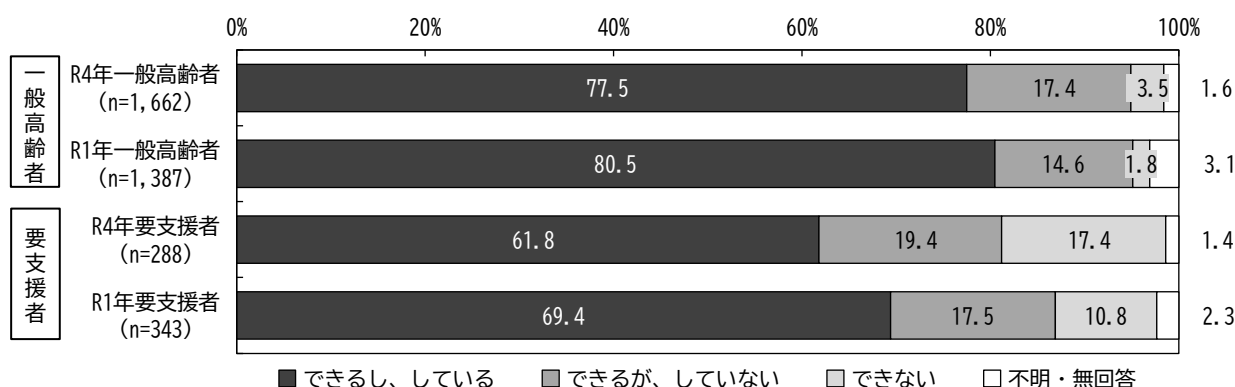
単位：%

	できるし、している	できるが、していない	できない	不明・無回答
男性 (n=741)	42.8	40.4	15.7	1.2
女性 (n=894)	92.4	5.1	1.8	0.7

問 42 自分で請求書の支払いをしていますか。

「できない」は一般高齢者で3.5%、要支援者で17.4%となっています。前回調査と比べると、要支援者で「できない」がやや増加しています。

性別でみると、男性は女性と比べて「できるし、している」が少なく、「できるが、していない」が多くなっています。



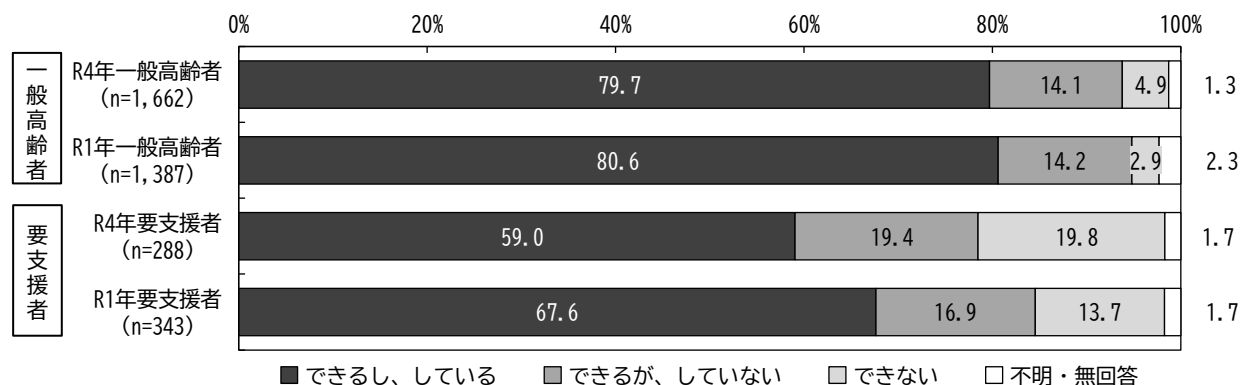
◆性別にみた請求書の支払い【一般高齢者】

単位：%

	できるし、している	できるが、していない	できない	不明・無回答
男性 (n=741)	63.3	30.2	5.3	1.2
女性 (n=894)	90.0	6.7	1.9	1.3

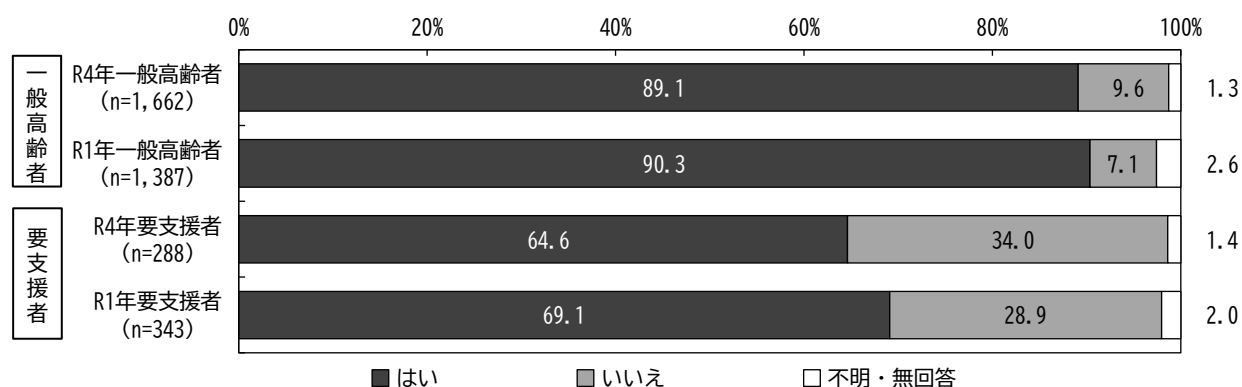
問 43 自分で預貯金の出し入れをしていますか。

「できない」は一般高齢者で4.9%、要支援者で19.8%となっています。前回調査と比べると、要支援者で「できない」がやや増加しています。



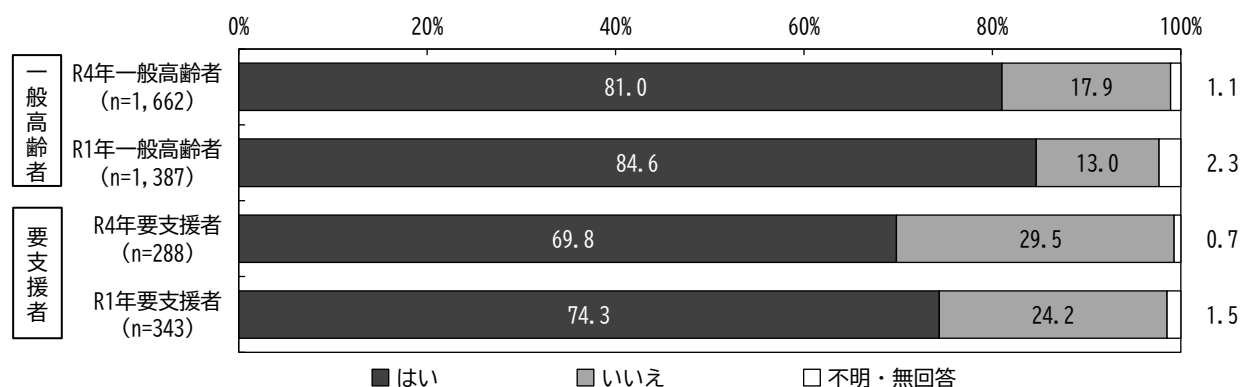
問 44 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。

年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けない人は、一般高齢者で9.6%、要支援者で34.0%となっています。



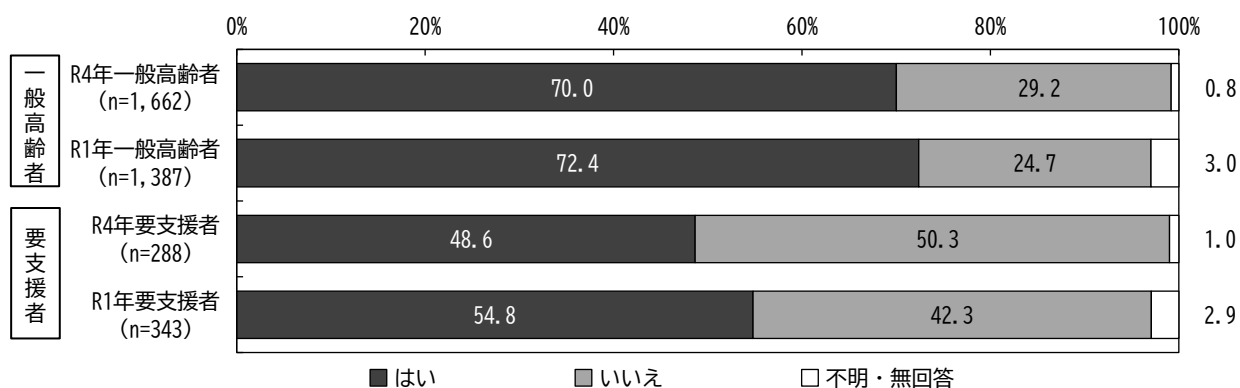
問 45 新聞を読んでいますか。

新聞を読んでいない人は、一般高齢者で17.9%、要支援者で29.5%となっており、いずれも前回調査と比べてやや増加しています。



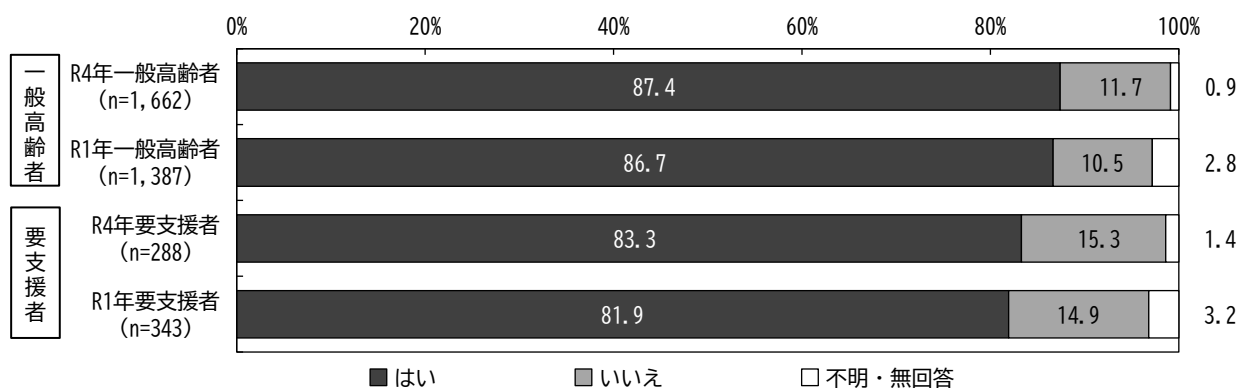
問 46 本や雑誌を読んでいますか。

本や雑誌を読んでいない人は、一般高齢者で 29.2%、要支援者で 50.3%となっています。



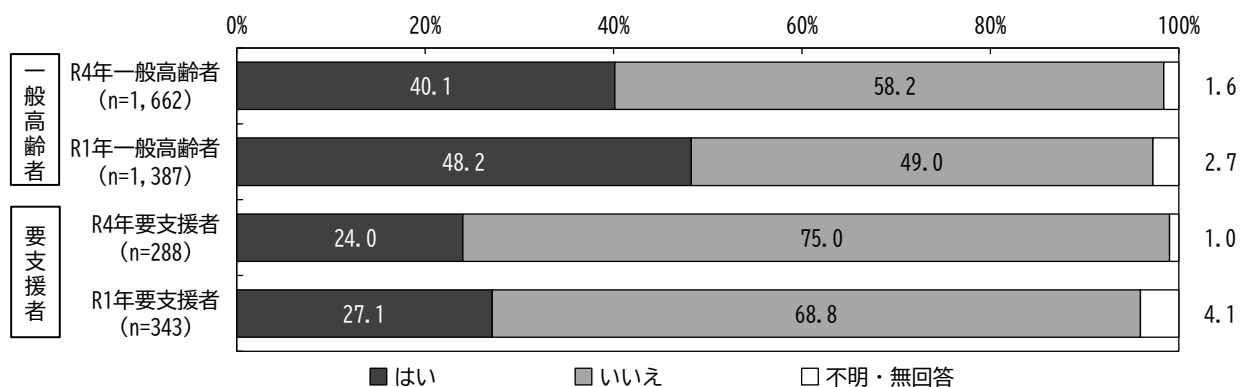
問 47 健康についての記事や番組に関心がありますか。

健康についての記事や番組に関心がない人は、一般高齢者で 11.7%、要支援者で 15.3%となっています。



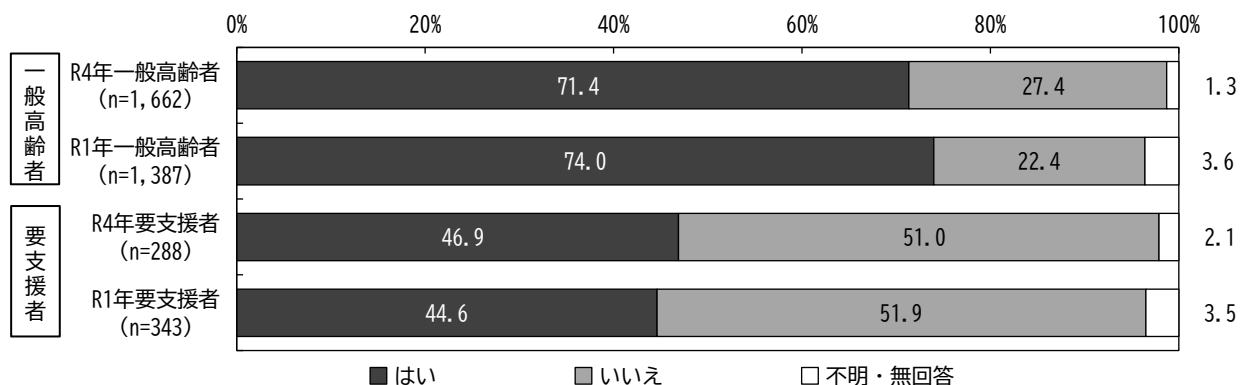
問 48 友人の家を訪ねていますか。

友人の家を訪ねていない人は、一般高齢者で 58.2%、要支援者で 75.0%となっています。前回調査と比べると、一般高齢者では「いいえ」がやや増加しています。



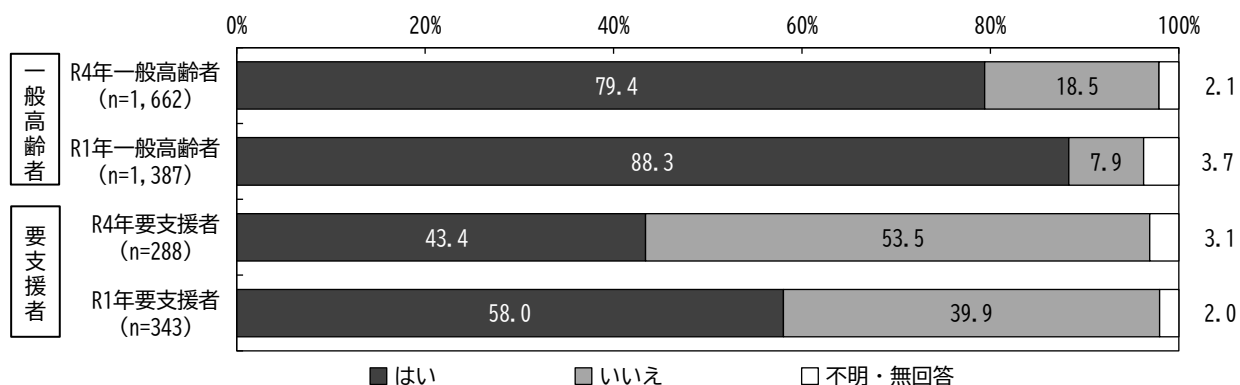
問 49 家族や友人の相談にのっていますか。

家族や友人の相談にのっていない人は、一般高齢者で 27.4%、要支援者で 51.0%となっています。



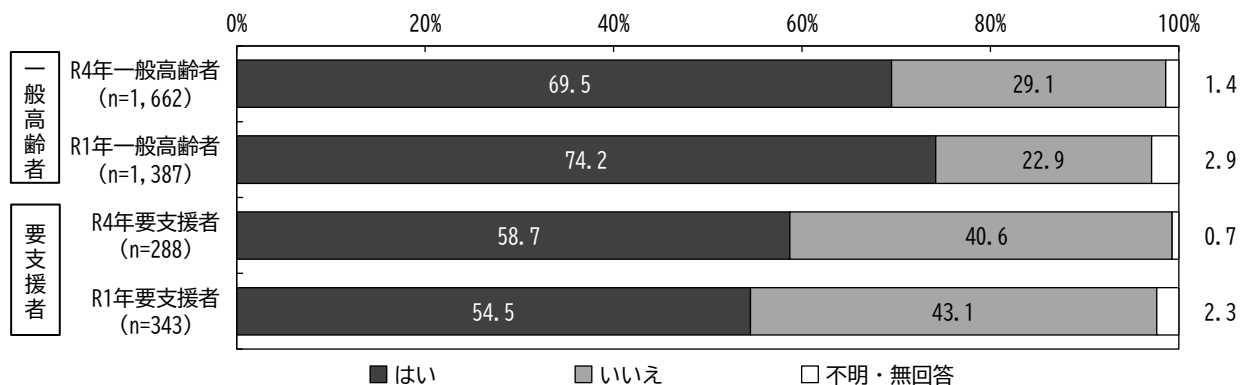
問 50 病人を見舞うことができますか。

病人を見舞うことができない人は、一般高齢者で 18.5%、要支援者で 53.5%となっており、いずれも前回調査より増加しています。



問 51 若い人に自分から話しかけることがありますか。

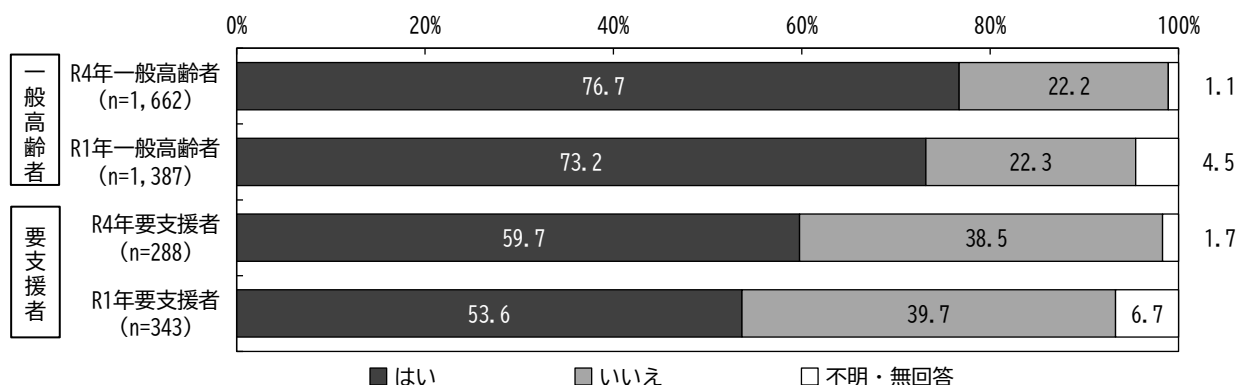
若い人に自分から話しかけることがない人は、一般高齢者で 29.1%、要支援者で 40.6%となっています。



問 52 趣味はありますか。

趣味のない人は一般高齢者で 22.2%、要支援者で 38.5%となっています。

年齢別にみると、高齢になるほど「はい」が減少しています。



◆年齢別にみた趣味の有無【一般高齢者】

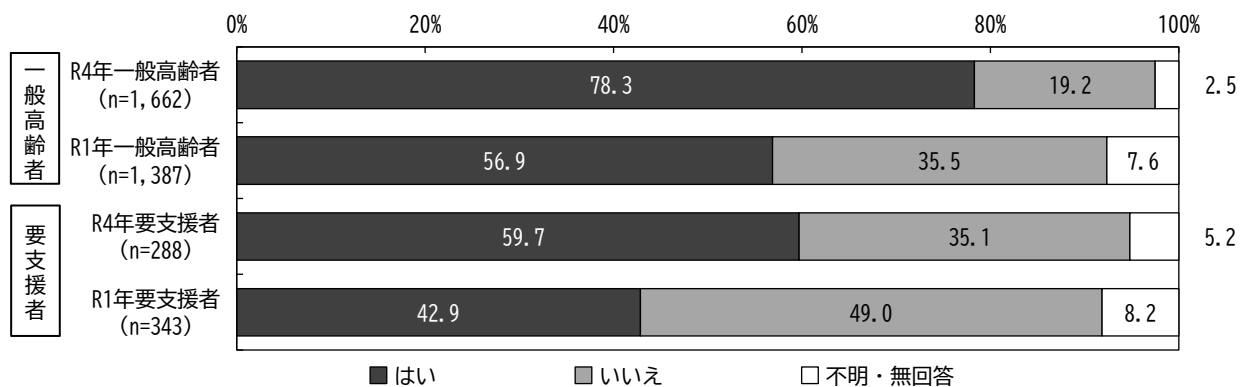
単位：%

年齢	はい (%)	いいえ (%)	不明・無回答 (%)
65～69歳 (n=298)	80.5	19.1	0.3
70～74歳 (n=434)	80.0	19.6	0.5
75～79歳 (n=399)	77.9	20.3	1.8
80～84歳 (n=306)	71.6	27.1	1.3
85～89歳 (n=147)	73.5	25.9	0.7
90歳以上 (n=53)	64.2	35.8	0.0

問 53 生きがいはありますか。

生きがいのない人は、一般高齢者で 19.2%、要支援者で 35.1%となっており、いずれも前回調査より減少しています。

年齢別にみると、高齢になるほど「はい」がやや減少しています。



◆年齢別にみた生きがいの有無【一般高齢者】

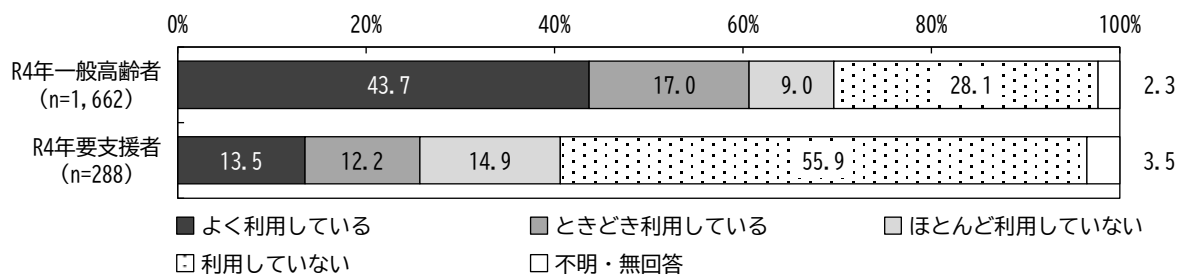
単位：％

	はい	いいえ	不明・無回答
65～69歳 (n=298)	81.2	17.4	1.3
70～74歳 (n=434)	80.9	17.5	1.6
75～79歳 (n=399)	76.7	21.1	2.3
80～84歳 (n=306)	77.1	18.6	4.2
85～89歳 (n=147)	74.8	22.4	2.7
90歳以上 (n=53)	75.5	22.6	1.9

問 54 パソコン、スマートフォンやタブレット端末等の情報通信機器を利用していますか。

利用しているという回答（「よく利用している」と「ときどき利用している」の合計）は、一般高齢者で 60.7％、要支援者で 25.7％となっています。

年齢別にみると、高齢になるほど「よく利用している」が減少し「利用していない」が増加しています。



◆年齢別にみた情報通信機器の利用【一般高齢者】

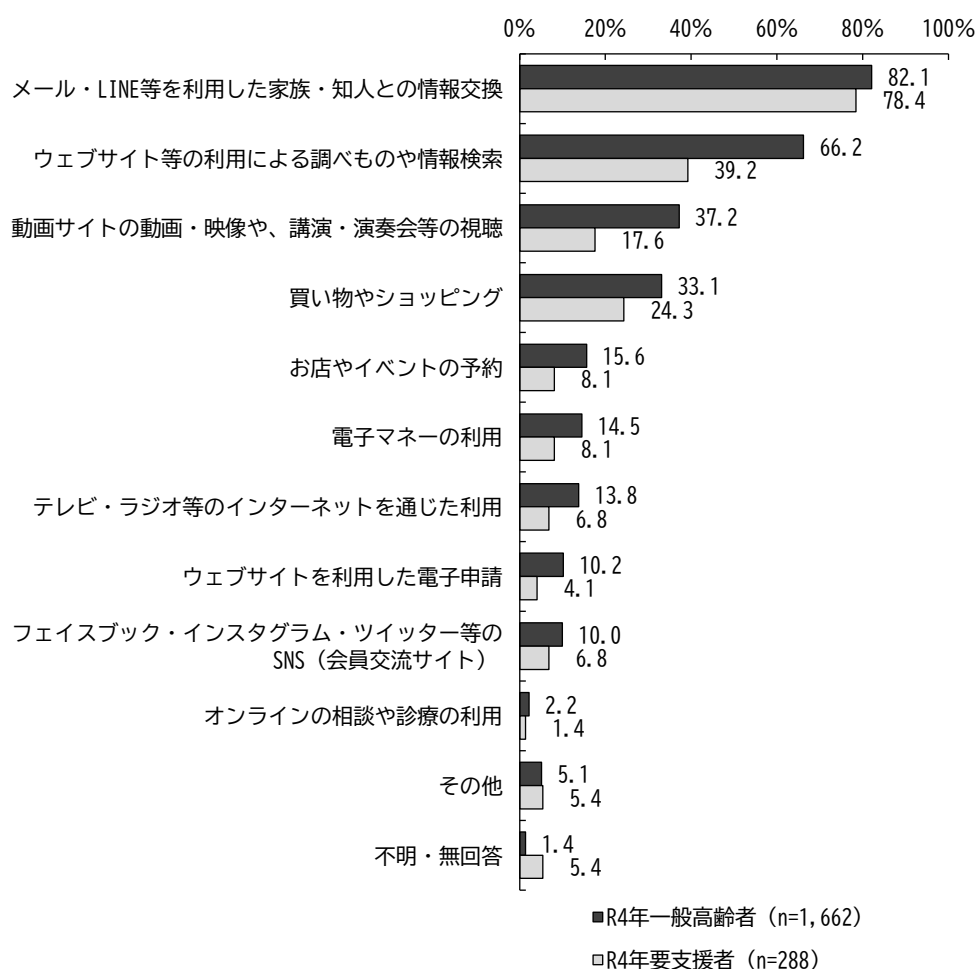
単位：％

	よく利用している	ときどき利用している	ほとんど利用していない	利用していない	不明・無回答
65～69歳 (n=298)	71.1	16.4	2.3	9.7	0.3
70～74歳 (n=434)	51.6	22.6	9.0	15.9	0.9
75～79歳 (n=399)	43.9	16.3	9.3	28.1	2.5
80～84歳 (n=306)	25.8	16.3	12.1	43.1	2.6
85～89歳 (n=147)	15.6	9.5	12.9	55.1	6.8
90歳以上 (n=53)	5.7	5.7	15.1	73.6	0.0

【問 54 で「よく利用している」「ときどき利用している」と回答した人のみ】

問 55 パソコン、スマートフォンやタブレット端末等の情報通信機器を利用している目的は何ですか。【複数回答】

「メール・LINE 等を利用した家族・知人との情報交換」は一般高齢者 82.1%、要支援者 78.4%で、いずれも最も多くなっています。これ以外の上位の項目（「ウェブサイト等の利用による調べものや情報検索」「動画サイトの動画・映像や、講演・演奏会等の視聴」「買い物やショッピング」）については、一般高齢者と要支援者の回答の差が大きくなっています。



◆年齢別にみた情報通信機器の利用目的【一般高齢者】

年齢別にみると、ほとんどの項目で高齢になるほど利用が少なくなっています。また、「ウェブサイト等の利用による調べものや情報検索」は70歳代の後半でも半数を超えており、今後情報通信機器の利用に慣れた世代の高齢化に伴い、さらに利用の増加が見込まれます。

単位：％

	メール・LINE等を利用した家族・知人との情報交換	ウェブサイト等の利用による調べものや情報検索	動画サイトの動画・映像や、講演・演奏会等の視聴	買い物やショッピング	お店やイベントの予約	電子マネーの利用	テレビ・ラジオ等のインターネットを通じた利用
65～69歳 (n=298)	87.4	79.3	47.1	46.0	24.5	23.4	17.6
70～74歳 (n=434)	84.2	70.2	39.4	34.5	17.1	16.8	14.6
75～79歳 (n=399)	82.9	64.6	32.9	24.2	10.0	7.9	13.3
80～84歳 (n=306)	72.1	46.5	27.1	24.8	7.0	7.0	7.8
85～89歳 (n=147)	67.6	32.4	10.8	13.5	5.4	2.7	5.4
90歳以上 (n=53)	66.7	16.7	33.3	16.7	0.0	0.0	16.7

	ウェブサイトを利用した電子申請	フェイスブック・インスタグラム・ツイッター等のSNS（会員交流サイト）	オンラインの相談や診療の利用	その他	不明・無回答
65～69歳 (n=298)	17.6	16.1	4.6	5.0	0.0
70～74歳 (n=434)	11.2	9.3	1.9	3.1	0.9
75～79歳 (n=399)	7.9	8.3	1.3	4.6	0.4
80～84歳 (n=306)	0.8	5.4	0.0	10.9	3.1
85～89歳 (n=147)	0.0	0.0	2.7	5.4	10.8
90歳以上 (n=53)	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7

6 地域での活動について

問 56 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

週に1回以上の回答が最も多いのは、一般高齢者では「⑧収入のある仕事」(22.6%)、要支援者では「⑤介護予防のための通いの場(運動教室・交流サロンなど)」(17.7%)となっています。前回調査と比べると、要支援者の「⑤介護予防のための通いの場」で、週1回以上の回答が増加しています。

◆一般高齢者

単位：%

一般高齢者		週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加していない	不明・無回答
①ボランティアのグループ	R4年一般高齢者 (n=1,662)	0.7	1.6	2.0	4.5	6.1	78.0	7.1
	R1年一般高齢者 (n=1,387)	1.0	1.2	1.5	4.1	3.5	55.4	33.2
②スポーツ関係のグループやクラブ	R4年一般高齢者 (n=1,662)	3.6	6.7	6.2	4.1	2.8	69.2	7.4
	R1年一般高齢者 (n=1,387)	3.5	8.1	5.4	4.3	2.4	46.4	29.9
③趣味関係のグループ	R4年一般高齢者 (n=1,662)	1.9	4.4	5.3	10.3	5.2	66.1	6.9
	R1年一般高齢者 (n=1,387)	1.6	5.2	6.1	10.9	4.9	43.5	27.8
④学習・教養サークル	R4年一般高齢者 (n=1,662)	0.2	0.9	1.8	2.7	3.1	83.3	7.9
	R1年一般高齢者 (n=1,387)	0.6	0.4	2.0	3.0	3.6	55.6	34.8
⑤介護予防のための通いの場(運動教室・交流サロンなど)	R4年一般高齢者 (n=1,662)	1.0	2.1	2.8	1.4	1.2	84.2	7.2
	R1年一般高齢者 (n=1,387)	0.9	1.4	1.3	1.9	2.0	58.2	34.3
⑥老人クラブ	R4年一般高齢者 (n=1,662)	0.2	0.7	0.3	1.1	2.0	88.3	7.3
	R1年一般高齢者 (n=1,387)	0.6	0.7	0.1	1.1	1.9	61.4	34.2
⑦町内会・自治会	R4年一般高齢者 (n=1,662)	0.3	0.1	0.5	5.2	19.2	67.9	6.8
	R1年一般高齢者 (n=1,387)	0.4	0.3	0.6	5.7	16.7	44.0	32.4
⑧収入のある仕事	R4年一般高齢者 (n=1,662)	14.6	6.6	1.4	1.0	1.4	68.2	6.7
	R1年一般高齢者 (n=1,387)	10.5	6.6	1.2	0.9	1.1	48.2	31.6

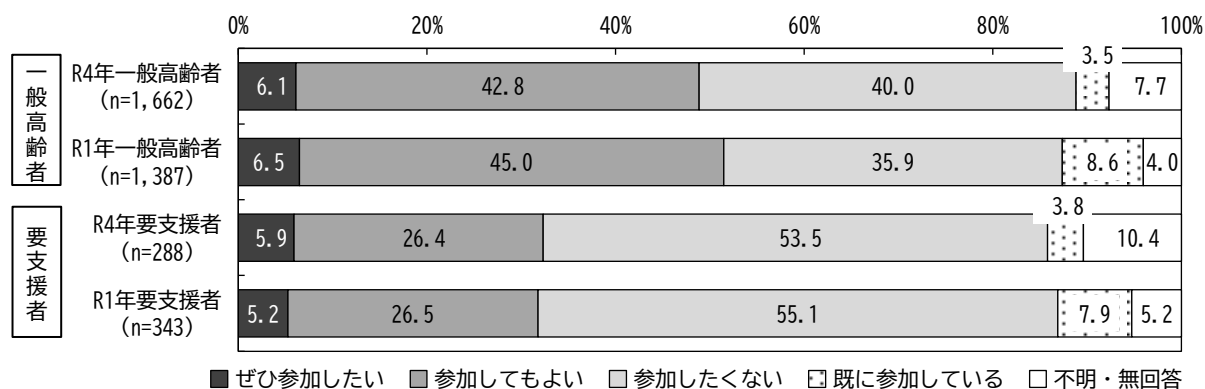
◆要支援者

単位：%

要支援者		週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加していない	不明・無回答
①ボランティアのグループ	R4年要支援者 (n=288)	0.0	1.0	0.7	2.8	2.4	84.4	8.7
	R1年要支援者 (n=343)	0.0	0.6	0.3	1.2	1.7	54.2	42.0
②スポーツ関係のグループやクラブ	R4年要支援者 (n=288)	1.0	2.4	3.1	1.7	0.3	79.5	11.8
	R1年要支援者 (n=343)	1.2	3.5	0.9	1.2	1.5	52.5	39.4
③趣味関係のグループ	R4年要支援者 (n=288)	0.7	2.1	4.2	4.9	2.1	75.7	10.4
	R1年要支援者 (n=343)	0.3	1.7	3.5	3.8	1.7	49.6	39.4
④学習・教養サークル	R4年要支援者 (n=288)	0.0	0.7	1.0	2.1	1.4	82.6	12.2
	R1年要支援者 (n=343)	0.0	0.6	1.7	1.5	0.6	53.6	42.0
⑤介護予防のための通いの場(運動教室・交流サロンなど)	R4年要支援者 (n=288)	1.4	8.0	8.3	1.7	1.4	69.1	10.1
	R1年要支援者 (n=343)	0.9	3.8	3.5	1.5	1.5	49.6	39.4
⑥老人クラブ	R4年要支援者 (n=288)	0.0	0.7	0.0	2.4	2.1	84.4	10.4
	R1年要支援者 (n=343)	0.0	1.2	0.0	2.9	4.4	52.8	38.8
⑦町内会・自治会	R4年要支援者 (n=288)	0.0	0.0	0.0	0.7	7.6	81.9	9.7
	R1年要支援者 (n=343)	0.3	0.3	0.3	1.2	5.5	50.4	42.0
⑧収入のある仕事	R4年要支援者 (n=288)	1.0	0.3	0.0	0.3	0.0	88.2	10.1
	R1年要支援者 (n=343)	0.9	1.5	0.0	0.0	0.0	54.8	42.9

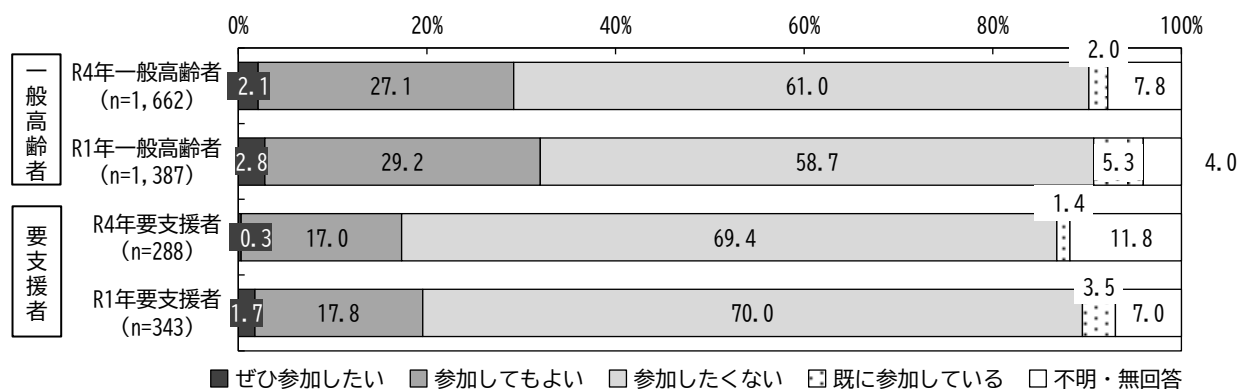
問 57 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。

今後の参加に前向きな回答（「ぜひ参加したい」と「参加してもよい」の合計）は、一般高齢者で48.9%、要支援者で32.3%となっています。前回調査と比べると、「既に参加している」がいずれも減少しています。



問 58 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。

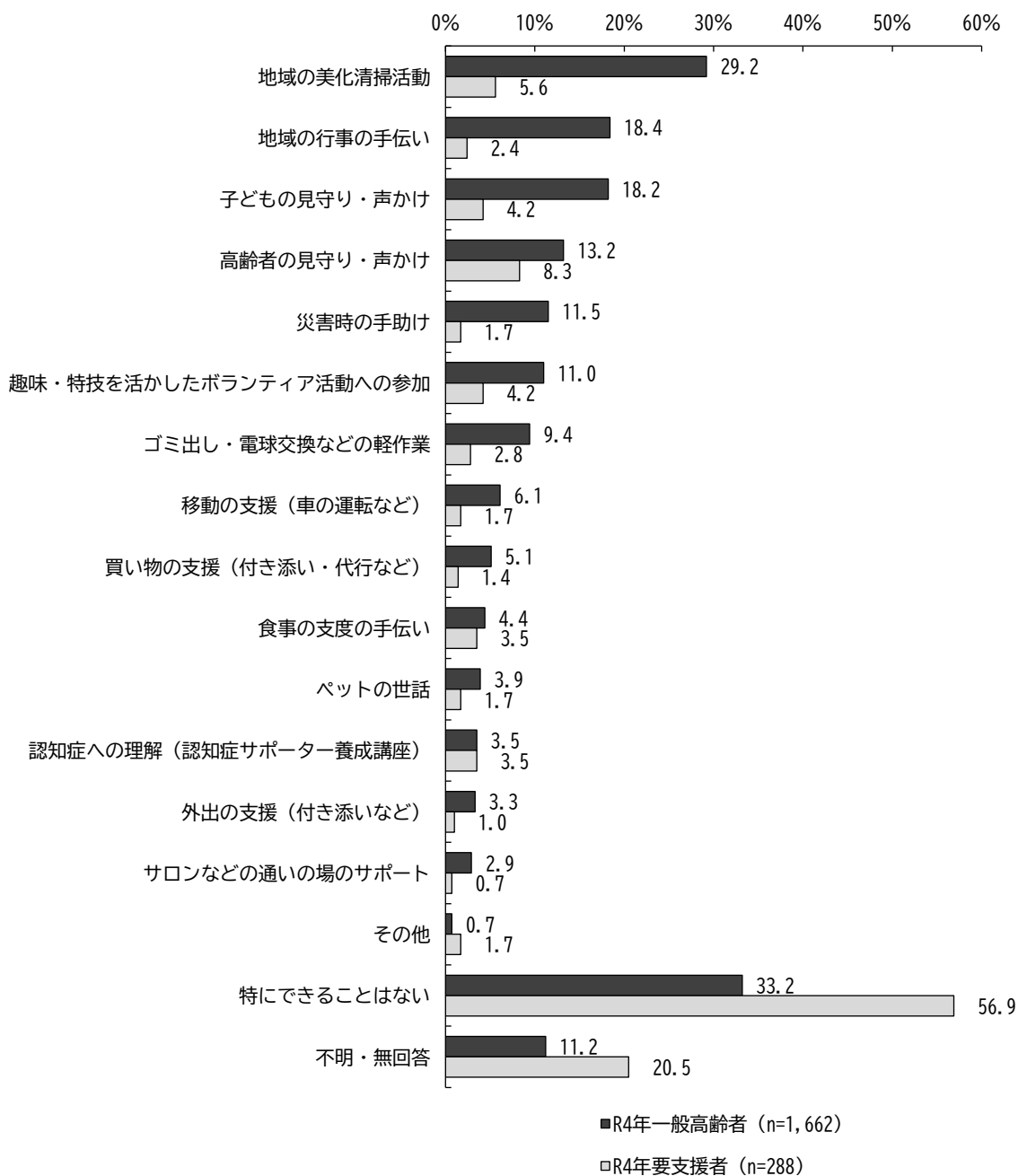
企画・運営としての今後の参加に前向きな回答（「ぜひ参加したい」と「参加してもよい」の合計）は、一般高齢者で 29.2%、要支援者で 17.3%となっています。前回調査と比べると、「既に参加している」がいずれも減少しています。



問 59 あなたは地域でどんな支援やたすけあいの活動ができると思いますか。【複数回答】

「特にできることはない」を除くと、一般高齢者では「地域の美化清掃活動」（29.2%）が最も多く、次いで「地域の行事の手伝い」（18.4%）、「子どもの見守り・声かけ」（18.2%）が多くなっています。要支援者では「高齢者の見守り・声かけ」（8.3%）が最も多くなっています。

圏域別にみると、「地域の美化清掃活動」は南部でやや多く、「地域の行事の手伝い」は北部でやや多くなっています。「子どもの見守り・声かけ」は中部でやや多くなっています。



◆圏域別にみただけだと思う支援やたすけあいの活動【一般高齢者】

単位：％

	地域の美化清掃活動	地域の行事の手伝い	子どもの見守り・声かけ	高齢者の見守り・声かけ	災害時の手助け	趣味・特技を活かしたボランティア活動への参加	ゴミ出し・電球交換などの軽作業	移動の支援（車の運転など）	買い物の支援（付き添い・代行など）
北部（n=305）	26.9	23.3	21.3	16.1	10.8	10.5	9.8	7.9	7.2
東部（n=232）	28.9	18.1	15.9	11.6	11.6	6.9	9.9	4.7	3.4
中部（n=252）	29.8	18.3	23.4	15.1	13.9	11.1	6.7	3.6	3.2
西部（n=330）	26.4	16.4	17.9	13.3	12.4	15.2	10.6	7.9	5.5
南部（n=500）	33.0	17.2	15.8	11.8	10.4	11.0	9.4	6.0	5.6

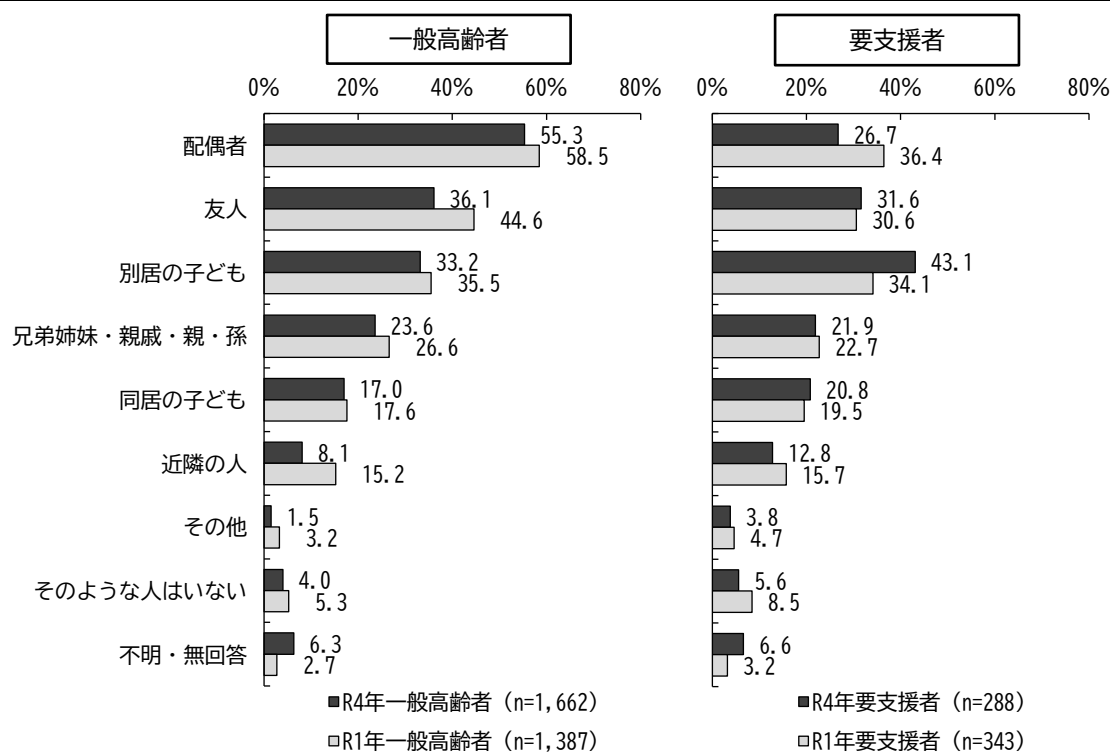
	食事の支度の手伝い	ペットの世話	認知症への理解（認知症サポーター養成講座）	外出の支援（付き添いなど）	サロンなどの通いの場のサポート	その他	特にできることはない	不明・無回答
北部（n=305）	3.6	4.3	5.6	3.0	5.9	0.3	32.5	11.1
東部（n=232）	3.4	3.9	2.2	1.3	1.3	1.7	37.1	10.3
中部（n=252）	4.4	2.8	2.4	1.6	1.6	0.4	34.9	8.3
西部（n=330）	5.5	3.9	3.9	3.6	3.9	0.9	32.4	10.9
南部（n=500）	4.6	4.0	3.6	5.4	2.0	0.6	31.0	11.8

7 あなたとまわりの人の「たすけあい」について

問 60 あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人は誰ですか。【複数回答】

一般高齢者では「配偶者」（55.3%）、要支援者では「別居の子ども」（43.1%）が最も多くなっています。前回調査と比べると、一般高齢者で「近隣の人」「友人」がやや減少しています。

家族構成別にみると、1人暮らしでは「別居の子ども」「友人」が多く、「そのような人はいない」もやや多くなっています。



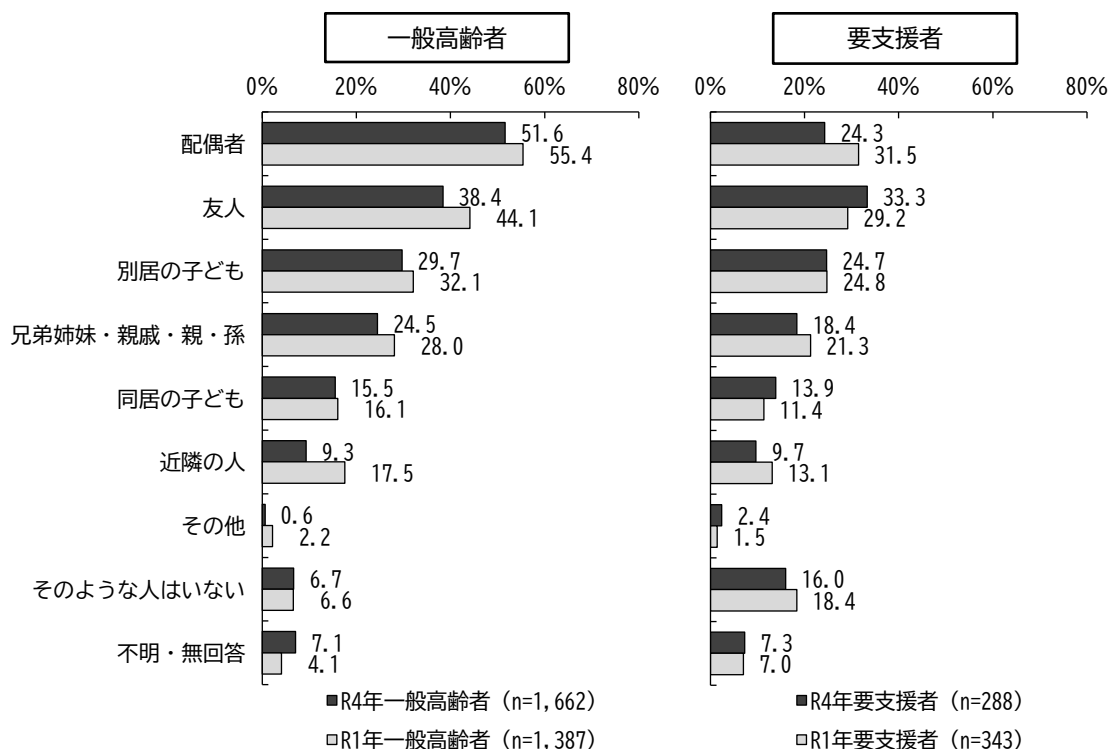
◆家族構成別にみた心配事や愚痴を聞いてくれる人【一般高齢者】

単位：%

	配偶者	友人	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	同居の子ども	近隣の人	その他	そのような人はいない	不明・無回答
1人暮らし (n=269)	1.1	46.5	43.1	33.1	1.9	10.8	1.9	11.5	7.1
夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上） (n=773)	76.2	33.9	38.3	20.4	2.2	8.2	1.2	2.3	6.2
夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下） (n=55)	81.8	25.5	16.4	9.1	5.5	1.8	0.0	1.8	7.3
息子・娘との2世帯 (n=298)	49.7	35.6	23.2	25.5	51.3	6.4	0.7	2.3	5.0
その他 (n=195)	51.8	32.8	22.6	26.2	41.0	9.2	2.6	4.1	5.6

問 61 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人は誰ですか。【複数回答】

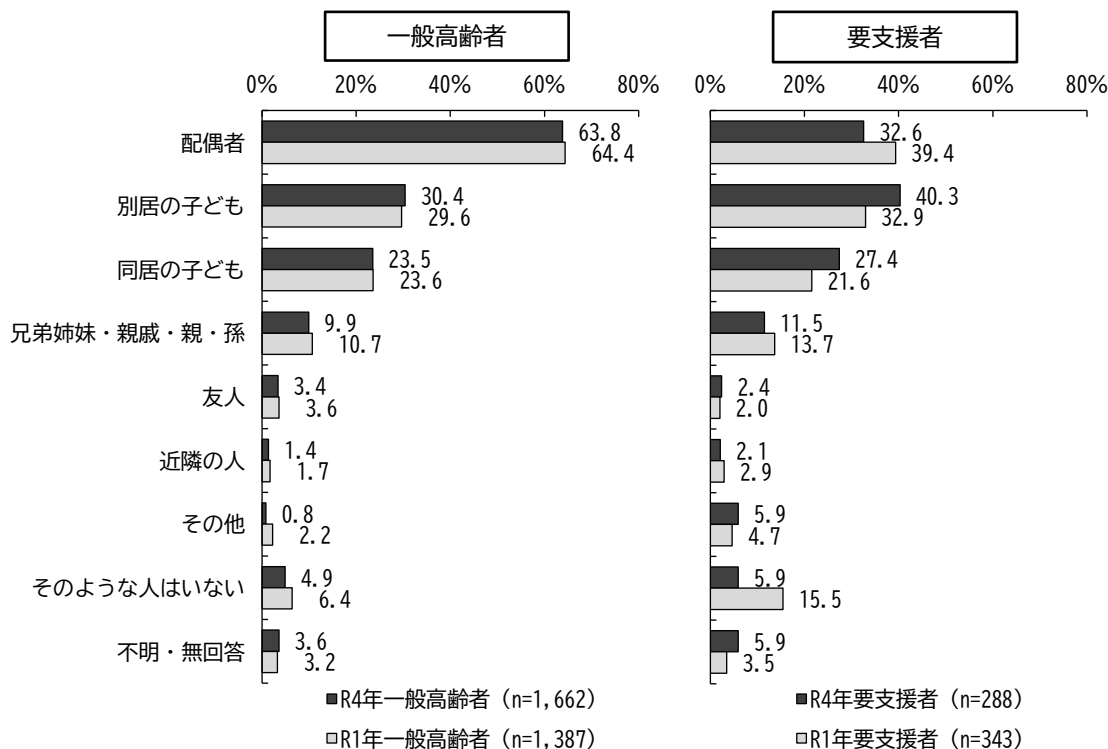
一般高齢者では「配偶者」（51.6%）、要支援者では「友人」（33.3%）が最も多くなっています。



問 62 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人は誰ですか。

【複数回答】

一般高齢者では「配偶者」（63.8%）、要支援者では「別居の子ども」（40.3%）が最も多くなっています。



◆家族構成別にみた看病や世話をしてくれる人【一般高齢者】

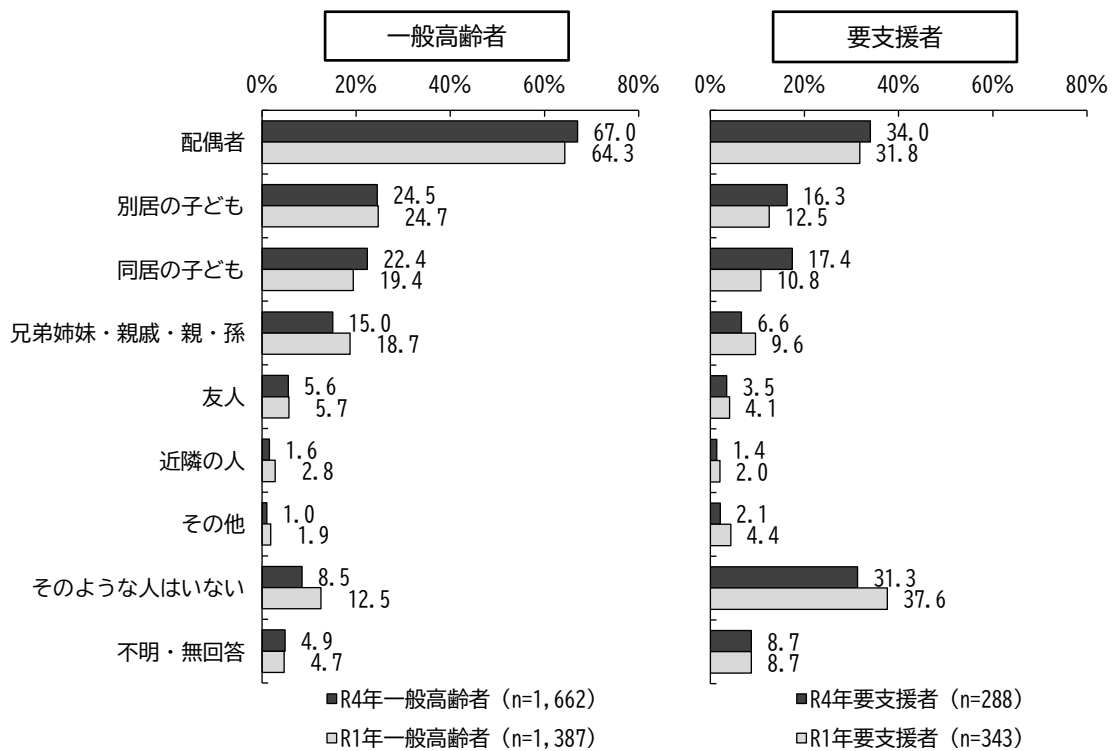
家族構成別にみると、1人暮らしでは「別居の子ども」が多く、「そのような人はいない」も多くなっています。

単位：%

	配偶者	別居の子ども	同居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	友人	近隣の人	その他	そのような人はいない	不明・無回答
1人暮らし (n=269)	1.9	53.2	1.9	23.0	12.6	3.3	2.6	17.5	4.8
夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上) (n=773)	88.7	34.8	3.8	6.2	2.2	1.0	0.3	2.5	3.0
夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下) (n=55)	96.4	14.5	10.9	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
息子・娘との2世帯 (n=298)	53.4	14.1	70.1	9.4	0.3	0.7	0.7	2.3	3.0
その他 (n=195)	60.0	16.4	55.9	9.7	1.0	1.0	1.0	2.6	4.6

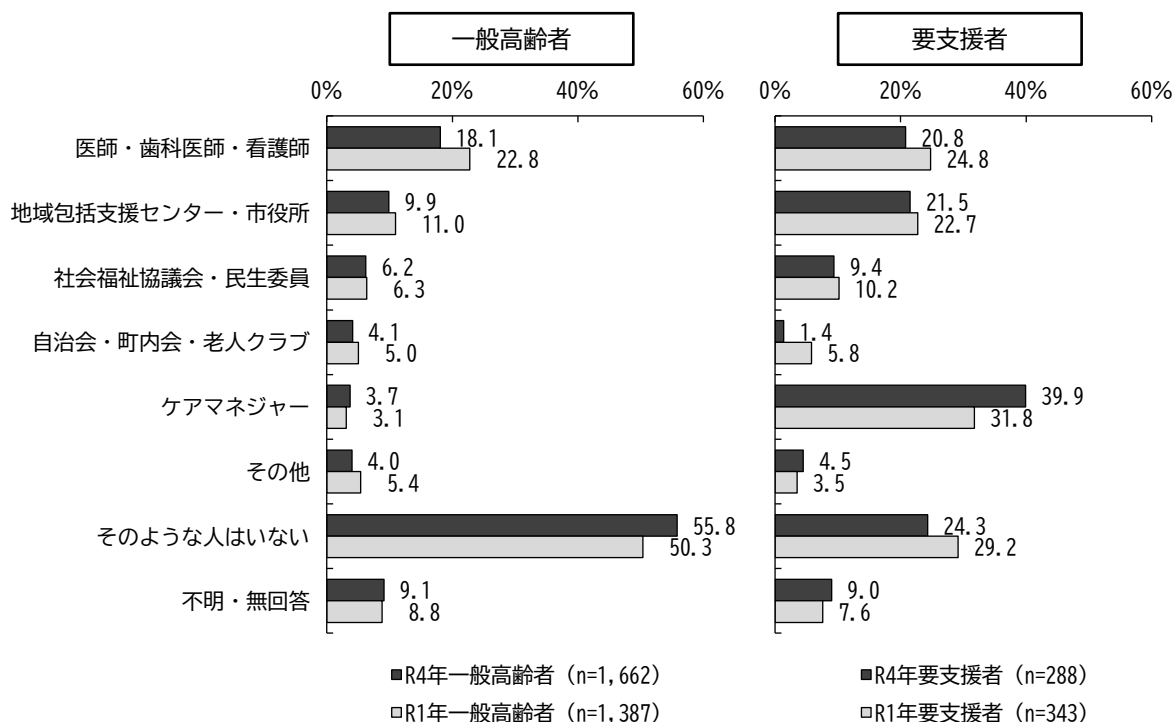
問 63 反対に、あなたが看病や世話をしてあげる人は誰ですか。【複数回答】

一般高齢者、要支援者ともに「配偶者」が最も多くなっています。



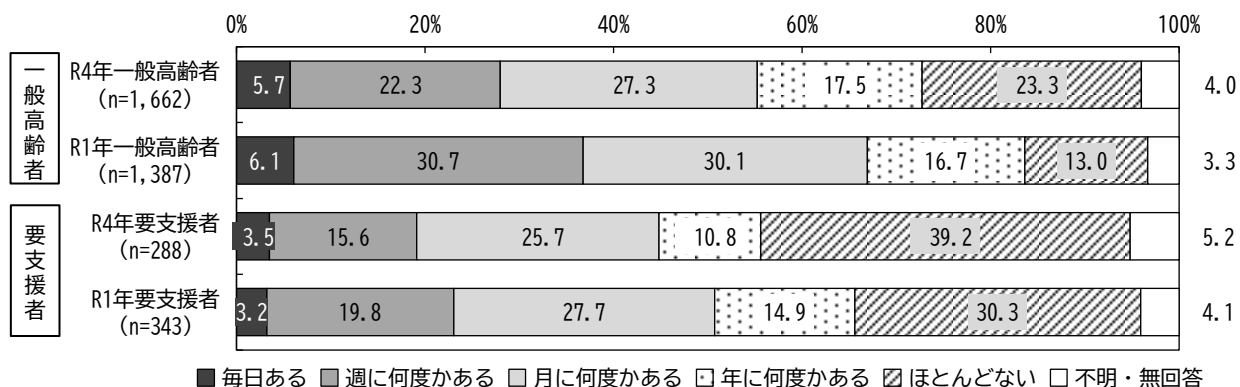
問 64 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する人はいますか。【複数回答】

一般高齢者では「そのような人はいない」(55.8%)、要支援者では「ケアマネジャー」(39.9%)が最も多くなっています。



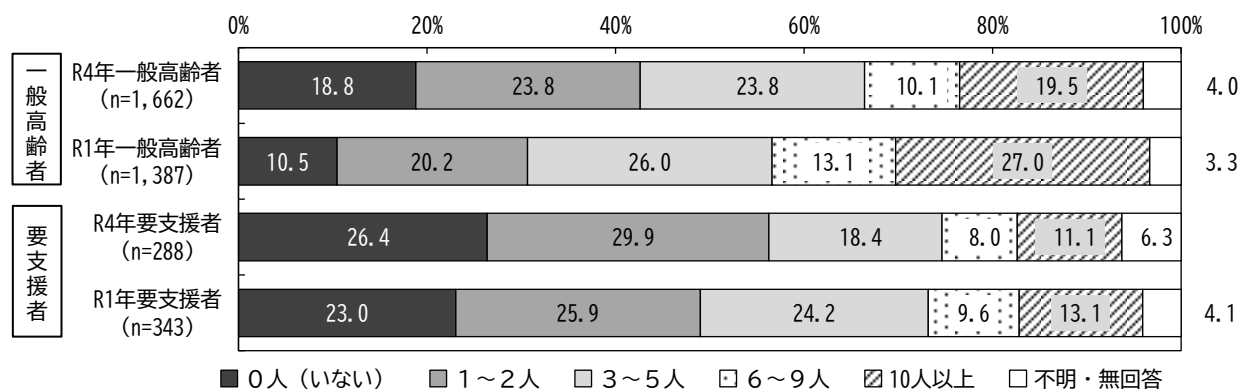
問 65 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。

一般高齢者では「月に何度かある」(27.3%)、要支援者では「ほとんどない」(39.2%)が多くなっています。前回調査と比べると、いずれも「ほとんどない」が増加しています。



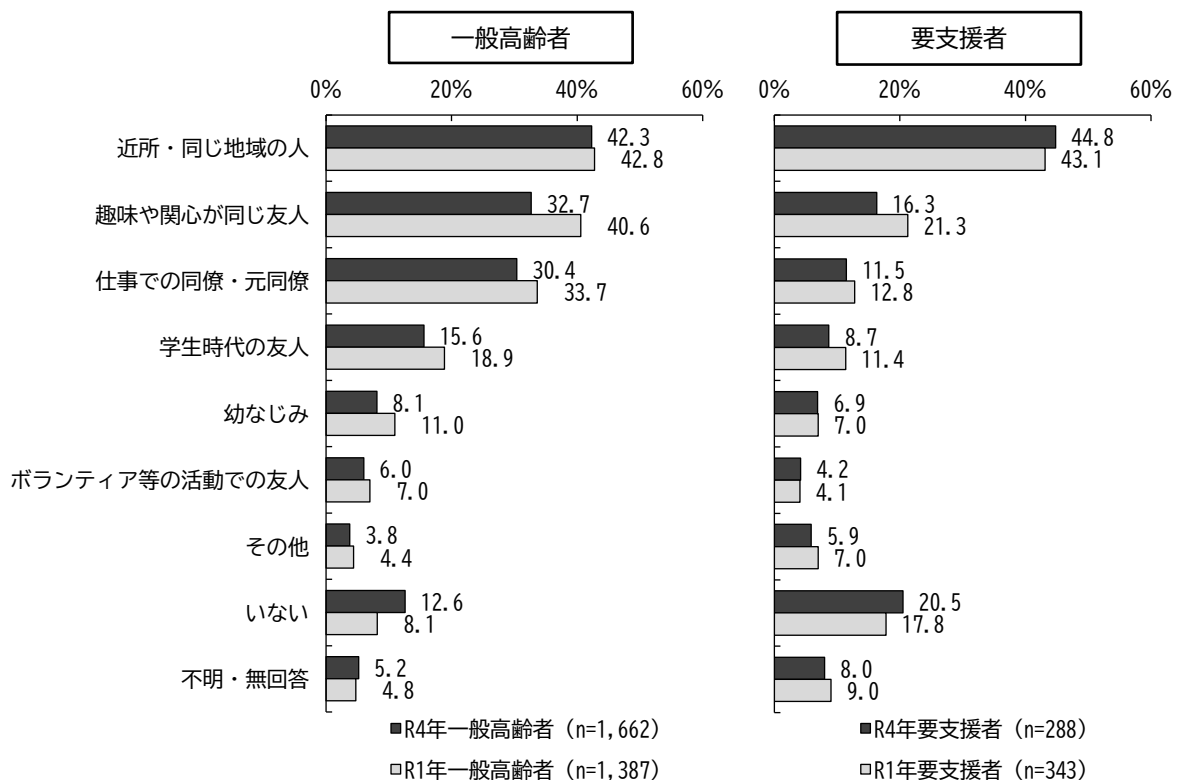
問 66 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。

一般高齢者では「1～2人」と「3～5人」がそれぞれ23.8%、要支援者では「1～2人」(29.9%)が最も多くなっています。前回調査と比べると、いずれも「0人(いない)」または「1～2人」が増加し、それより多い人数の回答が減少しています。



問 67 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。【複数回答】

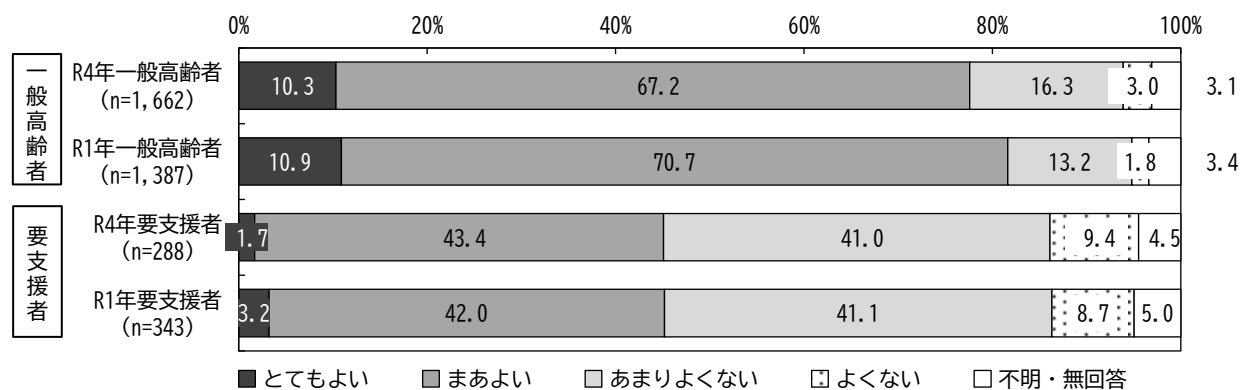
一般高齢者、要支援者ともに「近所・同じ地域の人」が最も多く、次いで一般高齢者では「趣味や関心が同じ友人」(32.7%)、要支援者では「いない」(20.5%)が多くなっています。



8 健康について

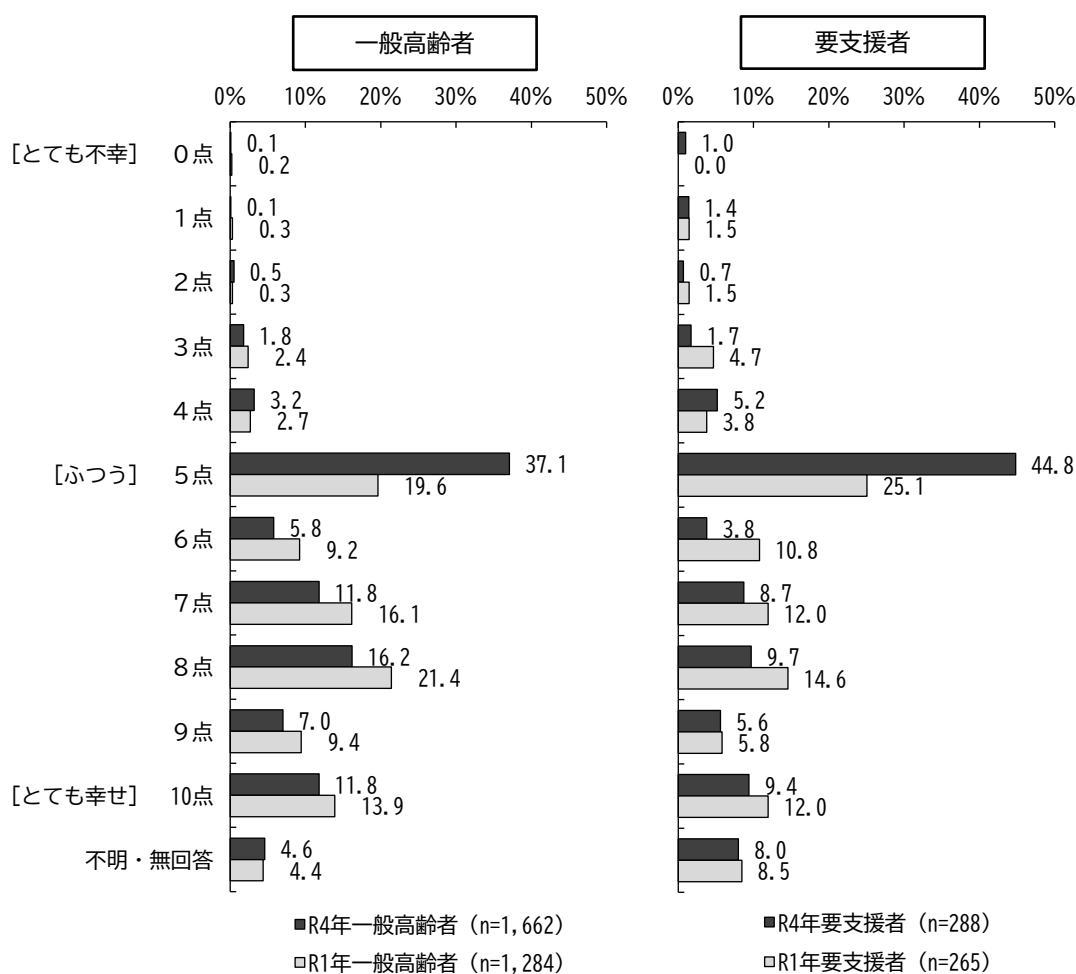
問 68 現在のあなたの健康状態はいかがですか。

健康状態がよいという回答（「とてもよい」と「まあよい」の合計）は、一般高齢者で77.5%、要支援者で45.1%となっています。



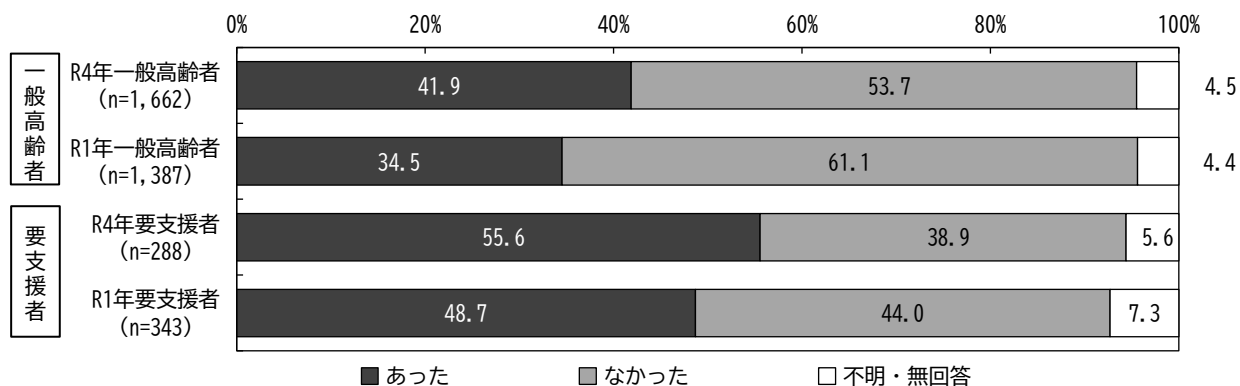
問 69 あなたは、現在どの程度幸せですか。（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として回答してください）

一般高齢者、要支援者ともに「5点」が最も多く、次いで「8点」が多くなっています。前回調査と比べると、いずれも「5点」が増加し、6点以上が減少しています。



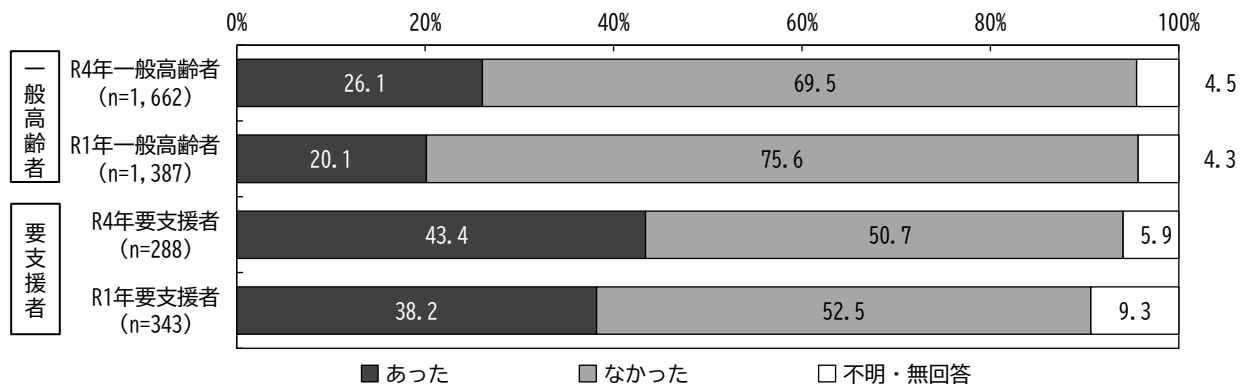
問 70 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあった人は、一般高齢者 41.9%、要支援者 55.6%となっており、いずれも前回調査よりやや増加しています。



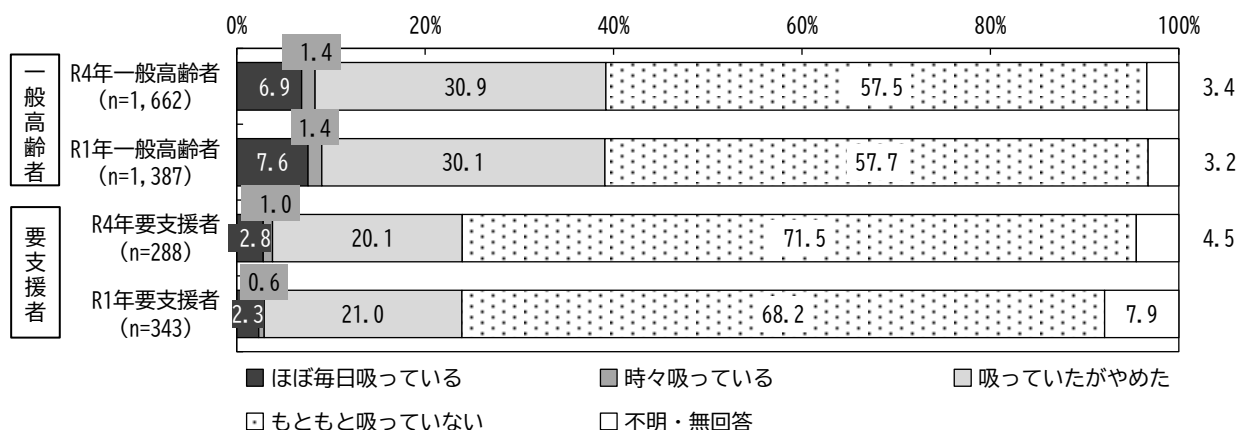
問 71 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。

物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあった人は、一般高齢者 26.1%、要支援者 43.4%となっており、いずれも前回調査よりやや増加しています。



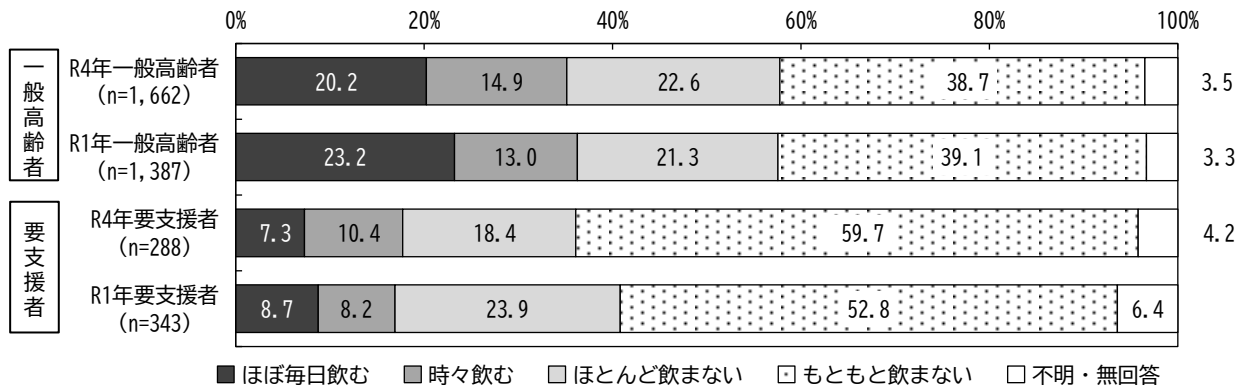
問 72 タバコは吸っていますか。

「ほぼ毎日吸っている」と「時々吸っている」を合計すると、一般高齢者の 8.3%、要支援者の 3.8% が喫煙の習慣があると回答しています。



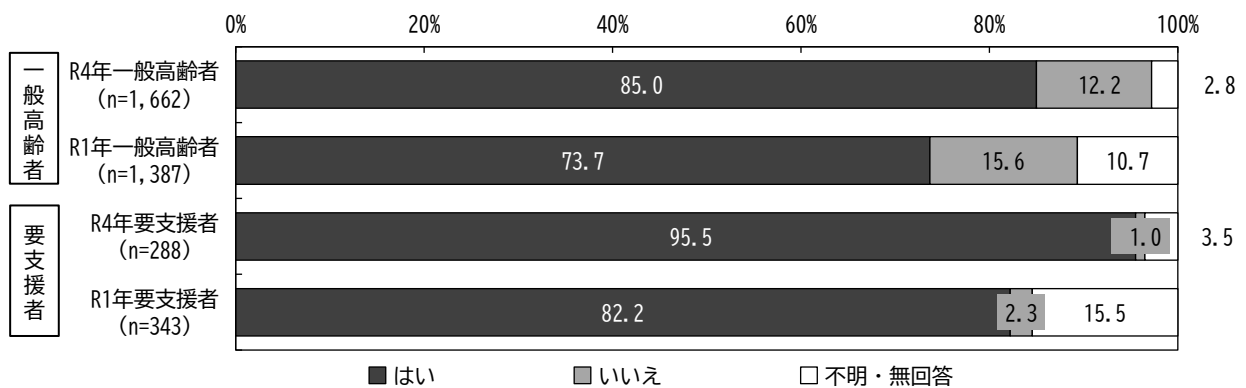
問 73 お酒は飲みますか。

「ほぼ毎日飲む」と「時々飲む」を合計すると、一般高齢者の 35.1%、要支援者の 17.7%が飲酒の習慣があると回答しています。



問 74 現在、病院・医院（診療所、クリニック）に通院していますか。

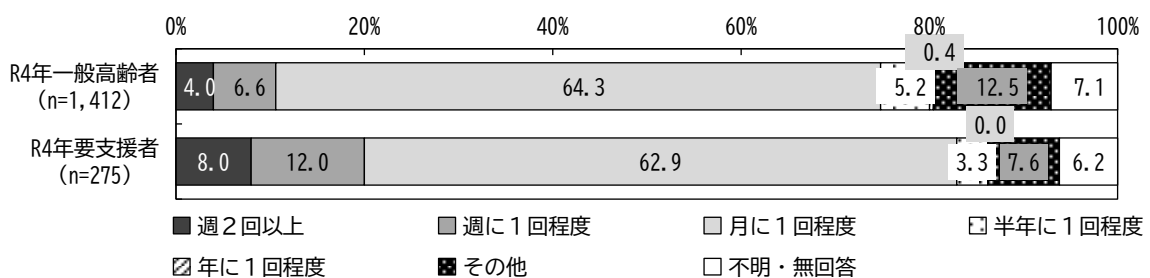
現在、病院・医院（診療所、クリニック）に通院しているのは、一般高齢者で 85.0%、要支援者で 95.5%となっています。



【問 74 で「はい」と回答した人（現在通院している人）のみ】

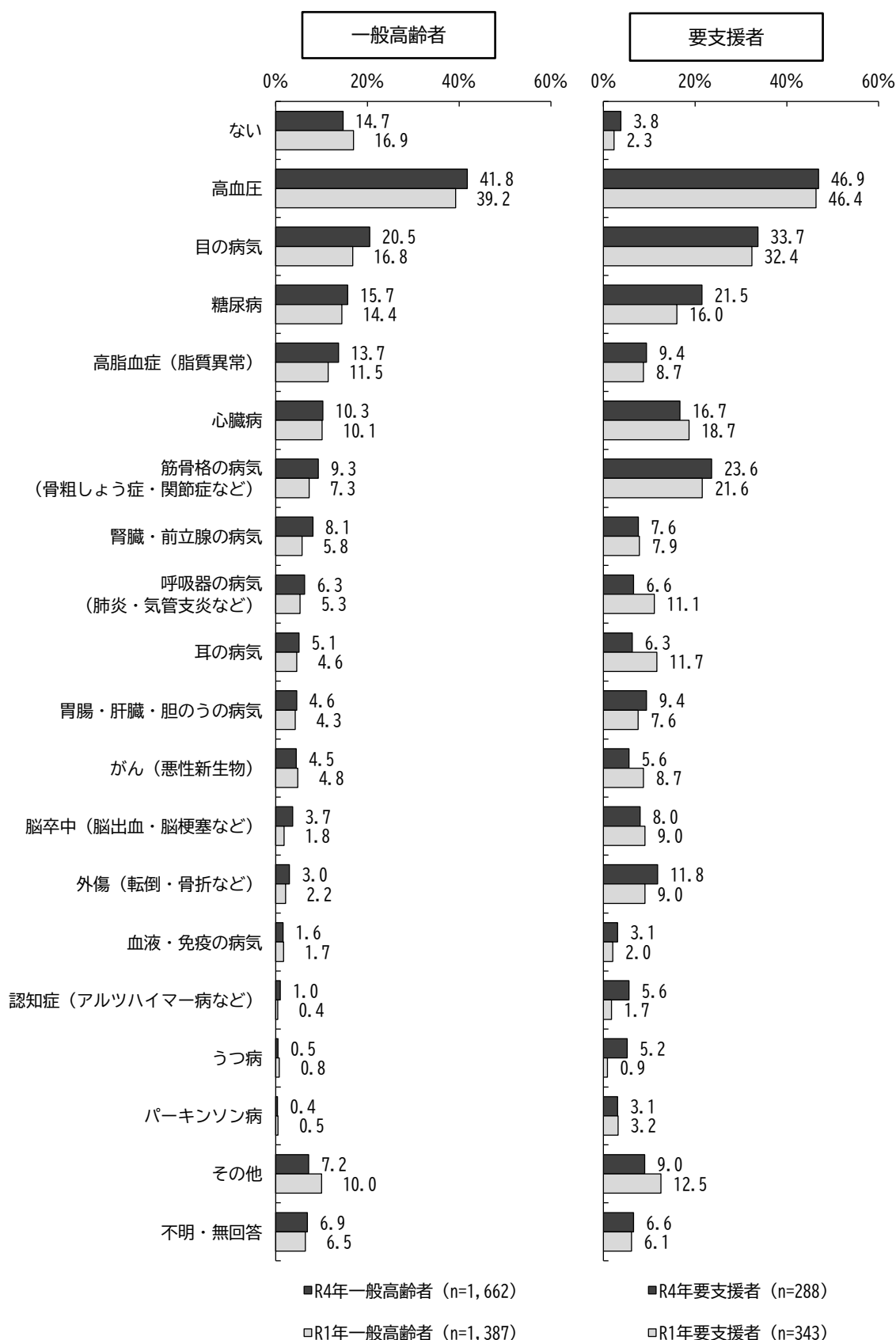
問 75 どのくらいの頻度で通院していますか。

一般高齢者、要支援者ともに「月に1回程度」が最も多くなっています。前回調査と比べると、週に1回以上の回答がやや減少しています。



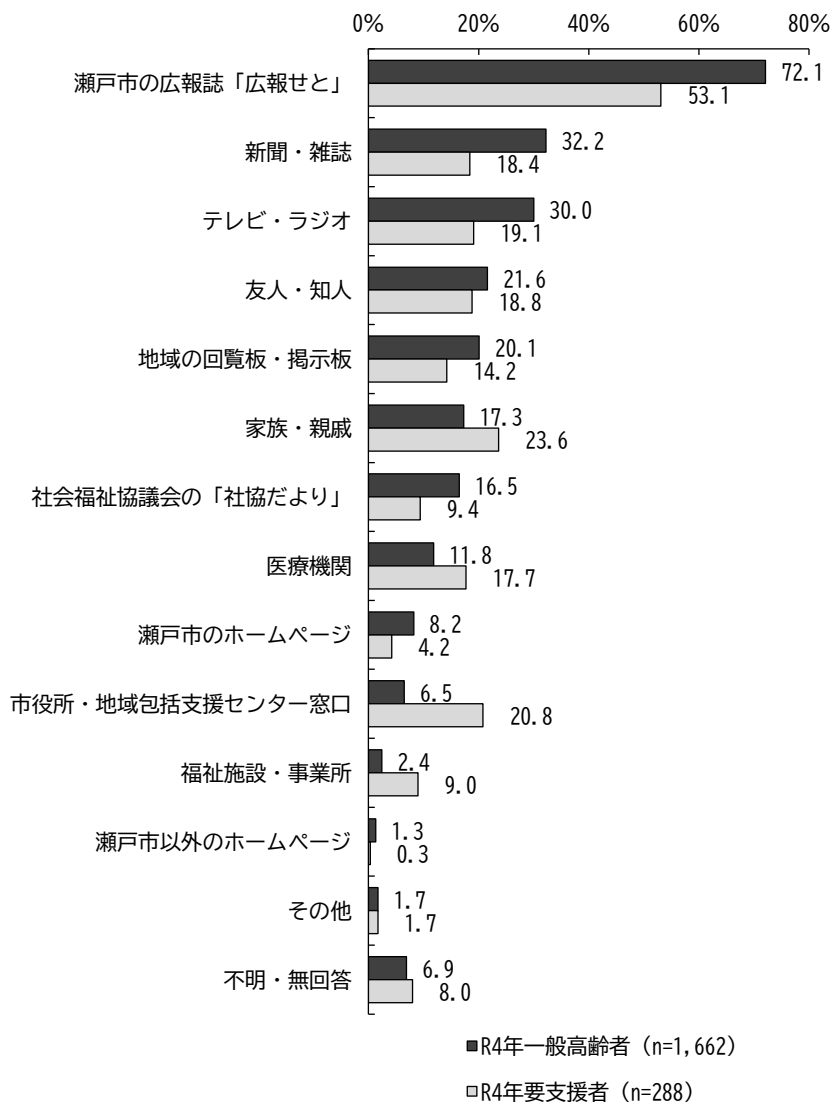
問 76 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。【複数回答】

一般高齢者、要支援者ともに「高血圧」が最も多く、次いで「目の病気」が多くなっています。要支援者では「筋骨格の病気（骨粗しょう症・関節症など）」「糖尿病」の回答も2割を超えています。



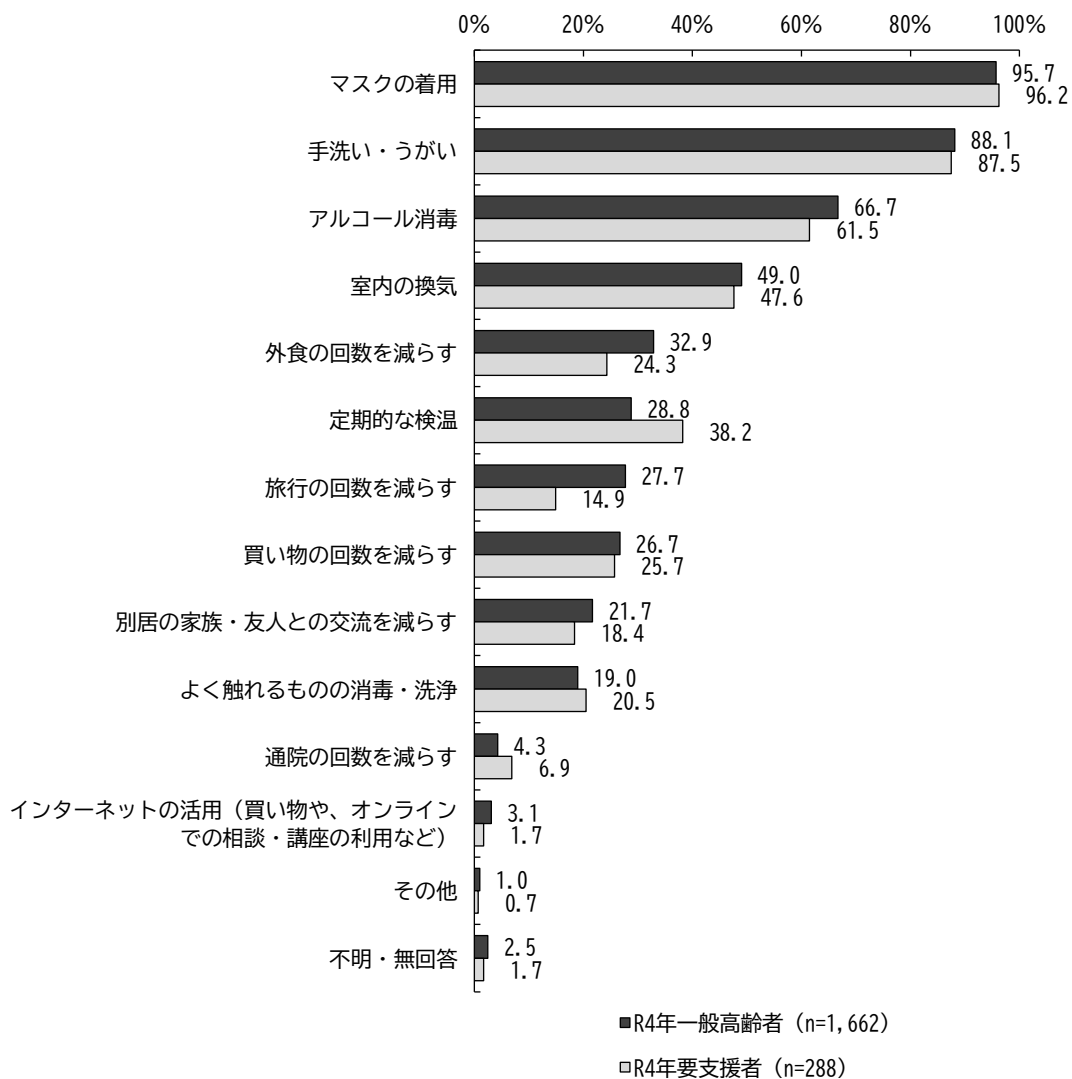
問 77 福祉や介護に関する情報をどこから入手していますか。【複数回答】

一般高齢者では「瀬戸市の広報誌「広報せと」」（72.1%）、「新聞・雑誌」（32.2%）、テレビ・ラジオ（30.0%）が多く、要支援者では「瀬戸市の広報誌「広報せと」」（53.1%）、「家族・親戚」（23.6%）、「市役所・地域包括支援センター窓口」（20.8%）が多くなっています。



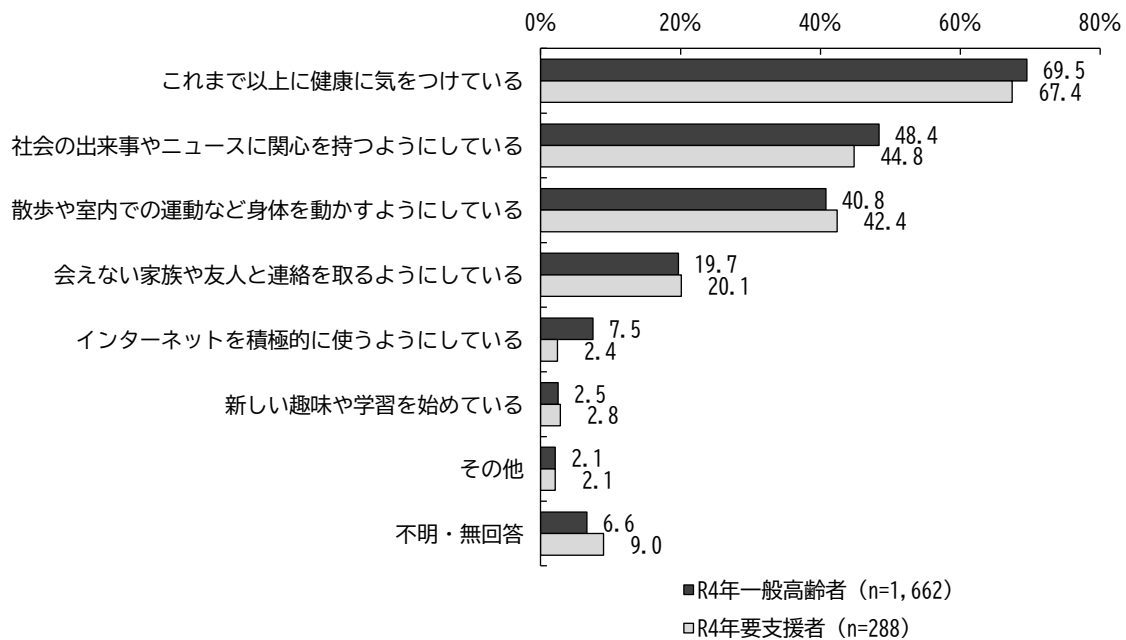
問 78 新型コロナウイルス感染症の感染予防対策について気をつけていることはありますか。【複数回答】

一般高齢者、要支援者ともに「マスクの着用」が最も多く、次いで「手洗い・うがい」「アルコール消毒」「室内の換気」が多くなっています。



問 79 新型コロナウイルス感染症の流行の拡大をきっかけにして、心がけていることは何ですか。【複数回答】

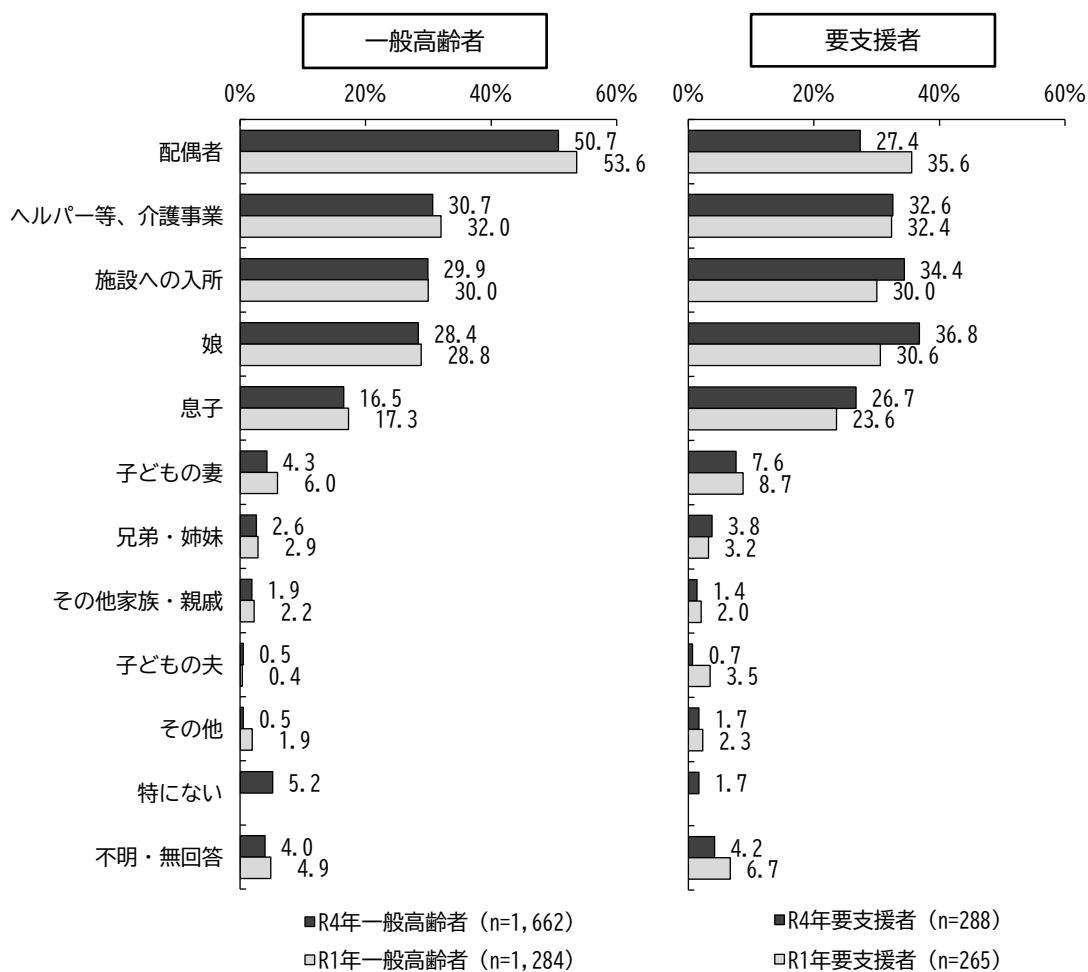
一般高齢者、要支援者ともに「これまで以上に健康に気をつけている」が最も多く、次いで「社会の出来事やニュースに関心を持つようにしている」「散歩や室内での運動など身体を動かすようにしている」が多くなっています。



9 今後の生活について

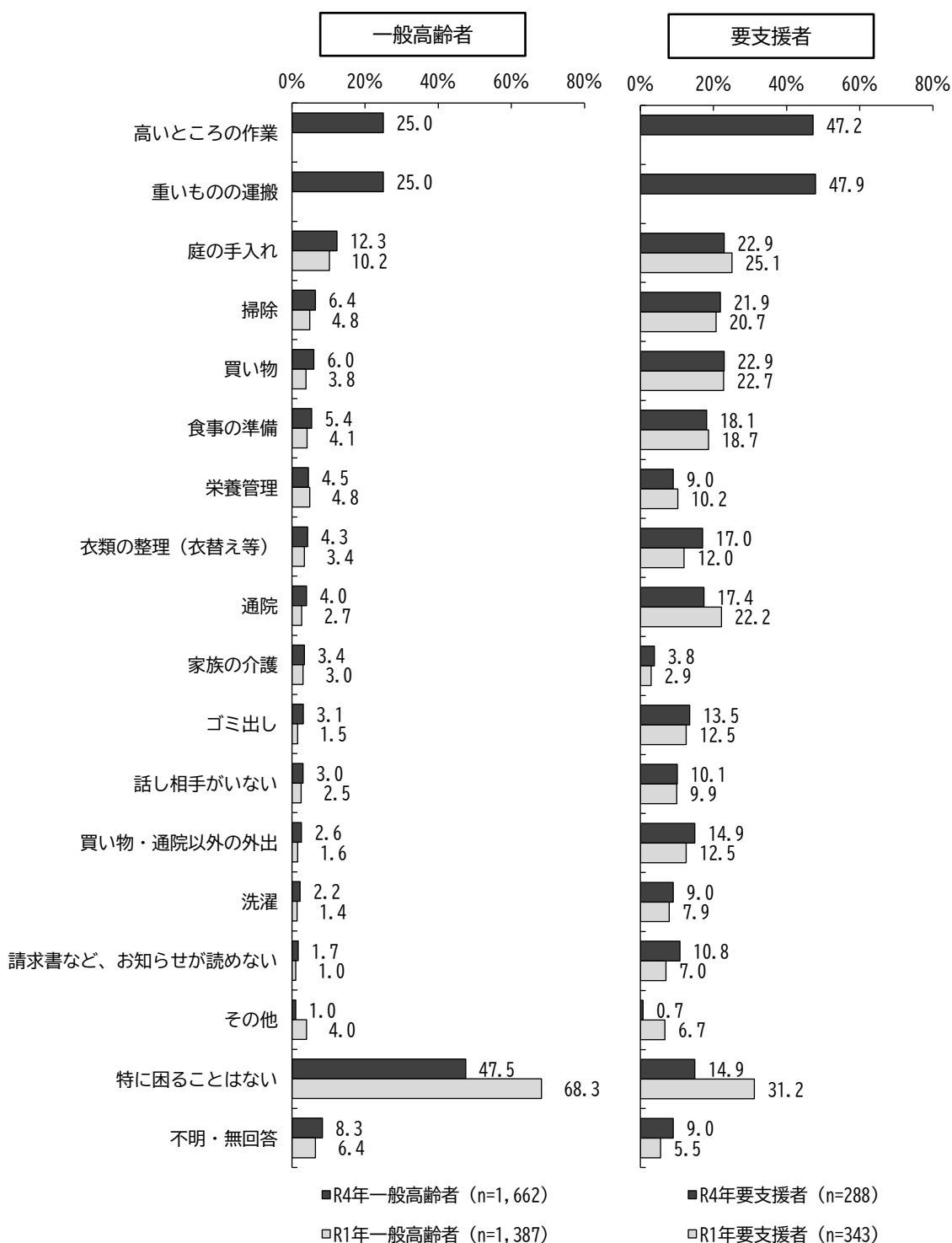
問 80 介護が必要になったら、誰に介護をしてもらいたいですか。【複数回答】

一般高齢者では「配偶者」（50.7%）、要支援者では「娘」（36.8%）が最も多くなっています。



問 81 日常生活で困っていることは何ですか。【複数回答】

「特に困ることはない」を除くと、一般高齢者、要支援者ともに「高いところの作業」「重いものの運搬」が上位となっています。前回調査と比べると、いずれも「特に困ることはない」が減少しています。



※「高いところの作業」「重いものの運搬」は R4 年調査のみの選択肢。

◆年齢別にみた日常生活で困っていること【一般高齢者】

年齢別にみると、高齢になるほど困りごとの回答が増加し、「特に困ることはない」が減少しています。

単位：%

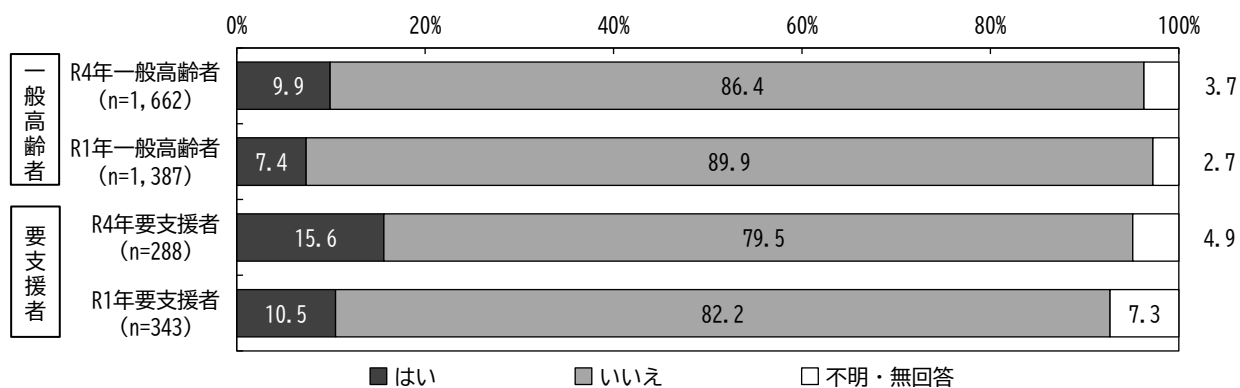
	高いところの作業	重いものの運搬	庭の手入れ	掃除	買い物	食事の準備	栄養管理	衣類の整理（衣替え等）	通院
65～69歳（n=298）	13.4	13.4	10.7	5.4	1.7	4.7	2.0	2.7	2.3
70～74歳（n=434）	18.4	19.6	9.9	3.5	2.3	3.7	3.2	2.3	1.4
75～79歳（n=399）	23.6	22.8	10.3	5.5	4.3	5.0	5.0	4.3	1.0
80～84歳（n=306）	41.2	38.2	16.3	9.5	9.5	6.2	6.9	5.9	8.8
85～89歳（n=147）	34.7	36.1	17.7	9.5	15.6	8.8	6.1	7.5	10.2
90歳以上（n=53）	34.0	47.2	15.1	15.1	24.5	13.2	9.4	7.5	9.4

	家族の介護	ゴミ出し	話し相手がいない	買い物・通院以外の外出	洗濯	請求書など、お知らせが読めない	その他	特に困ることはない	不明・無回答
65～69歳（n=298）	3.4	2.3	2.3	1.0	2.3	0.7	1.0	63.4	4.4
70～74歳（n=434）	2.5	2.5	1.8	0.7	1.4	0.7	0.2	59.4	6.5
75～79歳（n=399）	2.3	1.3	2.3	1.8	1.5	1.0	1.8	46.4	9.0
80～84歳（n=306）	6.5	5.2	4.6	5.2	2.9	2.3	1.0	30.4	9.8
85～89歳（n=147）	3.4	5.4	3.4	5.4	4.1	5.4	0.7	29.3	12.9
90歳以上（n=53）	1.9	7.5	11.3	9.4	3.8	5.7	1.9	18.9	13.2

10 認知症について

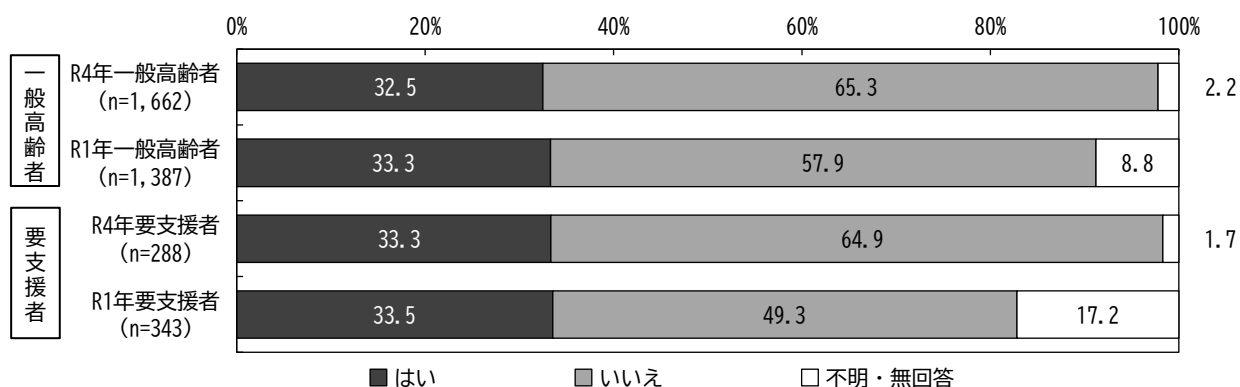
問 82 自分または家族に、認知症の症状がある人がいますか。

自分または家族に、認知症の症状がある人がいるのは、一般高齢者で 9.9%、要支援者で 15.6%となっています。



問 83 認知症に関する相談窓口を知っていますか。

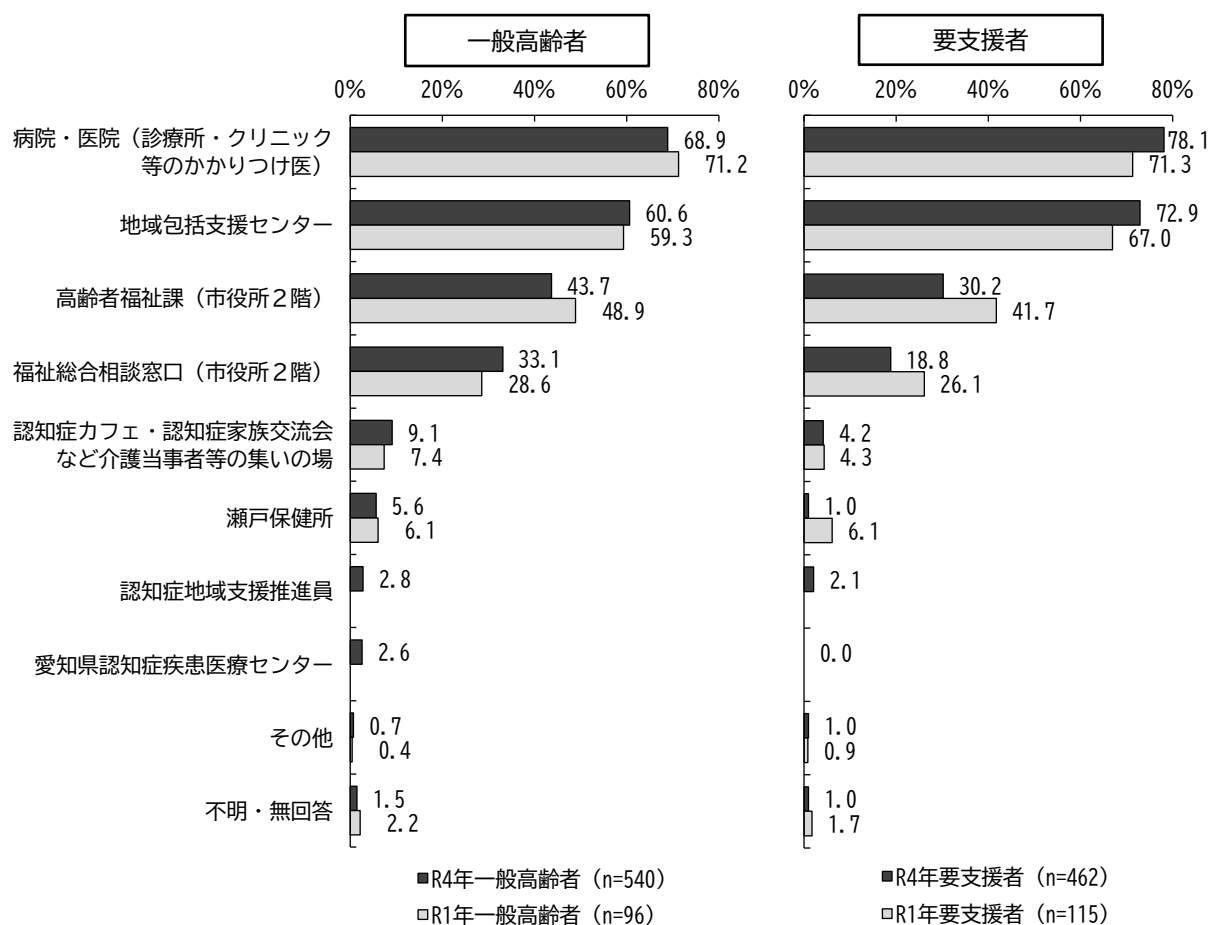
認知症に関する相談窓口を知っているのは、一般高齢者 32.5%、要支援者 33.3%となっています。



【問 83 で「はい」と回答した人（認知症の相談窓口を知っている人）のみ】

問 84 知っている相談窓口（相談できるところ）はどこですか。【複数回答】

一般高齢者、要支援者ともに「病院・医院（診療所・クリニック等のかかりつけ医）」が最も多く、次いで「地域包括支援センター」が多くなっています。

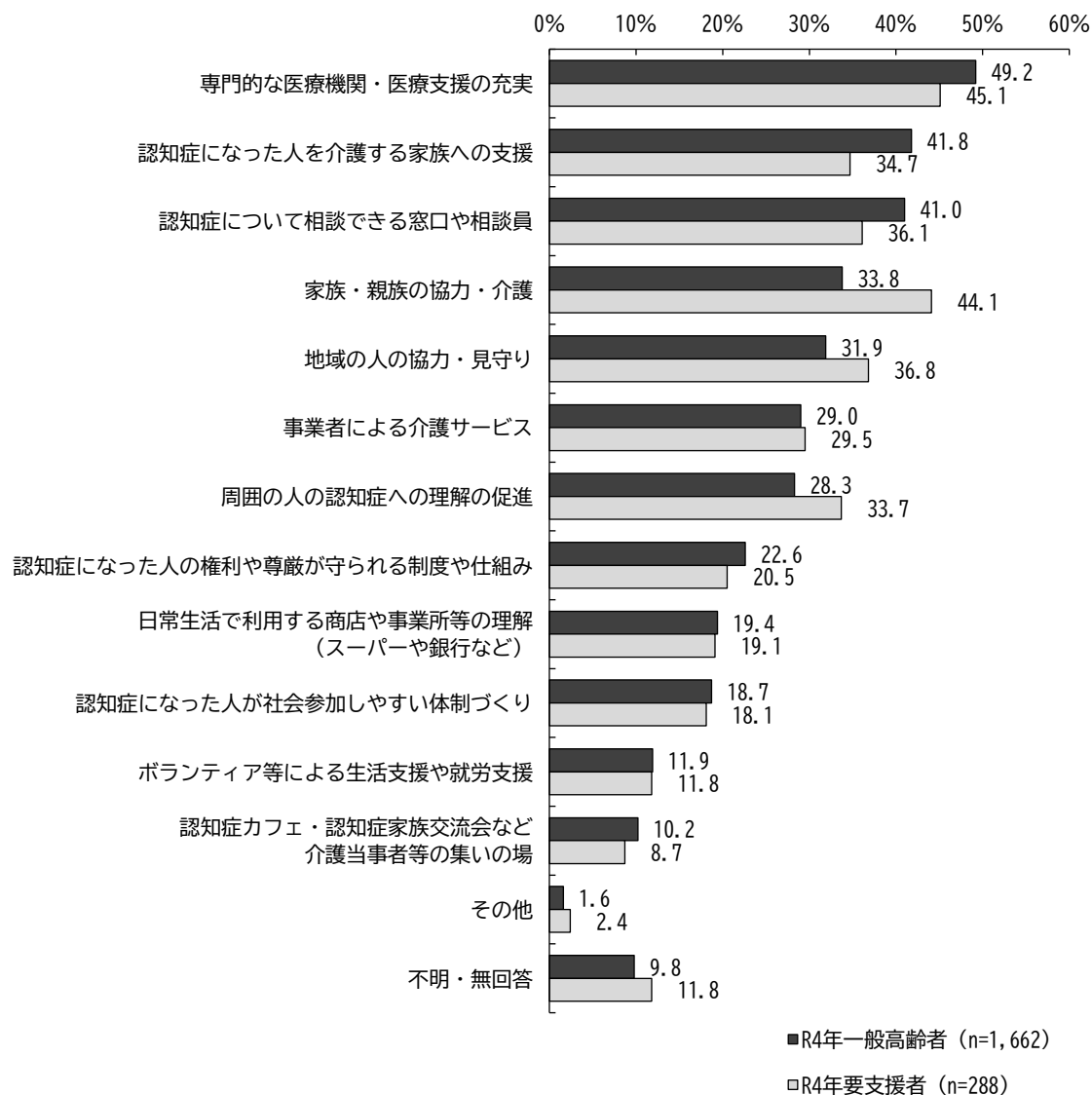


※「認知症地域支援推進員」「愛知県認知症疾患医療センター」は R4 年調査のみの選択肢。

問 85 認知症になっても、住み慣れた地域で暮らすことができるために、あなたの周りで足りないと感じるものや、もっと充実させなければならないと思うものは何ですか。

【複数回答】

一般高齢者、要支援者ともに「専門的な医療機関・医療支援の充実」が最も多く、次いで一般高齢者では「認知症になった人を介護する家族への支援」（41.8%）、要支援者では「家族・親族の協力・介護」（44.1%）が多くなっています。



11 要介護リスクの状況について（一般高齢者）

本調査は、設問の回答状況の組み合わせにより、各種の要介護リスクの判定に用いることができます。これを活用して、一般高齢者について要介護リスクのある人の割合を算出します。

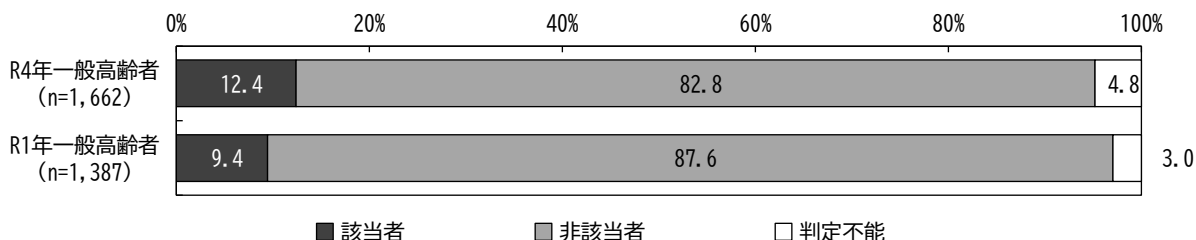
（1）運動器の機能低下リスク

運動器の機能低下リスクがあるのは12.4%となっています。

年齢別にみると、高齢になるほどリスク該当者が増加しています。

判定条件		
問13 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1. できるし、している 2. できるが、していない 3. できない	左記の5つの設問において、3問以上、該当する選択肢（網掛け箇所）を回答された場合、運動器の機能が低下している高齢者となります。
問14 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか		
問15 15分くらい続けて歩いていますか		
問16 過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない	
問17 転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない	

※判定に用いる質問に無回答があった場合、その質問の回答によって判定が変わる可能性があるときは「判定不能」とします。



◆年齢別にみた運動器の機能低下リスク

単位：%

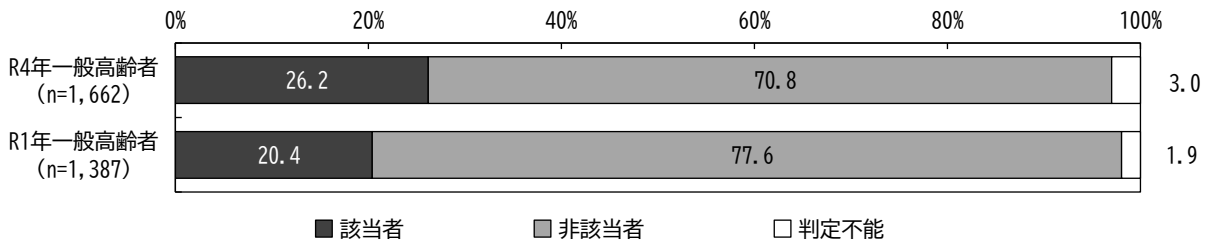
年齢	該当者	非該当者	判定不能
65～69歳 (n=298)	4.0	90.6	5.4
70～74歳 (n=434)	5.3	90.1	4.6
75～79歳 (n=399)	9.3	85.2	5.5
80～84歳 (n=306)	21.9	74.5	3.6
85～89歳 (n=147)	25.9	68.7	5.4
90歳以上 (n=53)	43.4	54.7	1.9

(2) 口腔機能の低下リスク

口腔機能の低下リスクがあるのは26.2%となっています。前回調査よりやや増加しています。

判定条件		
問 27 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい 2. いいえ	左記の3つの設問において、2問以上、該当する選択肢（網掛け箇所）を回答された場合、口腔機能の低下している高齢者となります。
問 28 お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい 2. いいえ	
問 29 口の渇きが気になりますか	1. はい 2. いいえ	

※判定に用いる質問に無回答があった場合、その質問の回答によって判定が変わる可能性があるときは「判定不能」とします。

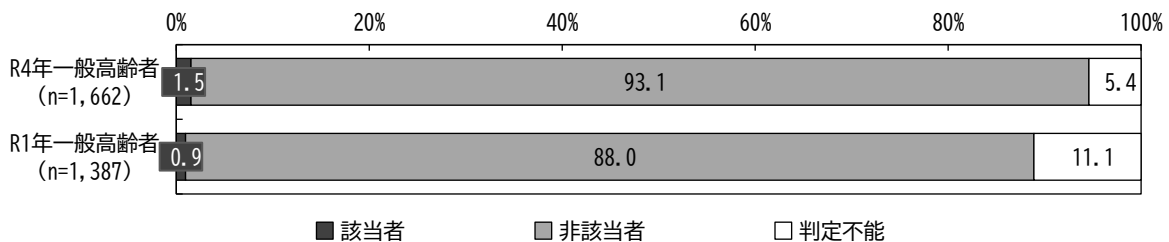


(3) 低栄養リスク

低栄養リスクがあるのは1.5%となっています。

判定条件		
問 26 身長・体重を教えてください	身長・体重から算出されたBMI指数が18.5未満	左記の2つの設問のいずれの条件にも該当した場合、低栄養リスクのある高齢者となります。
問 35 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1. はい 2. いいえ	

※判定に用いる質問に無回答があった場合は「判定不能」とします。

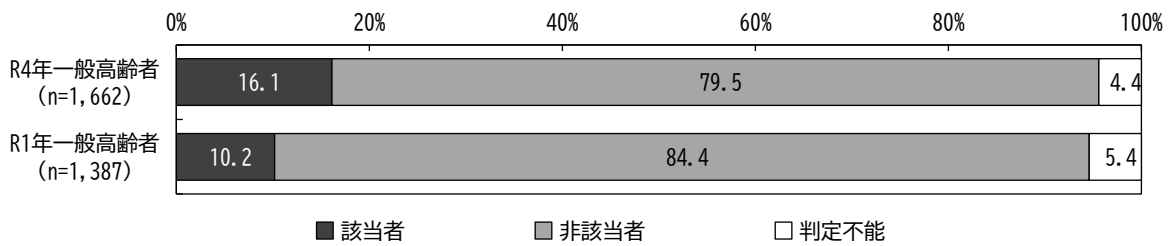


(4) 閉じこもり傾向

閉じこもり傾向があるのは 16.1%となっています。前回調査より増加しています。

判定条件		
問 19 週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2～4回 4. 週5回以上	左記の設問において、該当する選択肢（網掛け箇所）を回答された場合、閉じこもり傾向となります。

※判定に用いる質問に無回答があった場合は「判定不能」とします。

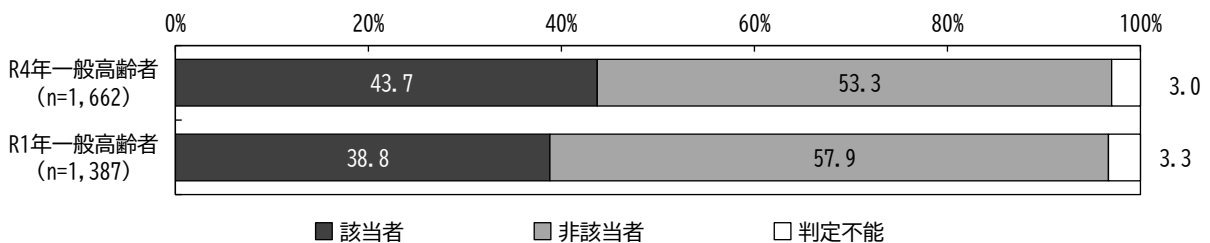


(5) 物忘れリスク

物忘れリスクがあるのは 43.7%となっています。前回調査よりやや増加しています。

判定条件		
問 36 物忘れが多いと感じますか	1. はい 2. いいえ	左記の設問において、該当する選択肢（網掛け箇所）を回答された場合、物忘れリスクのある高齢者となります。

※判定に用いる質問に無回答があった場合は「判定不能」とします。

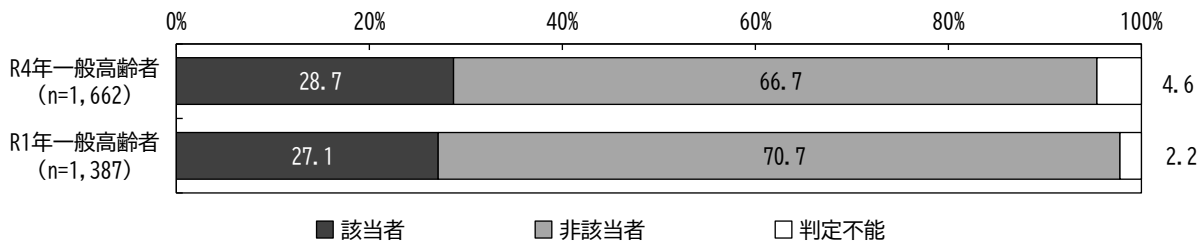


(6) 転倒リスク

転倒リスクがあるのは28.7%となっています。

判定条件		
問 16 過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない	左記の設問において、該当する選択肢（網掛け箇所）を回答された場合、転倒リスクのある高齢者となります。

※判定に用いる質問に無回答があった場合は「判定不能」とします。



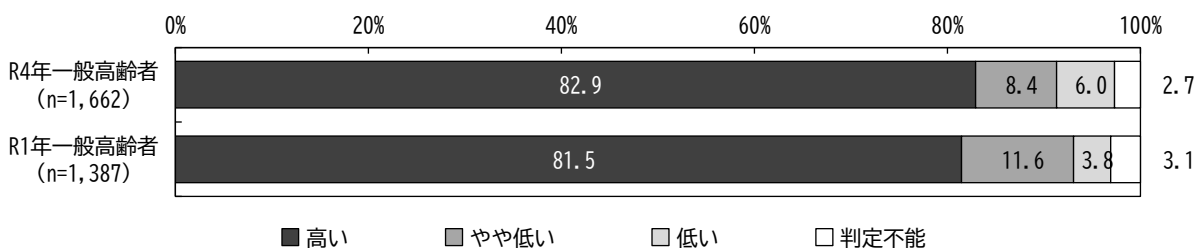
(7) IADL (手段的自立度) ※低下

「低い」は6.0%、「やや低い」は8.4%となっています。前回調査と比べると、「低い」がやや増加しています。

判定条件		
問 39 バスや電車を使って1人で外出していますか	1. できるし、している 2. できるが、していない 3. できない	左記の5つの設問において、「できるし、している」または「できるが、していない」を選択された場合は1点とし、5問合計で3点以下ならIADLが「低い」、4点なら「やや低い」、5点なら「高い」と判定されます。
問 40 自分で食品・日用品の買い物をしていますか		
問 41 自分で食事の用意をしていますか		
問 42 自分で請求書の支払いをしていますか		
問 43 自分で預貯金の出し入れをしていますか		

※判定に用いる質問に無回答があった場合、その質問の回答によって判定が変わる可能性があるときは「判定不能」とします。

※「IADL」とは、「Instrumental Activities of Daily Living」の略で、「手段的日常生活動作」と訳されます。例えば、掃除・料理・洗濯・買い物などの家事やコミュニケーション、交通機関の利用、自分の薬の管理、お金の管理など、単純な運動能力ではなく、日常生活を問題なく送る上で必要な活動を行う力を意味します。高齢者の自立度を評価する指標として活用されています。



(8) 虚弱リスク

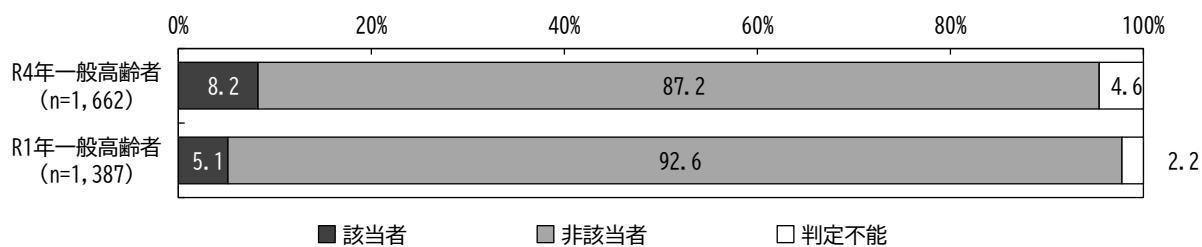
虚弱リスクの判定条件は以下のとおりです。

判定条件	
問 13 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1. できるし、している
問 14 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	2. できるが、していない
問 15 15分くらい続けて歩いていますか	3. できない
問 16 過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある
	2. 1度ある
	3. ない
問 17 転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である
	2. やや不安である
	3. あまり不安でない
	4. 不安でない
問 20 昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1. とても減っている
	2. 減っている
	3. あまり減っていない
	4. 減っていない
問 19 週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない
	2. 週1回
	3. 週2～4回
	4. 週5回以上
問 26 身長・体重を教えてください	BMI 指数 < 18.5
問 35 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	
問 27 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい
問 28 お茶や汁物等でむせることがありますか	2. いいえ
問 29 口の渇きが気になりますか	
問 36 物忘れが多いと感じますか	
問 39 バスや電車を使って1人で外出していますか	1. できるし、している
問 40 自分で食品・日用品の買い物をしていますか	2. できるが、していない
問 43 自分で預貯金の出し入れをしていますか	3. できない
問 37 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	1. はい
	2. いいえ
問 38 今日が何月何日かわからない時がありますか	1. はい
	2. いいえ
問 48 友人の家を訪ねていますか	1. はい
問 49 家族や友人の相談にのっていますか	2. いいえ

※判定に用いる質問に無回答があった場合、その質問の回答によって判定が変わる可能性があるときは「判定不能」とします。

上記の設問において、該当する選択肢（網掛け箇所）を回答されると1点として数え、合計10点以上で虚弱リスクのある高齢者となります。

虚弱リスクがあるのは8.2%となっています。前回調査よりやや増加しています。
 年齢別にみると、高齢になるほどリスク該当者が増加しています。



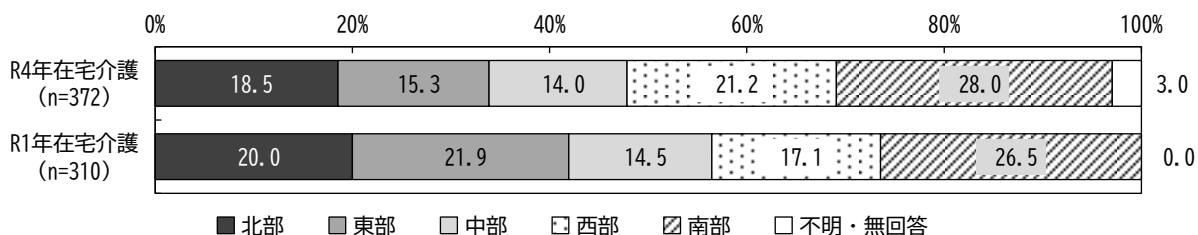
◆年齢別にみた虚弱リスク

単位：%

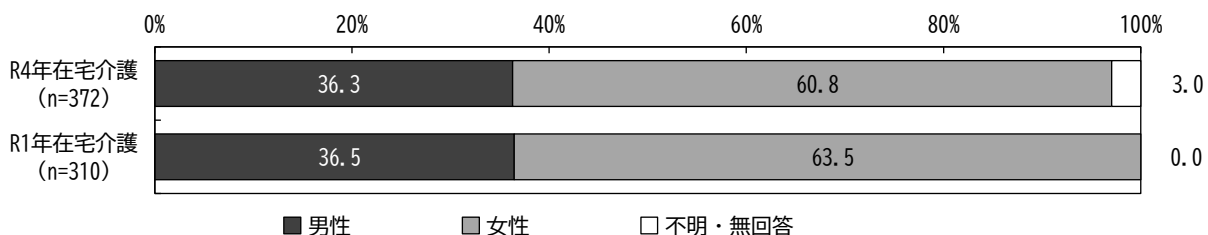
	該当者	非該当者	判定不能
65～69歳 (n=298)	2.7	95.3	2.0
70～74歳 (n=434)	3.5	93.5	3.0
75～79歳 (n=399)	4.3	91.0	4.8
80～84歳 (n=306)	13.1	81.7	5.2
85～89歳 (n=147)	21.1	70.1	8.8
90歳以上 (n=53)	39.6	50.9	9.4

Ⅲ 在宅介護実態調査の結果

圏域

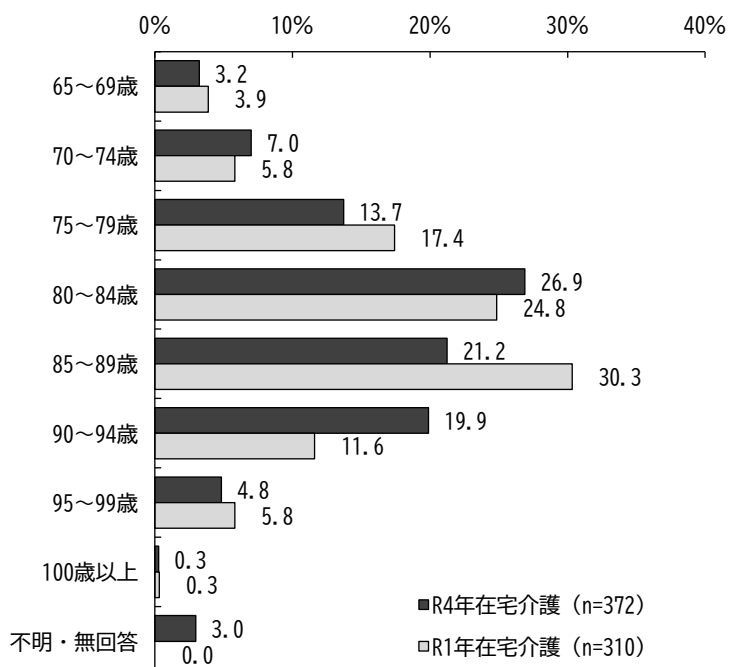


性別



年齢

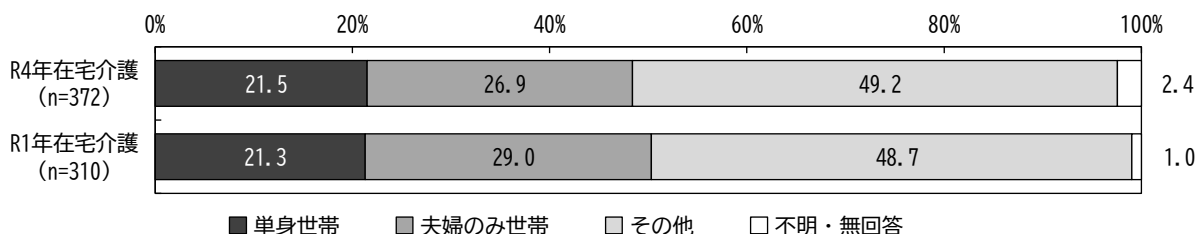
「80～84歳」が26.9%で最も多く、次いで「85～89歳」が21.2%となっています。前回調査と比べると、「85～89歳」が減少し、「90～94歳」が増加しています。



A票 調査対象者について

問1 世帯類型について、ご回答ください

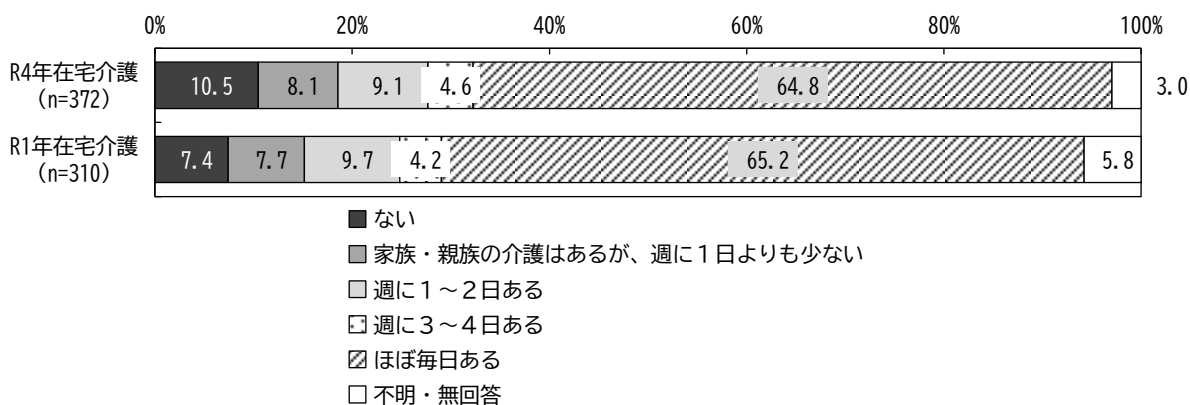
「単身世帯」は21.5%、「夫婦のみ世帯」は26.9%となっています。「単身世帯」と「夫婦のみ世帯」の合計である高齢者のみ世帯は48.4%です。



問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）

「ほぼ毎日ある」が64.8%で最も多くなっています。

要介護度別にみると、要介護度が上がるほど介護の頻度が上がるという関係に必ずしもなっておらず、要介護3以上で「ない」が2割を超えています。



◆要介護度別にみた家族や親族からの介護

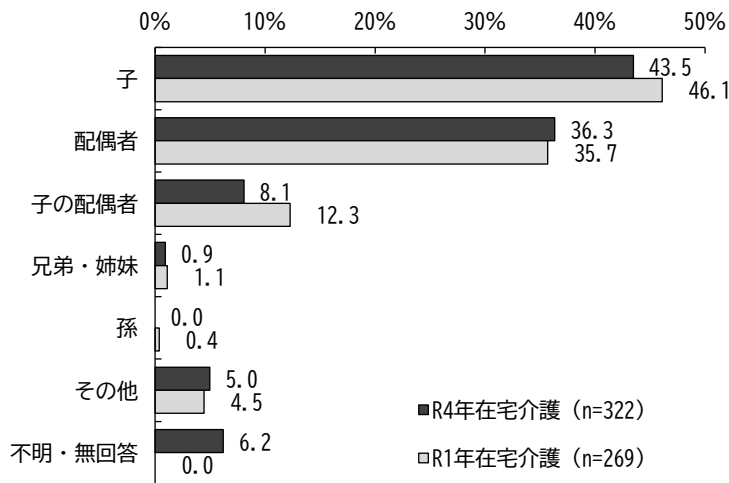
単位：%

	ない	家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない	週に1~2日ある	週に3~4日ある	ほぼ毎日ある	不明・無回答
要支援1・2 (n=51)	2.0	17.6	13.7	13.7	43.1	9.8
要介護1 (n=109)	9.2	6.4	16.5	1.8	63.3	2.8
要介護2 (n=98)	4.1	9.2	4.1	2.0	79.6	1.0
要介護3~5 (n=99)	22.2	5.1	3.0	5.1	63.6	1.0

【問3～7は問2で「ない」以外を回答した人(家族や親族からの介護を受けている人)のみ】

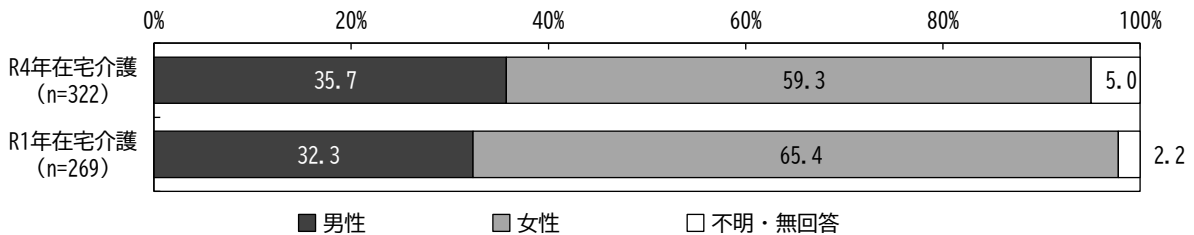
問3 主な介護者の方は、どなたですか

「子」が43.5%で最も多く、次いで「配偶者」が36.3%となっています。



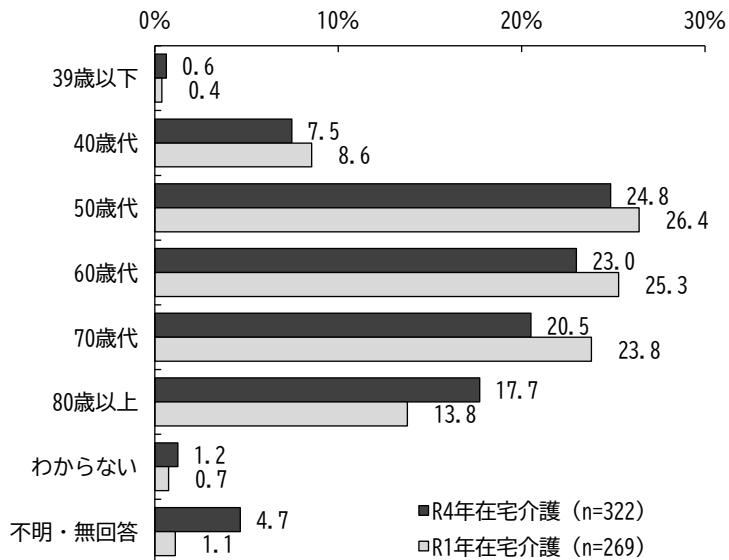
問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください

「男性」が35.7%、「女性」が59.3%となっています。前回調査と比べると、「男性」がやや増加し、「女性」がやや減少しています。



問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください

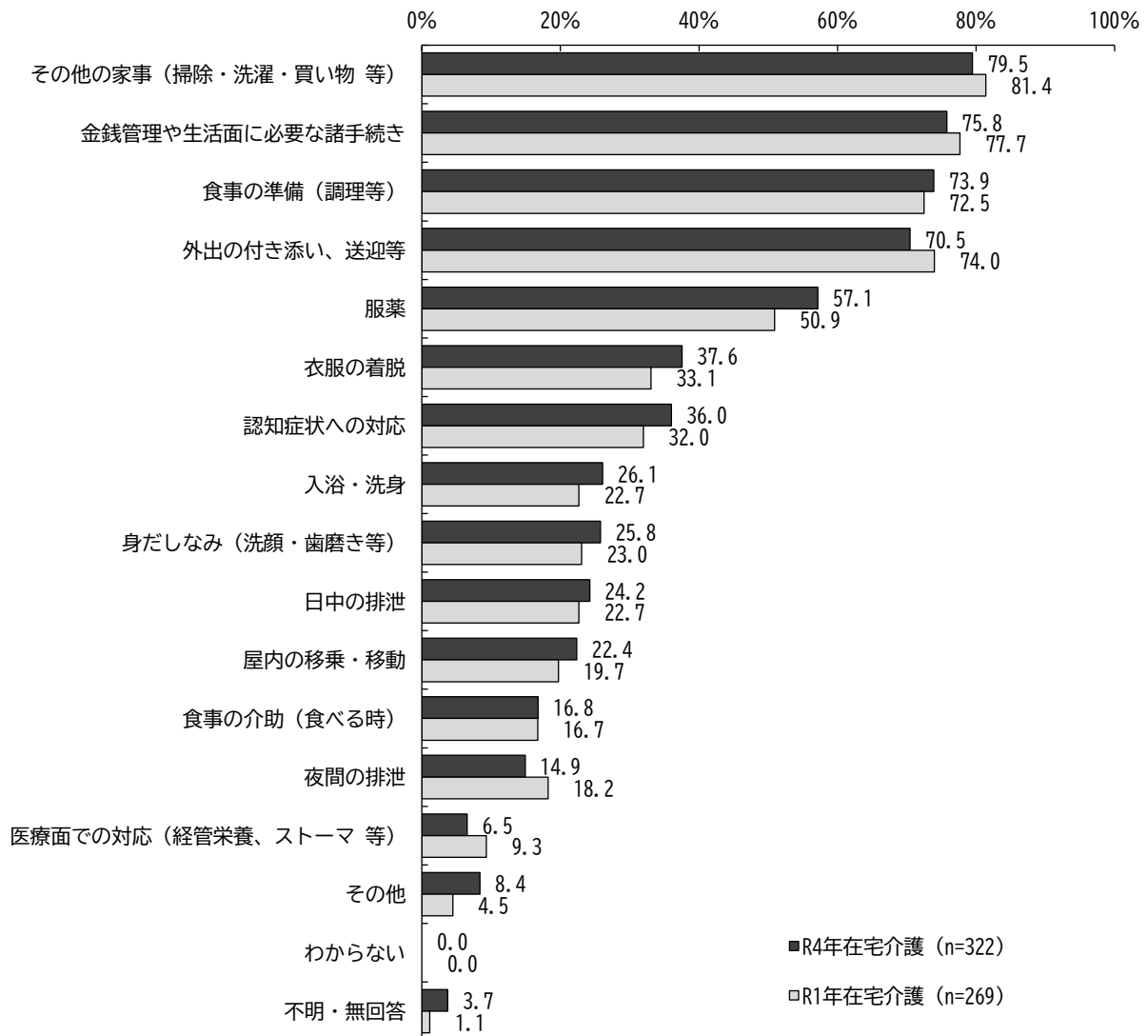
「50歳代」が24.8%で最も多く、次いで「60歳代」が23.0%となっています。前回調査と比べると、「50歳代」から「70歳代」がやや減少し、「80歳以上」がやや増加しています。



問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください【複数回答】

「その他の家事（掃除・洗濯・買い物等）」が79.5%で最も多く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」（75.8%）、「食事の準備（調理等）」（73.9%）、「外出の付き添い、送迎等」（70.5%）の順で多くなっています。

要介護度別にみると、要介護度が上がるほど、主な介護者の方が行っている介護の種類が増加しています。



◆要介護度別にみた主な介護者が行っている介護等

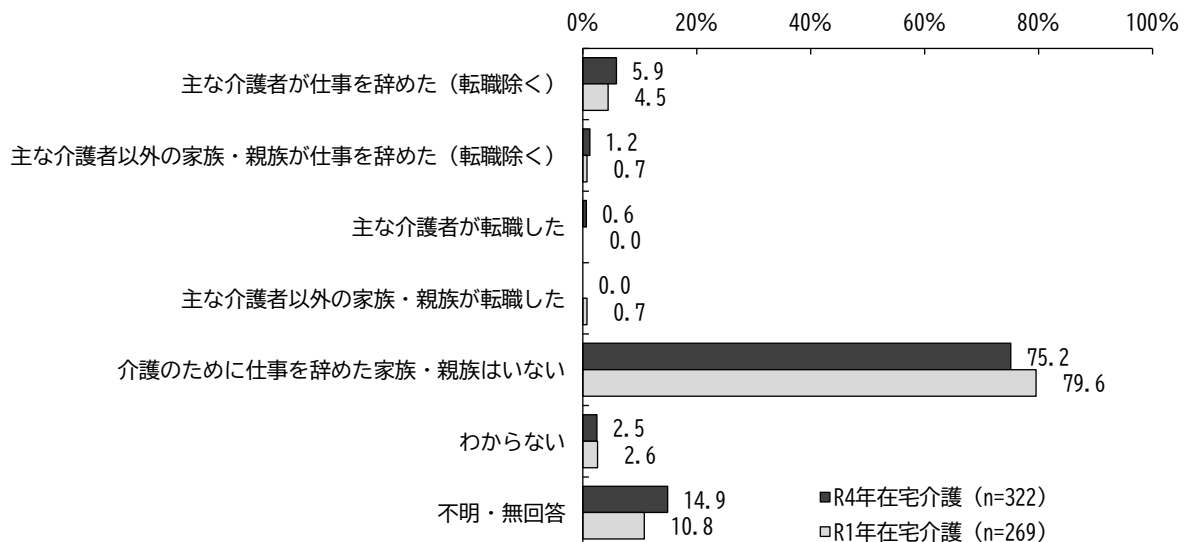
単位：%

	その他の家事（掃除・洗濯・買い物等）	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	食事の準備（調理等）	外出の付き添い、送迎等	服薬	衣服の着脱	認知症状への対応	入浴・洗身	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）
要支援1・2 (n=51)	52.9	58.8	43.1	51.0	23.5	3.9	5.9	5.9	0.0
要介護1 (n=109)	74.3	67.9	63.3	63.3	43.1	12.8	26.6	18.3	9.2
要介護2 (n=98)	80.6	72.4	78.6	74.5	65.3	42.9	41.8	33.7	25.5
要介護3～5 (n=99)	60.6	59.6	61.6	49.5	57.6	58.6	38.4	25.3	47.5

	日中の排泄	屋内の移乗・移動	食事の介助（食べる時）	夜間の排泄	医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	その他	わからない	不明・無回答
要支援1・2 (n=51)	0.0	3.9	5.9	0.0	3.9	3.9	0.0	15.7
要介護1 (n=109)	0.0	6.4	5.5	4.6	3.7	10.1	0.0	12.8
要介護2 (n=98)	23.5	16.3	11.2	8.2	7.1	5.1	0.0	8.2
要介護3～5 (n=99)	53.5	44.4	31.3	32.3	8.1	8.1	0.0	29.3

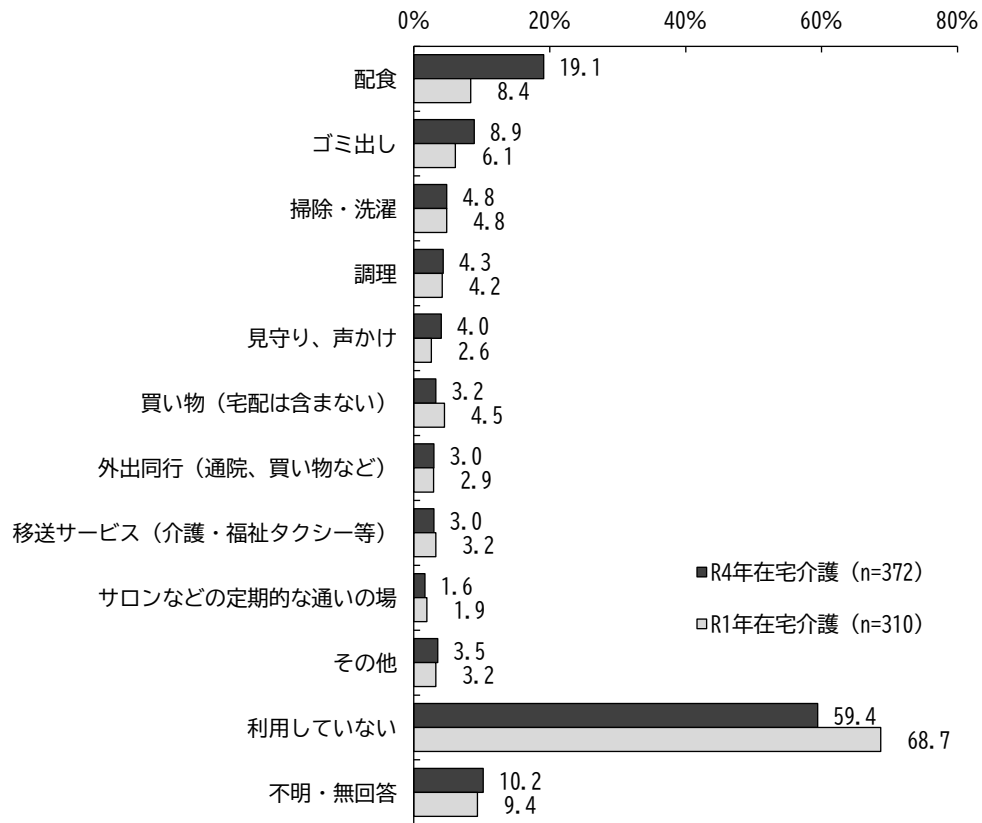
問7 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）【複数回答】

「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が75.2%で最も多くなっています。



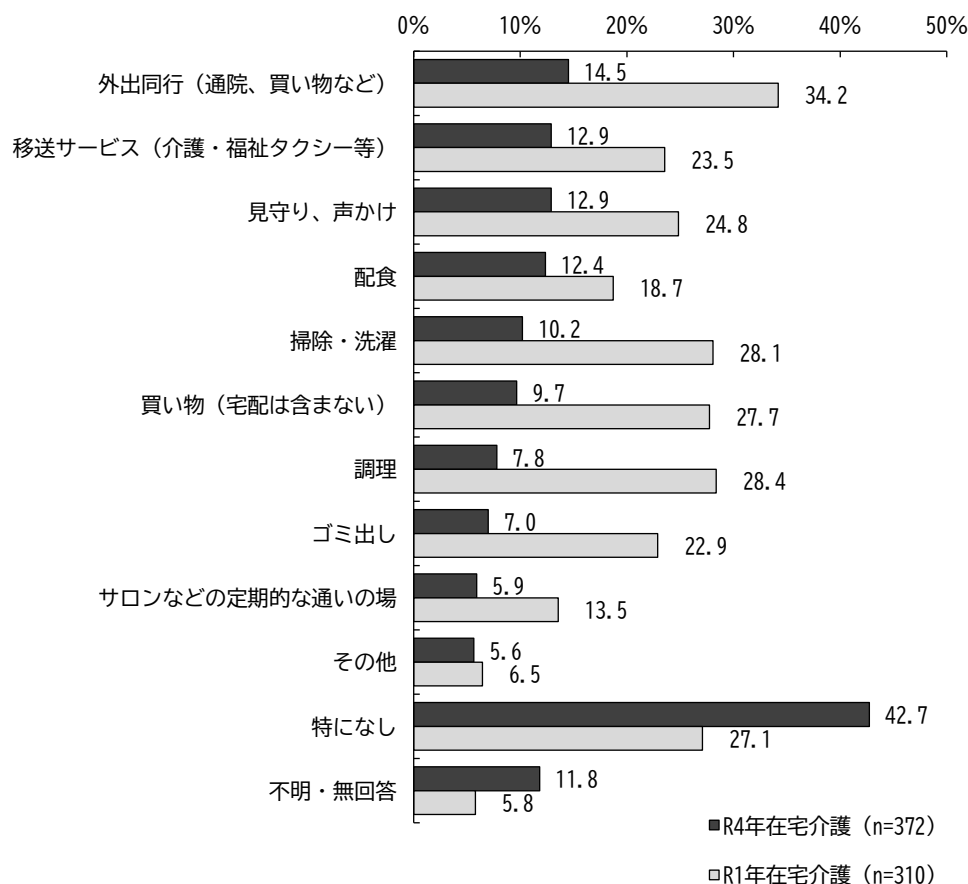
問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答
 ください【複数回答】

「利用していない」が59.4%で最も多くなっています。利用しているサービスについては、「配食」が19.1%、「ゴミ出し」が8.9%となっています。前回調査と比べると、「利用していない」が減少し、「配食」が増加しています。



問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください【複数回答】

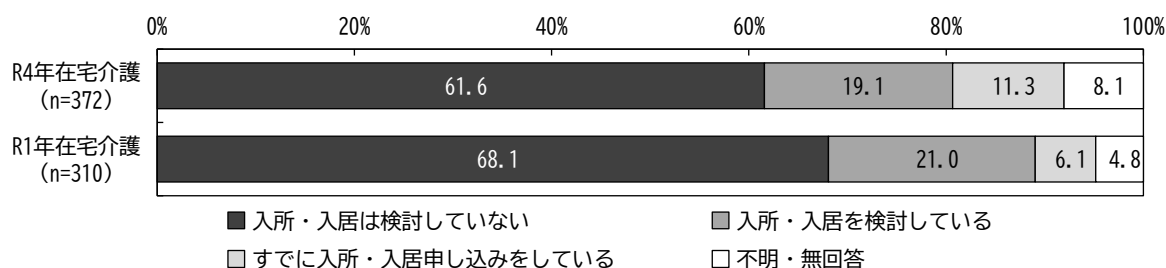
「特になし」が42.7%で最も多く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が14.5%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」「見守り、声かけ」が12.9%となっています。前回調査と比べると、「特になし」が増加し、支援・サービスの回答が減少しています。



問10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください

「入所・入居は検討していない」が61.6%で最も多くなっています。前回調査と比べると、「入所・入居は検討していない」がやや減少し、「すでに入所・入居申し込みをしている」が増加しています。

要介護度別にみると、要介護度が上がるほど「入所・入居は検討していない」が減少し、「すでに入所・入居申し込みをしている」が増加しています。



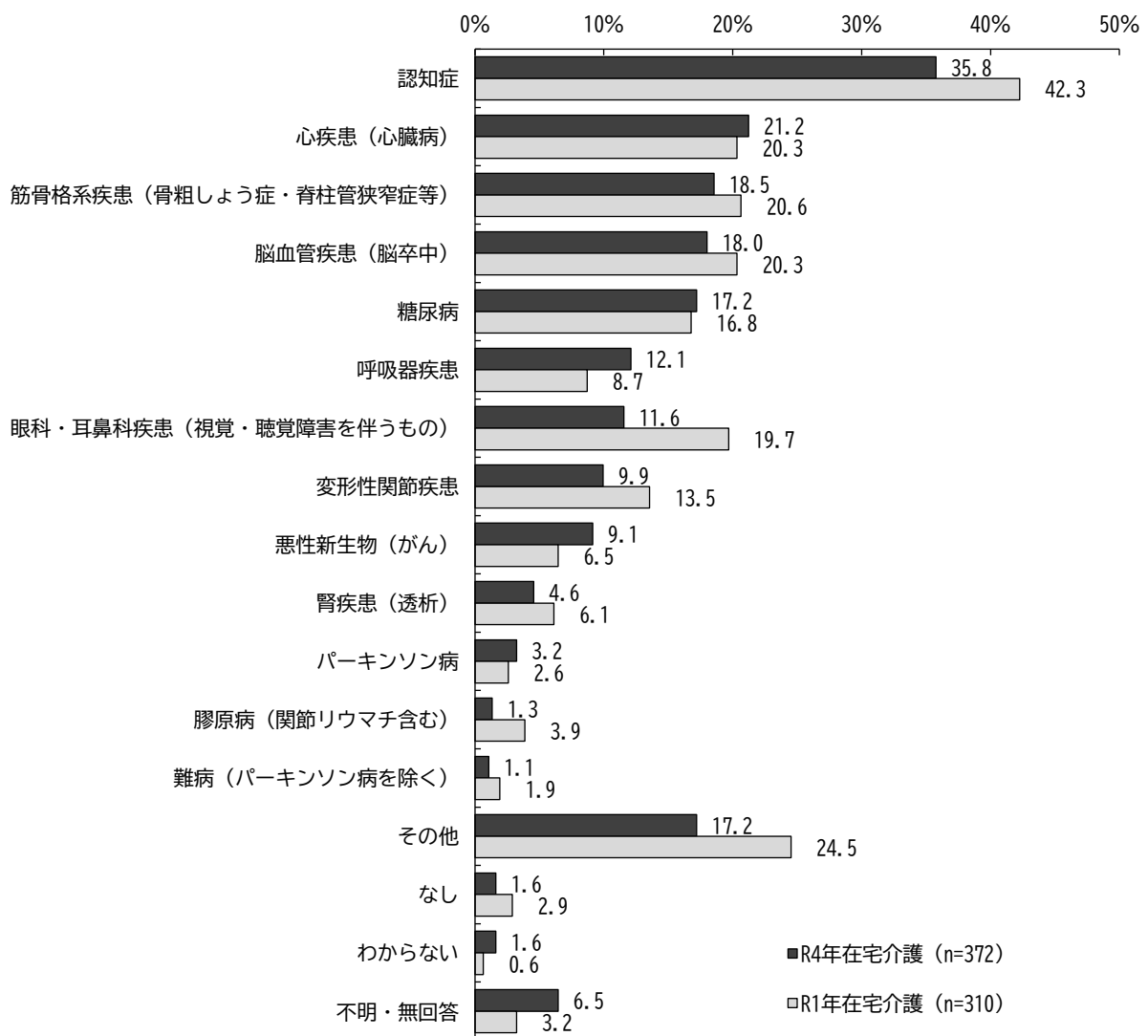
◆要介護度別にみた施設等への入所・入居の検討状況

単位：％

	入所・入居は検討していない	入所・入居を検討している	すでに入所・入居申し込みをしている	不明・無回答
要支援1・2 (n=51)	76.5	9.8	2.0	11.8
要介護1 (n=109)	69.7	17.4	6.4	6.4
要介護2 (n=98)	57.1	25.5	11.2	6.1
要介護3～5 (n=99)	48.5	18.2	22.2	11.1

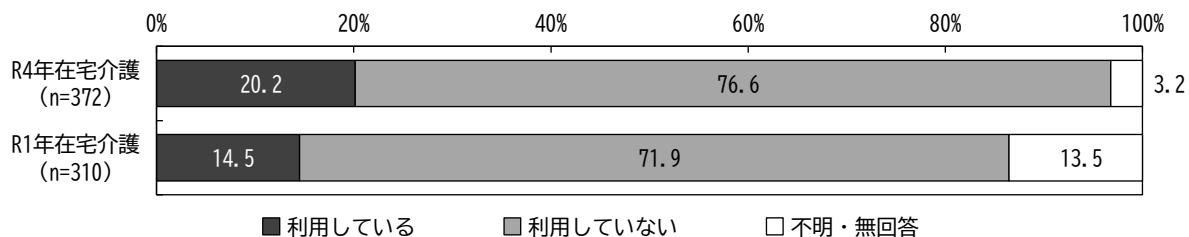
問11 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください
【複数回答】

「認知症」が35.8%で最も多く、次いで「心疾患（心臓病）」が21.2%、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症・脊柱管狭窄症等）」が18.5%となっています。



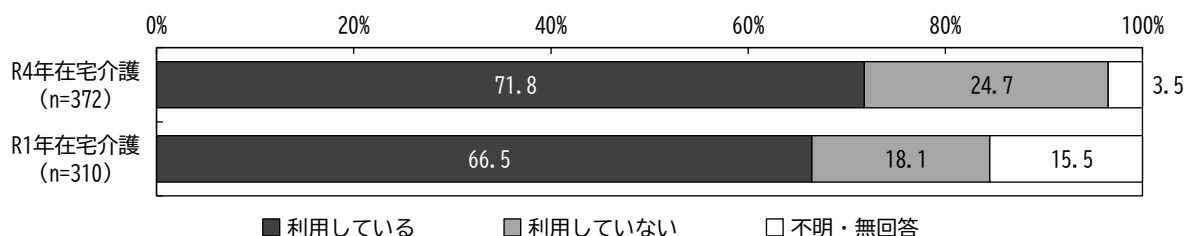
問 12 ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか

「利用している」が20.2%となっています。前回調査と比べると「利用している」がやや増加しています。



問 13 現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用していますか

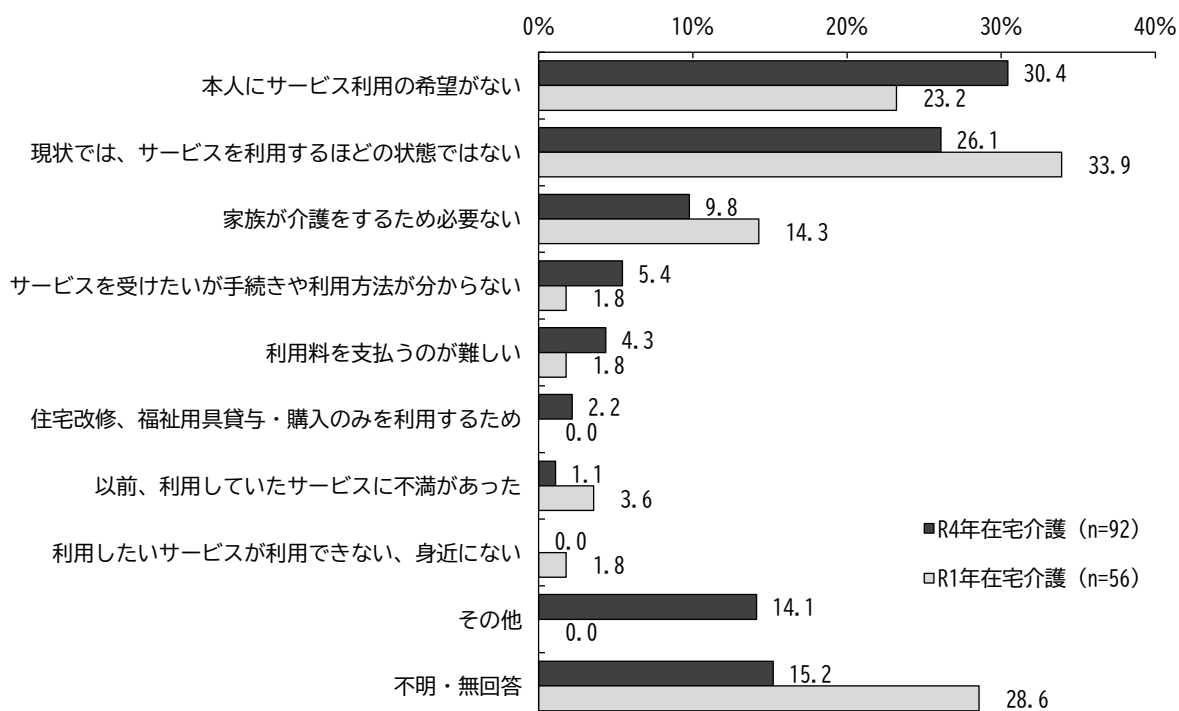
「利用している」が71.8%となっています。



【問 13 で「利用していない」と回答した人のみ】

問 14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか【複数回答】

「本人にサービス利用の希望がない」が30.4%で最も多く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が26.1%となっています。



◆介護保険サービスの利用状況

アンケート回答者の認定データから、介護保険サービスの利用状況を確認しました。最も利用が多かったのは「通所介護（デイサービス）」で、全体の47.8%が利用しています。次いで「訪問介護（ホームヘルプサービス）」は29.1%が利用しています。

単位：%

n=372	14回以下	15回以上	利用なし	データなし
訪問介護（ホームヘルプサービス）	14.0	15.1	68.0	3.0
訪問入浴介護	2.4	0.0	94.6	3.0
訪問看護	17.7	1.1	78.2	3.0
訪問リハビリテーション	6.7	0.0	90.3	3.0
居宅療養管理指導	4.8	0.0	92.2	3.0
通所介護（デイサービス）	33.6	14.2	49.2	3.0
通所リハビリテーション	8.6	0.5	87.9	3.0
短期入所生活介護（ショートステイ）	5.4	0.5	91.1	3.0
短期入所療養介護	0.3	0.0	96.8	3.0
小規模多機能型居宅介護	0.0	1.3	95.7	3.0
看護小規模多機能型居宅介護	0.0	0.5	96.5	3.0

◆要介護度別にみた利用状況

要介護度別に利用の有無を集計しました。「訪問介護（ホームヘルプサービス）」「訪問看護」については、要介護1、2より要介護3～5の方が利用率が高くなっています。一方で、「通所介護（デイサービス）」「通所リハビリテーション」は、要介護度による利用率の差があまりみられないサービスとなっています。

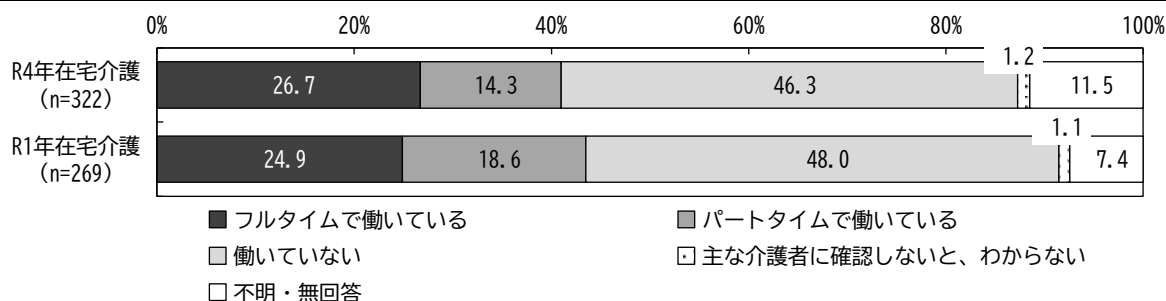
単位：%

	要介護1 (n=109)	要介護2 (n=98)	要介護3～5 (n=99)
訪問介護（ホームヘルプサービス）	25.7	28.6	44.4
訪問入浴介護	0.0	0.0	9.1
訪問看護	17.4	13.3	33.3
訪問リハビリテーション	2.8	10.2	10.1
居宅療養管理指導	4.6	2.0	10.1
通所介護（デイサービス）	51.4	57.1	54.5
通所リハビリテーション	9.2	11.2	11.1
短期入所生活介護（ショートステイ）	1.8	7.1	13.1
小規模多機能型居宅介護	0.9	2.0	2.0
看護小規模多機能型居宅介護	0.0	2.0	0.0

B票 主な介護者について

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください

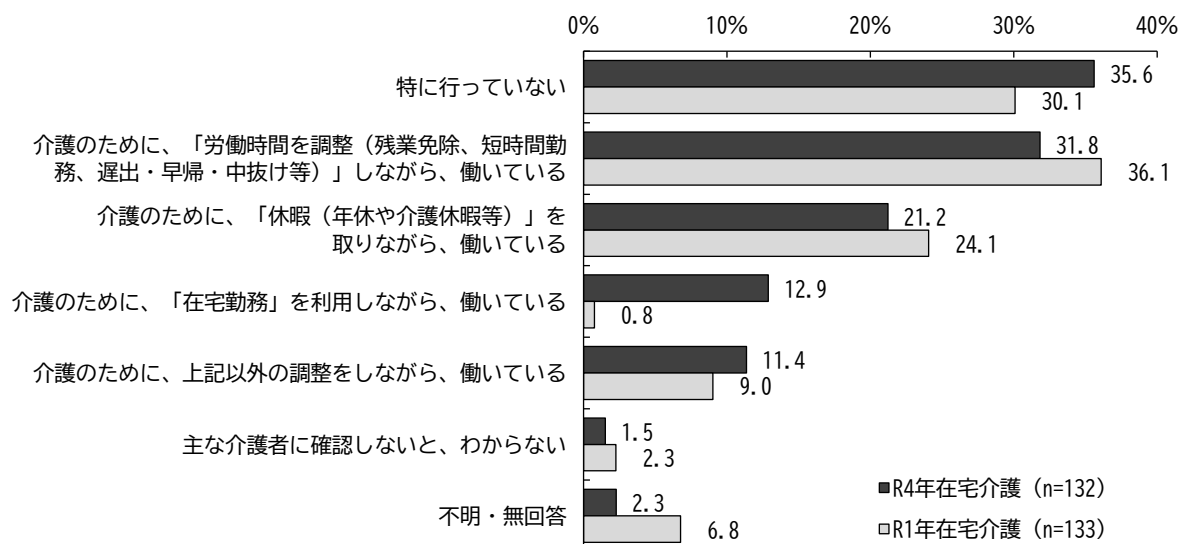
「働いていない」が46.3%で最も多く、次いで「フルタイムで働いている」が26.7%となっています。



【問1で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した人のみ】

問2 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていすか【複数回答】

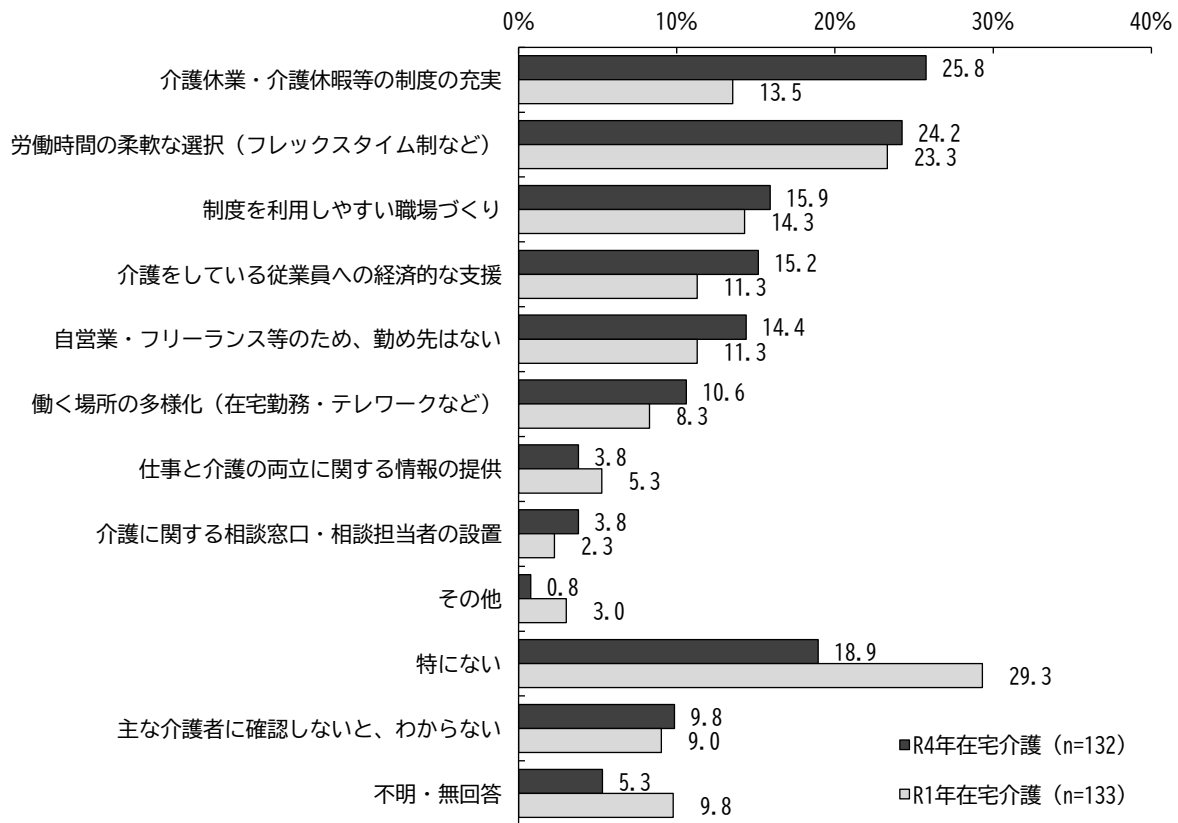
「特に行っていない」が35.6%で最も多くなっています。次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が31.8%となっています。前回調査と比べると、「介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている」が増加しています。



【問1で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した人のみ】

問3 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか【3つまで複数回答】

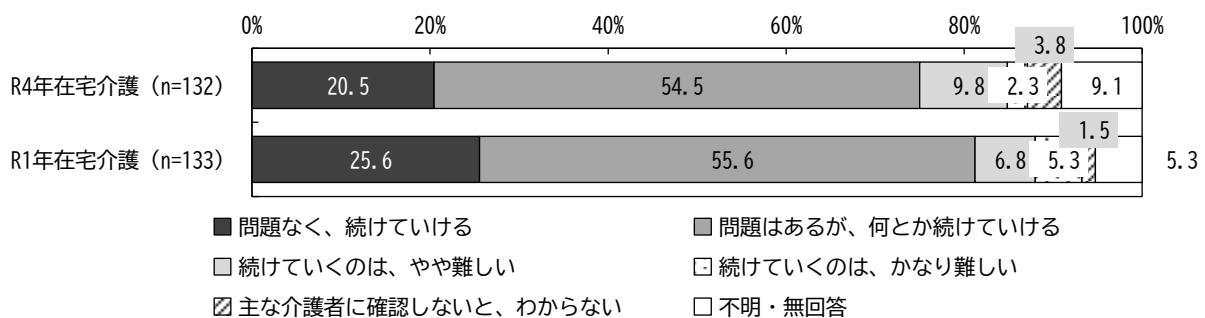
「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が25.8%で最も多く、次いで「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が24.2%となっています。前回調査と比べると、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が増加し、「特にない」が減少しています。



【問1で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した人のみ】

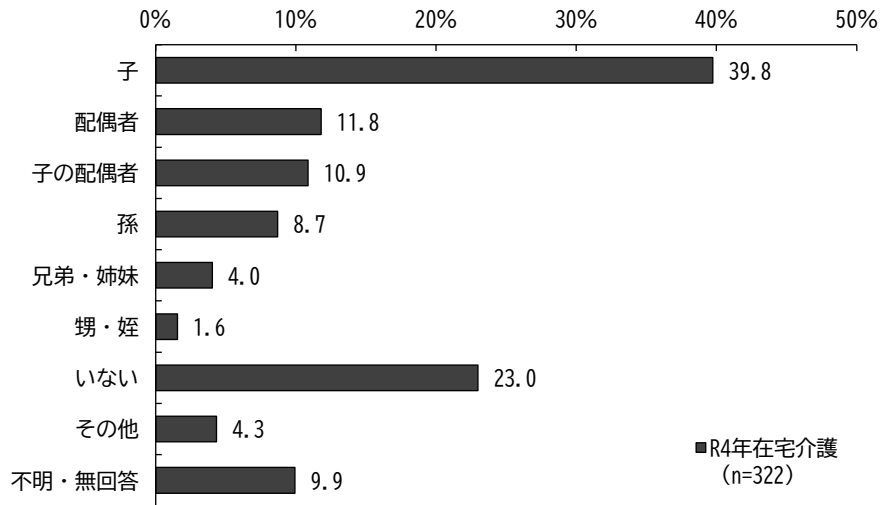
問4 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか

「問題なく、続けていける」が20.5%、「問題はあるが、何とか続けていける」54.5%と合計すると、75.0%が続けていけると回答しています。「続けていくのは、やや難しい」9.8%と「続けていくのは、かなり難しい」2.3%の合計は、12.1%となっています。



問5 主な介護者以外の介護者について、ご回答ください

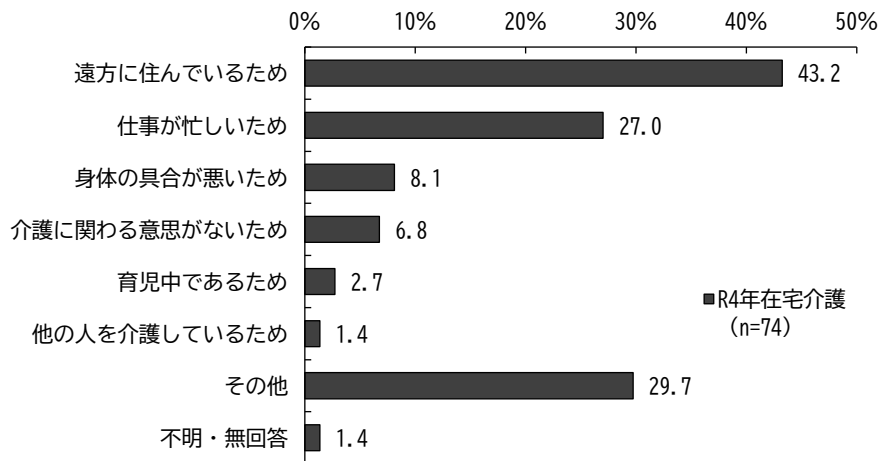
「子」が39.8%で最も多く、次いで「いない」が23.0%となっています。



【問5で「いない」と回答した人のみ】

問6 主な介護者以外に介護者がいない場合、その理由はどれですか【複数回答】

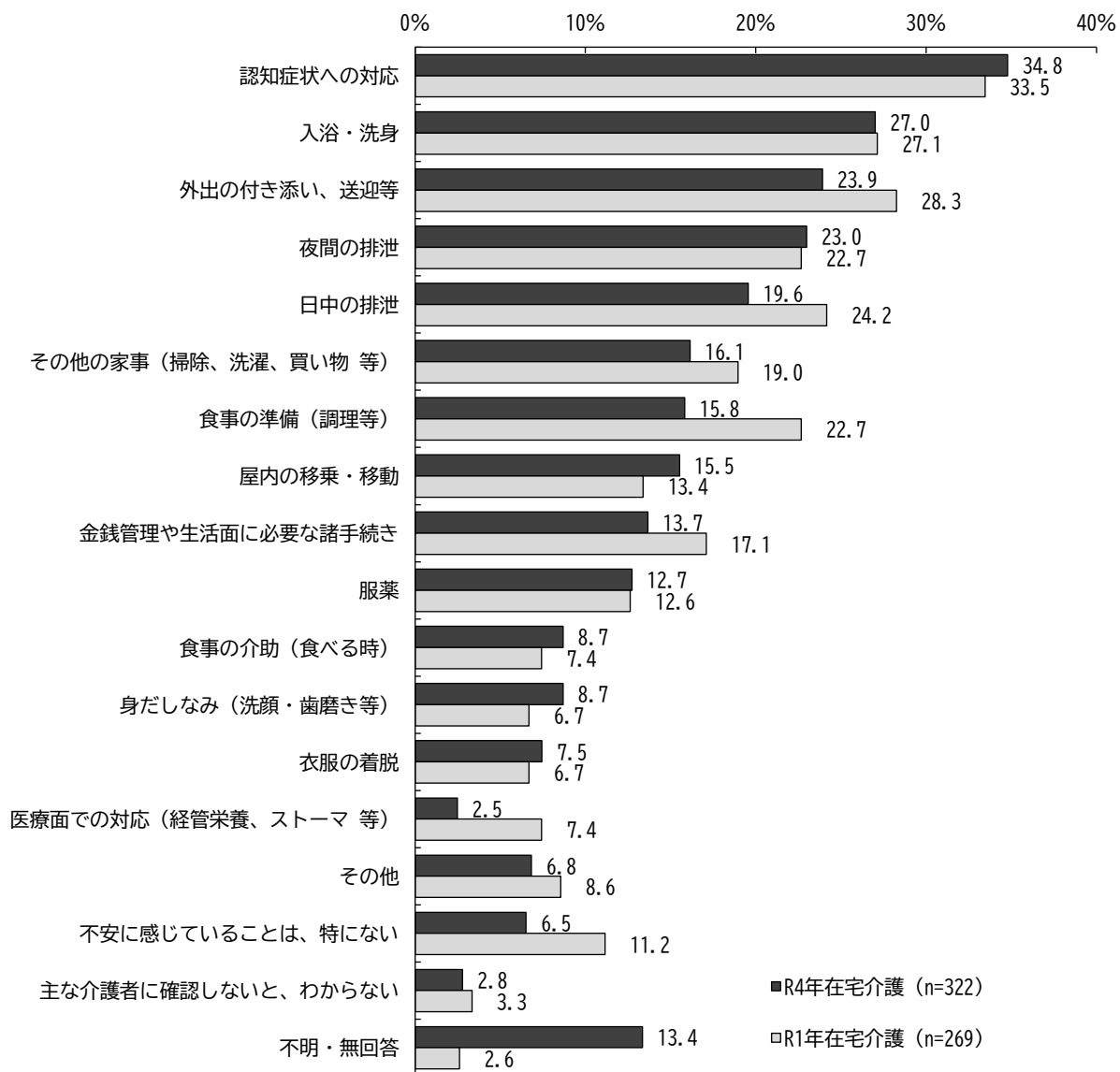
「遠方に住んでいるため」が43.2%で最も多く、次いで「仕事が忙しいため」が27.0%となっています。



問7 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください(現状で行っているか否かは問いません)【3つまで複数回答】

「認知症状への対応」が34.8%で最も多く、次いで「入浴・洗身」27.0%、「外出の付き添い、送迎等」23.9%、「夜間の排泄」23.0%の順で多くなっています。

要介護度別にみると、要介護度が上がるほど「日中の排泄」「夜間の排泄」が増加し、「外出の付き添い、送迎等」「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が減少しています。



◆要介護度別にみた主な介護者が不安に感じる介護等

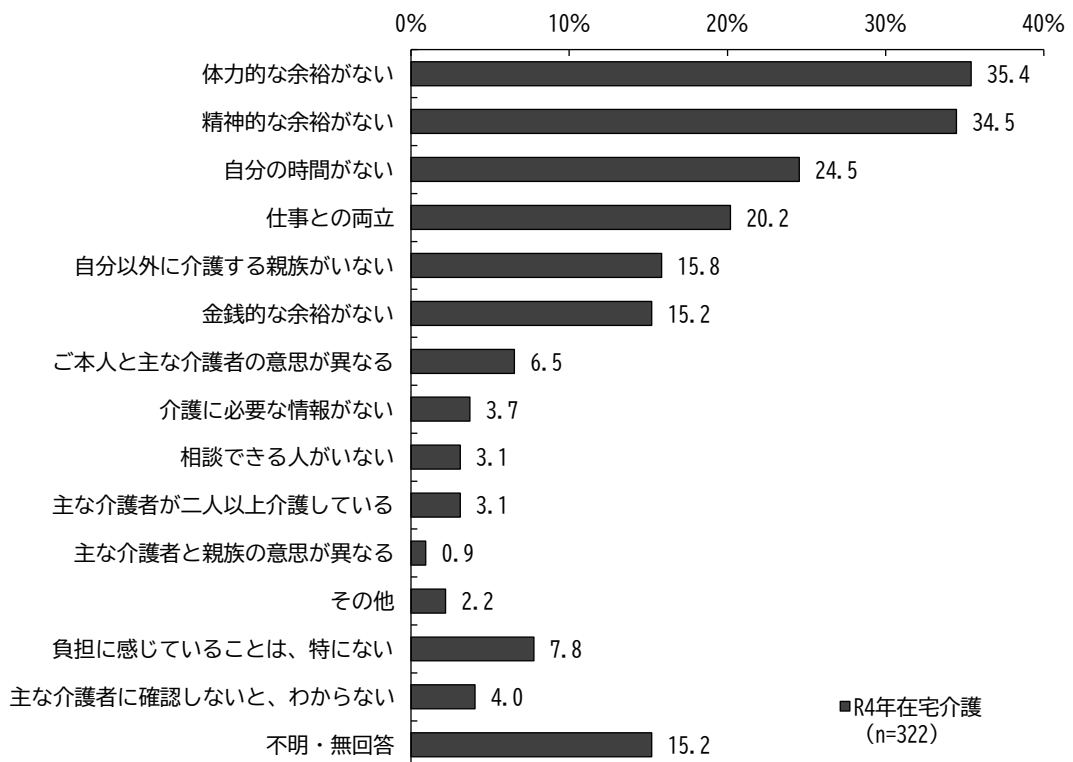
単位：%

	認知症状への対応	入浴・洗身	外出の付き添い、送迎等	夜間の排泄	日中の排泄	その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	食事の準備（調理等）	屋内の移乗・移動	金銭管理や生活面に必要な諸手続き
要支援1・2 (n=45)	15.6	22.2	31.1	17.8	8.9	22.2	17.8	11.1	20.0
要介護1 (n=96)	35.4	27.1	24.0	11.5	9.4	17.7	16.7	13.5	12.5
要介護2 (n=93)	40.9	37.6	23.7	31.2	21.5	16.1	20.4	16.1	16.1
要介護3～5 (n=76)	36.8	15.8	21.1	31.6	36.8	10.5	9.2	18.4	7.9

	服薬	食事の介助（食べる時）	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	その他	不安に感じていることは、特にない	主な介護者に確認しないと、わからない	不明・無回答
要支援1・2 (n=45)	6.7	2.2	2.2	4.4	8.9	6.7	2.2	6.7	15.6
要介護1 (n=96)	16.7	6.3	4.2	5.2	1.0	7.3	9.4	3.1	10.4
要介護2 (n=93)	17.2	6.5	16.1	8.6	0.0	7.5	5.4	1.1	12.9
要介護3～5 (n=76)	6.6	18.4	9.2	10.5	2.6	6.6	6.6	1.3	17.1

問8 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が負担に感じることについて、ご回答ください【3つまで複数回答】

「体力的な余裕がない」が35.4%で最も多く、次いで「精神的な余裕がない」が34.5%となっています。



◆要介護度別にみた介護者が負担に感じること

要介護度別にみると、「精神的な余裕がない」「体力的な余裕がない」「自分の時間がない」は要介護度が上がるほど多くなっています。

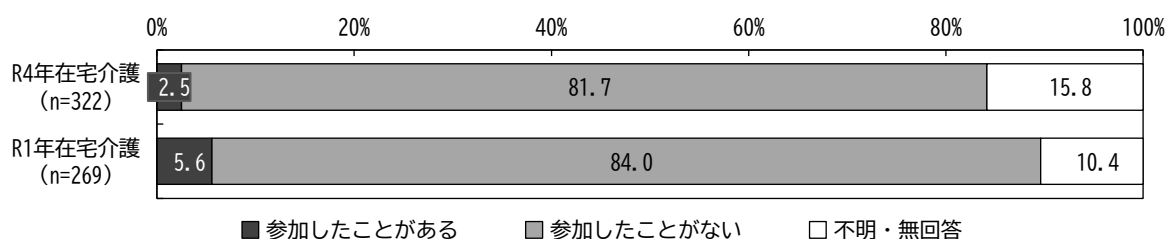
単位：%

	体力的な余裕がない	精神的な余裕がない	自分の時間がない	仕事との両立	自分以外に介護する親族がない	金銭的な余裕がない	ご本人と主な介護者の意思が異なる	介護に必要な情報がない	相談できる人がいない
要支援1・2 (n=45)	22.2	28.9	15.6	11.1	13.3	17.8	4.4	4.4	4.4
要介護1 (n=96)	29.2	30.2	17.7	25.0	13.5	6.3	7.3	7.3	4.2
要介護2 (n=93)	33.3	36.6	25.8	24.7	16.1	18.3	11.8	2.2	2.2
要介護3～5 (n=76)	55.3	42.1	35.5	17.1	18.4	22.4	0.0	1.3	2.6

	主な介護者が二人以上介護している	主な介護者と親族の意思が異なる	その他	負担に感じていることは、特にない	主な介護者に確認しないと、わからない	不明・無回答
要支援1・2 (n=45)	2.2	0.0	2.2	15.6	8.9	17.8
要介護1 (n=96)	1.0	1.0	3.1	9.4	6.3	13.5
要介護2 (n=93)	7.5	2.2	0.0	2.2	0.0	15.1
要介護3～5 (n=76)	0.0	0.0	2.6	5.3	2.6	17.1

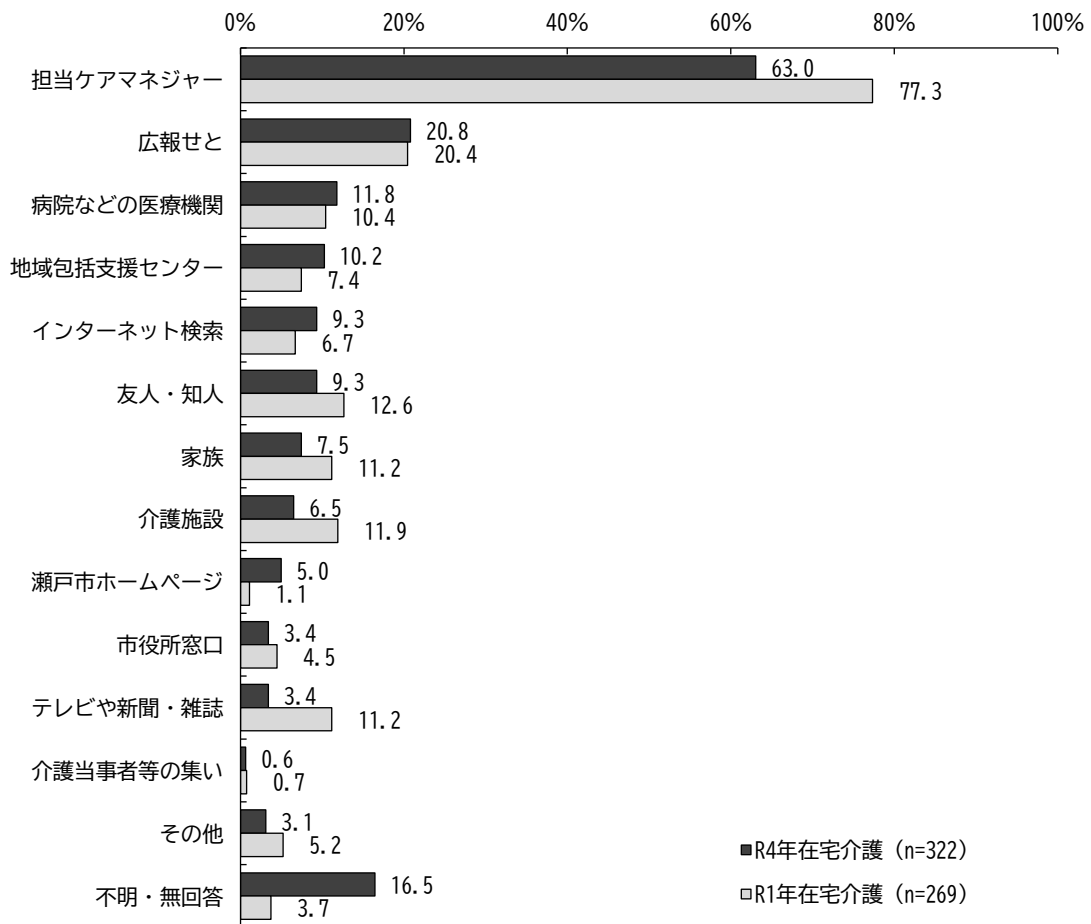
問9 介護当事者等の集いについて、主な介護者の方は参加したことがありますか

「参加したことがある」が2.5%となっています。前回調査と比べると、「参加したことがある」が減少しています。



問10 介護に関する情報の入手先について、ご回答ください【3つまで複数回答】

「担当ケアマネジャー」が63.0%で最も多くなっています。



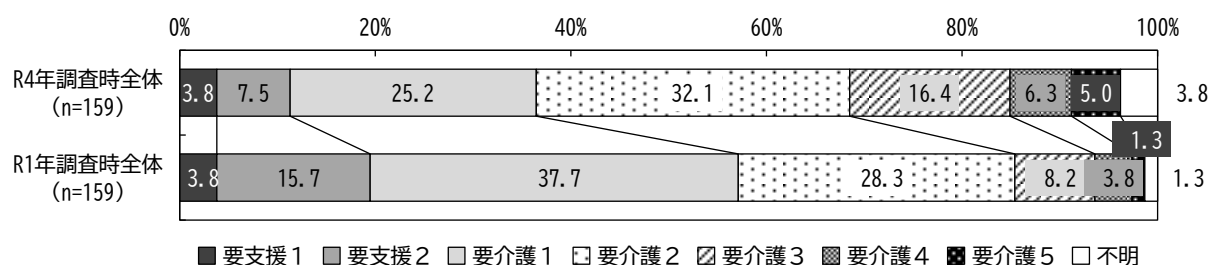
IV 第8期経過介護実態調査の結果

1 分析の視点

本調査は、第8期介護保険事業計画策定にご協力いただいた方の、3年後在宅介護生活の実態を把握し、要介護等の状況の変化と生活や支援の状況との関わりを検討するための基礎資料を得ることを目的としています。なお、本調査は「居所変更実態調査」および「在宅生活改善調査」を踏まえて実施しました。

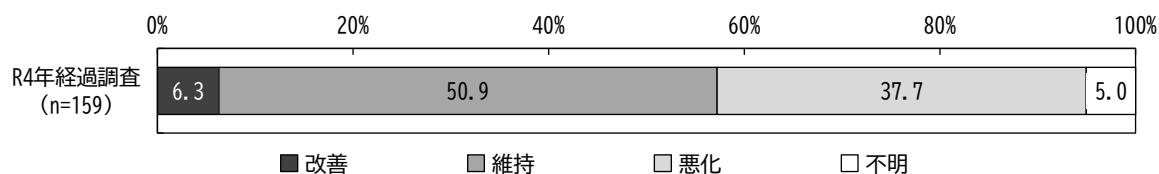
(1) 前回調査時と本調査における要介護度の変化

前回調査時点では「要介護1」が37.7%で最も多くなっていましたが、本調査時点では「要介護2」が32.1%で最も多くなっています。また、全体的に要介護度が重くなっています。



(2) 要介護度変化の内訳

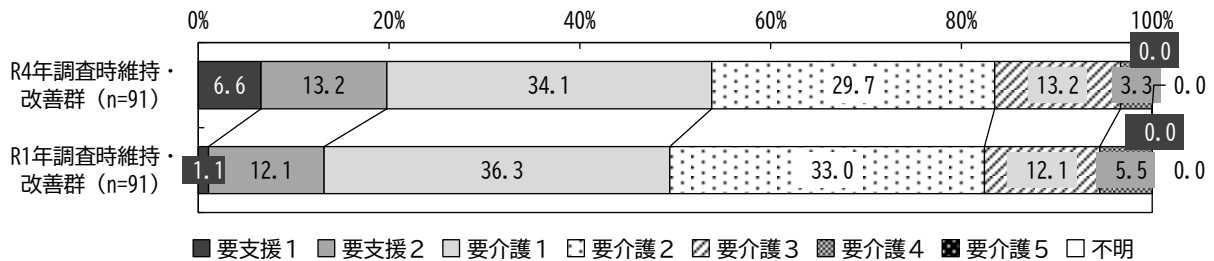
要介護度の変化の内訳をみると、前回調査時点より要介護度が改善している人が6.3%、同じ人が50.9%、悪化している人が37.7%となっています。なお、前回調査時点と本調査時点でいずれも要介護5となっている人については、「維持」と評価するのは問題があるため、「不明」に含めています。



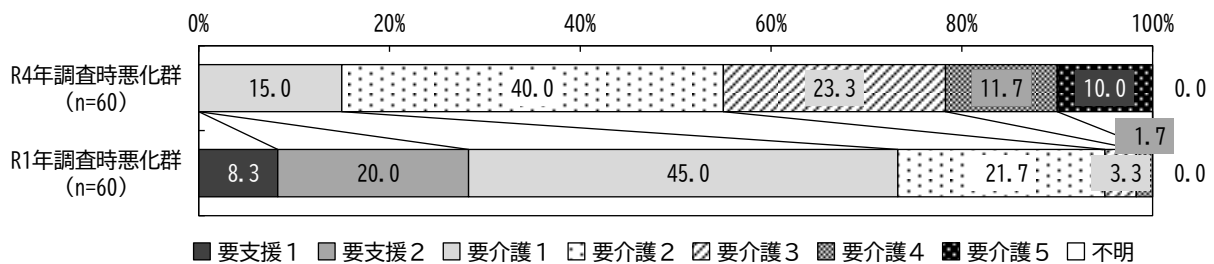
(3) 本調査の分析の視点

前回調査時点からの要介護度の変化について、「改善」「維持」であった人を「維持・改善群」、「悪化」であった人を「悪化群」とし、この両者を比較することで、要介護度の変化に関わる生活や介護の状況を確認めます。維持・改善群と悪化群の要介護度の変化は以下のとおりです。

◆維持・改善群



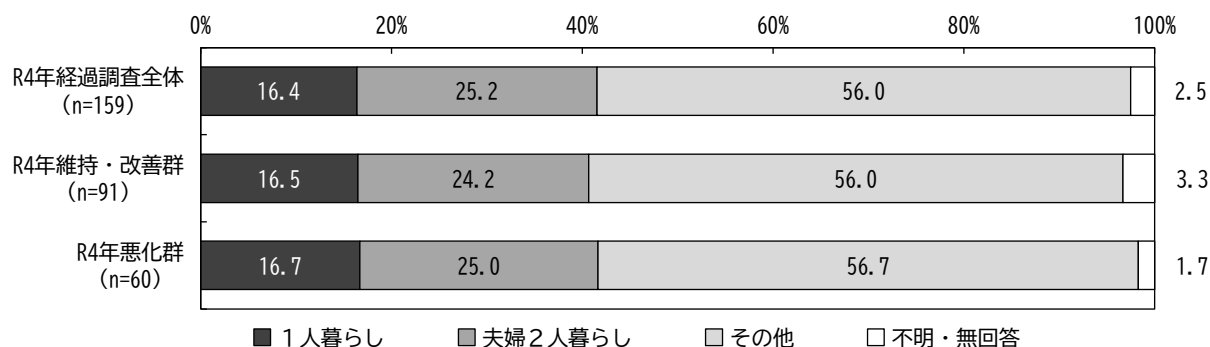
◆悪化群



2 要介護者本人の状況について

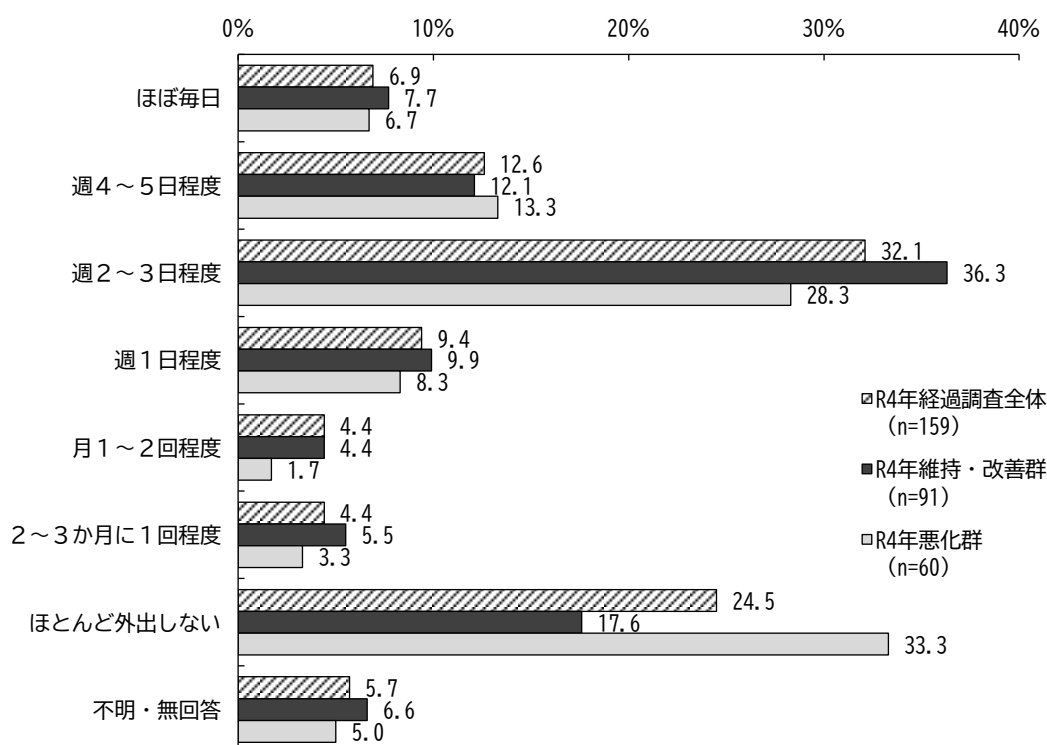
問1 家族構成を教えてください。

「その他」が56.0%で最も多く、次いで「夫婦2人暮らし」が25.2%となっています。要介護度の変化との関連はみられません。



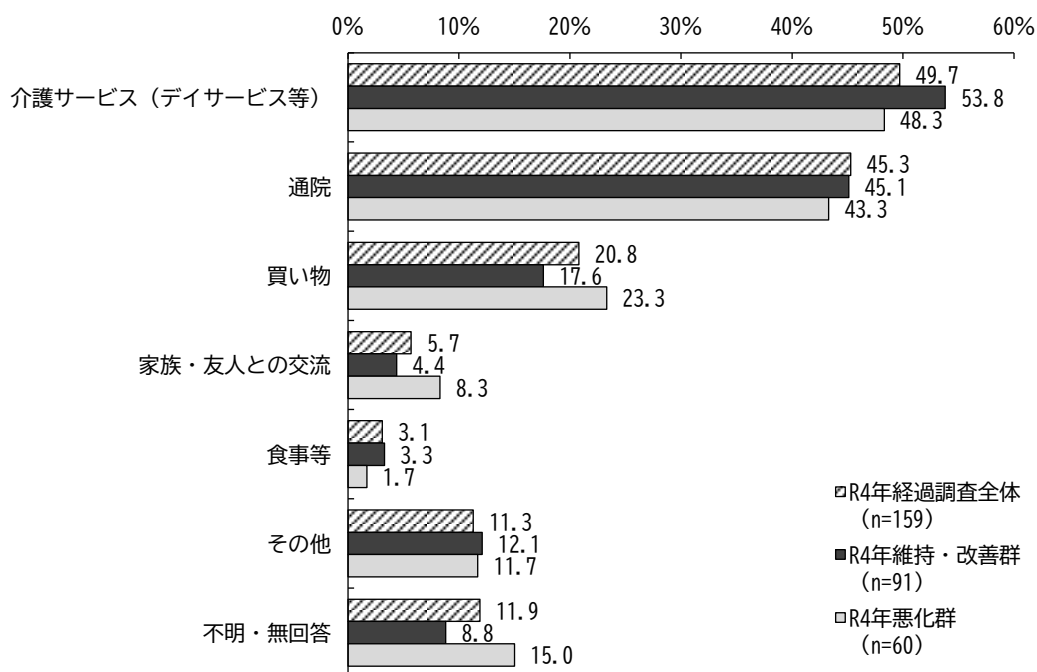
問2 ご本人の外出頻度はどのくらいですか。

全体では「週2～3日程度」が32.1%で最も多く、次いで「ほとんど外出しない」が24.5%となっています。維持・改善群は悪化群に比べて、「ほとんど外出しない」が少なく、「週2～3日程度」が多くなっています。



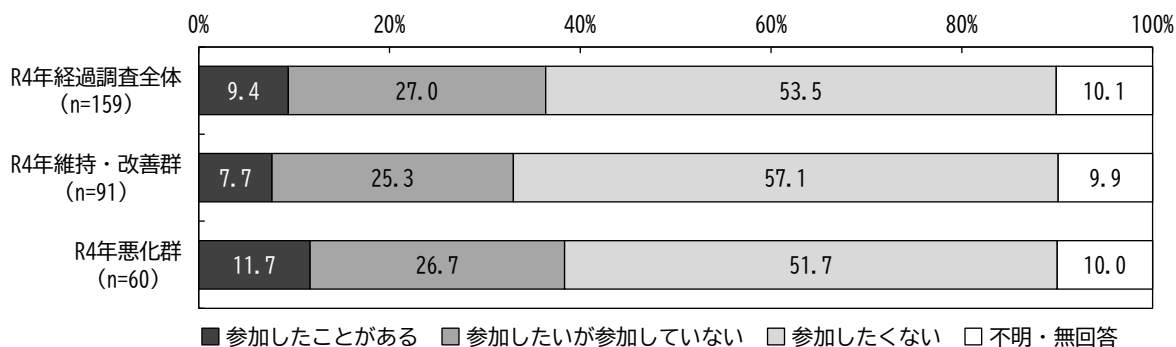
問3 外出の目的は何ですか。【2つまで複数回答】

「介護サービス（デイサービス等）」が最も多く、次いで「通院」が多くなっています。



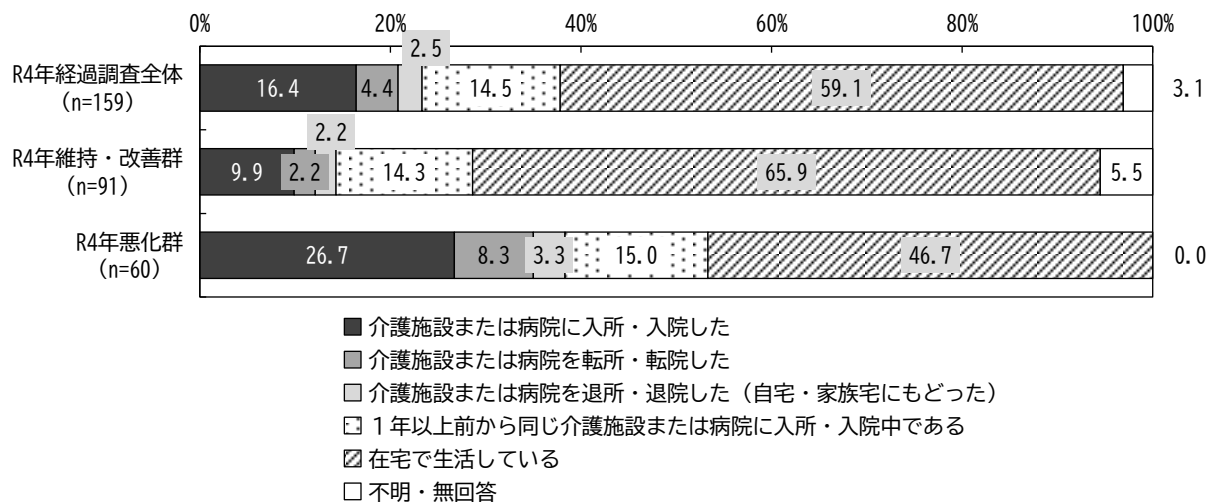
問4 介護当事者等の集いに参加したことがありますか。

全体では「参加したくない」が53.5%で最も多くなっています。「参加したことがある」は9.4%となっています。



問5 ご本人は、過去1年間に介護施設等の入退所または病院の入退院等をしていますか。

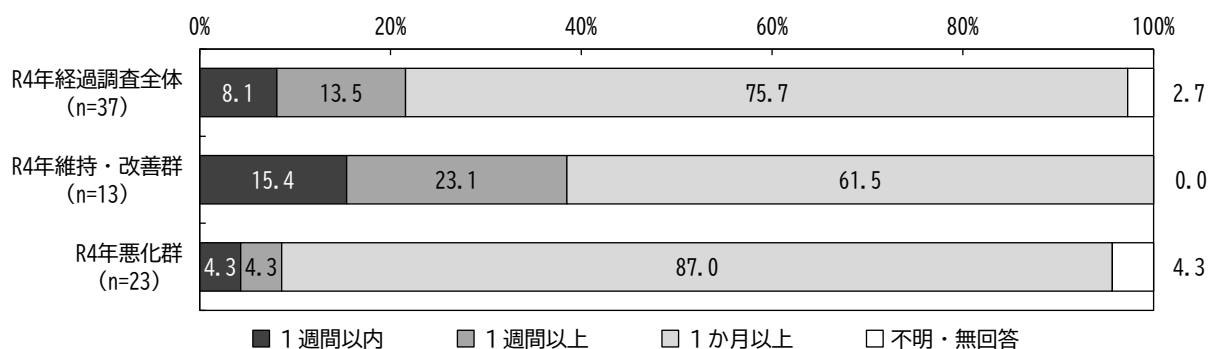
全体では「在宅で生活している」が59.1%で最も多く、次いで「介護施設または病院に入所・入院した」が16.4%となっています。維持・改善群では悪化群に比べて、「在宅で生活している」が多く、「介護施設または病院に入所・入院した」「介護施設または病院を転所・転院した」が少なくなっています。



【問5において「介護施設または病院に入所・入院した」「介護施設または病院を転所・転院した」「介護施設または病院を退所・退院した（自宅・家族宅にもどった）」と回答した人のみ】

問6 どれだけの期間介護施設等または病院に入所・入院していますか（いましたか）。

全体では「1か月以上」が75.7%で最も多くなっています。維持・改善群では悪化群と比べて「1週間以内」または「1週間以上」が多く、入所・入院をしても比較的短期間となっていることがうかがえます。



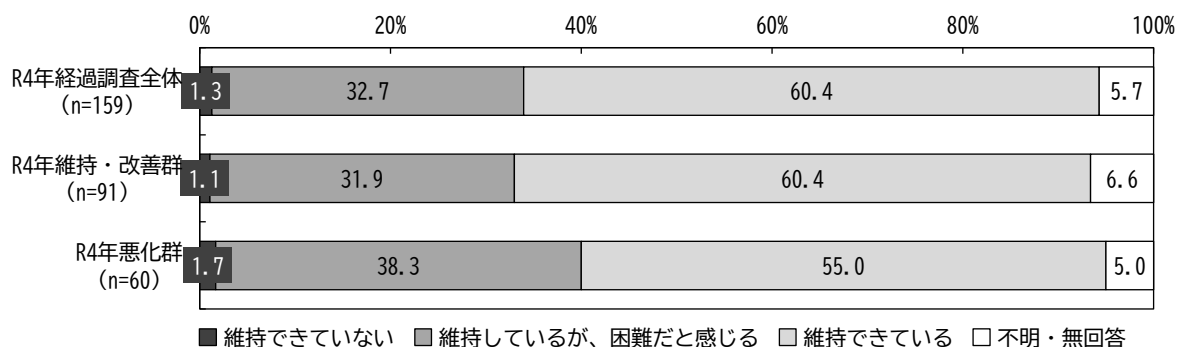
【問5において「介護施設または病院に入所・入院した」「介護施設または病院を転所・転院した」「介護施設または病院を退所・退院した（自宅・家族宅にもどった）」と回答した人のみ】

問7 どの介護施設等または病院に入所・入院していますか（いましたか）。

具体的な施設・病院名が回答されているため、結果の集計を省いています。

問8 現在のサービス利用で、生活を維持できていますか。

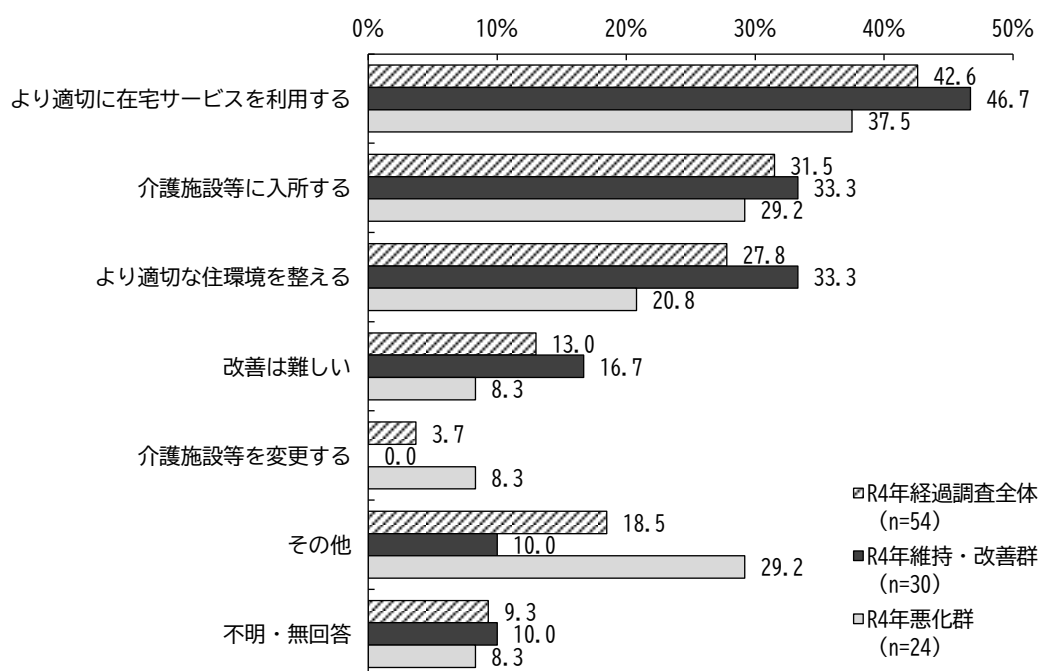
全体では「維持できている」が60.4%、「維持しているが、困難だと感じる」が32.7%となっています。



【問8において「維持できていない」「維持しているが、困難だと感じる」と回答した人のみ】

問9 現在の状況を改善するためにどのようなサービスが必要ですか。【複数回答】

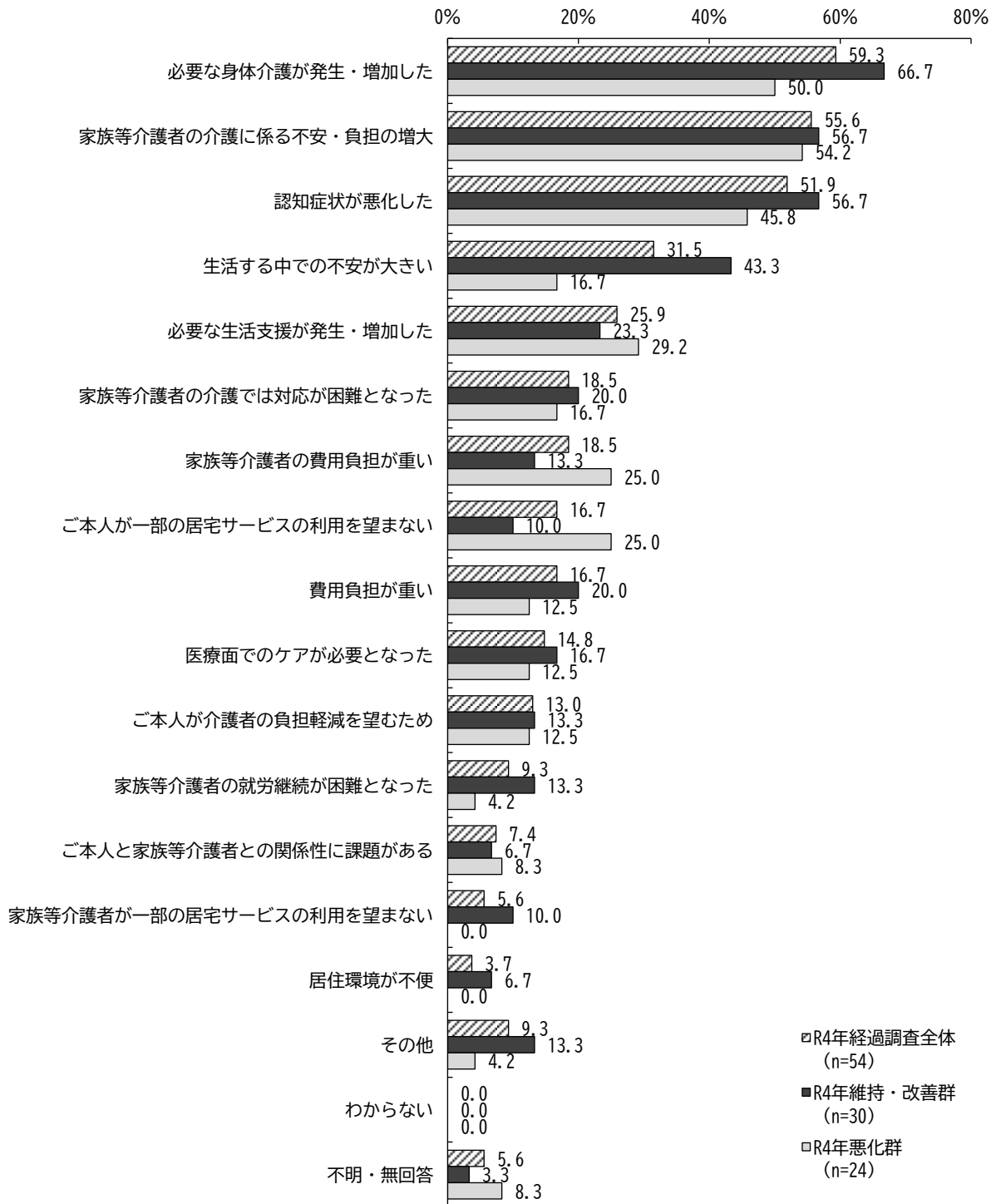
「より適切に在宅サービスを利用する」が最も多く、次いで「介護施設等に入所する」が多くなっています。維持・改善群では、悪化群と比べて「より適切な住環境を整える」が多くなっています。



【問8において「維持できていない」「維持しているが、困難だと感じる」と回答した人のみ】

問10 生活の維持が難しくなっている理由はどれですか。

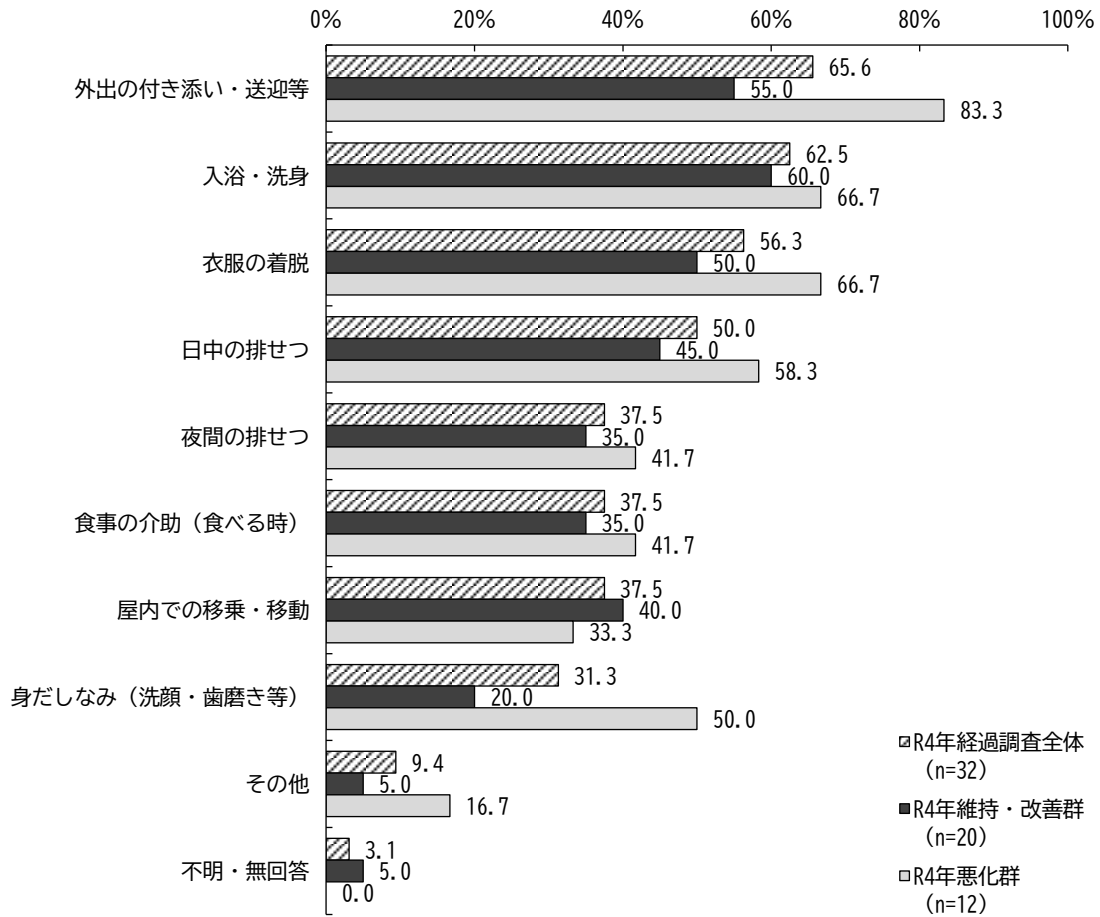
全体では、「必要な身体介護が発生・増加した」が59.3%で最も多く、次いで「家族等介護者の介護に係る不安・負担の増大」(55.6%)、「認知症状が悪化した」(51.9%)が多くなっています。維持・改善群では、悪化群と比べて「必要な身体介護が発生・増加した」「生活する中での不安が大きいの」が多く、「家族等介護者の費用負担が重い」「ご本人が一部の居宅サービスの利用を望まない」が少なくなっています。



【問 10 において「必要な身体介護が発生・増加した」と回答した人のみ】

問 11 必要な身体介護はどれですか。【複数回答】

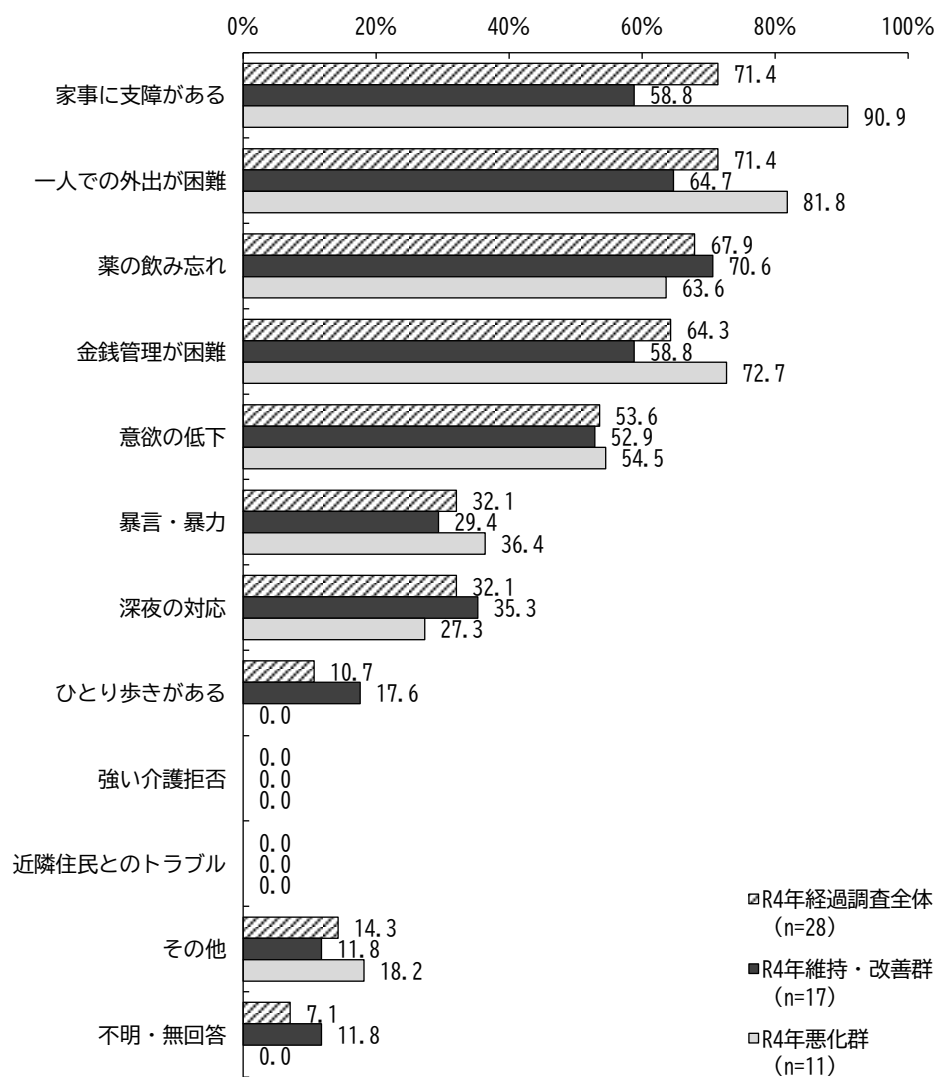
全体では「外出の付き添い・送迎等」が 65.6% で最も多く、次いで「入浴・洗身」(62.5%)、「衣服の着脱」(56.3%)、「日中の排せつ」(50.0%) の順で多くなっています。



【問 10 において「認知症状が悪化した」と回答した人のみ】

問 12 認知症状の悪化の具体的な症状をお答えください。【複数回答】

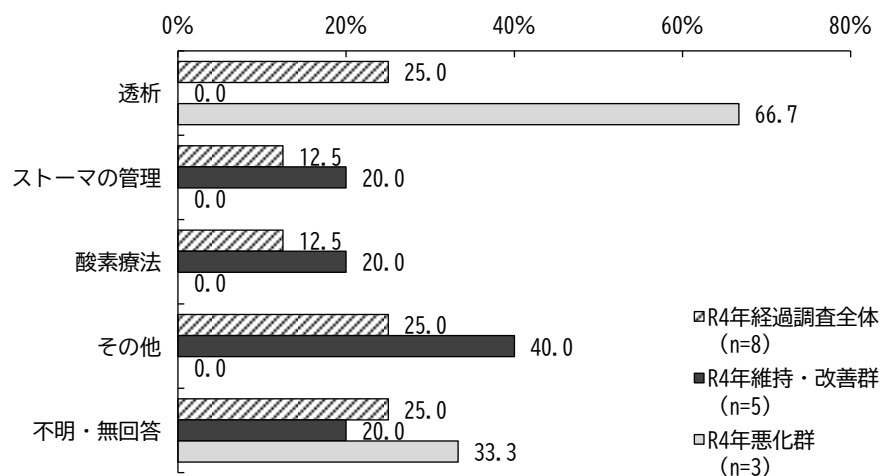
全体では「家事に支障がある」「一人での外出が困難」が71.4%で最も多くなっています。



【問 10 において「医療面でのケアが必要となった」と回答した人のみ】

問 13 理由となる具体的な「医療的ケア」「医療処置」をお答えください。【複数回答】

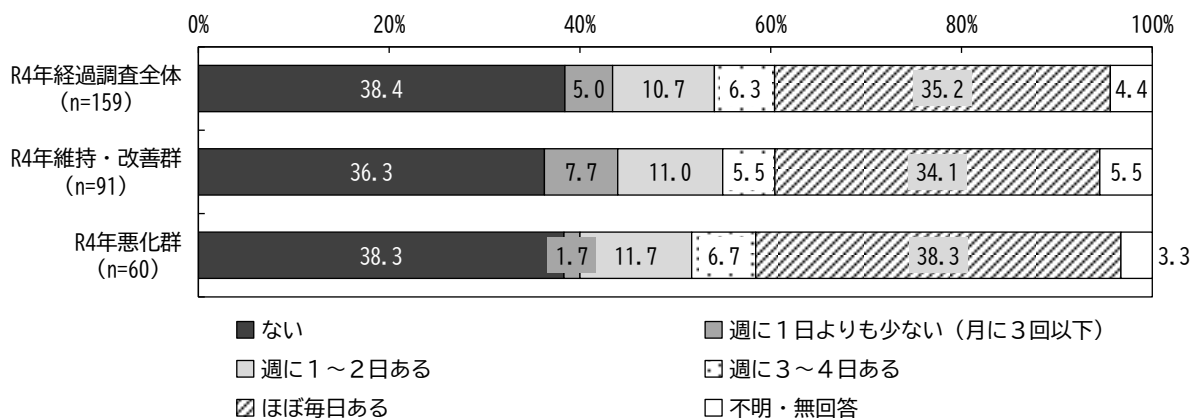
回答された件数が少なく、全体では「透析」が2件、「ストーマの管理」「酸素療法」がそれぞれ1件となっています。



問 14 家族や親族の方から介護してもらう日は、週にどれくらいありますか。

(同居していない子どもや親族の方等からの介護も含みます。)

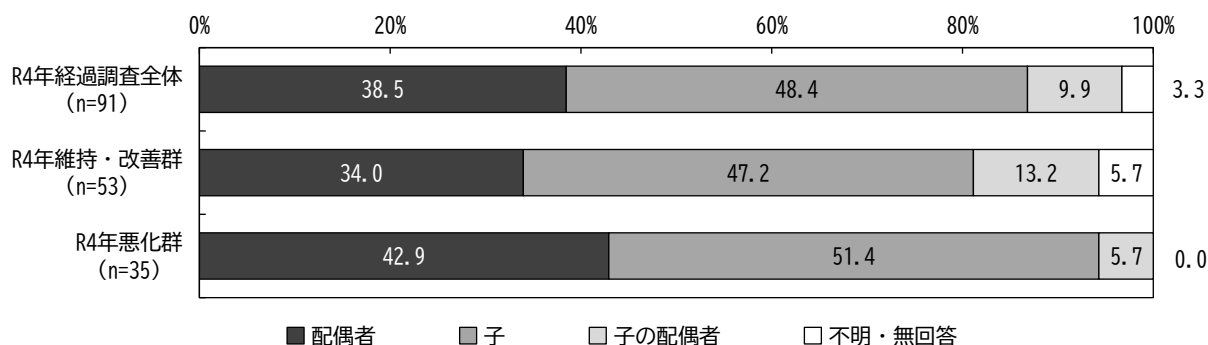
全体では「ない」が38.4%で最も多く、次いで「ほぼ毎日ある」が35.2%となっています。



3 主な介護者等の状況について

問 15 主な介護者の方は、ご本人から見てどなたになりますか。

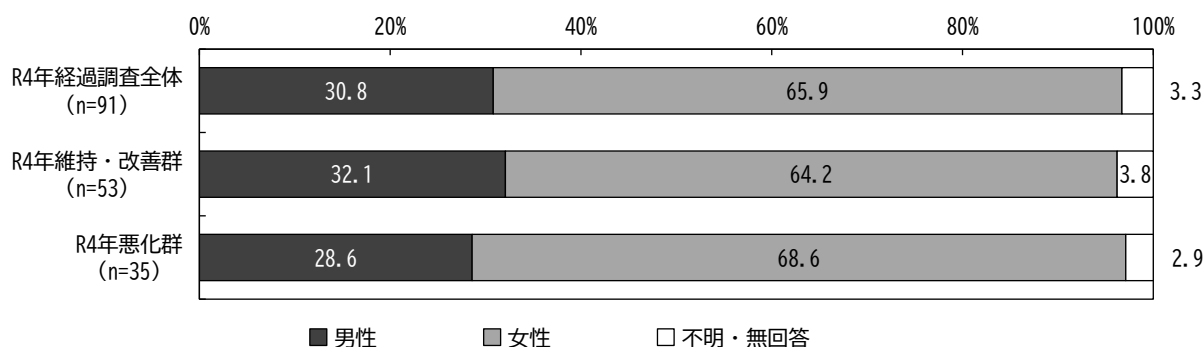
全体では「子」が48.4%で最も多く、次いで「配偶者」が38.5%となっています。維持・改善群では悪化群と比べて「配偶者」がやや少なくなっています。



※「孫」「兄弟・姉妹」「その他」は回答がなかったためグラフから省いています。

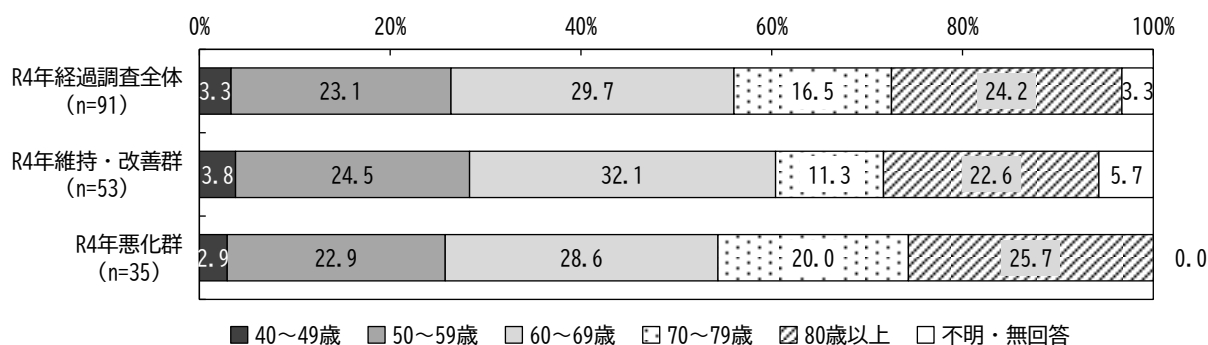
問 16 主な介護者の方の性別はどちらですか。

全体では「男性」が30.8%、「女性」が65.9%となっています。



問 17 主な介護者の方の年齢はどれに該当しますか。

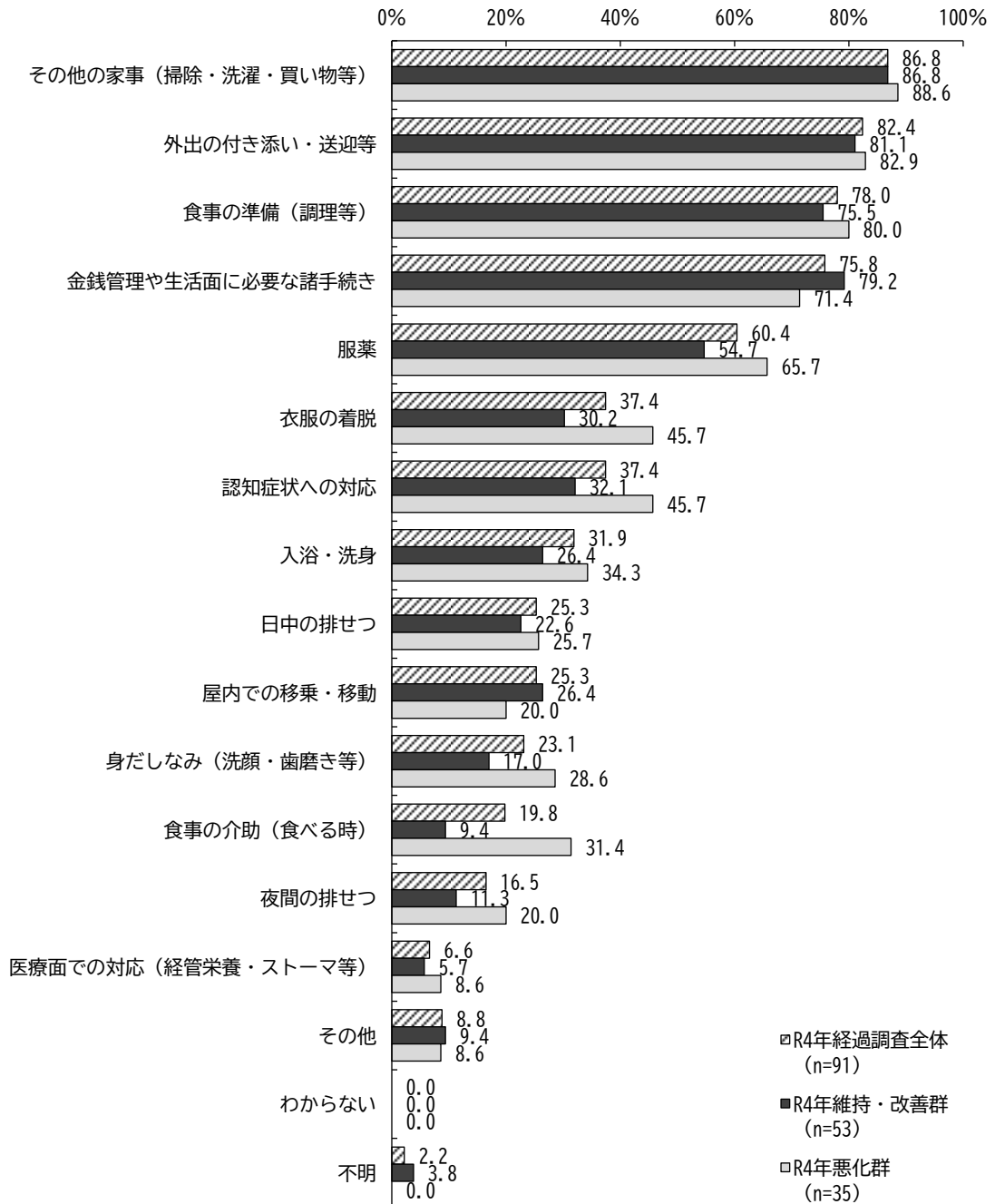
全体では「60～69歳」が29.7%で最も多く、次いで「80歳以上」が24.2%となっています。維持・改善群は悪化群に比べて70歳以上がやや少なくなっています。



※「20歳未満」「20～29歳」「30～39歳」「わからない」は回答がなかったためグラフから省いています。

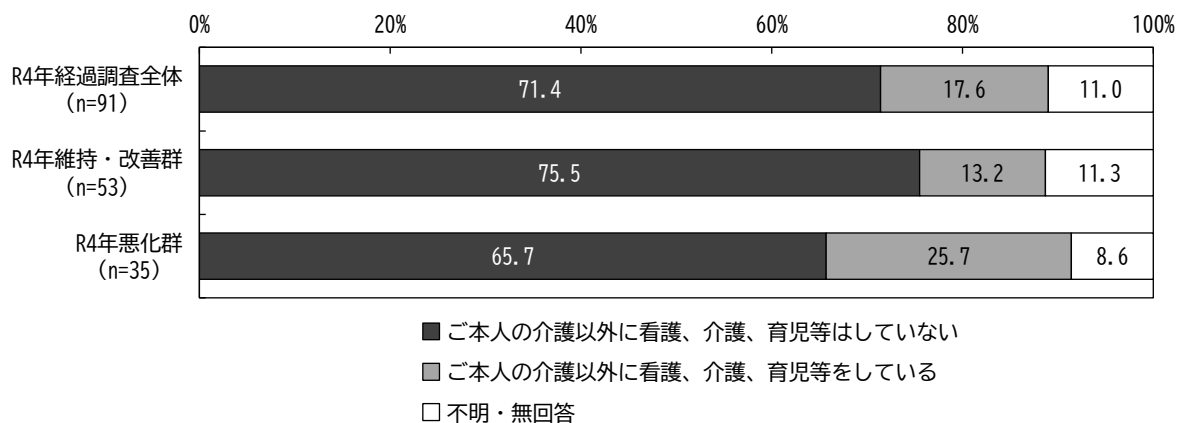
問 18 現在、主な介護者の方が行っている介護等はどれですか。【複数回答】

全体では「その他の家事（掃除・洗濯・買い物等）」が86.8%で最も多く、次いで「外出の付き添い・送迎等」（82.4%）、「食事の準備（調理等）」（78.0%）、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」（75.8%）の順で多くなっています。



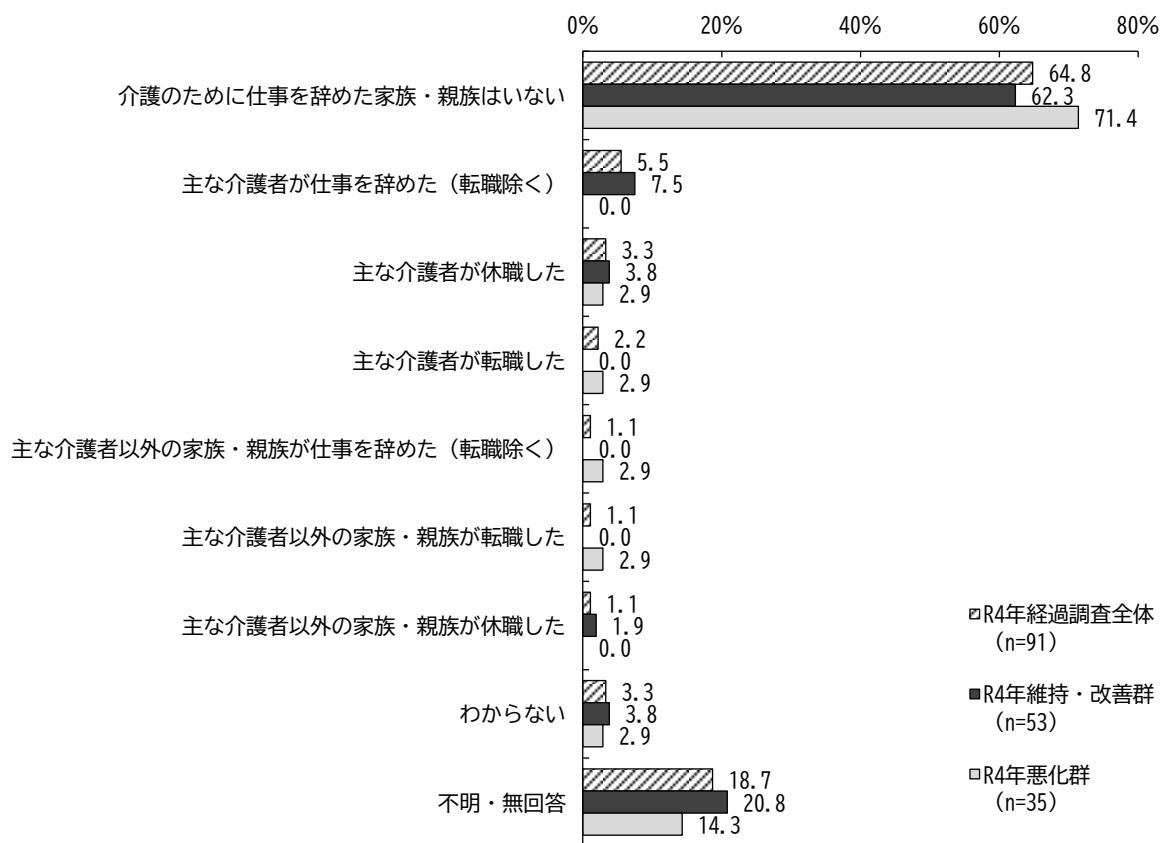
問 19 現在、主な介護者の方が、ご本人の介護以外に主として介護等を行っている人はいますか。

「ご本人の介護以外に看護、介護、育児等をしている」は全体では17.6%となっています。悪化群では維持・改善群の2倍近くが「ご本人の介護以外に看護、介護、育児等をしている」と回答しています。



問 20 ご家族や親族の方で、ご本人の介護のために、過去1年の間に仕事を辞めた方などはありますか。【複数回答】

「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が最も多くなっています。

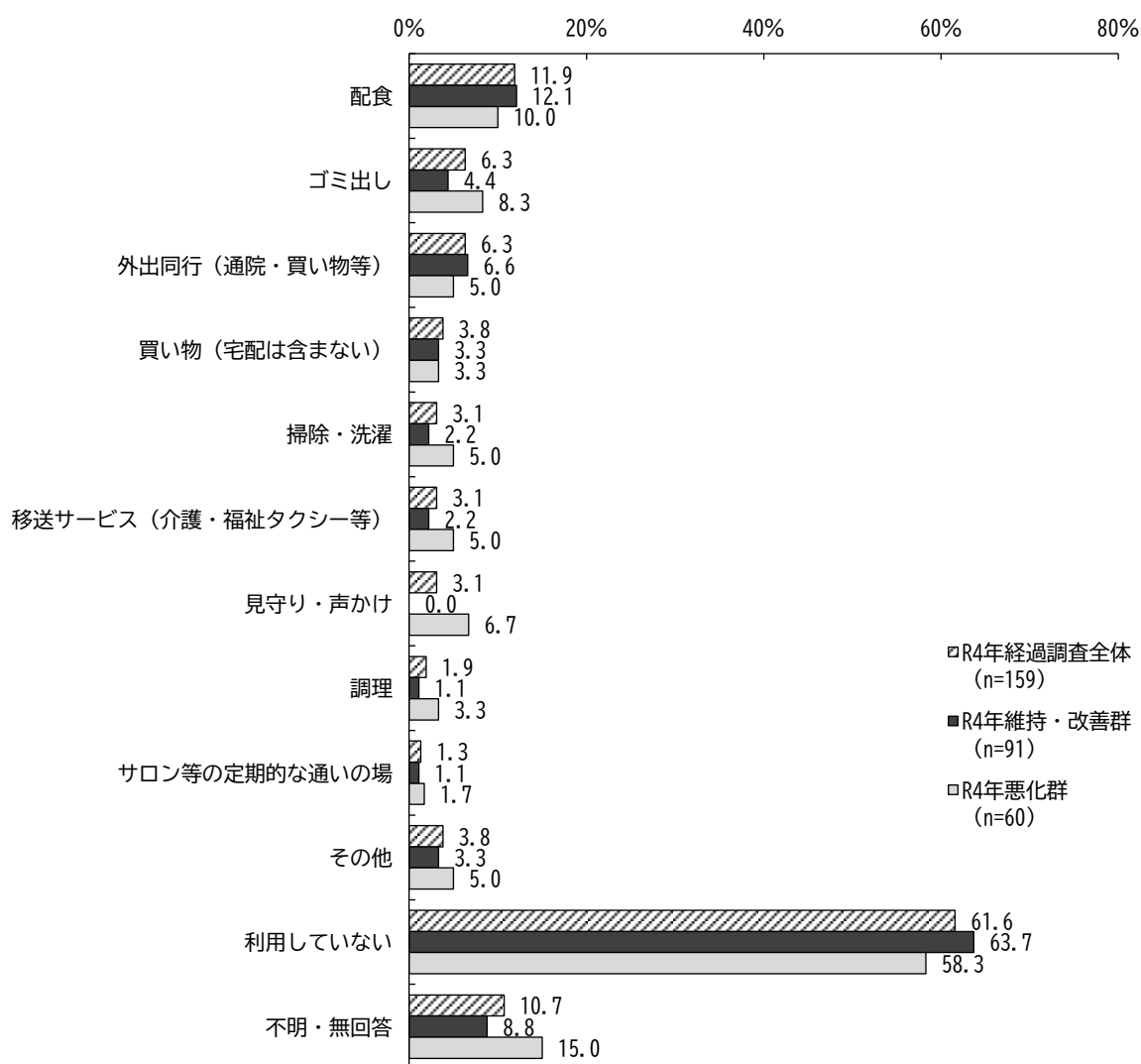


4 支援・サービス・訪問診療の利用状況・ニーズについて

問 21 現在、「介護保険サービス以外」の支援・サービスは何を利用していますか。

【複数回答】

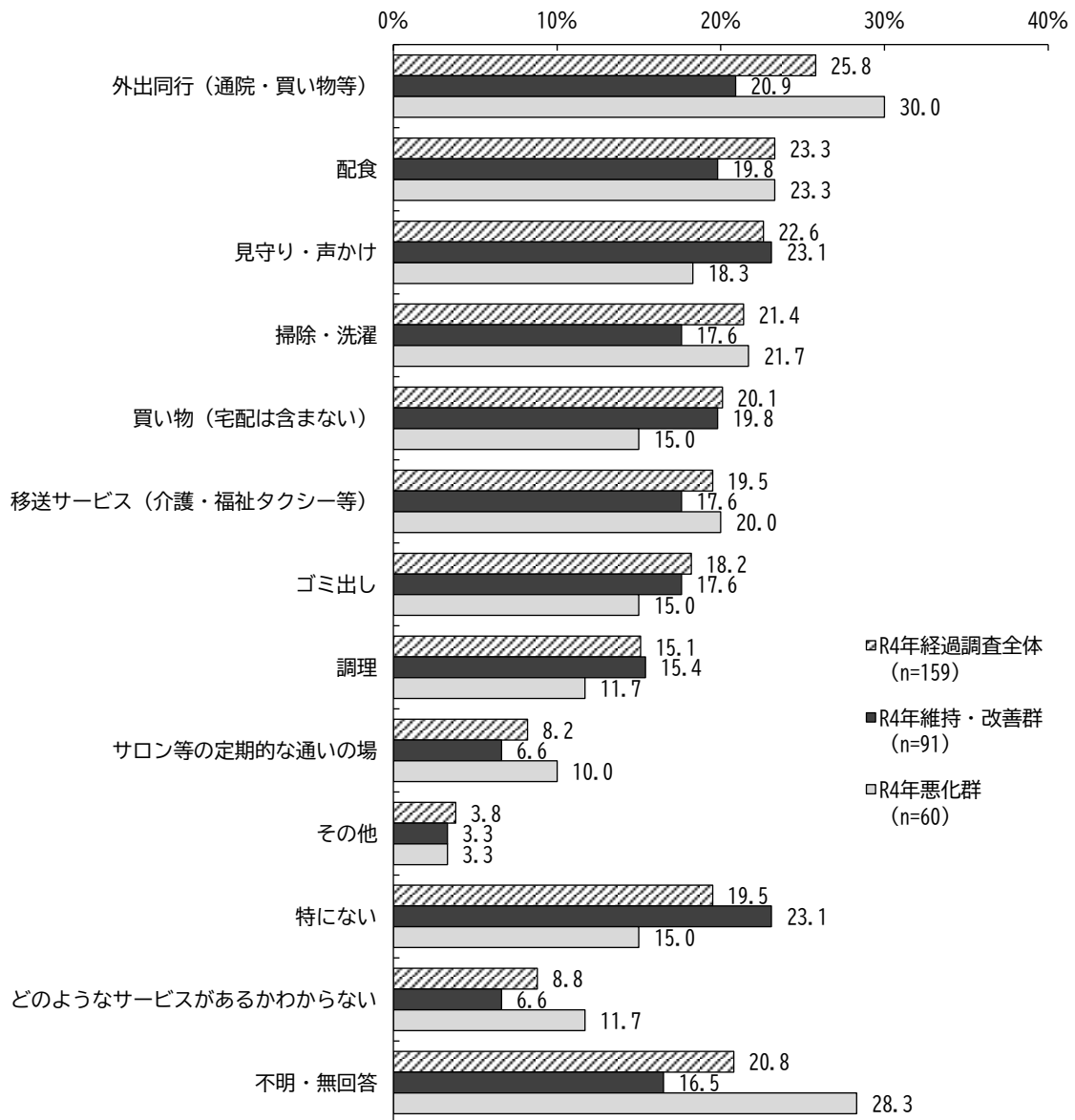
全体では「利用していない」が61.6%で最も多くなっています。利用している支援・サービスでは、「配食」(11.9%)、「ゴミ出し」「外出同行(通院・買い物等)」(6.3%)が比較的多くなっています。



問 22 ご本人が、在宅生活を今後も続けていくためには、どのような介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービス（現在利用中を含む）が必要だと思いますか。

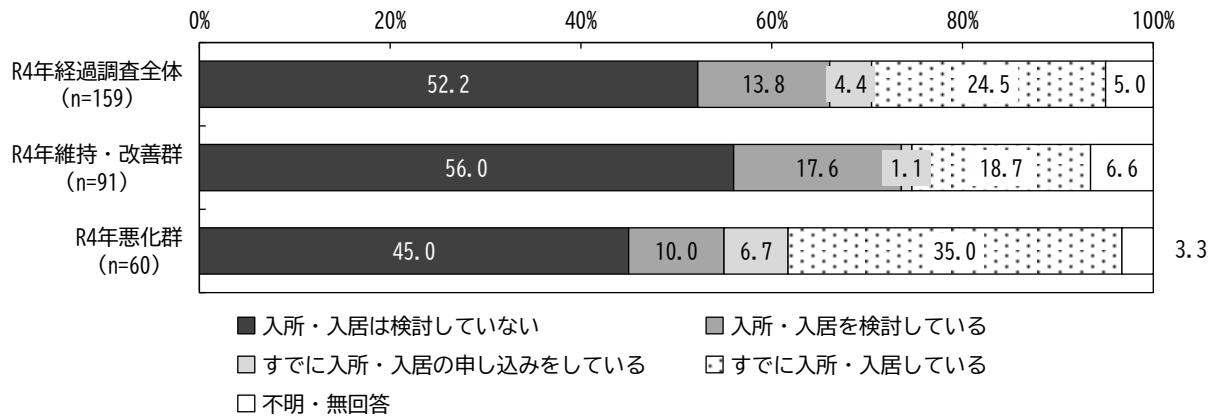
【複数回答】

全体では「外出同行（通院・買い物等）」が25.8%で最も多く、次いで「配食」（23.3%）、「見守り・声かけ」（22.6%）の順で多くなっています。維持・改善群では悪化群と比べて「外出同行（通院・買い物等）」が少なくなっています。



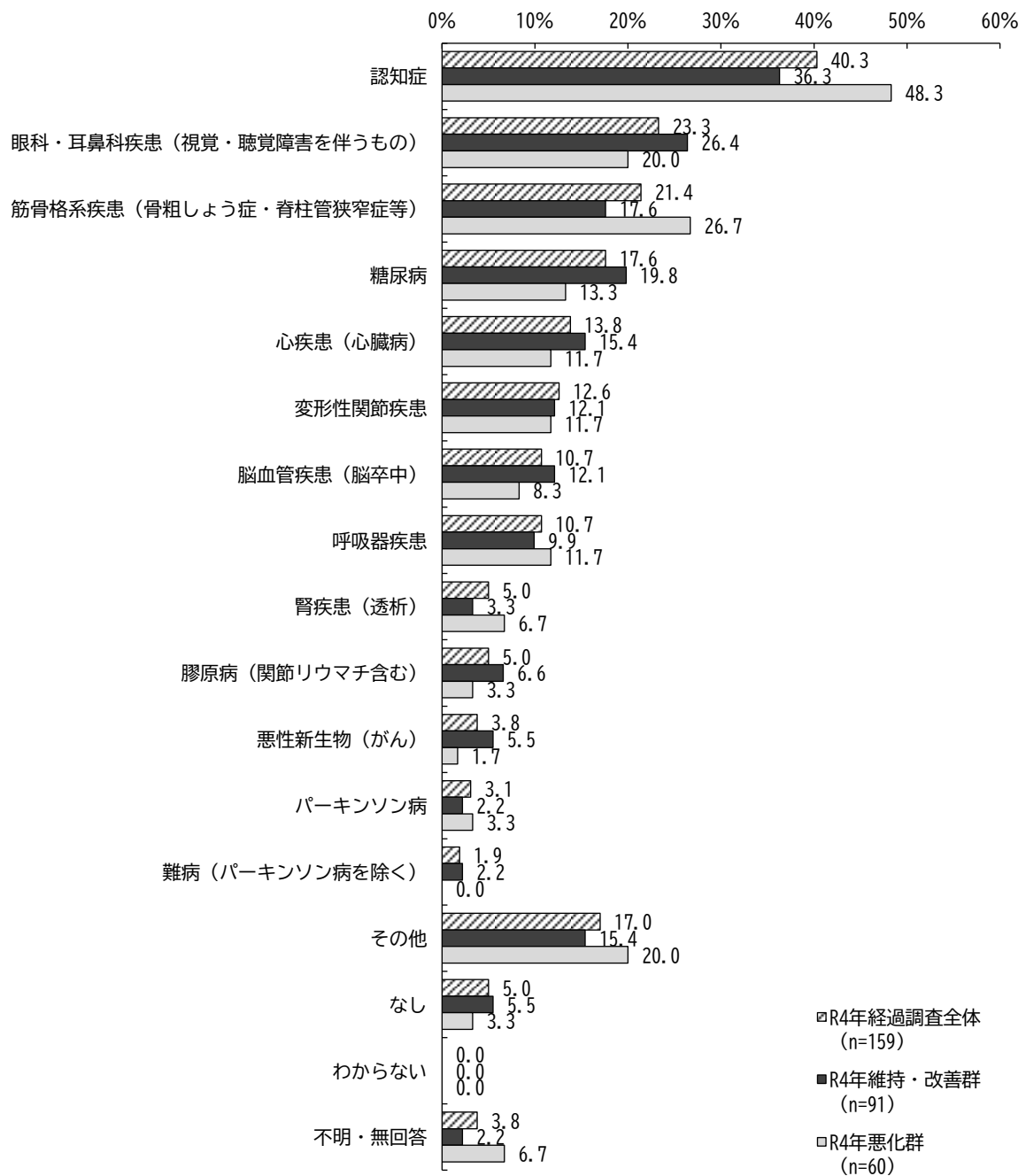
問 23 現時点において、施設等への入所・入居を検討されていますか。

全体では「入所・入居は検討していない」が52.2%で最も多く、次いで「すでに入所・入居している」が24.5%となっています。維持・改善群では悪化群と比べて「すでに入所・入居している」が少なくなっています。



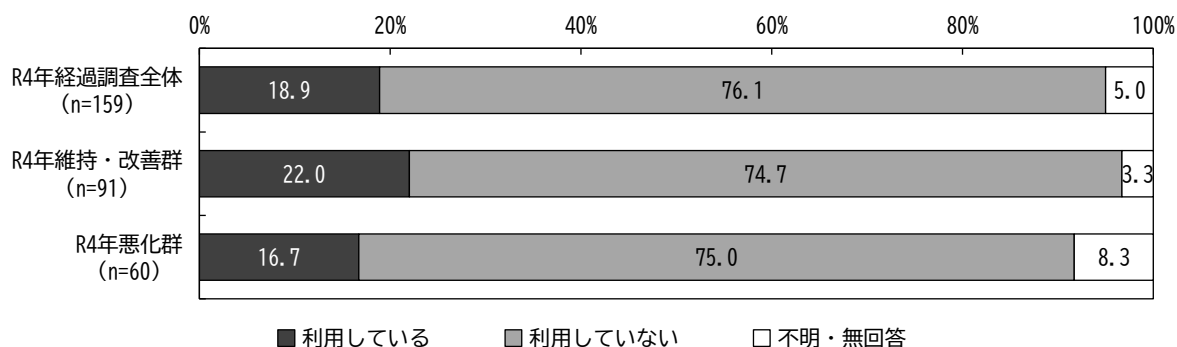
問 24 ご本人が、現在抱えている傷病名を教えてください。【複数回答】

全体では「認知症」が40.3%で最も多く、次いで「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」（23.3%）、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症・脊柱管狭窄症等）」（21.4%）の順で多くなっています。維持・改善群では悪化群と比べて「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」「糖尿病」がやや多く、「認知症」「筋骨格系疾患（骨粗しょう症・脊柱管狭窄症等）」がやや少なくなっています。



問 25 ご本人は、現在、訪問診療を利用していますか。

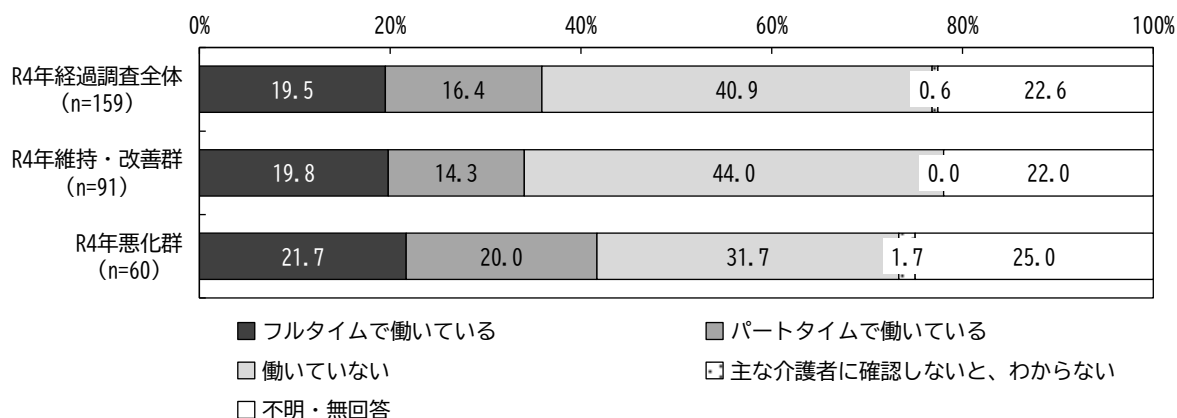
全体では「利用している」が18.9%となっています。維持・改善群では悪化群と比べて「利用している」がやや多くなっています。



5 主な介護者の就労状況について

問 26 主な介護者の方の現在の勤務形態はどれに該当しますか。

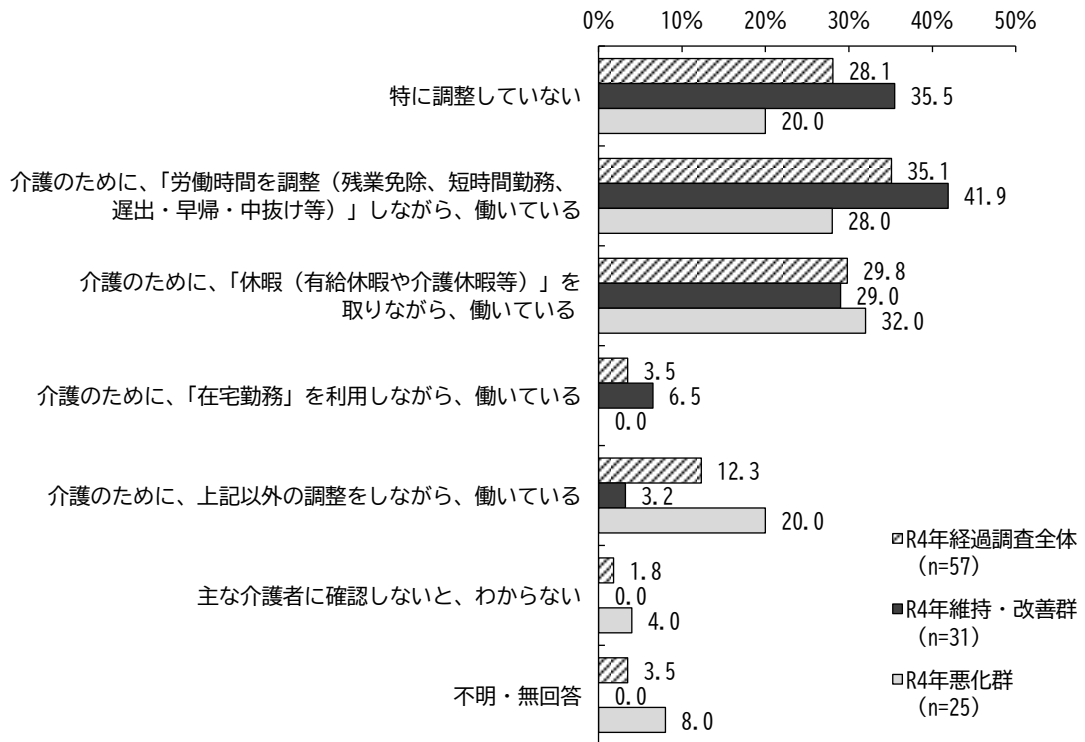
全体では「働いていない」が40.9%で最も多くなっています。維持・改善群では、悪化群と比べて「働いていない」が多く、就労している人がやや少なくなっています。



【問26において「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した人のみ】

問27 介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。【複数回答】

維持・改善群では悪化群と比べて「特に調整していない」「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が多く、「介護のために、上記以外の調整をしながら、働いている」が少なくなっています。

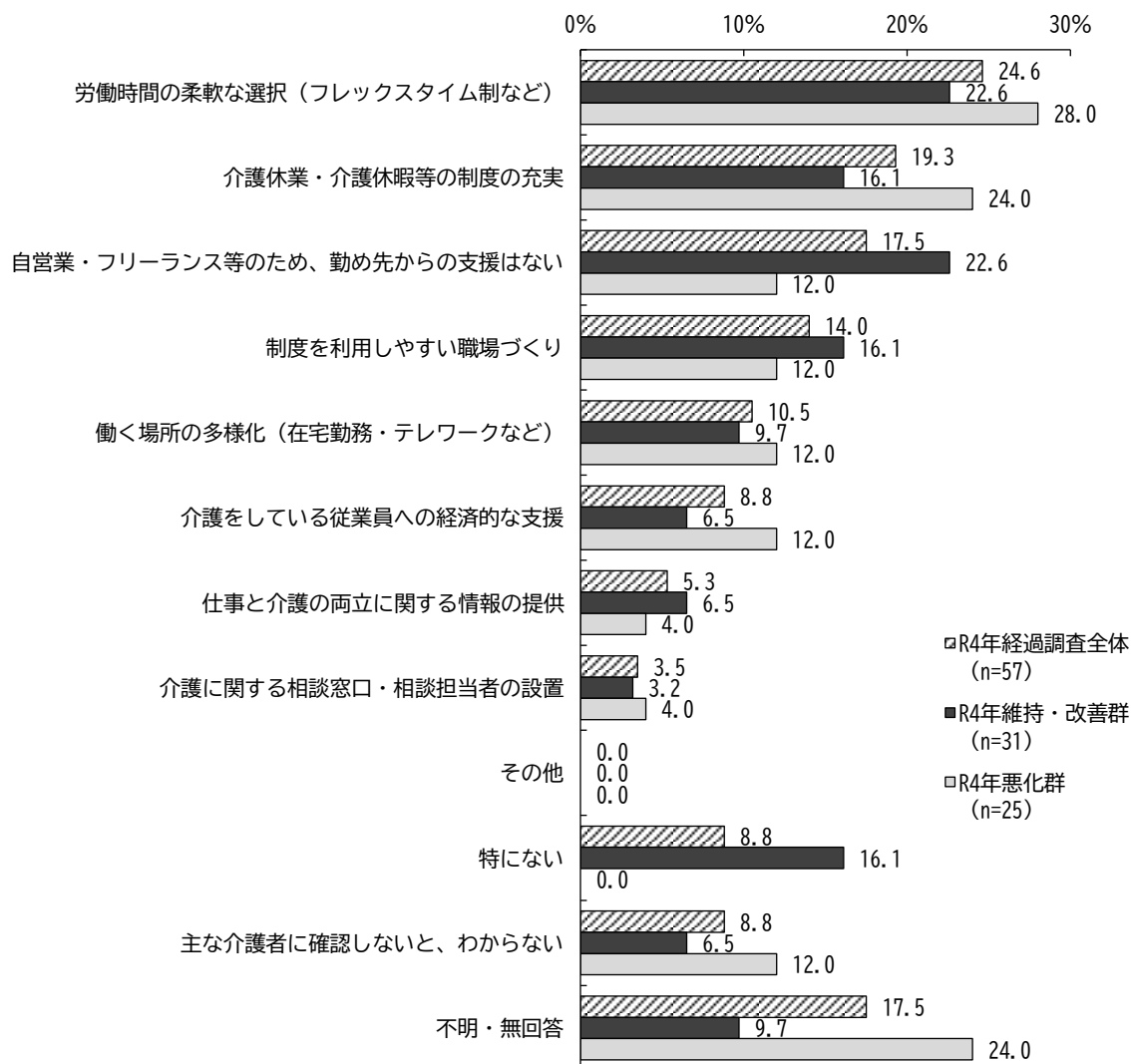


【問26において「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した人のみ】

問28 仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援はどれですか。

【3つまで複数回答】

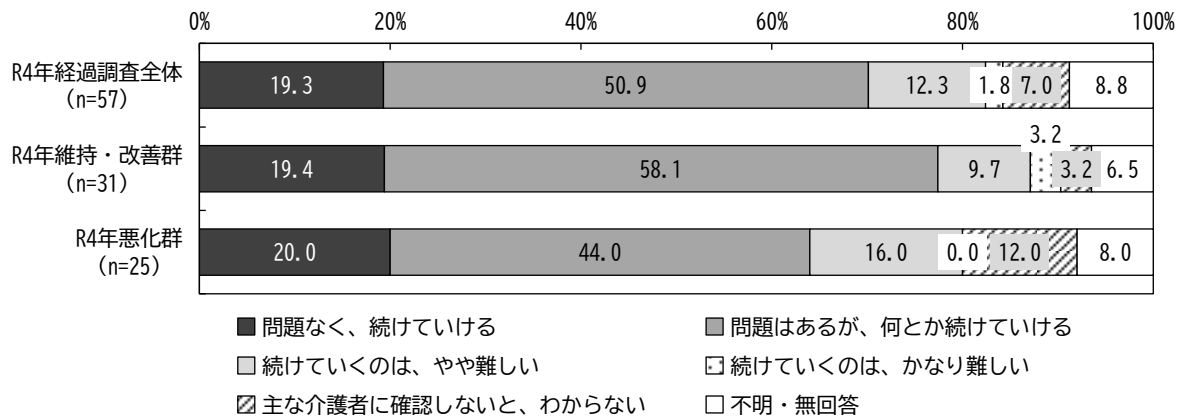
維持・改善群では悪化群と比べて「自営業・フリーランス等のため、勤め先からの支援はない」「特
にない」が多く、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」がやや少なくなっています。



【問26において「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した人のみ】

問29 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。

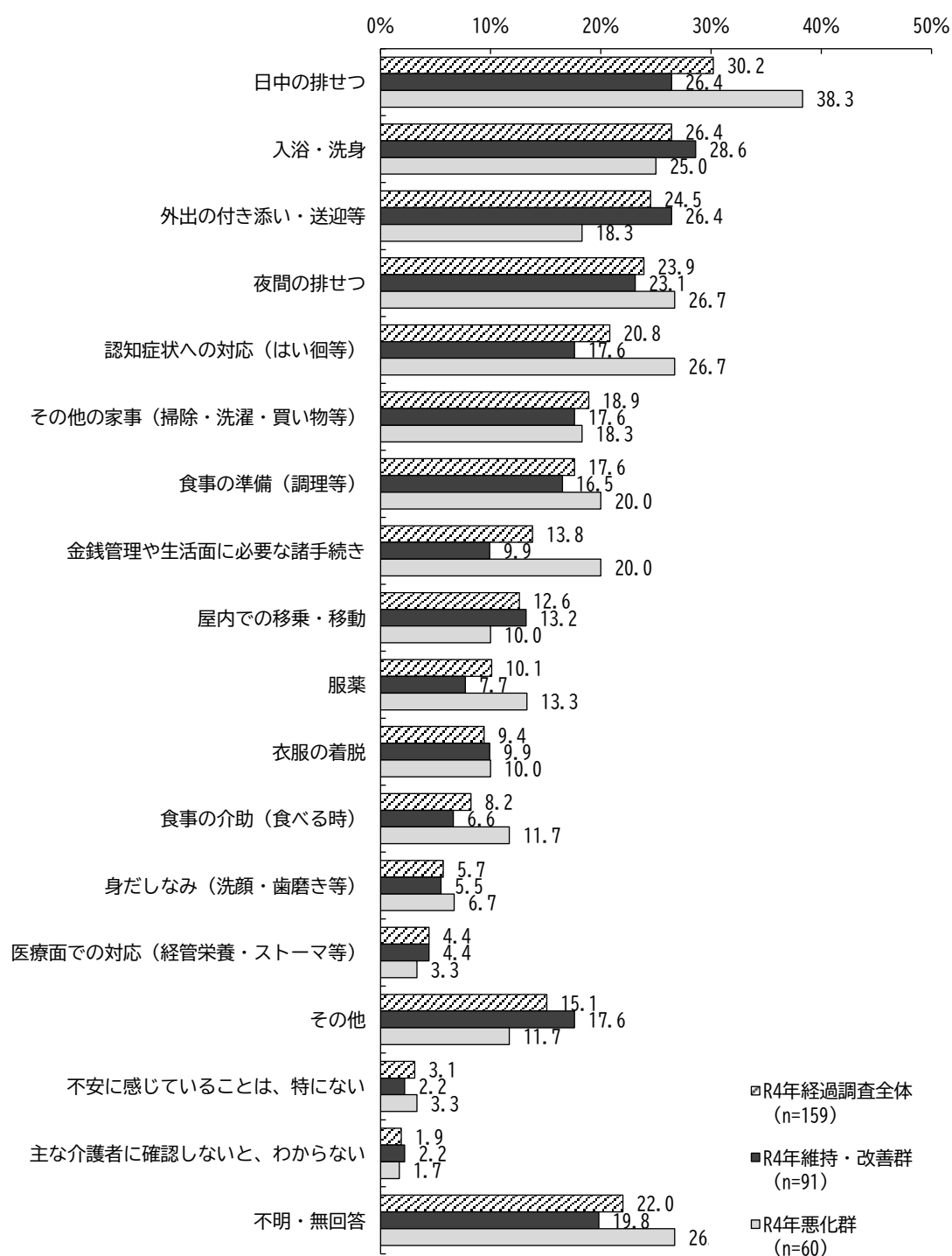
続けていけるという回答（「問題なく、続けていける」と「問題はあるが、何とか続けていける」の合計）は、維持・改善群で77.5%、悪化群で64.0%となっています。



6 介護生活を続ける際の不安や困りごとについて

問 30 (在宅生活を送る要介護者を介護している) 現在の生活を今後も続けていくためには、
 主な介護者の方が不安を感じる介護等はどれですか。【3つまで複数回答】

全体では「日中の排せつ」(30.2%)、「入浴・洗身」(26.4%)、「外出の付き添い・送迎等」(24.5%)、「夜間の排せつ」(23.9%)が多くなっています。維持・改善群では悪化群と比べて「日中の排せつ」「認知症状への対応(はい徊等)」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が少なくなっています。



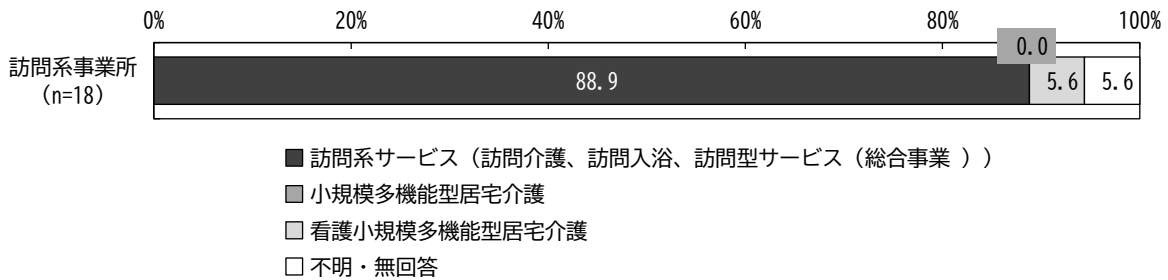
V 介護人材実態調査の結果

1 事業所票（訪問系／施設・通所系）

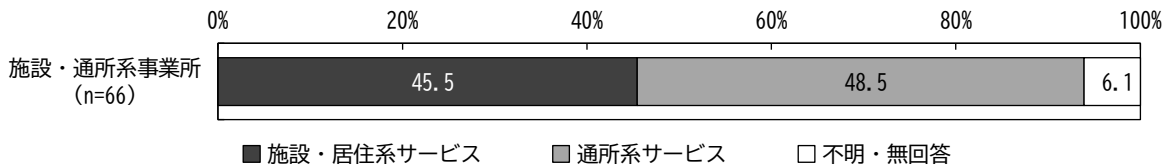
問1 該当するサービス種別（介護予防を含む）を、ご回答ください。

訪問系では、16件が「訪問系サービス」、1件が「看護小規模多機能型居宅介護」となっています。
 施設・通所系では、30件（45.5%）が「施設・居住系サービス」、32件（48.5%）が「通所系サービス」となっています。

◆訪問系



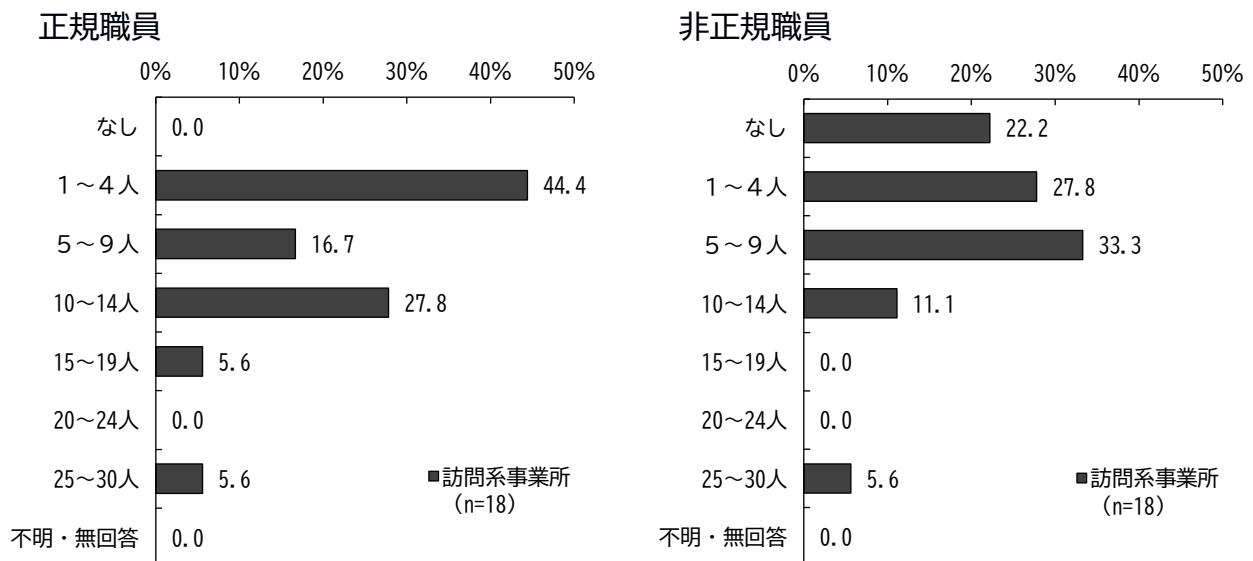
◆施設・通所系



問2 貴事業所（問1で○をつけたサービス種別の事業所）に所属する介護職員について、お伺いします。介護職員の総数を、ご記入ください。

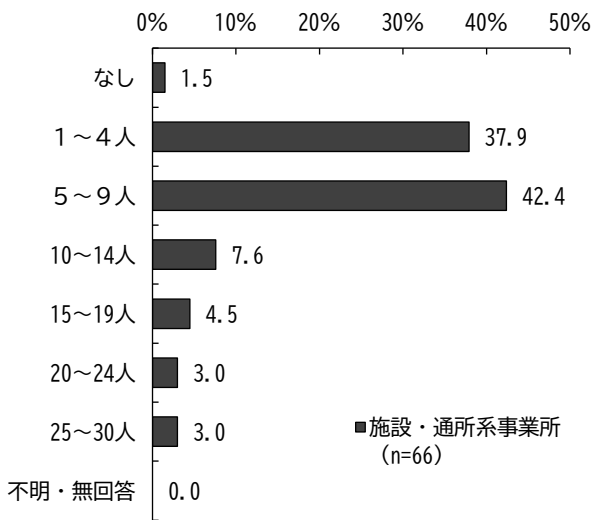
訪問系では、正規職員は「1～4人」、非正規職員は「5～9人」が最も多くなっています。
 施設・通所系では正規職員、非正規職員ともに「5～9人」が最も多くなっています。

◆訪問系

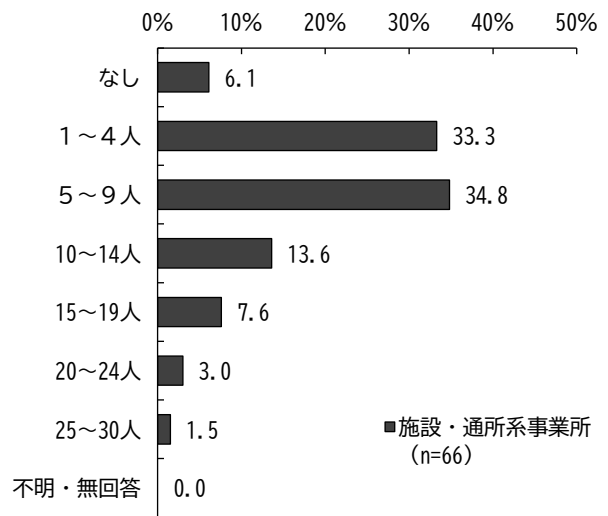


◆施設・通所系

正規職員



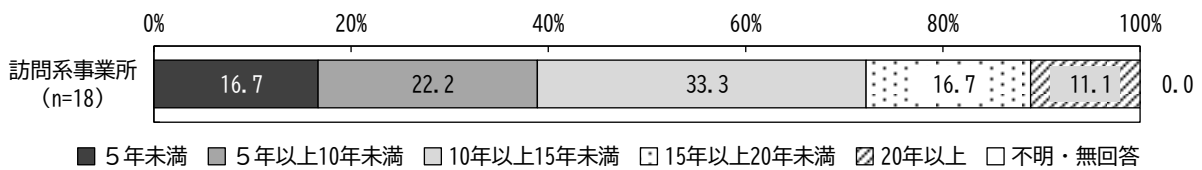
非正規職員



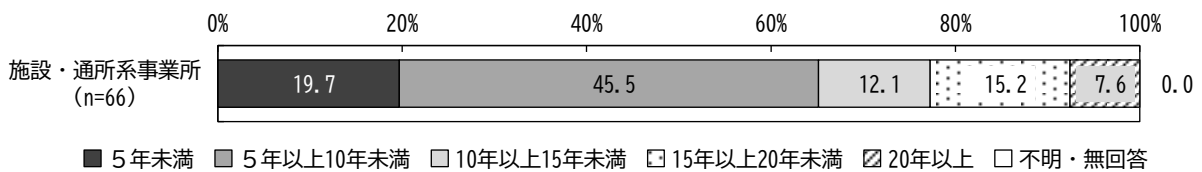
貴事業所の開設時期について、ご記入ください。

回答された開設時期から算出した、開設年数を集計しています。訪問系では「10年以上15年未満」、施設・通所系では「5年以上10年未満」が最も多くなっています。

◆訪問系



◆施設・通所系



令和4年12月1日時点で、開設から1年以上を経過している事業所にお伺いします。
過去1年間（令和3年12月1日～令和4年12月1日）の介護職員の採用者数と離職者数をご記入ください。採用者・離職者について、正規・非正規の別・年齢別をご記入ください。

訪問系の採用者数は、正規職員は40歳～59歳、非正規職員は30歳～69歳が多くなっています。
正規職員では70歳以上の採用も全体の14.7%を占めています。

訪問系の離職者数は、正規職員では50歳代を中心に40～69歳が多く、非正規職員も40～69歳が多くなっています。

◆訪問系：採用者数

採用者数		回答事業所数（事業所）	採用者合計（人）	採用者の年齢別割合（%）							
				20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	年齢不明
正規職員	訪問系事業所全体	18	34	0.0	0.0	8.8	29.4	35.3	11.8	14.7	0.0
	訪問系サービス	16	23	0.0	0.0	8.7	34.8	30.4	17.4	8.7	0.0
非正規職員	訪問系事業所全体	18	58	0.0	3.4	19.0	22.4	24.1	20.7	10.3	0.0
	訪問系サービス	16	51	0.0	3.9	19.6	23.5	25.5	17.6	9.8	0.0

◆訪問系：離職者数

離職者数		回答事業所数（事業所）	離職者合計（人）	離職者の年齢別割合（%）							
				20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	年齢不明
正規職員	訪問系事業所全体	18	23	0.0	0.0	0.0	21.7	43.5	26.1	8.7	0.0
	訪問系サービス	16	23	0.0	0.0	0.0	21.7	43.5	26.1	8.7	0.0
非正規職員	訪問系事業所全体	18	36	2.8	2.8	5.6	19.4	27.8	30.6	11.1	0.0
	訪問系サービス	16	33	3.0	0.0	6.1	21.2	30.3	30.3	9.1	0.0

施設・通所系の採用者数は、正規職員、非正規職員ともに40歳～59歳が多くなっています。

施設・通所系の離職者数は、正規職員では40～59歳が多く、通所系サービスでは20歳代の離職も多くなっています。非正規職員は30～79歳の間が多くなっています。

◆施設・通所系：採用者数

採用者数		回答事業所数（事業所）	採用者合計（人）	採用者の年齢別割合（%）							
				20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	年齢不明
正規職員	施設・通所系事業所全体	66	124	2.4	16.1	13.7	26.6	25.0	14.5	1.6	0.0
	施設・居住系サービス	30	75	4.0	17.3	13.3	25.3	21.3	16.0	2.7	0.0
	通所系サービス	32	39	0.0	15.4	15.4	30.8	25.6	12.8	0.0	0.0
非正規職員	施設・通所系事業所全体	66	189	0.5	8.5	20.1	23.8	24.3	10.6	12.2	0.0
	施設・居住系サービス	30	122	0.0	9.0	18.9	21.3	22.1	13.9	14.8	0.0
	通所系サービス	32	62	1.6	8.1	24.2	25.8	29.0	4.8	6.5	0.0

◆施設・通所系：離職者数

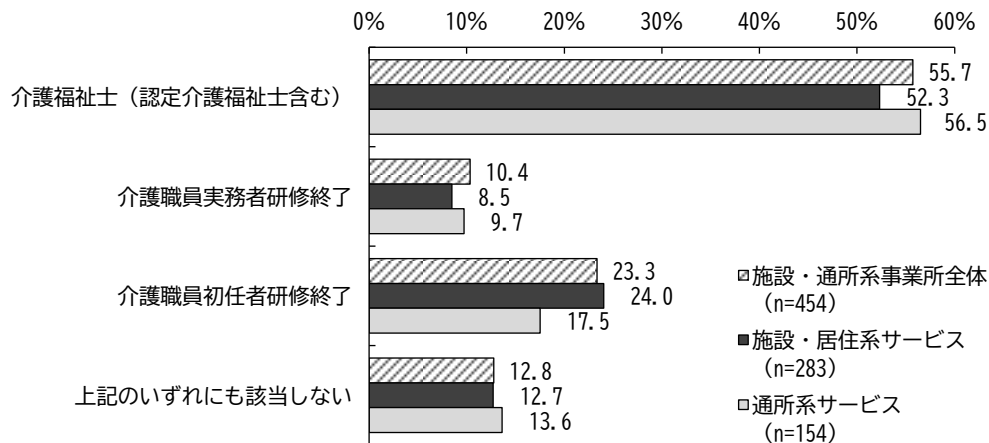
離職者数		回答事業 所数（事 業所）	離職者 合計 （人）	離職者の年齢別割合（％）							
				20歳未 満	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	年齢不 明
正規職員	施設・通所系事業所全体	66	68	1.5	13.2	13.2	27.9	30.9	8.8	4.4	0.0
	施設・居住系サービス	30	38	2.6	2.6	15.8	28.9	31.6	10.5	7.9	0.0
	通所系サービス	32	27	0.0	29.6	11.1	22.2	29.6	7.4	0.0	0.0
非正規職員	施設・通所系事業所全体	66	94	1.1	8.5	18.1	24.5	18.1	13.8	16.0	0.0
	施設・居住系サービス	30	68	0.0	5.9	20.6	20.6	19.1	17.6	16.2	0.0
	通所系サービス	32	22	4.5	18.2	13.6	27.3	18.2	4.5	13.6	0.0

問3 資格の取得、研修の終了した正規職員の人数について、ご記入ください。

【施設・通所系のみ】

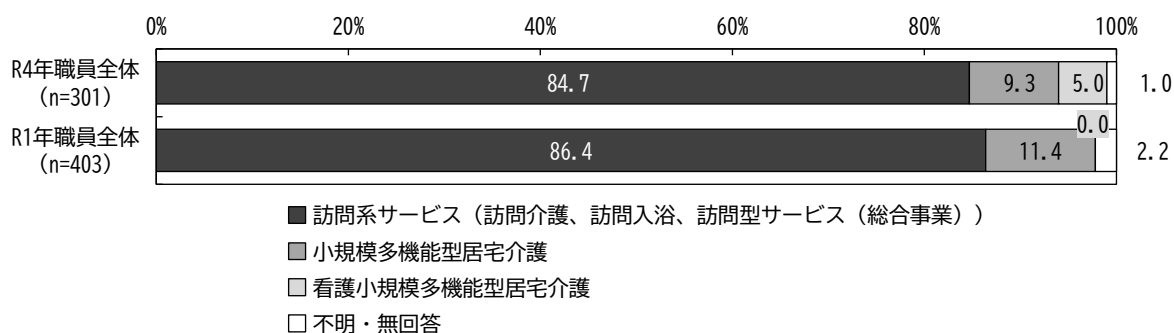
回答された資格取得者の人数の合計を、問2で回答された正規職員の人数に対する割合で示しています。「介護福祉士（認定介護福祉士含む）」が55.7%で最も多く、次いで「介護職員初任者研修終了」が23.3%となっています。

◆施設・通所系



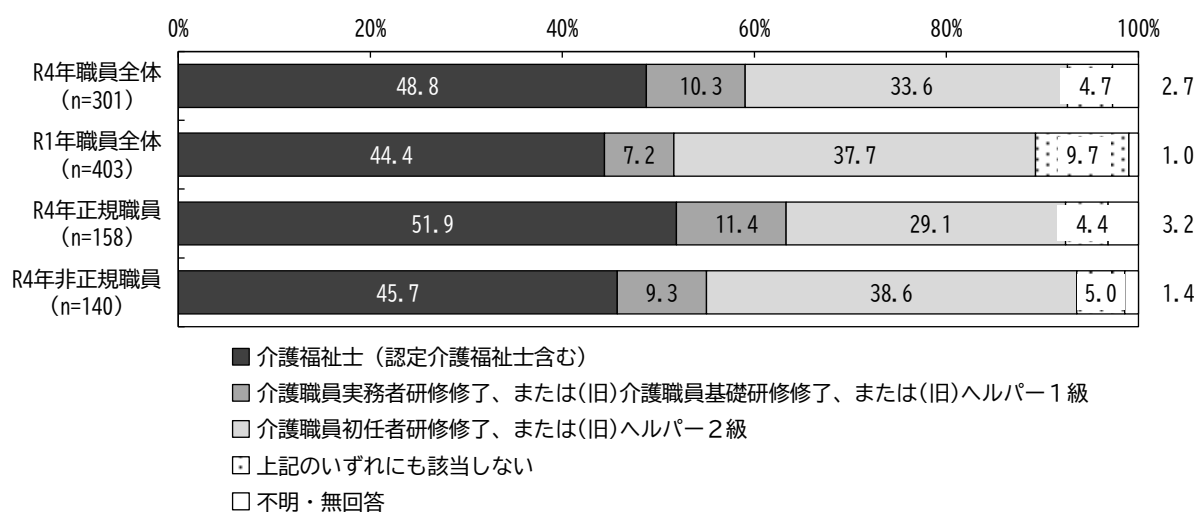
2 職員票

問1 あなたが、本調査票を受け取った事業所で提供するサービス種別（介護予防を含む）について、ご回答ください。



問2 あなたの資格の取得、研修の修了の状況について、ご回答ください。

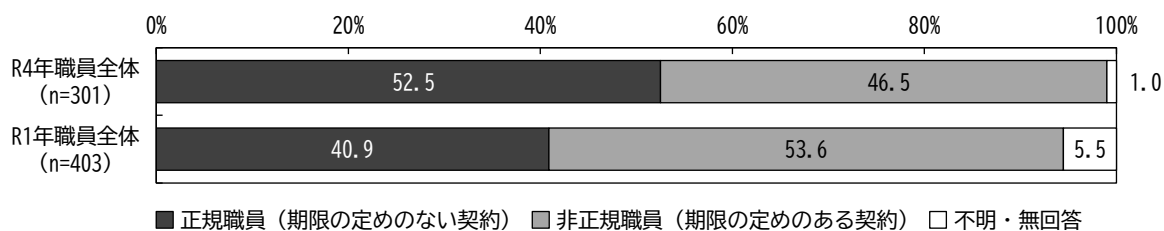
全体では「介護福祉士（認定介護福祉士含む）」が48.8%で最も多く、次いで「介護職員初任者研修修了、または（旧）ヘルパー2級」が33.6%となっています。正規職員、非正規職員ともに、前回調査とくらべて「介護福祉士」の割合がやや増加しています。



問3 あなたの雇用形態、性別、年齢、過去1週間の勤務時間等について、ご回答ください。

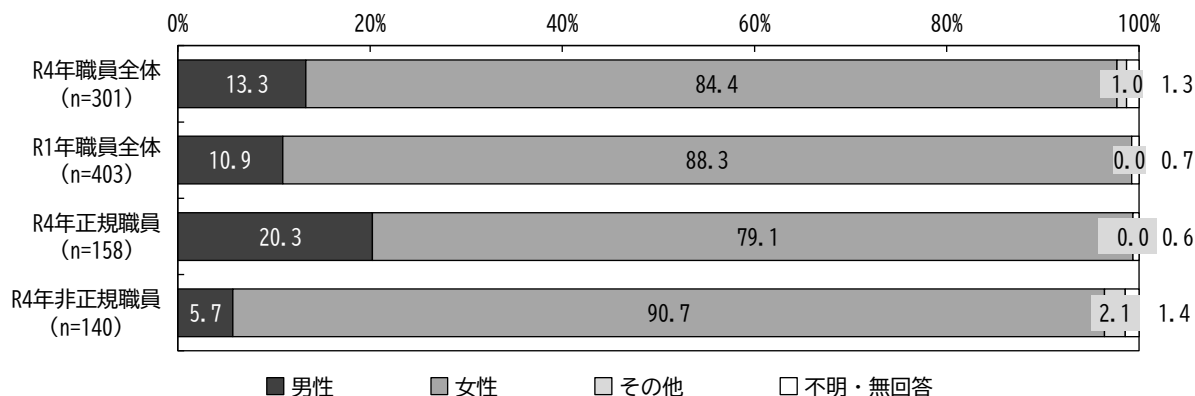
①雇用形態

「正規職員」が52.5%、非正規職員が46.5%となっており、前回調査と比べて正規職員の割合が増加しています。



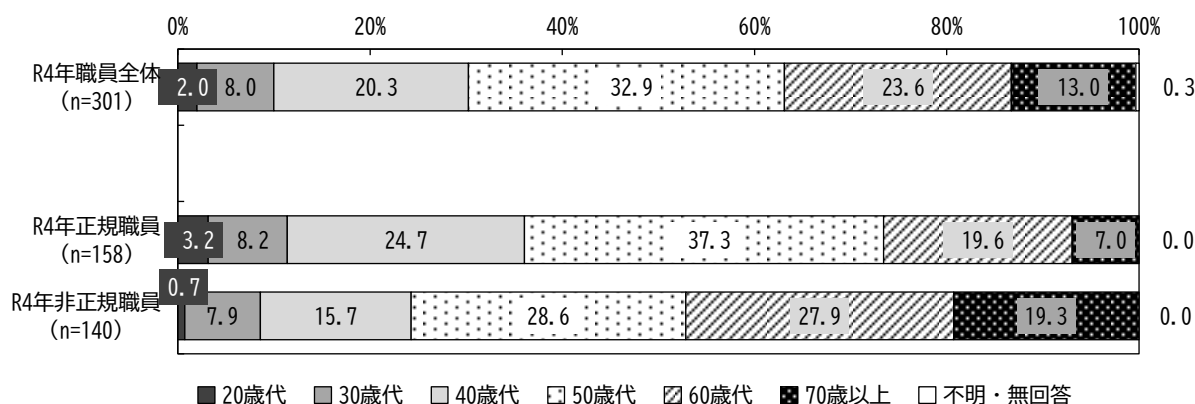
②性別

「男性」は全体では13.3%で前回調査よりやや増加しています。正規職員では「男性」が20.3%、非正規職員では5.7%となっています。



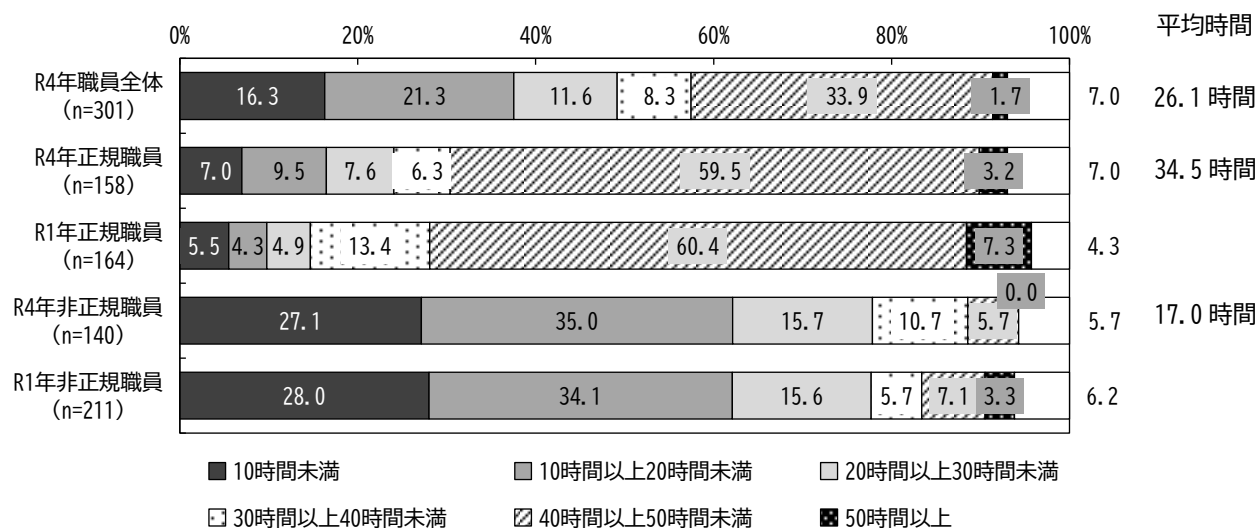
③年齢

正規職員、非正規職員ともに「50歳代」が最も多くなっています。非正規職員は、正規職員と比べて50歳代以下の割合が少なく、60歳代以上が多くなっています。



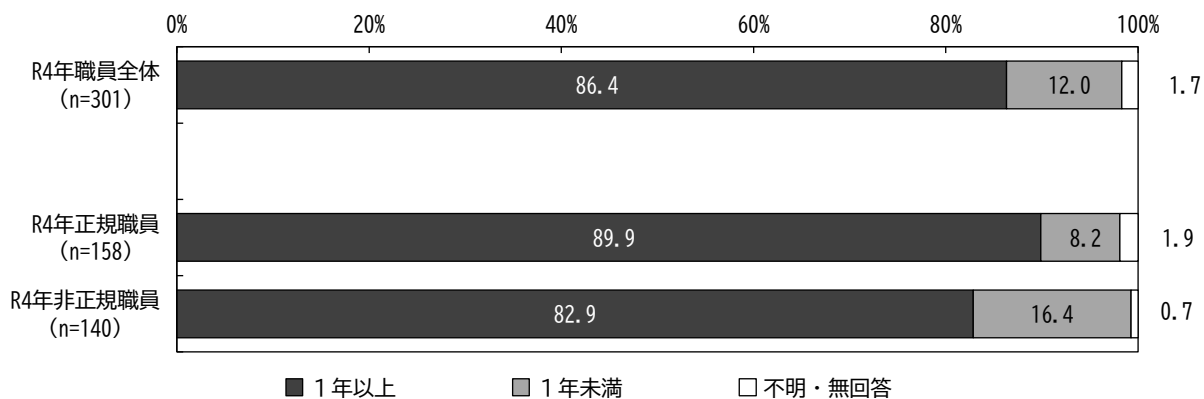
④問1で回答した勤務先での、過去1週間の勤務時間

正規職員は「40時間以上50時間未満」、非正規職員は「10時間以上20時間未満」が最も多くなっています。なお、正規職員と非正規職員の割合が異なるため、R1年職員全体のデータは示していません。



⑤問1で回答した勤務先での勤務年数

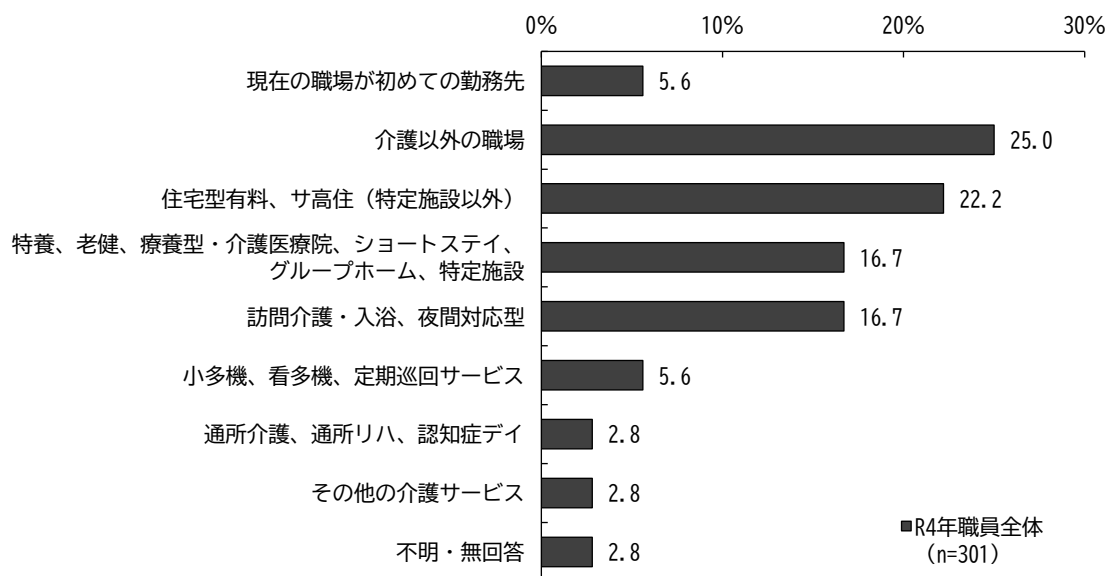
「1年未満」という回答は、正規職員8.2%、非正規職員16.4%となっています。



【問3の⑤で「1年未満」と回答した人のみ】

問4 現在の事業所に勤務する直前の職場についてご回答ください。

直前の職場については「介護以外の職場」が25.0%、介護関係の職場の合計が66.8%となっています。

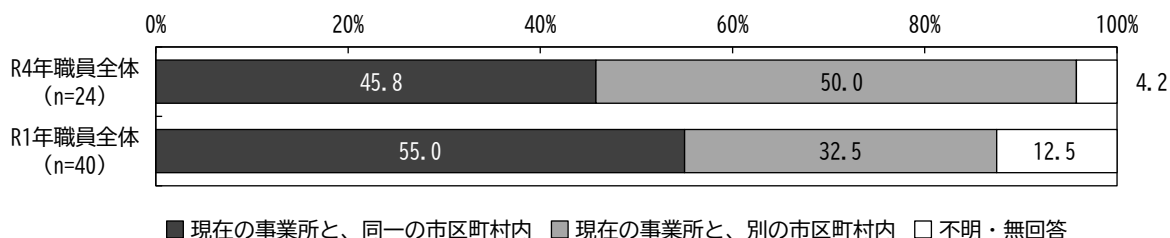


【問4で「現在の職場が初めての勤務先」「介護以外の職場」以外を回答した人のみ】

問5 ご回答いただいた直前の職場についてご回答ください。

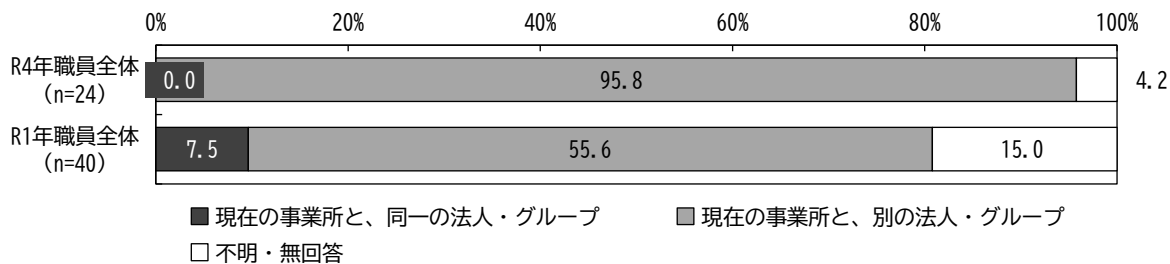
①場所

市内（45.8%）と市外（50.0%）がほぼ同数となっています。



②法人・グループ

不明・無回答を除く全員が「現在の事業所と、別の法人・グループ」と回答しています。



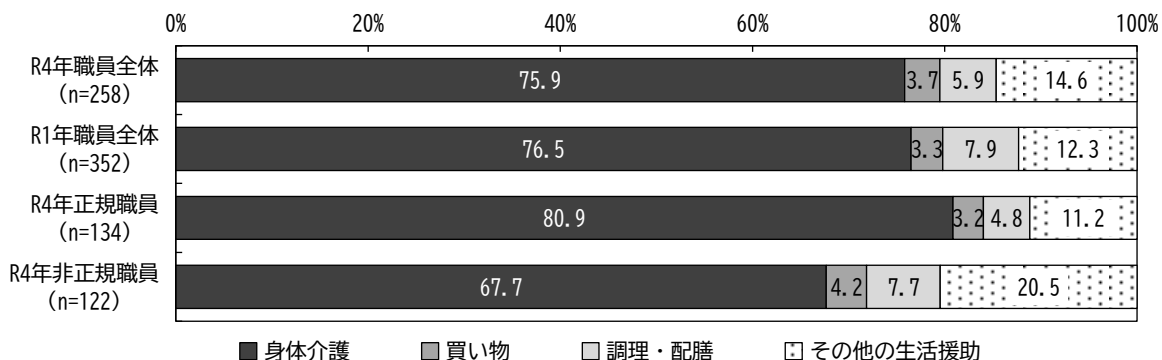
問6 サービス提供時間の内訳について、直近の1週間（7日間）の、各日のサービス提供時間を、それぞれ下の表の太枠部分にご記入ください。

回答されたサービス提供時間数を合計し、その内訳別の割合を示しています。

介護給付については、平日・土日ともに「身体介護」が最も多くなっています。正規職員と比べて非正規職員では「その他の生活援助」の割合が高くなっています。

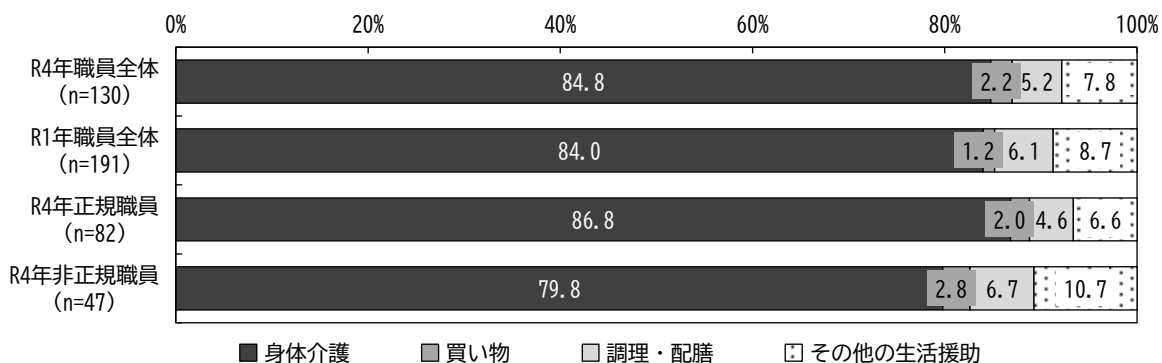
予防給付については、平日は「その他の生活援助」、土日は「身体介護」が多くなっています。

◆介護給付・平日

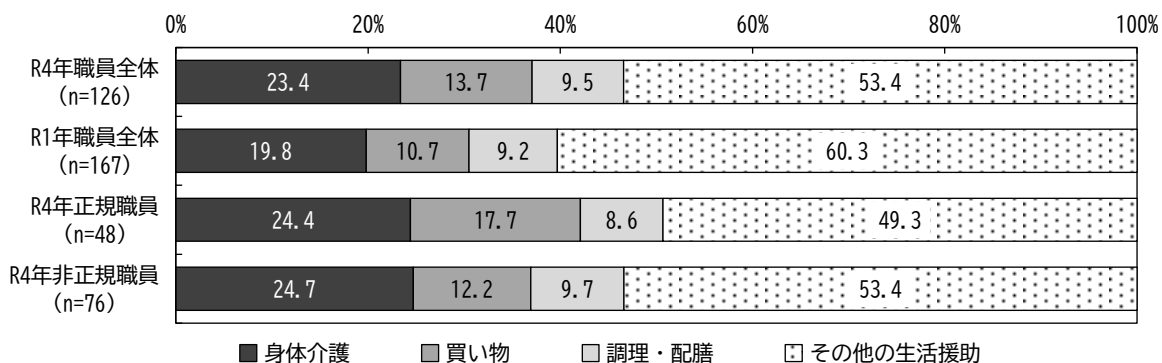


※問6については回答された時間数の合計の割合を示しているため、「不明・無回答」は示していません。

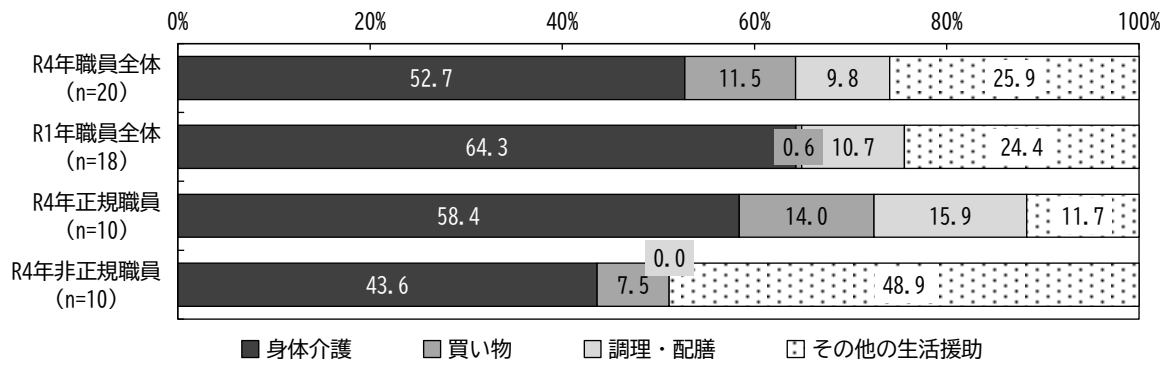
◆介護給付・土日



◆予防給付・平日



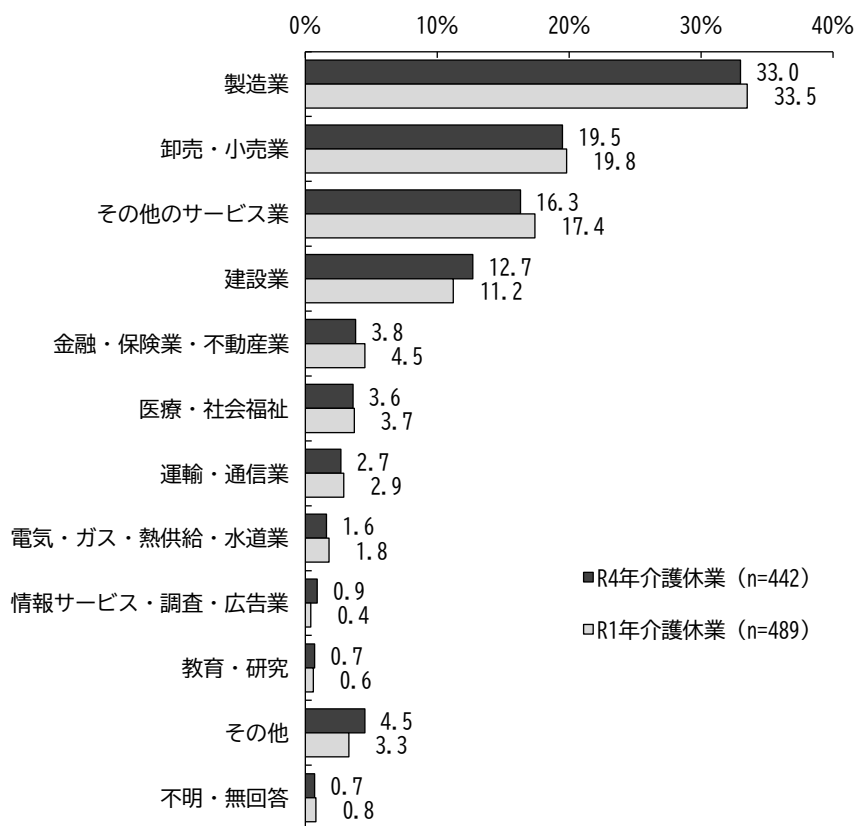
◆予防給付・土日



VI 介護休業制度等実態調査の結果

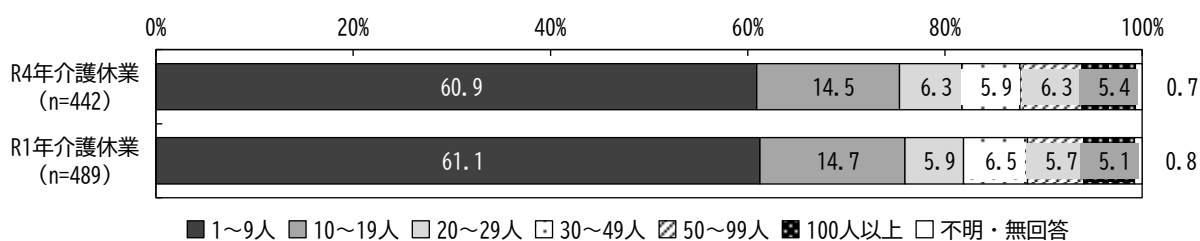
問1 事業所の業種

「製造業」が33.0%で最も多く、次いで「卸売・小売業」が19.5%、「その他のサービス業」が16.3%となっています。



問2 従業員数（正規・非正規含む）をご回答ください。

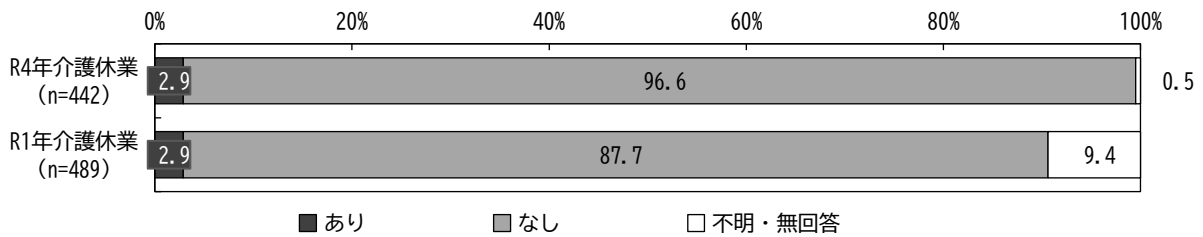
「1～9人」が60.9%で最も多くなっています。



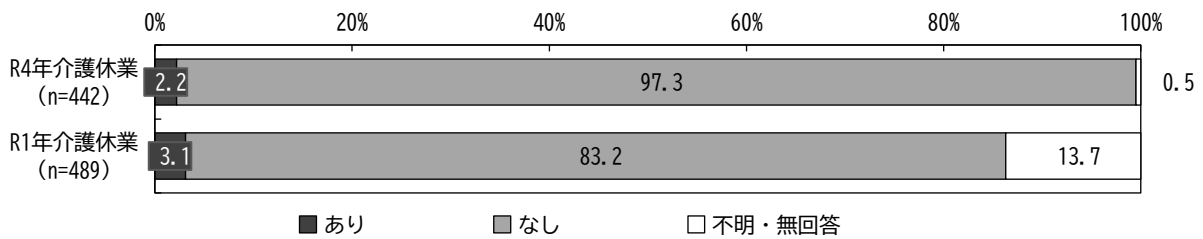
問3 令和3年度中の介護休業制度・介護休暇制度の利用状況をご回答ください。

介護休業制度の利用があった事業所は 2.9%、介護休暇制度の利用があった事業所は 2.2%となっています。

◆介護休業制度

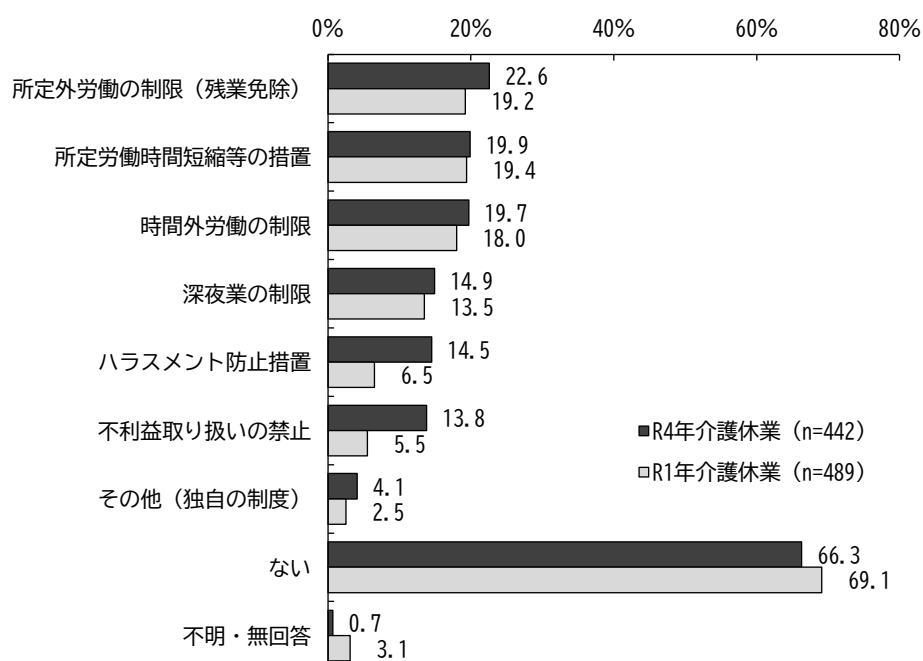


◆介護休暇制度



問4 要介護状態にある家族の介護を行う従業員について、導入している制度、対策を講じている内容に○をつけてください。【複数回答】

「ない」が66.3%で最も多くなっています。事業所規模別にみると、事業所規模が大きくなるほど制度、対策を講じている事業所が多くなっています。



◆事業所規模別にみた導入している制度、対策

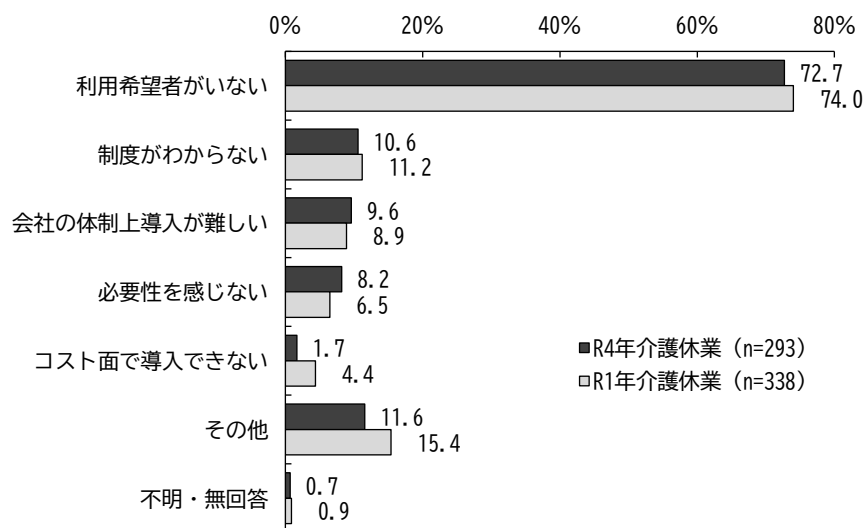
単位：%

	所定外労働の制限（残業免除）	所定労働時間短縮等の措置	時間外労働の制限	深夜業の制限	ハラスメント防止措置	不利益取り扱いの禁止	その他（独自の制度）	ない	不明・無回答
1～9人 (n=269)	10.8	8.2	6.3	8.9	5.2	4.5	2.6	80.3	0.7
10～19人 (n=64)	31.3	20.3	14.1	21.9	14.1	14.1	4.7	62.5	0.0
20～29人 (n=28)	35.7	32.1	21.4	28.6	17.9	17.9	0.0	60.7	0.0
30～49人 (n=26)	42.3	42.3	26.9	34.6	15.4	26.9	11.5	46.2	0.0
50～99人 (n=28)	46.4	57.1	39.3	53.6	42.9	57.1	10.7	17.9	0.0
100人以上 (n=24)	70.8	66.7	62.5	75.0	70.8	62.5	8.3	8.3	0.0

【問4で「ない」を回答した人のみ】

問5 導入していない理由をご回答ください。【複数回答】

「利用希望者がいない」が72.7%で最も多くなっています。



◆事業所規模別にみた導入していない理由

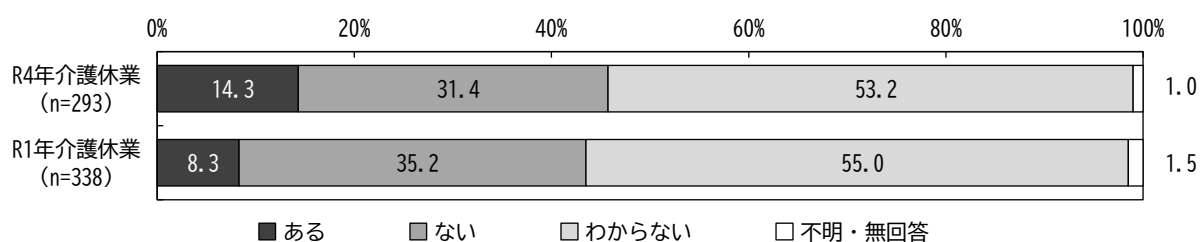
単位：%

事業所規模	利用希望者がいない	制度がわからない	会社の体制上導入が難しい	必要性を感じない	コスト面で導入できない	その他	不明・無回答
1～9人 (n=216)	69.9	8.8	9.3	11.6	1.9	13.4	0.9
10～19人 (n=40)	85.0	10.0	5.0	5.0	0.0	5.0	0.0
20～29人 (n=17)	82.4	5.9	0.0	11.8	0.0	5.9	0.0
30～49人 (n=12)	83.3	25.0	16.7	8.3	8.3	0.0	0.0
50～99人 (n=5)	40.0	20.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0
100人以上 (n=2)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【問4で「ない」を回答した人のみ】

問6 導入予定はありますか。

導入予定があるという事業所が14.3%となっており、前回調査より増加しています。事業所規模別にみると、事業所規模が大きくなるほど、導入予定があるという事業所が多くなっています。



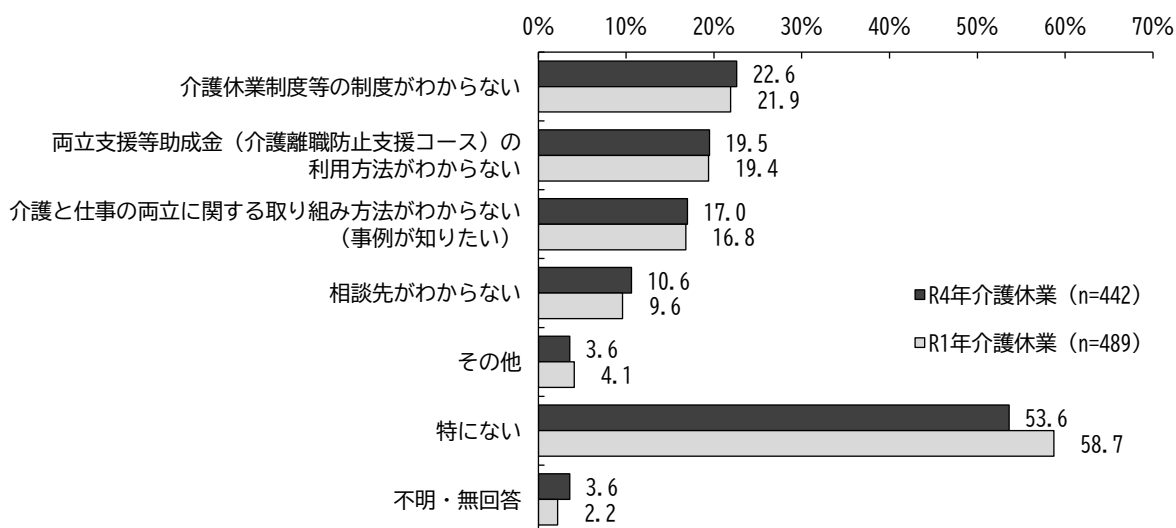
◆事業所規模別にみた導入予定

単位：%

	ある	ない	わからない	不明・無回答
1～9人 (n=216)	13.0	36.6	49.1	1.4
10～19人 (n=40)	15.0	20.0	65.0	0.0
20～29人 (n=17)	23.5	11.8	64.7	0.0
30～49人 (n=12)	33.3	16.7	50.0	0.0
50～99人 (n=5)	0.0	0.0	100.0	0.0
100人以上 (n=2)	0.0	0.0	100.0	0.0

問7 介護休業制度等を導入するにあたり、困っていることをご回答ください。【複数回答】

「特にない」が53.6%で最も多くなっています。回答された困りごとでは「介護休業制度等の制度がわからない」「両立支援等助成金（介護離職防止支援コース）の利用方法がわからない」といった制度についての知識の不足に関することが上位となっています。



◆事業所規模別にみた導入にあたり困っていること

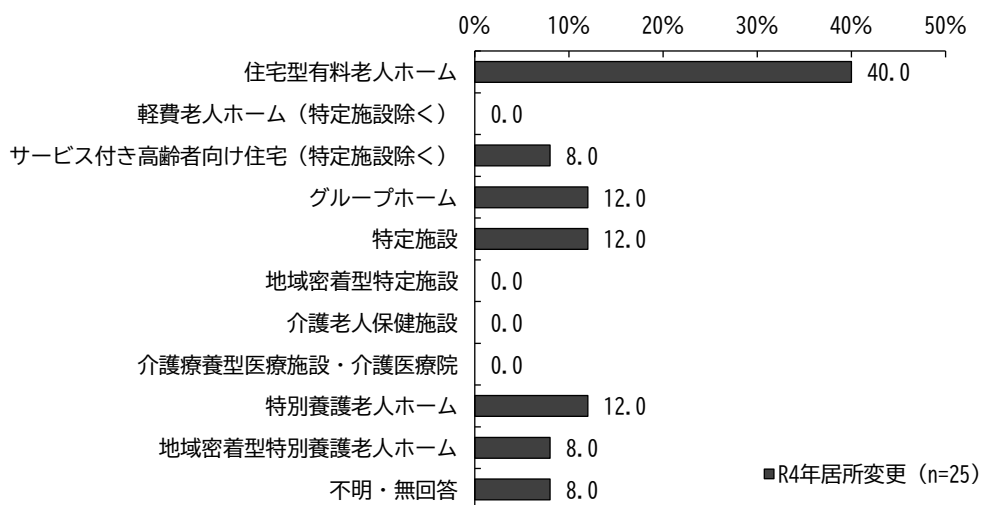
単位：%

事業所規模	介護休業制度等の制度がわからない	両立支援等助成金（介護離職防止支援コース）の利用方法がわからない	介護と仕事の両立に関する取り組み方法がわからない（事例が知りたい）	相談先がわからない	その他	特にない	不明・無回答
1～9人 (n=269)	21.6	26.0	17.1	13.0	3.7	52.4	3.3
10～19人 (n=64)	12.5	23.4	14.1	7.8	7.8	53.1	3.1
20～29人 (n=28)	14.3	17.9	39.3	14.3	0.0	42.9	0.0
30～49人 (n=26)	19.2	15.4	19.2	3.8	0.0	53.8	7.7
50～99人 (n=28)	25.0	14.3	14.3	7.1	3.6	53.6	7.1
100人以上 (n=24)	12.5	4.2	0.0	0.0	0.0	83.3	0.0

Ⅶ 居所変更実態調査の結果

問1 該当するサービス種別を、ご回答ください。

「住宅型有料老人ホーム」が最も多くなっています。



問2 貴施設等の概要について、以下にご記入ください。

回答された施設数、定員数、入所・入居者数、待機者数等の合計は以下のとおりです。定員数の合計は「住宅型有料老人ホーム」が最も多くなっていますが、1施設あたりの定員数では「特別養護老人ホーム」が最も多くなっています。定員充足率は、ほとんどの施設で90%を超えています。

	回答施設数 (件)	定員数合計 (人)	入所・入居者数合計 (人)	定員充足率 (%)	待機者数合計 (人)	特別養護老人ホームの待機者数 (申込者数) 合計 (人)
住宅型有料老人ホーム	10	198	173	87.4	14	0
サービス付き高齢者向け住宅 (特定施設除く)	2	60	56	93.3	7	1
グループホーム	3	27	25	92.6	4	9
特定施設	3	141	135	95.7	4	3
特別養護老人ホーム	3	170	162	95.3	613	0
地域密着型特別養護老人ホーム	2	58	55	94.8	250	0
施設種別不明	2	41	30	73.2	3	0
合計	25	695	636	91.5	895	13

問3 現在の入所・入居者の要支援・要介護度について、ご記入ください。

「サービス付き高齢者向け住宅」「グループホーム」は要介護2までの利用が比較的多くなっています。

	回答施設数 (件)	入所・入居者数合計 (人)	入所・入居者の要介護度別の割合 (%)								
			自立	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	申請中 ・不明
住宅型有料老人ホーム	10	173	0.0	0.0	0.0	15.0	22.5	18.5	26.6	17.3	0.0
サービス付き高齢者向け住宅 (特定施設除く)	2	56	5.4	14.3	16.1	37.5	19.6	3.6	1.8	1.8	0.0
グループホーム	3	25	0.0	0.0	0.0	32.0	28.0	20.0	4.0	16.0	0.0
特定施設	3	135	0.7	8.9	4.4	28.9	13.3	11.1	20.0	11.9	0.7
特別養護老人ホーム	3	162	0.0	0.0	0.0	0.6	4.9	42.0	36.4	16.0	0.0
地域密着型特別養護老人ホーム	2	55	0.0	0.0	0.0	3.6	1.8	32.7	36.4	25.5	0.0
施設種別不明	2	30	0.0	0.0	0.0	3.3	30.0	16.7	30.0	20.0	0.0
合計	25	636	0.6	3.1	2.4	15.4	14.6	22.8	25.6	15.3	0.2

問4 以下の医療処置を受けている人数について、ご記入ください。

全体では「経管栄養」が3.6%で最も多くなっています。「サービス付き高齢者向け住宅」「グループホーム」では下記の医療処置を受けているという回答はありませんでした。

	回答施設数 (件)	入所・入居者数合計 (人)	入所・入居者の受けている医療処置別の割合 (%)						
			点滴の管理	中心静脈栄養	透析	ストーマの処置	酸素療法	レスピレーター	気管切開の処置
住宅型有料老人ホーム	10	173	2.9	1.7	1.2	1.7	1.7	0.0	0.0
サービス付き高齢者向け住宅 (特定施設除く)	2	56	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
グループホーム	3	25	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特定施設	3	135	0.7	0.7	2.2	1.5	3.0	0.0	0.0
特別養護老人ホーム	3	162	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0
地域密着型特別養護老人ホーム	2	55	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
施設種別不明	2	30	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	25	636	0.9	0.6	1.1	0.8	1.3	0.0	0.0

	回答施設数 (件)	入所・入居者数合計 (人)	入所・入居者の受けている医療処置別の割合 (%)						
			疼痛の看護	経管栄養	モニター測定	褥瘡の処置	カテーテル	喀痰吸引	インスリン注射
住宅型有料老人ホーム	10	173	0.6	6.4	0.0	3.5	5.2	1.7	3.5
サービス付き高齢者向け住宅 (特定施設除く)	2	56	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
グループホーム	3	25	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特定施設	3	135	4.4	5.9	0.0	2.2	1.5	3.0	2.2
特別養護老人ホーム	3	162	4.3	0.0	0.0	0.6	1.9	0.6	1.2
地域密着型特別養護老人ホーム	2	55	1.8	3.6	0.0	1.8	0.0	3.6	3.6
施設種別不明	2	30	6.7	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7
合計	25	636	2.7	3.6	0.0	1.7	2.2	1.6	2.4

問5 過去1年間（令和3年12月1日～令和4年12月1日）に、貴施設等に新規で入所・入居した人の人数をご記入ください。

問6 問5でご記入いただいた過去1年間の新規の入所・入居者について、入所・入居する前の居場所別の人数をご記入ください。

自宅からの入所・入居の割合は、「サービス付き高齢者向け住宅」「グループホーム」「特定施設」で高く、「特別養護老人ホーム」「地域密着型特別養護老人ホーム」で低くなっています。

	回答施設数 (件)	過去1年間の新規 入所・入居者数合計 (人)	入所・入居する前の居場所別の割合 (%)						
			自宅 (兄弟・子ども・ 親戚等の家含む)	住宅型有 料老人 ホーム	軽費老人 ホーム (特定施設 除く)	サービス 付き高齢 者向け住 宅(特定 施設除く)	グループ ホーム	特定施設	地域密着 型特定施設
住宅型有料老人ホーム	10	54	40.7	1.9	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0
サービス付き高齢者向け住宅 (特定施設除く)	2	22	95.5	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
グループホーム	3	9	66.7	0.0	0.0	11.1	11.1	0.0	0.0
特定施設	3	41	68.3	12.2	4.9	0.0	0.0	2.4	0.0
特別養護老人ホーム	3	43	27.9	4.7	0.0	4.7	4.7	0.0	0.0
地域密着型特別養護老人ホーム	2	21	28.6	0.0	0.0	9.5	9.5	0.0	0.0
施設種別不明	2	14	42.9	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0
合計	25	204	49.5	4.4	1.0	2.5	3.4	0.5	0.0

	回答施設数 (件)	過去1年間の新規 入所・入居者数合計 (人)	入所・入居する前の居場所別の割合 (%)					入居・入 所する前 の居場所 を把握し ていない
			介護老人 保健施設	療養型・ 介護医療 院	特別養護 老人ホーム	地域密着 型特別養 護老人 ホーム	その他	
住宅型有料老人ホーム	10	54	0.0	37.0	0.0	0.0	18.5	0.0
サービス付き高齢者向け住宅 (特定施設除く)	2	22	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
グループホーム	3	9	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0
特定施設	3	41	4.9	4.9	2.4	0.0	0.0	0.0
特別養護老人ホーム	3	43	16.3	9.3	0.0	0.0	32.6	0.0
地域密着型特別養護老人ホーム	2	21	0.0	0.0	0.0	0.0	52.4	0.0
施設種別不明	2	14	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
合計	25	204	4.4	12.7	0.5	0.0	21.1	0.0

問7 過去1年間（令和3年12月1日～令和4年12月1日）に、貴施設を退去した人の人数をご記入ください。

問8 問7でご記入いただいた過去1年間の退居者について、退去先別の人数をご記入ください。

「サービス付き高齢者向け住宅」「グループホーム」「地域密着型特別養護老人ホーム」では、他の施設に移る人の割合が高く、「住宅型有料老人ホーム」「特別養護老人ホーム」「特定施設」は最期の生活の場となっていることが多くなっています。

	回答施設数（件）	過去1年間の退去数合計（人）	退去者の退去先別の割合（％）							
			自宅（兄弟・子ども・親戚等の家含む）	住宅型有料老人ホーム	軽費老人ホーム（特定施設除く）	サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	グループホーム	特定施設	地域密着型特定施設	介護老人保健施設
住宅型有料老人ホーム	10	70	4.3	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4
サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	2	23	0.0	0.0	0.0	0.0	17.4	0.0	0.0	0.0
グループホーム	3	11	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特定施設	3	47	10.6	0.0	0.0	0.0	2.1	4.3	0.0	0.0
特別養護老人ホーム	3	49	2.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	2.0
地域密着型特別養護老人ホーム	2	22	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
施設種別不明	2	22	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	25	244	4.1	1.2	0.0	0.4	2.0	0.8	0.0	0.8

	回答施設数（件）	過去1年間の退去数合計（人）	退去者の退去先別の割合（％）						
			療養型・介護医療院	左記を除く病院・診療所（一時的な入院を除く）	特別養護老人ホーム	地域密着型特別養護老人ホーム	その他	行先を把握していない	死亡（搬送先での死亡を含む）
住宅型有料老人ホーム	10	70	1.4	2.9	4.3	0.0	2.9	0.0	78.6
サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	2	23	0.0	13.0	21.7	4.3	8.7	0.0	34.8
グループホーム	3	11	9.1	9.1	27.3	18.2	9.1	0.0	27.3
特定施設	3	47	2.1	17.0	4.3	0.0	4.3	0.0	55.3
特別養護老人ホーム	3	49	0.0	16.3	2.0	0.0	0.0	0.0	75.5
地域密着型特別養護老人ホーム	2	22	27.3	13.6	0.0	0.0	0.0	31.8	22.7
施設種別不明	2	22	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	90.9
合計	25	244	3.7	10.2	5.7	1.2	3.7	2.9	63.1

問9 貴施設等の入居・入所者が、退去する理由は何ですか。退去理由として多いものを3つ選んでください。【3つまで複数回答】

全体では、「医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから」が68.0%で最も多くなっています。

	回答施設数(件)	退去理由として多いもの(%)									
		必要な生活支援が発生・増大したから	必要な身体介護が発生・増大したから	認知症の症状が悪化したから	医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから	左記以外の状態像が悪化したから	入所・入居者の状態等が改善したから	入所・入居者が、必要な居宅サービスの利用を望まなかったから	費用負担が重くなったから	その他	不明・無回答
住宅型有料老人ホーム	10	0.0	0.0	10.0	60.0	20.0	10.0	10.0	20.0	60.0	0.0
サービス付き高齢者向け住宅(特定施設除く)	2	50.0	50.0	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
グループホーム	3	33.3	33.3	33.3	66.7	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
特定施設	3	0.0	0.0	0.0	100.0	66.7	100.0	0.0	0.0	33.3	0.0
特別養護老人ホーム	3	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0
地域密着型特別養護老人ホーム	2	0.0	0.0	50.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
施設種別不明	2	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
合計	25	8.0	8.0	24.0	68.0	32.0	24.0	4.0	24.0	36.0	0.0

Ⅷ 圏域別の状況について

1 地域課題分析の視点

ここでは、本市の圏域別の地域課題を分析するため、主に圏域別に集計された調査結果を比較することで、5つの圏域のそれぞれの特徴と課題を分析します。集計・分析する項目は以下のとおりです。

(1) 地域別の状況の市平均との比較

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査及び在宅介護実態調査の結果に基づき、以下の項目について、各圏域における調査結果の集計を市全体の集計と比較することで、それぞれの圏域の特徴・課題を分析します。

項目	内容
1. 統計指標	○年齢別人口 ○高齢化率
2. 高齢者の状況	○単身世帯の割合 ○高齢者夫婦のみ世帯の割合 ○各種要介護リスクの状況
3. 地域での活動	○地域づくり活動（参加者）への参加意向 ○地域づくり活動（企画・運営）への参加意向 ○ボランティアグループ参加率 ○老人クラブ参加率 ○町内会・自治会参加率 ○支援や助け合いの活動意向
4. 健康観や幸福感	○主観的健康観 ○幸福感 ○趣味の有無 ○生きがいの有無
5. 孤立の状況	○孤食の状況 ○友人との交流の少なさ ○心配事や愚痴を聞いてくれる人がいない ○看病や世話をしてくれる人がいない ○昨年と比べて外出の回数が減っている ○外出を控えている
6. 在宅介護の状況	○老々介護の割合 ○施設等への入所・入居の検討 ○介護保険以外の支援・サービスの利用 ○介護保険サービスの利用の有無 ○訪問診療の利用の有無 ○主な介護者が行う介護の種類 ○主な介護者以外の介護者の有無 ○就労継続の見通し

(2) 地域課題の分析における留意事項

- ◆市全域の人口・圏域別・年齢別人口は、令和4年10月1日現在の瀬戸市連区別・年齢別・男女別人口に基づきます。
- ◆地域カルテに掲載している、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査に基づく数値については、要支援者の割合の違いによって地区ごとの数値にばらつきが出て比較ができなくなることを防ぐため、要支援者を除いた一般高齢者のみの数値を用いています。
- ◆各圏域の要介護リスクの状況についてのレーダーチャートについては、各リスクの割合を平均50、標準偏差10に揃えた標準得点（偏差値）で比較しています。

(3) 地域カルテ指標

地域カルテにおいて指標として用いた数値の定義は以下のとおりです。なお、各種要介護リスクの判定方法については、「Ⅱ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果」の「11 要介護リスクの状況について（一般高齢者）」において記載しています。

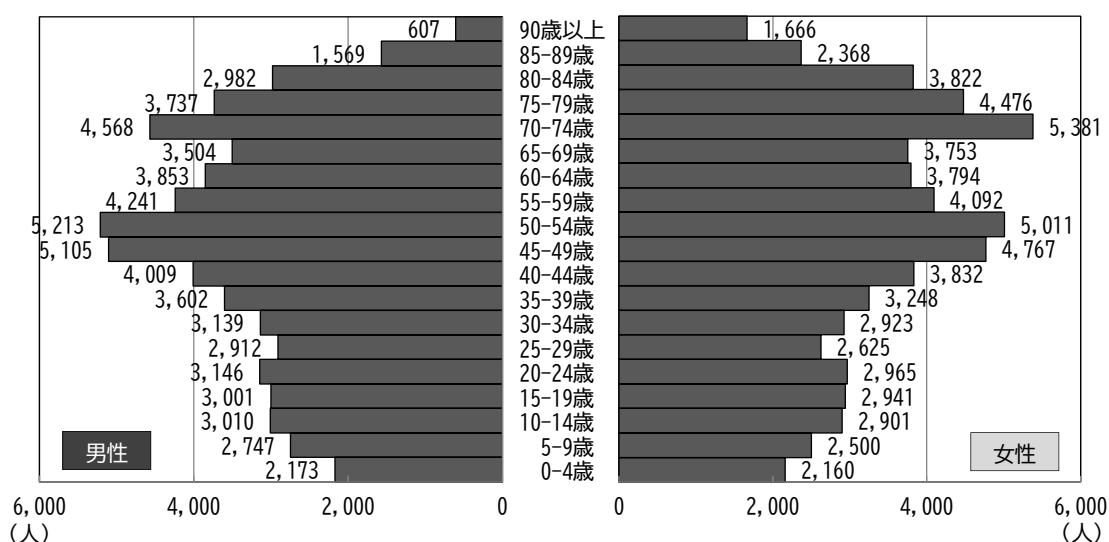
指標	説明
単身世帯の割合	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査問6で「1人暮らし」を回答した割合。
高齢者夫婦のみ世帯の割合	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査問6で「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」を回答した割合。
地域づくり活動への参加意向 （参加者として）	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査問57で、「ぜひ参加したい」「参加してもよい」「既に参加している」のいずれかを回答した割合。
地域づくり活動への参加意向 （企画・運営として）	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査問58で、「ぜひ参加したい」「参加してもよい」「既に参加している」のいずれかを回答した割合。
ボランティアのグループ参加率 老人クラブ参加率 町内会・自治会参加率	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査問56で、①ボランティアのグループ、⑥老人クラブ、⑦町内会・自治会のそれぞれについて、「参加していない」以外を回答した割合。
支援・助け合い活動可能数平均	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査問59で「特にできることはない」以外の助け合い活動を回答した数の平均。
主観的健康感が良い	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査問68で「とてもよい」または「まあよい」を回答した割合。
幸福感がある（8点以上）	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査問69で「8点」「9点」「10点」のいずれかを回答した割合。
趣味がある	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査問52で「はい」と回答した割合。
生きがいがある	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査問53で「はい」と回答した割合。
誰かと食事をともしる機会がない	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査問34で「ほとんどない」と回答した割合。
友人との交流がない	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査問66で「0人（いない）」と回答した割合。
心配事や愚痴を聞いてくれる人がいない	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査問60で「そのような人はいない」と回答した割合。
看病や世話をしてくれる人がいない	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査問62で「そのような人はいない」と回答した割合。
昨年と比べて外出の回数が減っている	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査問20で「とても減っている」または「減っている」と回答した割合。
外出を控えている	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査問21で「はい」と回答した割合。
主な介護者が70歳以上	在宅介護実態調査A票問5で主な介護者の年齢について「70歳代」または「80歳以上」と回答した割合。
施設等への入所・入居を検討／申し込みをしている	在宅介護実態調査A票問10で「入所・入居を検討している」または「すでに入所・入居申し込みをしている」と回答した割合。
利用している介護保険以外の支援・サービスの種類の平均	在宅介護実態調査A票問8で「利用していない」以外の支援・サービスを回答した数の平均。
介護保険サービスを利用していない	在宅介護実態調査A票問13で「利用していない」と回答した割合。
訪問診療を利用していない	在宅介護実態調査A票問12で「利用していない」と回答した割合。
主な介護者が行う介護の種類の種類平均	在宅介護実態調査A票問6で「わからない」以外の介護等を回答した数の平均。
主な介護者以外の介護者がいない	在宅介護実態調査B票問5で「いない」と回答した割合。
就労継続の見通しが困難	在宅介護実態調査B票問4で「続けていくのは、やや難しい」または「続けていくのは、かなり難しい」と回答した割合。

2 地域課題の分析

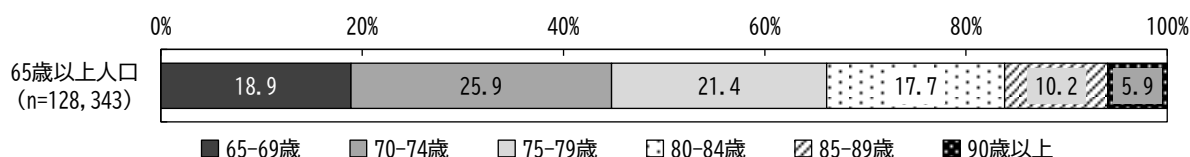
(1) 市全域

- ◆高齢者の人口は70～74歳が最も多くなっており、今後この年代が高齢化することで、支援が必要な高齢者が増加することが見込まれます。
- ◆前回調査との違いとして、孤食者の増加、友人との交流がない高齢者の増加、外出を控えている高齢者の増加といった結果が示されており、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が高齢者の生活に影響を与えていることがうかがえます。
- ◆75歳以上人口率の上昇を背景として、要介護リスクのある高齢者の割合が増加している項目が多くなっており、介護予防の取組の重要性が増しています。

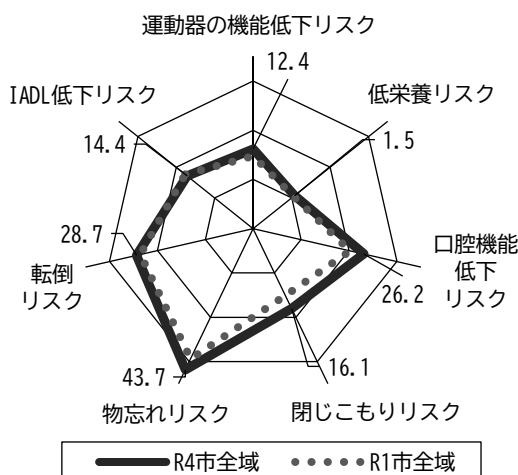
■人口ピラミッド（人口：128,343人、65歳以上：29.9%、75歳以上：16.5%）



■年齢別高齢者人口割合



■要介護リスクの状況（前回調査との比較）

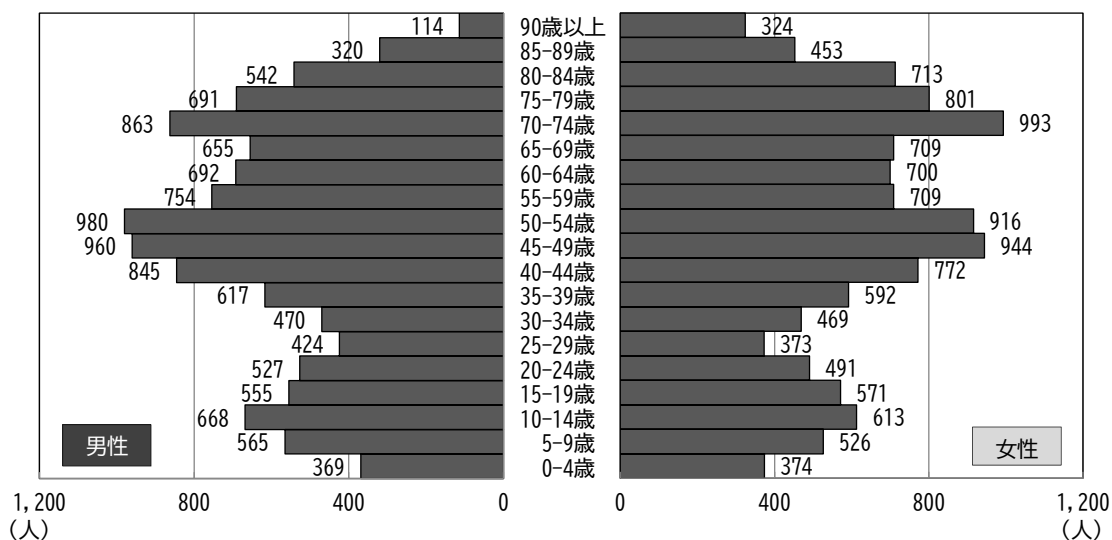


地域カルテ 【市全域】					
指標等項目	数値	前回との差	指標等項目	数値	前回との差
1. 統計指標					
人口	128,343 人	-1,153	高齢化率	29.9%	+0.4
高齢者人口	38,433 人	+246	75 歳以上人口率	16.5%	+1.3
75 歳以上人口	21,227 人	+1,571	85 歳以上人口率	4.8%	+0.7
2. 高齢者の状況					
単身世帯の割合	16.2%	+3.2	口腔機能低下リスク	26.2%	+5.8
高齢者夫婦のみ世帯の割合	46.5%	-0.1	閉じこもりリスク	16.1%	+5.9
虚弱リスク	8.2%	+3.1	物忘れリスク	43.7%	+4.9
運動器の機能低下リスク	12.4%	+3.0	転倒リスク	28.7%	+1.6
低栄養リスク	1.5%	+0.6	I A D L 低下	14.4%	-1.0
3. 地域での活動					
地域づくり活動への参加意向（参加者として）	52.4%	-7.7	老人クラブ参加率	4.3%	-0.2
地域づくり活動への参加意向（企画・運営として）	31.2%	-6.1	町内会・自治会参加率	25.3%	+1.7
ボランティアのグループ参加率	14.9%	+3.5	支援・助け合い活動可能数平均	1.4	-
4. 健康観や幸福感					
主観的健康感が良い	77.5%	-4.1	趣味がある	76.7%	+3.5
幸福感がある（8 点以上）	35.0%	-9.8	生きがいがある	78.3%	+21.4
5. 孤立の状況					
誰かと食事をもにすることがない	7.6%	+1.6	看病や世話をしてくれる人がいない	4.9%	-1.5
友人との交流がない	18.8%	+8.3	昨年と比べて外出の回数が減っている	28.0%	+3.1
心配事や愚痴を聞いてくれる人がいない	4.0%	-1.3	外出を控えている	28.9%	+16.5
6. 在宅介護の状況					
主な介護者が 70 歳以上	38.2%	+0.7	訪問診療を利用していない	76.6%	+4.7
施設等への入所・入居を検討／申し込みをしている	30.4%	+3.3	主な介護者が行う介護の種類	6.0	-
利用している介護保険以外の支援・サービスの種類の平均	0.6	-	主な介護者以外の介護者がいない	23.0%	-
介護保険サービスを利用していない	24.7%	+6.6	就労継続の見通しが困難	12.1%	+0.1

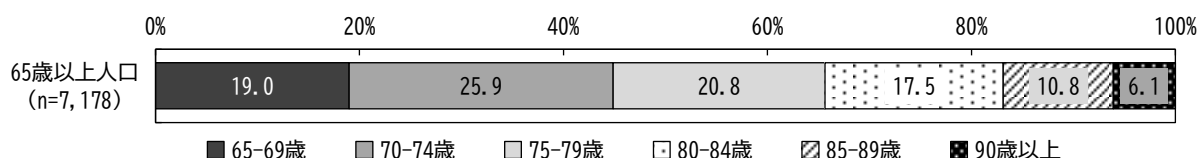
(2) 北部圏域（道東・深川・水野・西陵連区）

- ◆高齢者の年齢構成はほぼ市全域と同様の傾向となっており、今後人口の多い70歳代が高齢化することで、支援が必要な高齢者が増加することが見込まれます。
- ◆要介護リスクの状況をみると、低栄養リスクが高くなっています。
- ◆誰かと食事をとる機会がない、または看病や世話をしてくれる人がいない高齢者はやや少ない一方で、外出が減っている、または外出を控えている高齢者はやや多くなっています。
- ◆在宅介護の状況をみると、施設等への入所・入居を検討／申し込みをしている割合が高く、介護保険サービスを利用していない割合は低くなっています。

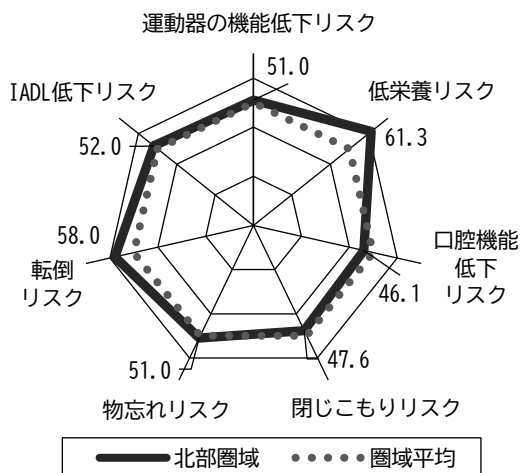
■人口ピラミッド（人口：23,654人、65歳以上：30.3%、75歳以上：16.7%）



■年齢別高齢者人口割合



■要介護リスクの状況（圏域平均との比較）

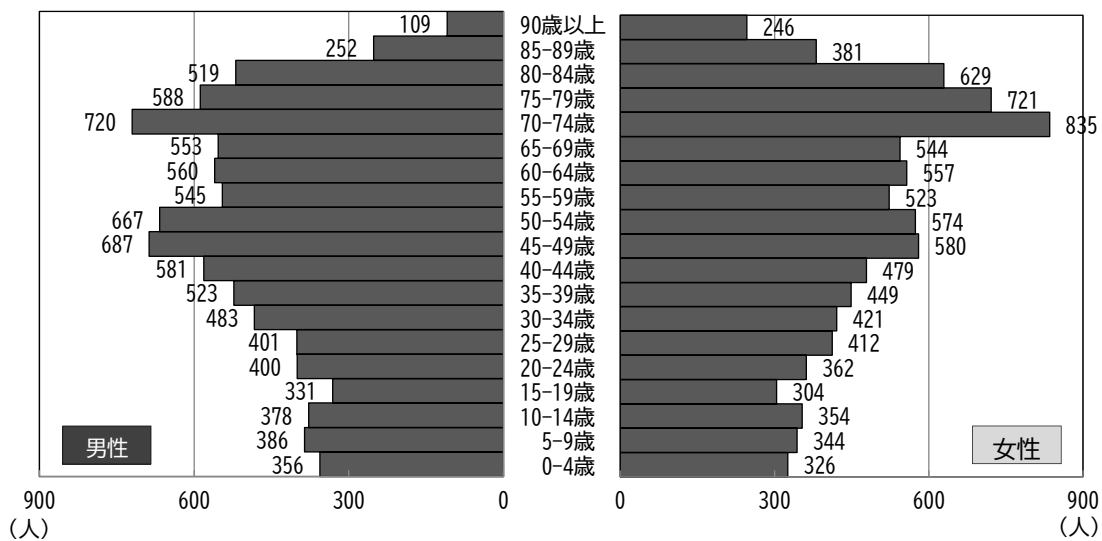


地域カルテ 【北部圏域】					
指標等項目	数値	市全域との差	指標等項目	数値	市全域との差
1. 統計指標					
人口	23,654 人	-	高齢化率	30.3%	+0.4
高齢者人口	7,178 人	-	75 歳以上人口率	16.7%	+0.2
75 歳以上人口	3,958 人	-	85 歳以上人口率	5.1%	+0.3
2. 高齢者の状況					
0					
単身世帯の割合	15.1%	-1.1	口腔機能低下リスク	25.6%	-0.6
高齢者夫婦のみ世帯の割合	46.6%	+0.1	閉じこもりリスク	16.1%	0.0
虚弱リスク	8.5%	+0.3	物忘れリスク	44.6%	+0.9
運動器の機能低下リスク	12.8%	+0.4	転倒リスク	30.8%	+2.1
低栄養リスク	2.0%	+0.5	I A D L 低下	14.4%	0.0
3. 地域での活動					
地域づくり活動への参加意向（参加者として）	54.4%	+2.0	老人クラブ参加率	3.7%	-0.6
地域づくり活動への参加意向（企画・運営として）	33.2%	+2.0	町内会・自治会参加率	24.2%	-1.1
ボランティアのグループ参加率	17.3%	+2.4	支援・助け合い活動可能数平均	1.6	+0.2
4. 健康観や幸福感					
主観的健康感が良い	77.4%	-0.1	趣味がある	73.1%	-3.6
幸福感がある（8 点以上）	36.0%	+1.0	生きがいがある	78.0%	-0.3
5. 孤立の状況					
誰かと食事をとにもする機会がない	5.6%	-2.0	看病や世話をしてくれる人がいない	3.6%	-1.3
友人との交流がない	20.0%	+1.2	昨年と比べて外出の回数が減っている	30.8%	+2.8
心配事や愚痴を聞いてくれる人がいない	4.9%	+0.9	外出を控えている	31.5%	+2.6
6. 在宅介護の状況					
主な介護者が 70 歳以上	42.2%	+4.0	訪問診療を利用していない	81.2%	+4.6
施設等への入所・入居を検討／申し込みをしている	43.5%	+13.1	主な介護者が行う介護の種類	6.2	+0.2
利用している介護保険以外の支援・サービスの種類の平均	0.6	0.0	主な介護者以外の介護者がいない	14.1%	-8.9
介護保険サービスを利用していない	17.4%	-7.3	就労継続の見通しが困難	10.7%	-1.4

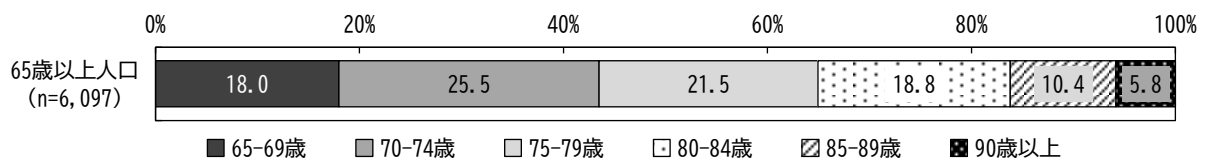
(3) 東部圏域（古瀬戸・東明・品野・下品野連区）

- ◆高齢化率、75歳以上人口率ともに5圏域の中で最も高く、本市において最も高齢化が進んだ地域となっています。
- ◆要介護リスクの状況を見ると、市全域より数値の高い項目が多く、中でも運動器の機能低下リスク、閉じこもりリスク、物忘れリスクが高くなっています。
- ◆地域での活動については、町内会・自治会参加率が高くなっています。
- ◆在宅介護の状況を見ると、施設等への入所・入居を検討／申し込みをしている割合がやや低い一方で、就労継続の見通しが困難な割合が高くなっています。

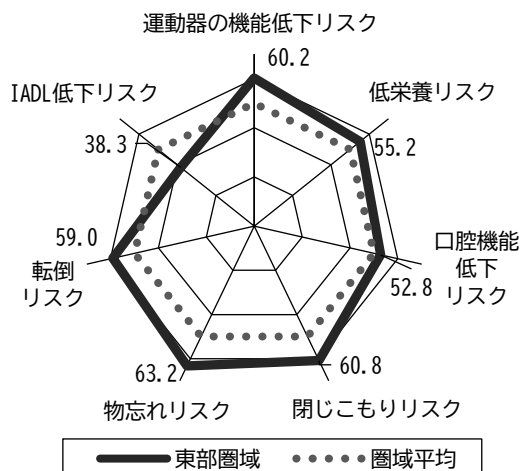
■人口ピラミッド（人口：18,080人、65歳以上：33.7%、75歳以上：19.1%）



■年齢別高齢者人口割合



■要介護リスクの状況（圏域平均との比較）

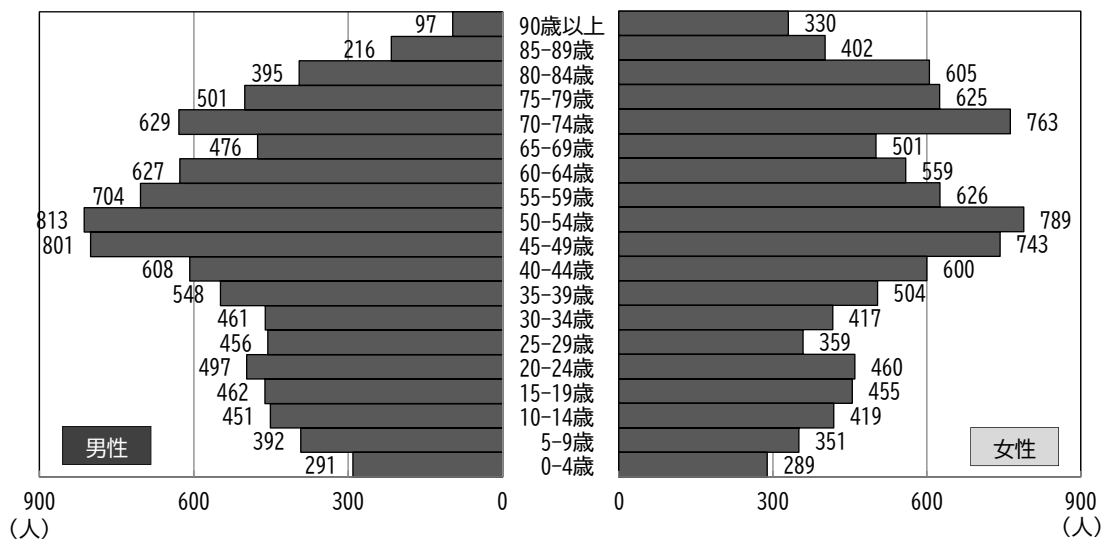


地域カルテ 【東部圏域】					
指標等項目	数値	市全域との差	指標等項目	数値	市全域との差
1. 統計指標					
人口	18,080 人	-	高齢化率	33.7%	+3.8
高齢者人口	6,097 人	-	75 歳以上人口率	19.1%	+2.6
75 歳以上人口	3,445 人	-	85 歳以上人口率	5.5%	+0.7
2. 高齢者の状況					
0					
単身世帯の割合	15.9%	-0.3	口腔機能低下リスク	27.2%	+1.0
高齢者夫婦のみ世帯の割合	47.8%	+1.3	閉じこもりリスク	18.1%	+2.0
虚弱リスク	7.8%	-0.4	物忘れリスク	48.3%	+4.6
運動器の機能低下リスク	14.2%	+1.8	転倒リスク	31.0%	+2.3
低栄養リスク	1.7%	+0.2	I A D L 低下	12.5%	-1.9
3. 地域での活動					
地域づくり活動への参加意向（参加者として）	51.3%	-1.1	老人クラブ参加率	4.3%	0.0
地域づくり活動への参加意向（企画・運営として）	27.6%	-3.6	町内会・自治会参加率	34.0%	+8.7
ボランティアのグループ参加率	15.6%	+0.7	支援・助け合い活動可能数平均	1.3	-0.1
4. 健康観や幸福感					
主観的健康感が良い	75.5%	-2.0	趣味がある	78.0%	+1.3
幸福感がある（8 点以上）	32.7%	-2.3	生きがいがある	78.0%	-0.3
5. 孤立の状況					
誰かと食事をもにすることがない	8.2%	+0.6	看病や世話をしてくれる人がいない	7.8%	+2.9
友人との交流がない	18.5%	-0.3	昨年と比べて外出の回数が減っている	27.2%	-0.8
心配事や愚痴を聞いてくれる人がいない	4.3%	+0.3	外出を控えている	27.6%	-1.3
6. 在宅介護の状況					
主な介護者が 70 歳以上	36.9%	-1.3	訪問診療を利用していない	71.9%	-4.7
施設等への入所・入居を検討／申し込みをしている	26.3%	-4.1	主な介護者が行う介護の種類	6.0	0.0
利用している介護保険以外の支援・サービスの種類の平均	0.9	+0.3	主な介護者以外の介護者がいない	26.1%	+3.1
介護保険サービスを利用していない	22.8%	-1.9	就労継続の見通しが困難	18.2%	+6.1

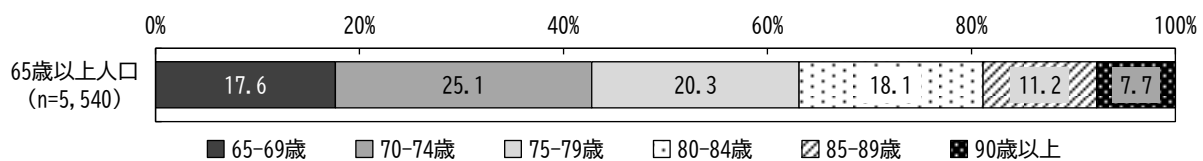
(4) 中部圏域（祖母懐・陶原・長根連区）

- ◆高齢化率は5圏域の中では2番目に低くなっています。また、高齢者に占める74歳以下の割合が42.7%で、5圏域で最も低くなっています。
- ◆要介護リスクの状況をみると、全体的に数値が高くなっており、中でも口腔機能低下リスク、IADL低下リスクが高くなっています。
- ◆地域づくり活動への参加意向がやや高い一方、町内会・自治会への参加率は低くなっています。
- ◆友人との交流がない高齢者がやや少ない一方で、外出が減っている、外出を控えている高齢者はやや多くなっています。
- ◆在宅介護の状況をみると、施設等への入所・入居を検討／申し込みをしている割合が低く、介護保険サービスを利用していない割合、訪問診療を利用していない割合も低くなっており、介護者の就労継続の見通しが困難な割合も低くなっています。

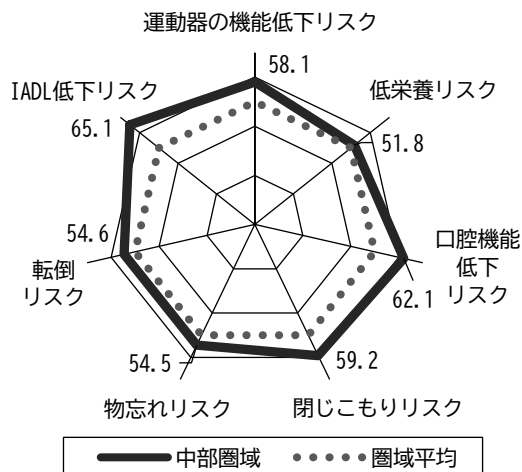
■人口ピラミッド（人口：19,222人、65歳以上：28.8%、75歳以上：16.5%）



■年齢別高齢者人口割合



■要介護リスクの状況（圏域平均との比較）

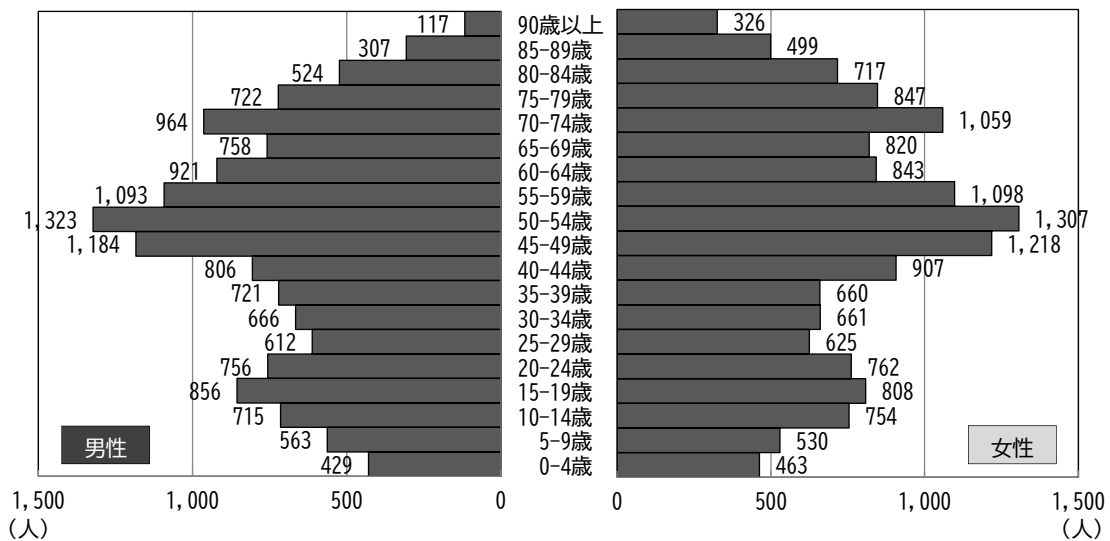


地域カルテ 【中部圏域】					
指標等項目	数値	市全域との差	指標等項目	数値	市全域との差
1. 統計指標					
人口	19,222 人	-	高齢化率	28.8%	-1.1
高齢者人口	5,540 人	-	75 歳以上人口率	16.5%	+0.0
75 歳以上人口	3,171 人	-	85 歳以上人口率	5.4%	+0.6
2. 高齢者の状況					
単身世帯の割合	20.6%	+4.4	口腔機能低下リスク	29.4%	+3.2
高齢者夫婦のみ世帯の割合	42.9%	-3.6	閉じこもりリスク	17.9%	+1.8
虚弱リスク	11.1%	+2.9	物忘れリスク	45.6%	+1.9
運動器の機能低下リスク	13.9%	+1.5	転倒リスク	30.2%	+1.5
低栄養リスク	1.6%	+0.1	I A D L 低下	16.3%	+1.9
3. 地域での活動					
地域づくり活動への参加意向（参加者として）	55.6%	+3.2	老人クラブ参加率	5.2%	+0.9
地域づくり活動への参加意向（企画・運営として）	33.8%	+2.6	町内会・自治会参加率	19.1%	-6.2
ボランティアのグループ参加率	11.6%	-3.3	支援・助け合い活動可能数平均	1.4	0.0
4. 健康観や幸福感					
主観的健康感が良い	73.8%	-3.7	趣味がある	73.0%	-3.7
幸福感がある（8 点以上）	37.6%	+2.6	生きがいがある	79.0%	+0.7
5. 孤立の状況					
誰かと食事をもにしている機会がない	9.9%	+2.3	看病や世話をしてくれる人がいない	4.4%	-0.5
友人との交流がない	17.9%	-0.9	昨年と比べて外出の回数が減っている	30.5%	+2.5
心配事や愚痴を聞いてくれる人がいない	3.6%	-0.4	外出を控えている	32.5%	+3.6
6. 在宅介護の状況					
主な介護者が 70 歳以上	30.4%	-7.8	訪問診療を利用していない	73.1%	-3.5
施設等への入所・入居を検討／申し込みをしている	19.3%	-11.1	主な介護者が行う介護の種類	6.5	+0.5
利用している介護保険以外の支援・サービスの種類の平均	0.5	-0.1	主な介護者以外の介護者がいない	26.1%	+3.1
介護保険サービスを利用していない	15.4%	-9.3	就労継続の見通しが困難	5.3%	-6.8

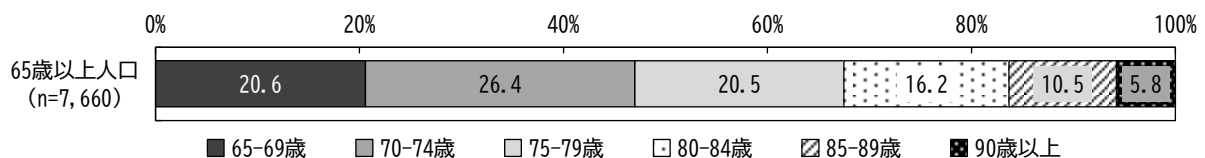
(5) 西部圏域（効範・水南連区）

- ◆高齢化率、75歳以上人口率ともに5圏域の中で最も低く、75歳前後のいわゆる団塊の世代より、40歳代後半から50歳代前半の団塊ジュニア世代の人口の方が多いのが特徴です。
- ◆要介護リスクの状況を見ると、全体的に市全域の数値を下回っています。
- ◆地域づくり活動への参加意向や、老人クラブまたは町内会・自治会への参加率は、他の地域より低くなっています。
- ◆在宅介護の状況を見ると、主な介護者が70歳以上の割合が低い一方で、施設等への入所・入居を検討／申し込みをしている割合が高く、介護保険サービスを利用していない割合、訪問診療を利用していない割合も高くなっています。

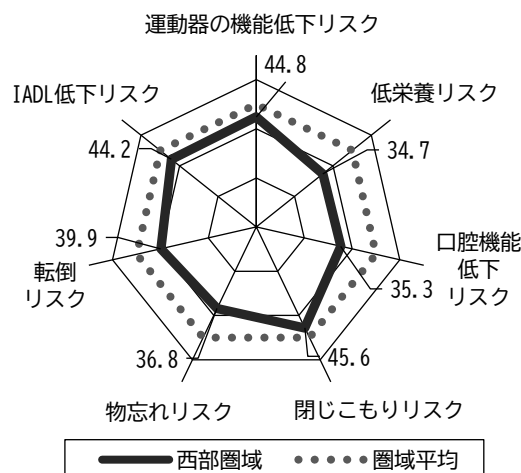
■人口ピラミッド（人口：28,941人、65歳以上：26.5%、75歳以上：14.0%）



■年齢別高齢者人口割合



■要介護リスクの状況（圏域平均との比較）

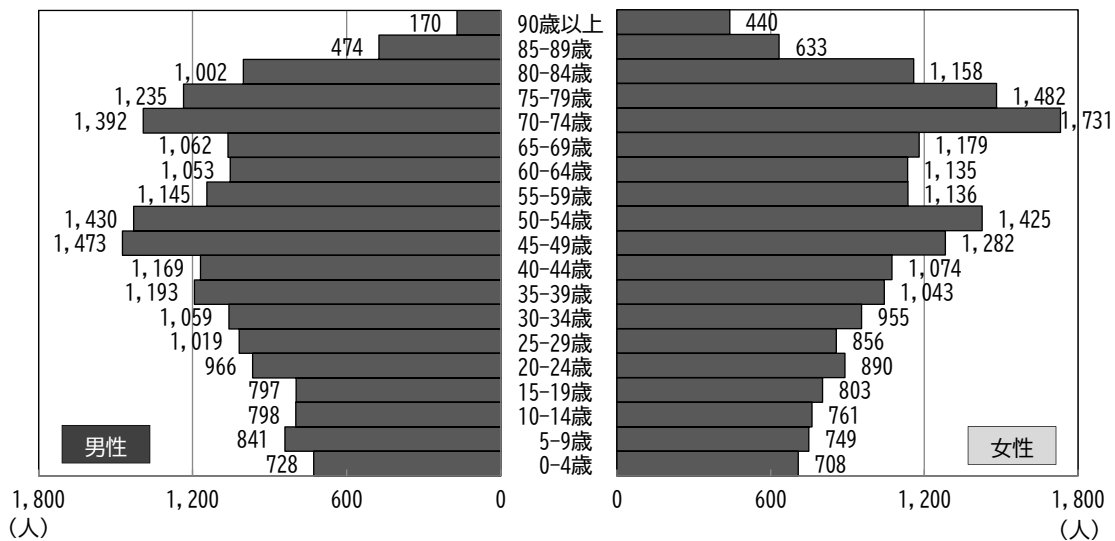


地域カルテ 【西部圏域】					
指標等項目	数値	市全域との差	指標等項目	数値	市全域との差
1. 統計指標					
人口	28,941 人	-	高齢化率	26.5%	-3.4
高齢者人口	7,660 人	-	75 歳以上人口率	14.0%	-2.5
75 歳以上人口	4,059 人	-	85 歳以上人口率	4.3%	-0.5
2. 高齢者の状況					
単身世帯の割合	13.0%	-3.2	口腔機能低下リスク	23.0%	-3.2
高齢者夫婦のみ世帯の割合	50.3%	+3.8	閉じこもりリスク	15.8%	-0.3
虚弱リスク	7.9%	-0.3	物忘れリスク	40.3%	-3.4
運動器の機能低下リスク	11.8%	-0.6	転倒リスク	27.3%	-1.4
低栄養リスク	0.9%	-0.6	I A D L 低下	13.3%	-1.1
3. 地域での活動					
地域づくり活動への参加意向（参加者として）	51.8%	-0.6	老人クラブ参加率	2.7%	-1.6
地域づくり活動への参加意向（企画・運営として）	27.8%	-3.4	町内会・自治会参加率	19.4%	-5.9
ボランティアのグループ参加率	13.3%	-1.6	支援・助け合い活動可能数平均	1.4	0.0
4. 健康観や幸福感					
主観的健康感が良い	79.7%	+2.2	趣味がある	79.4%	+
幸福感がある（8 点以上）	34.3%	-0.7	生きがいがある	80.3%	+2.0
5. 孤立の状況					
誰かと食事をもにすることがない	6.4%	-1.2	看病や世話をしてくれる人がいない	5.2%	+0.3
友人との交流がない	19.4%	+0.6	昨年と比べて外出の回数が減っている	28.2%	+0.2
心配事や愚痴を聞いてくれる人がいない	3.0%	-1.0	外出を控えている	27.9%	-1.0
6. 在宅介護の状況					
主な介護者が 70 歳以上	30.8%	-7.4	訪問診療を利用していない	79.7%	+3.1
施設等への入所・入居を検討／申し込みをしている	38.0%	+7.6	主な介護者が行う介護の種類	5.3	-0.7
利用している介護保険以外の支援・サービスの種類の平均	0.6	0.0	主な介護者以外の介護者がいない	23.5%	+0.5
介護保険サービスを利用していない	31.6%	+6.9	就労継続の見通しが困難	9.4%	-2.7

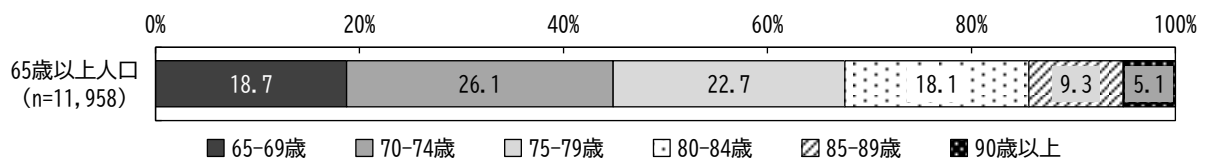
(6) 南部圏域（山口・本地・菱野・新郷・原山台・萩山台・八幡台連区）

- ◆高齢化率、75歳以上人口率ともに5圏域の中で2番目に高くなっています。
- ◆要介護リスクの状況を見ると、市全域よりも数値の低い項目が多くなっています。
- ◆町内会・自治会への参加率はやや高くなっています。
- ◆友人との交流がない高齢者の割合が、他の地域よりやや低くなっています。
- ◆在宅介護の状況を見ると、主な介護者が70歳以上の割合が高くなっています。施設等への入所・入居を検討／申し込みをしている割合が低い一方、介護保険サービスを利用していない割合が高く、就労継続の見通しが困難な割合も高くなっています。

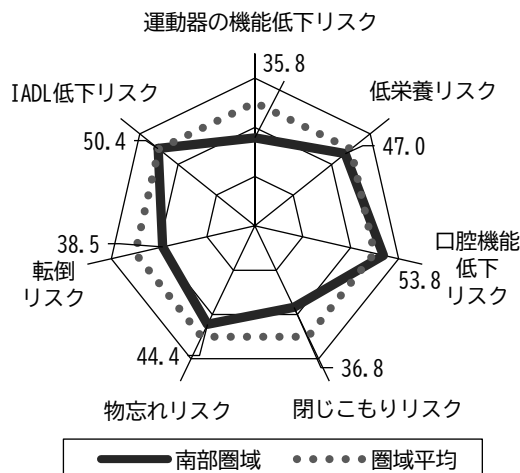
■人口ピラミッド（人口：38,446人、65歳以上：31.1%、75歳以上：17.2%）



■年齢別高齢者人口割合



■要介護リスクの状況（圏域平均との比較）



地域カルテ 【南部圏域】					
指標等項目	数値	市全域との差	指標等項目	数値	市全域との差
1. 統計指標					
人口	38,446 人	-	高齢化率	31.1%	+1.2
高齢者人口	11,958 人	-	75 歳以上人口率	17.2%	+0.7
75 歳以上人口	6,594 人	-	85 歳以上人口率	4.5%	-0.3
2. 高齢者の状況					
単身世帯の割合	16.6%	+0.4	口腔機能低下リスク	27.4%	+1.2
高齢者夫婦のみ世帯の割合	47.4%	+0.9	閉じこもりリスク	14.4%	-1.7
虚弱リスク	6.4%	-1.8	物忘れリスク	42.6%	-1.1
運動器の機能低下リスク	10.4%	-2.0	転倒リスク	27.0%	-1.7
低栄養リスク	1.4%	-0.1	I A D L 低下	14.2%	-0.2
3. 地域での活動					
地域づくり活動への参加意向（参加者として）	52.0%	-0.4	老人クラブ参加率	5.4%	+1.1
地域づくり活動への参加意向（企画・運営として）	33.2%	+2.0	町内会・自治会参加率	29.2%	+3.9
ボランティアのグループ参加率	16.6%	+1.7	支援・助け合い活動可能数平均	1.4	0.0
4. 健康観や幸福感					
主観的健康感が良い	79.8%	+2.3	趣味がある	78.8%	+2.1
幸福感がある（8 点以上）	35.2%	+0.2	生きがいがある	78.6%	+0.3
5. 孤立の状況					
誰かと食事をもにすることがない	7.8%	+0.2	看病や世話をしてくれる人がいない	4.2%	-0.7
友人との交流がない	18.0%	-0.8	昨年と比べて外出の回数が減っている	24.8%	-3.2
心配事や愚痴を聞いてくれる人がいない	3.6%	-0.4	外出を控えている	26.8%	-2.1
6. 在宅介護の状況					
主な介護者が 70 歳以上	46.1%	+7.9	訪問診療を利用していない	76.9%	+0.3
施設等への入所・入居を検討／申し込みをしている	22.1%	-8.3	主な介護者が行う介護の種類	6.1	+0.1
利用している介護保険以外の支援・サービスの種類の平均	0.6	0.0	主な介護者以外の介護者がいない	25.8%	+2.8
介護保険サービスを利用していない	31.7%	+7.0	就労継続の見通しが困難	17.9%	+5.8

瀬戸市高齢者総合計画実態調査報告書

発行日 令和5年3月

発行元 瀬戸市役所 健康福祉部 高齢者福祉課

住 所 〒489-8701 愛知県瀬戸市追分町64番地の1

T E L 0561-88-2621 F A X 0561-88-2633

<https://www.city.seto.aichi.jp>
